オンラインユーザーズガイド

DCP-L2600DW
DCP-L2660DW
FAX-L2800DW
MFC-L2860DW
MFC-L2880DW

© 2023 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

本ガイドの使い方 1
注意事項の定義 2
商標 3
オープンソースライセンスについて 4
著作権とライセンスについて 5
重要事項 6
本製品を廃棄するときは 7
本製品のご案内 8
本製品をご使用になる前に 9
操作パネルの概要 10
操作パネルの概要 15
タッチパネル画面の概要 16
タッチパネル画面の操作方法 19
メインホーム画面の設定 21
設定画面の概要 22
本製品にテキストを入力するには 23
Brother ユーティリティへのアクセス（Windows） 26
ソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows） 27
Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac） 28
本製品の入出力ポートの場所 30
紙の取り扱い 31
用紙のセット 32
用紙トレイに用紙をセットする 33
手差しトレイに用紙をセットする 36
厚紙とラベルを手差しトレイにセットして印刷する 38
手差しトレイに封筒をセットして印刷する 40
用紙設定 42
用紙サイズと用紙タイプを変更する 43
トレイ確認の設定を変更する 44
原稿のセット 45
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 46
原稿台ガラスに原稿をセットする 48
読み取りできない範囲および印刷できない範囲 49
特殊用紙を使用する 50
印刷 51
パソコンから印刷する（Windows） 52
文書を印刷する（Windows） 53
用紙の両面に印刷する（Windows） 55
セキュリティ印刷（Windows） 58
初期値の印刷設定を変更する（Windows） 59
印刷設定（Windows） 60
BR-Script3 プリンタードライバー（PostScript® 3™言語エミュレーション）を使用して文書を印刷する（Windows） 64
お使いのパソコンから本製品の状態を監視する （Windows） 65
パソコンから印刷する（Mac） 66

手差しトレイに封筒をセットして印刷する ... 67
E メールの添付ファイルを印刷する ... 69
操作パネルを使用し印刷の設定を変更する ... 70
印刷ジョブをキャンセルする ... 71
テスト印刷 ... 72
スキャン ... 73
本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする ... 74
写真やグラフィックをスキャンする ... 75
単一または複数のページを単一の PDF ファイルでフォルダーへスキャン ... 77
編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR） ... 79
スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する ... 81
スキャンしたデータを E メール受信者に送信する ... 83
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する ... 85
スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows） ... 89
Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11） ... 95
Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更 ... 99
署名入り PDF 用の証明書を設定する ... 100
お使いのコンピューターからスキャンを無効にする ... 102
お使いのパソコンからスキャンする （Windows） ... 103
Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac） ... 104
Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする ... 105
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする ... 110
お使いのパソコンからスキャンする （Mac） ... 114
Web Based Management を使用してスキャン設定を行う ... 115
Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する ... 116
コピー ... 117
用紙の片面をコピーする（片面コピー） ... 118
用紙の両面をコピーする（両面コピー） ... 120
コピー画像を拡大または縮小する ... 123
レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする ... 125
ソートコピー ... 127
ID カードをコピーする ... 128
コピーオプション ... 130
ファクス ... 133
電話/ファクス回線接続を確認する ... 134
ファクスを送信する ... 136
ファクスを送信する ... 137
ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する ... 141
手動でファクスを送信する ... 142
通話の最後にファクスを送信する ... 143
複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信） ... 144
リアルタイム送信する ... 147
時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信） ... 148
ファクス自動再ダイヤル設定を変更する ... 150
ファクスに表紙を追加する ... 151

ファクス送信をキャンセルする ... 154
送信待ちファクスを確認、キャンセルする ... 155
ファクスオプション ... 156
ファクスを受信する ... 158
受信モードの設定 ... 159
メモリー受信オプション ... 180
リモコン機能 ... 190
電話帳 ... 196
ファクス/電話番号を登録する ... 197
ショートカットでダイヤルする ... 201
短縮ダイヤルでダイヤルする ... 204
同報送信のグループダイヤルを設定する ... 207
電話サービスと色々な接続方法 ... 214
ナンバー・ディスプレイとは ... 215
電話回線の種類を設定する ... 218
安心通信モードを設定する ... 219
現在の電話回線状態を確認する（電話回線診断） ... 220
外付け留守番電話機 ... 221
外付け電話機を接続する ... 224
リモートコードを使う ... 225
ファクスレポート ... 227
送信結果レポートを印刷する ... 228
通信管理レポートを印刷する ... 229
PC-FAX ... 231
PC-FAX（Windows の場合） ... 232
PC-FAX（Mac の場合） ... 252
ネットワーク ... 253
対応している基本ネットワーク機能について ... 254
ネットワークを設定する ... 255
操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する ... 256
無線ネットワーク設定 ... 257
無線ネットワークを使用する ... 258
Wi-Fi Direct®を使用する ... 276
無線 LAN を有効/無効にする ... 281
WLAN レポートを印刷する ... 282
ネットワーク機能 ... 286
操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする ... 287
Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する ... 288
ネットワーク設定レポートを印刷する ... 289
Web Based Management を使用して PC-FAX 受信を設定する ... 290
インターネットを使用したファクス（I-Fax） ... 291
Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する ... 315
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする ... 318
セキュリティ ... 319
ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に ... 320
不要なプロトコルを無効にする ... 321
デバイスセキュリティの証明書を設定する ... 322

サポートされているセキュリティ証明書機能 323
証明書を作成してインストールする方法 324
自己署名証明書を作成する 325
証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする 326
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて 330
CA 証明書のインポートとエクスポートについて 333
複数の証明書を管理する 336
SSL/TLS を使用する 337
SSL/TLS について 338
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理 341
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する 345
SNMPv3 を使用する 347
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理 348
IEEE 802.1x 認証を使用する 349
IEEE 802.1x 認証について 350
Web Based Management（ウェブブラウザー）を使用した有線または無線ネットワークの IEEE 802.1x 認証の設定 351
IEEE 802.1x 認証方式 353
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する 354
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に 355
Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する 356
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする 357
セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する 358
セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について 359
E メールを安全に送受信する 360
Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う 361
ユーザー認証を使用して E メールを送信する 362
SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送受信を行う 363
操作パネルから製品の設定をロックする 364
設定ロックの概要 365
グローバルネットワーク検出機能を使う 369
グローバル IP アドレス検出を有効にする 370
グローバルネットワークからの通信をブロックする 371
モバイル/クラウド接続 372
クラウド接続機能 373
クラウド接続機能の概要 374
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス 376
クラウド接続機能の設定 378
写真や原稿をスキャンしてアップロードする 386
写真や文書をダウンロードして印刷する 387
ファクスクラウド／E メール転送 389
AirPrint 392
AirPrint の概要 393
AirPrint を使用する前に（macOS） 394
AirPrint を使用して印刷する 395
AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS） 398
AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS） 399

Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan 400
Brother Mobile Connect 401
トラブルシューティング 402
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ 403
印刷またはスキャンできない - ファクスの転送 412
クラウド接続機能のエラーメッセージ 416
原稿が詰まったときは 418
ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり 419
原稿台カバーの下部の紙詰まり 420
ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く 421
紙詰まり 422
紙詰まりの解消 423
用紙トレイで紙が詰まっている 424
排紙トレイで紙が詰まっている 426
製品の背面で紙が詰まっている 427
製品の内部で紙が詰まっている 429
両面トレイの内部で紙が詰まっている 431
印刷の問題 433
印刷品質の改善 436
電話とファクスの問題 442
ダイヤルトーン検出を設定する 445
ネットワークの問題 446
エラーメッセージ 447
ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows） 449
本製品のネットワーク設定を確認する 450
本製品のネットワークに問題がある場合 451
AirPrint の問題 457
その他の問題 458
本製品の情報を確認する 460
製品のファームウェアのアップデート 461
本製品を初期状態に戻す 462
リセット機能の概要 464
日常のお手入れ 466
消耗品を交換する 467
トナーカートリッジを交換する 469
ドラムユニットを交換する 472
ドラムカウンターをリセットする 474
本製品を清掃する 475
スキャナーを清掃する 477
画面を清掃する 478
コロナワイヤーを清掃する 479
ドラムユニットを清掃する 480
給紙ローラーを清掃する 486
部品の残りの寿命を確認する 487
本製品を梱包して輸送する 488
製品の設定 490
製品のパスワードの確認 491

操作パネルから製品の設定を変更する 492
停電になったときは（メモリー保存） 493
基本設定 494
お好みの設定をショートカットとして登録する 519
レポートを印刷する 522
設定と機能一覧 525
Web Based Management を使用して製品の設定を変更する 570
Web Based Management とは 571
Web Based Management にアクセスする 573
Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する 575
Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する 576
付録 577
仕様 578
消耗品 586
消耗品の購入方法 587
アフターサービスのご案内 588

本ガイドの使い方

- 注意事項の定義
- 商標
- オープンソースライセンスについて
- 著作権とライセンスについて
- 重要事項
- 本製品を廃棄するときは

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

⚠ 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[#####]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

関連情報

- 本ガイドの使い方

商標

Apple、App Store、AirPrint、AirPrint ロゴ、Mac、macOS、iPadOS、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。 iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Nuance および PaperPort は、米国および／またはその他の国における Nuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe®、Reader®、PostScript、および PostScript 3 は、米国および／またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、および Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi CERTIFIED、および Wi-Fi Protected Setup は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

Android、Google Drive および Google Play は、Google LLC の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。

Mopria™ および Mopria™のロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc.の登録商標および／または未登録商標およびサービスマークです。不正使用は固く禁じられています。

EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

関連情報

- 本ガイドの使い方

オープンソースライセンスについて

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する記述と著作権情報を参照するには、support.brother.com/manuals でお使いのモデルの**製品マニュアル**ページにアクセスしてください。

関連情報

- 本ガイドの使い方

著作権とライセンスについて

©2023 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

This product includes software developed by the following vendors:

This product includes the “KASAGO TCP/IP” software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.

Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.

FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.

関連情報

- 本ガイドの使い方

重要事項

- ブラザードライバーとソフトウェアの更新情報については、support.brother.com/downloads を確認してください。
- 本製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェアの更新がないか、support.brother.com/downloads をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本製品を他の人に譲渡したり、交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows 11 は、Windows 11 Home、Windows 11 Pro、Windows 11 Education、および Windows 11 Enterprise を指します。
- 本ガイドでは、主に MFC-L2860DW の画面メッセージが使用されています。
- 本ガイドでは、主に MFC-L2860DW のイラストが使用されています。
- 本ガイド内の画面またはイラストはイメージであるため、実際の形状とは異なる場合があります。
- 特に指定のない限り、本書は Windows10 の画面を使用しています。実際のパソコンの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
- 本書は MFC 機種と DCP 機種に適用されます。本文中の MFC 機種には FAX-####も含まれます（####は機種名）。

関連情報

- 本ガイドの使い方

本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

- 事業所

  産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。

- 一般家庭

  小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。

対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

関連情報

- 本ガイドの使い方

本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 操作パネルの概要
- 操作パネルの概要
- タッチパネル画面の概要
- タッチパネル画面の操作方法
- メインホーム画面の設定
- 設定画面の概要
- 本製品にテキストを入力するには
- Brother ユーティリティへのアクセス（Windows）
- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）
- 本製品の入出力ポートの場所

本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ユーザーまたはネットワークケーブルユーザーの場合：インターフェイスケーブルが安全に接続されていることを確認します。

ファイアウォール（Windows）

お使いのパソコンがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX が使えない場合は、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用しており、インストーラーからドライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールのユーザーズガイドを参照するかメーカーに問い合わせてください。

関連情報

- 本製品のご案内

操作パネルの概要

関連モデル: DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

操作パネルはお使いのモデルによって異なることがあります。

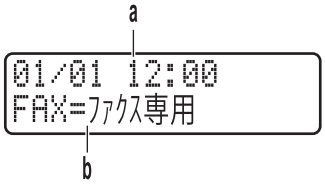
>> FAX-L2800DW
>> DCP-L2600DW

FAX-L2800DW

1. **液晶ディスプレー（LCD）**

   本製品の設定や使用を助けるメッセージを表示します。

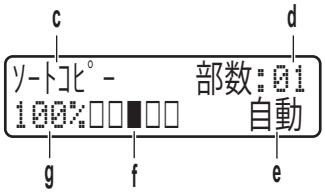
   本製品がファクス専用モードの場合、液晶ディスプレーの表示は以下のようになります。



   a. 日付と時刻

   b. 受信モード

   コピーを押すと、液晶ディスプレーの表示は以下のようになります。



   c. コピーの種類

   d. コピーの枚数

   e. 画質

   f. コントラスト

   g. コピーの倍率

2. **メニューボタン**

   クリア

   入力したデータを削除したり、現在の設定をキャンセルしたりするときに押します。

メニュー

メニューにアクセスし、本製品の設定を行うときに押します。

OK

本製品の設定を保存するときに押します。

◀ または ▶

メニュー選択画面で前後にスクロールするときに押します。

▲ または ▼

- メニュー画面やオプション画面で上下にスクロールするときに押します。
- ファクスモードの解像度を変更するときに押します。

を押して短縮ダイヤル番号にアクセスします。

オプション

ファクス、スキャン、コピーの一時設定にアクセスするときに押します。

3. **ダイヤルパッド**
   - ファクス番号や電話番号をダイヤルするときに押します。
   - テキストや文字を入力するキーボードとしても使用できます。
4. **モードボタン**

ファクス

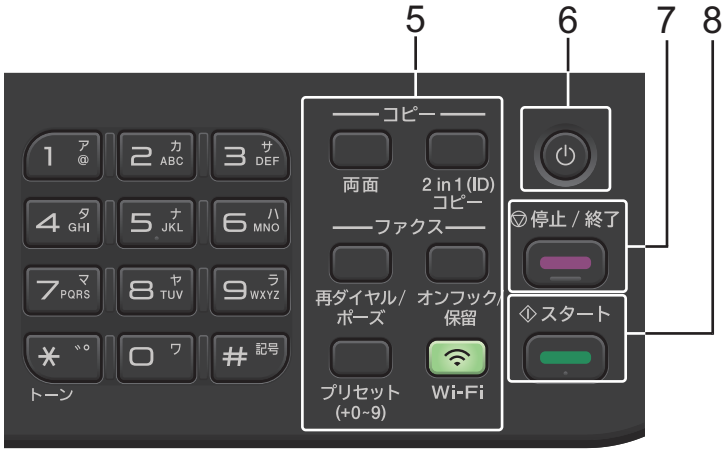
本製品をファクスモードに切り替えるときに押します。

コピー

本製品をコピーモードに切り替えるときに押します。

スキャン

本製品をスキャンモードに切り替えるときに押します。



5. **機能ボタン**

再ダイヤル/ポーズ

最後に電話をかけた番号へダイヤルするときに押します。また、このボタンでは短縮ダイヤルを登録するときや、手動で番号を ダイヤル するときにポーズ（待ち時間）を入れます。

オンフック/保留

オンフック/保留 を押して本製品の応答を確認し、 **スタート**を押します。

Wi-Fi （無線モデル用）

Wi-Fi ボタンを長押しするとパソコンの無線 LAN インストーラーが起動します。画面の指示に従って本製品とネットワーク間の無線接続を設定します。

Wi-Fi ランプが点灯している場合は、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続されています。**Wi-Fi** ランプが点滅している場合は、無線接続が切れているか、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続中です。

2 in 1 (ID) コピー

身分証明書の両面を 1 ページにコピーするときに押します。

両面

1 枚の紙の両面をコピーするときに押します。

プリセットボタン

最大 10 件のファクス番号/電話番号を保存したり、呼び出したりできます。

登録したショートカットのファクス番号および電話番号にアクセスするには、**プリセット**ボタンを長押ししてダイヤルパッドを使用し、ファクス番号または電話番号に割り当てたショートカット番号を押します。

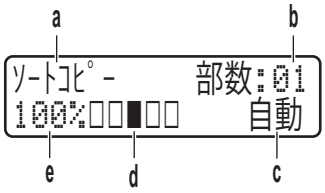
6. **電源オン/オフ**
   - を押して本製品の電源を入れます。
   - を長押しして本製品の電源を切ります。 画面に［電源をｵﾌにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。 外付け電話や留守番電話機を接続している場合、それらは常に有効です。
7. **停止/終了**
   - 処理中の動作を停止するときに押します。
   - メニューを終了するときに押します。
8. **スタート**
   - ファクス送信を開始するときに押します。
   - コピーを開始するときに押します。
   - 文書のスキャンを開始するときに押します。

DCP-L2600DW

1. **液晶ディスプレー（LCD）**

   本製品の設定や使用を助けるメッセージを表示します。

   本製品が待機モードまたはコピーモードの場合、画面の表示は以下のようになります。



   a. コピーの種類

   b. コピーの枚数

   c. 画質

   d. コントラスト

   e. コピーの倍率

2. **メニューボタン**

   メニュー

   メニューにアクセスし、本製品の設定を行うときに押します。

   クリア

   - 入力したデータを削除するときに押します。
   - 現在の設定をキャンセルするときに押します。

   OK

   本製品の設定を保存するときに押します。

   ▲ または ▼

   メニュー画面やオプション画面で上下にスクロールするときに押します。

3. **機能ボタン**

   コピー/スキャン オプション

   スキャンやコピーの一時設定にアクセスするときに押します。

   Wi-Fi （無線モデル用）

   Wi-Fi ボタンを長押しするとパソコンの無線 LAN インストーラーが起動します。画面の指示に従って本製品とネットワーク間の無線接続を設定します。

   Wi-Fi ランプが点灯している場合は、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続されています。**Wi-Fi** ランプが点滅している場合は、無線接続が切れているか、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続中です。

   スキャン

   本製品をスキャンモードに切り替えるときに押します。

   2 in 1 (ID) コピー

   身分証明書の両面を 1 ページにコピーするときに押します。

4. **停止/終了**
   - 処理中の動作を停止するときに押します。
   - メニューを終了するときに押します。
5. **スタート**
   - コピーを開始するときに押します。
   - 文書のスキャンを開始するときに押します。
6. **電源オン/オフ**
   - を押して本製品の電源を入れます。
   - を長押しして本製品の電源を切ります。画面に［電源をｵﾌにします］と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。

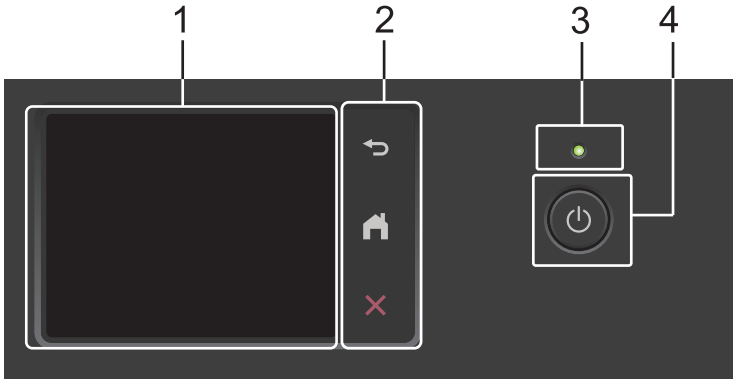
関連情報

- 本製品のご案内

操作パネルの概要

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

操作パネルはお使いのモデルによって異なることがあります。



1. **タッチパネル液晶ディスプレー（LCD）**
   画面に直接タッチして各設定を行います。
2. **タッチパネル**

   （戻る）

   前のメニューに戻るときに押します。

   （ホーム）

   押してホーム画面に戻ります。

   （キャンセル）

   処理中の動作を中止するときに押します。
3. **LED 電源ランプ**
   本製品の電源のオン・オフ状態を表示します。
4. **電源ボタン**

   - を押して本製品の電源を入れます。
   - を長押しして本製品の電源を切ります。タッチパネル液晶ディスプレーに［電源をオフにします］が表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。外付け電話や留守番電話機を接続している場合は、いつでも利用できます。

関連情報

- 本製品のご案内

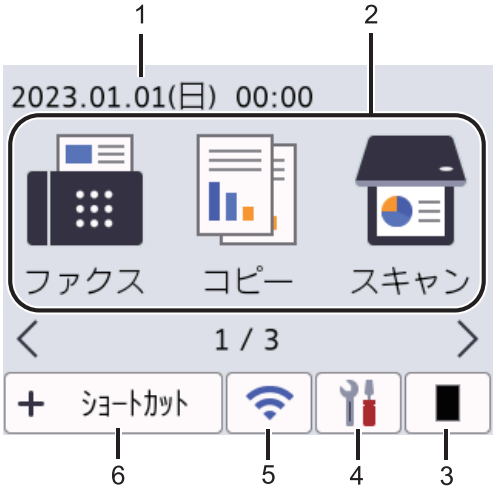
タッチパネル画面の概要

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ホーム画面が表示されたら、◀または▶を押すと、ホーム画面の他のページを表示できます。

本製品のアイドリング中、ホーム画面には本製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができている状態です。

お使いのモデルによって使用可能な機能は異なります。



1. **日付と時刻**
   本製品に設定された日付と時刻が表示されます。
2. **モード**
   - **[ファクス]**
     ファクスモードにアクセスするときに押します。
   - **[コピー]**
     コピーモードにアクセスするときに押します。
   - **[スキャン]**
     スキャンモードにアクセスするときに押します。
   - **[セキュリティ印刷]**
     セキュリティ印刷オプションにアクセスするときに押します。
   - **[クラウド]**
     押して本製品をウェブサービスに接続します。
   - **[お役立ちツール]**
     押して本製品をお役立ちツールに接続します。
   - **[2 in 1 ID コピー]**
     押して 2in1 ID カードコピーオプションにアクセスします。
3. **トナー**
   トナーの残量を表示します。トナーメニューにアクセスするために押します。

4. **[メニュー]**

   設定メニューにアクセスするために押します。

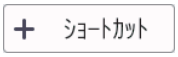
   ロック設定がオンになっている場合、ロックアイコンが画面に表示されます。設定を使用するには本製品のロック解除が必要です。

5. **（無線 LAN 状態 – 無線モデル）**

   無線 LAN を設定するときに押します。

   無線接続をご使用の場合、各ホーム画面に 4 段階の表示で現在の無線信号の強度が示されます。

無線 LAN 無効

6. 

[ショートカット]

   ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続など、よく使用する機能のショートカットを作成するときに押します。

3 つのショートカットタブに、それぞれショートカットを 6 つ登録することができます。合計 18 個のショートカットを登録できます。

保存されたファクス

メモリーに受信したファクスの数が画面の上部に表示されます。

を押し、［はい］を押してファクスを印刷します。

警告アイコン

エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに、警告アイコン が表示されます。詳細を見るには メッセージ領域を押し、 を押すと待機モードに戻ります。

お願い

本製品は ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.のフォントを採用しています。

関連情報

- 本製品のご案内

タッチパネル画面の操作方法

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

液晶ディスプレーに指を置いて操作します。すべてのオプションを表示してアクセスするには、液晶ディスプレーの ◀▶ または ▲▼ を押してスクロールします。

以下の手順では、本製品の設定を変更するときの液晶ディスプレーの操作方法について説明しています。この例では、液晶ディスプレーのバックライト設定を［明るく］から［標準］に変更します。

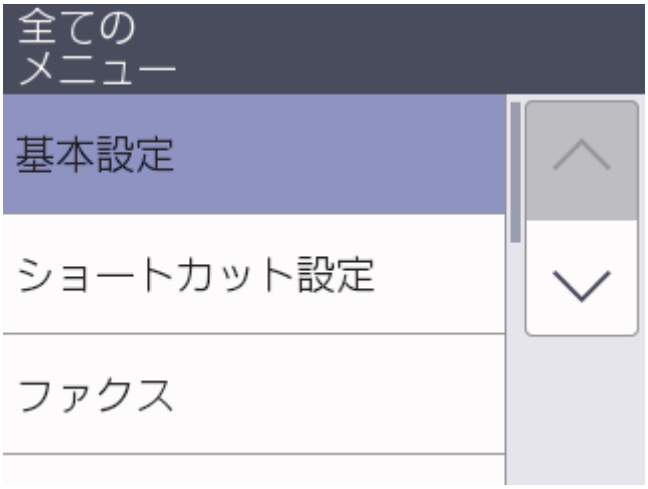
重要

ペンや針等のとがったもので画面を押さないでください。製品が損傷するおそれがあります。

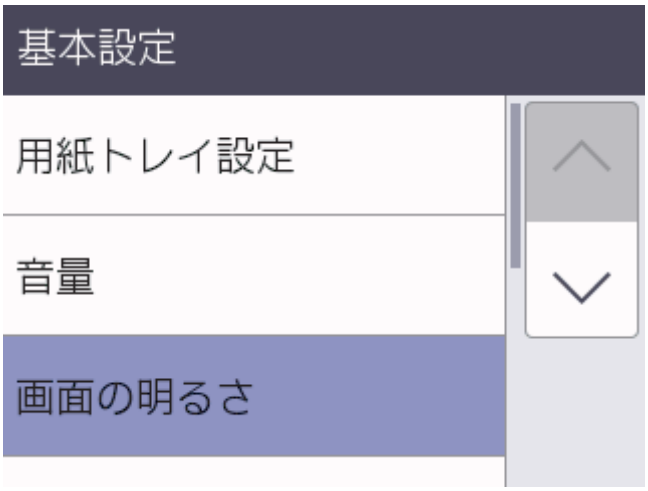
お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには画面に触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。

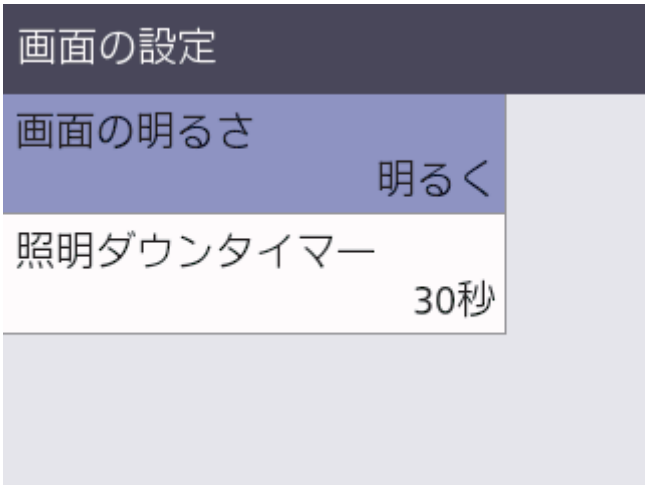
1. （［メニュー］）を押します。
2. ［全てのメニュー］を押します。
3. ▲または▼を押して、［基本設定］を表示し、［基本設定］を押します。



4. ▲または▼を押して、［画面の明るさ］を表示し、［画面の明るさ］を押します。



5. [画面の明るさ]を押します。



6. [標準]を押します。

7. を押します。

関連情報

- 本製品のご案内

メインホーム画面の設定

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

画面を変更して、特定のホーム画面またはショートカット画面を表示できます。

本製品が無操作で一定の時間が経過したり、 を押すと、画面は設定した画面に戻ります。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［基本設定］>［画面設定］>［待機画面］を押します。
2. ▲または▼を押して画面設定を表示し、変更したい設定を押します。
3. を押します。

   液晶ディスプレーに、選択した画面が表示されます。このメイン画面は、必要に応じて変更できます。

関連情報

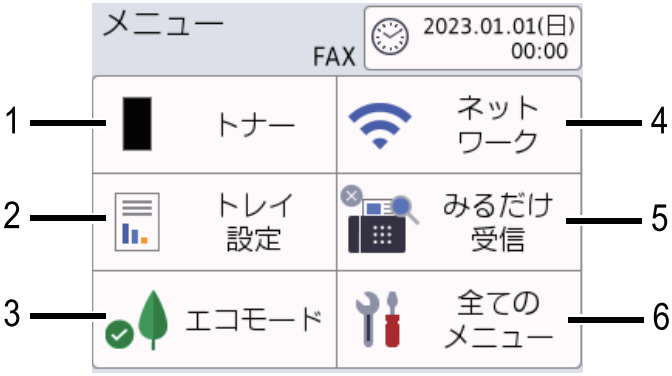
- 本製品のご案内

設定画面の概要

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

を押し、液晶ディスプレーに製品の現在のステータスを表示させます。

設定メニューから、本製品のすべての設定にアクセスできます。



1. **トナー**
   - トナーの残量を表示します。
   - 押すと[トナー]メニューにアクセスすることができます。
2. **トレイ設定**
   用紙サイズと用紙種類の設定を変更するときに押します。
3. **エコモード**
   押すと[エコモード]メニューにアクセスすることができます。
4. **ネットワーク**
   - ネットワーク接続を設定するときに押します。
   - 無線接続をご使用の場合、4 段階のレベル表示で無線信号の現在の強度を表します。
5. **みるだけ受信または Wi-Fi Direct**
   - みるだけ受信（MFC モデルの場合）
     押すと[みるだけ受信]メニューにアクセスすることができます。
   - Wi-Fi Direct（DCP モデルの場合）
     Wi-Fi Direct®ネットワーク接続を設定するときに押します。
6. **全てのメニュー**
   メニューにアクセスし、本製品の設定を行うときに押します。

関連情報

- 本製品のご案内

本製品にテキストを入力するには

>> DCP-L2600DW
>> FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW

テキストを入力する必要がある場合、本製品に文字を入力します。使用できる文字は、操作内容によって異なる場合があります。

- ▲または▼を長押しするか、繰り返し押し、このリストから文字を選択します。

  0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ(space)!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_‘{|}~
- 使用したい文字や記号が表示されたら、**OK** を押し、次の文字を入力します。
- **クリア** を押すと、間違えて入力した文字を削除することができます。

FAX-L2800DW

テキストを入力する必要がある場合、本製品に文字を入力します。使用できる文字は、操作内容によって異なる場合があります。

特殊文字は 0、#、*ボタンを使います。

（キリル文字の場合）特殊文字は#と*ボタンを使います。

- 希望の文字を表示するには、この表に記載されている回数、ダイヤルパッドボタンを押します。

ボタン押し回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回
1	@	.	/	1	@	.	/	1	@
2	a	b	c	A	B	C	2	a	b
3	d	e	f	D	E	F	3	d	e
4	g	h	i	G	H	I	4	g	h
5	j	k	l	J	K	L	5	j	k
6	m	n	o	M	N	O	6	m	n
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7
8	t	u	v	T	U	V	8	t	u
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9

（キリル文字の場合）

ボタン押し回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回	12 回	13 回
2	A	B	C	a	b	c	А	Б	В	Г	2	A	B
3	D	E	F	d	e	f	Д	Е	Ё	Ж	3	D	E
4	G	H	I	g	h	i	З	И	Й	К	4	G	H
5	J	K	L	j	k	l	Л	М	Н	О	5	J	K
6	M	N	O	m	n	o	П	Р	С	Т	6	M	N
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	У	Ф	X	Ц	7
8	T	U	V	t	u	v	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	8	T

ボタン押し回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回	12 回	13 回
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	Ь	Э	Ю	Я	9

- スペースを挿入する

  ファクス番号でスペースを挿入するには、番号と番号の間に▶を 1 回押します。名前でスペースを挿入するには、文字と文字の間に▶を 2 回押します。
- 訂正する

  間違えて文字を入力し、これを変更したい場合、◀または▶を押して、カーソルを間違えた文字のところまで移動し、**クリア**を押します。
- 繰り返し文字

  前の文字と同じ文字を同じボタンに入力するには、▶を押して、カーソルを適切な位置に移動してからもう一度ボタンを押します。
- 特殊記号と特殊文字

  *、#、または 0 を押してから、◀または▶を押し、使用する記号または文字のところまでカーソルを移動します。**OK** を押して選択します。ダイヤルパッドボタンで利用できる記号と文字は表の通りです。

*を押す	（スペース）! " # $ % & ' ( ) * + , - . / €
#を押す	: ; < = > ? @ [ ] ^ _ \ ~ ‘ | { }
0 を押す（キリル文字では使えません）	［ワヲン-（ハイフン）］0

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 本製品にテキストを入力する必要がある場合、液晶ディスプレーにキーボードが表示されます。
- 使用できる文字は、国によって異なる場合があります。
- キーボードのレイアウトは、操作によって異なる場合があります。

- あアA1@を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- ⇧aA を押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀または▶を押します。

スペースを挿入する

- スペースを入力するには、［スペース］を押します。

訂正する

- 間違えて文字を入力し、これを変更したい場合、◀または▶を押して、カーソルを間違えた文字のところまで移動し、 を押します。正しい文字を入力します。

- 文字を挿入するには、◀または▶を押し、カーソルを正しい場所まで移動してから文字を入力します。
- 1 文字削除する場合は を押します。すべての文字を削除する場合は を長押しします。

関連情報

- 本製品のご案内

関連トピック：

- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- 発信元を登録する
- 設定ロックパスワードを設定する
- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する
- Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

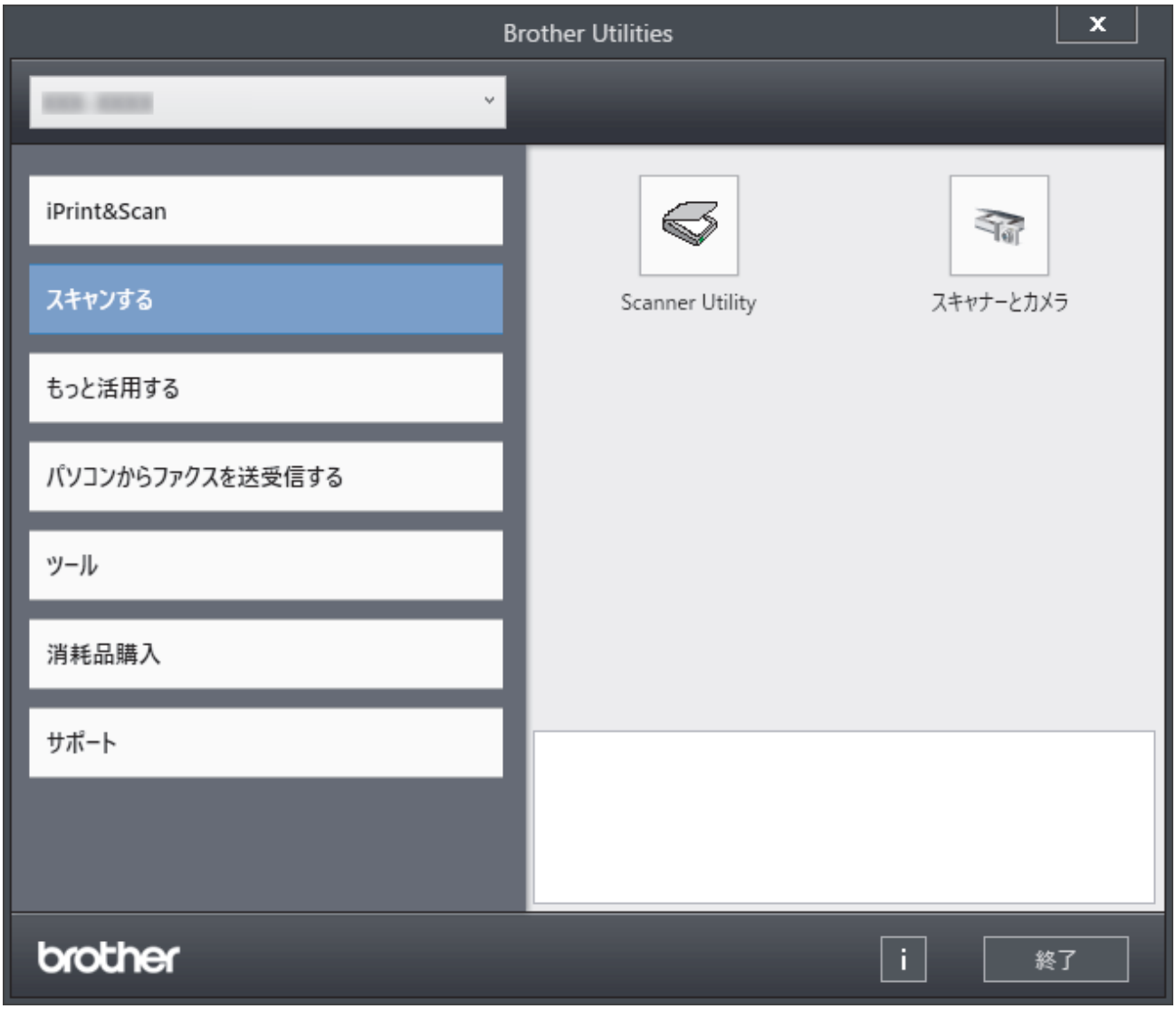
Brother ユーティリティへのアクセス（Windows）

Brother Utilities は、お使いのパソコンにインストールされたブラザーアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 次のいずれかを行ってください：
   - （Windows 11）

     > **すべてのアプリ** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - （Windows 10）

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. 本製品を選択します。



3. セットしたいオプションを選択します。

関連情報

- 本製品のご案内
  - ソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

ソフトウェアとドライバーをアンインストールする（Windows）

1. 次のいずれかを行ってください：
   - Windows 11

     > **すべてのアプリ** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。
2. 使用モデルが選択されていない場合、ドロップダウンリストから選択します。
3. 左側にあるナビゲーションバーの**ツール**をクリックします。
   - **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されている場合は、それを選択して、**今すぐ確認する** > **ソフトウェア更新確認** > **アップデート**をクリックします。画面の指示に従います。
   - **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されていない場合は、次のステップへ進みます。
4. **Brother Utilities** の**ツール**セクションの**アンインストール**をクリックします。
   ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやドライバーをアンインストールします。

関連情報

- Brother ユーティリティへのアクセス（Windows）

Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan を使用して、お使いのパソコンから印刷およびスキャンします。

最新のバージョンをダウンロードするには：

- Windows の場合：

  support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。

- Mac の場合：

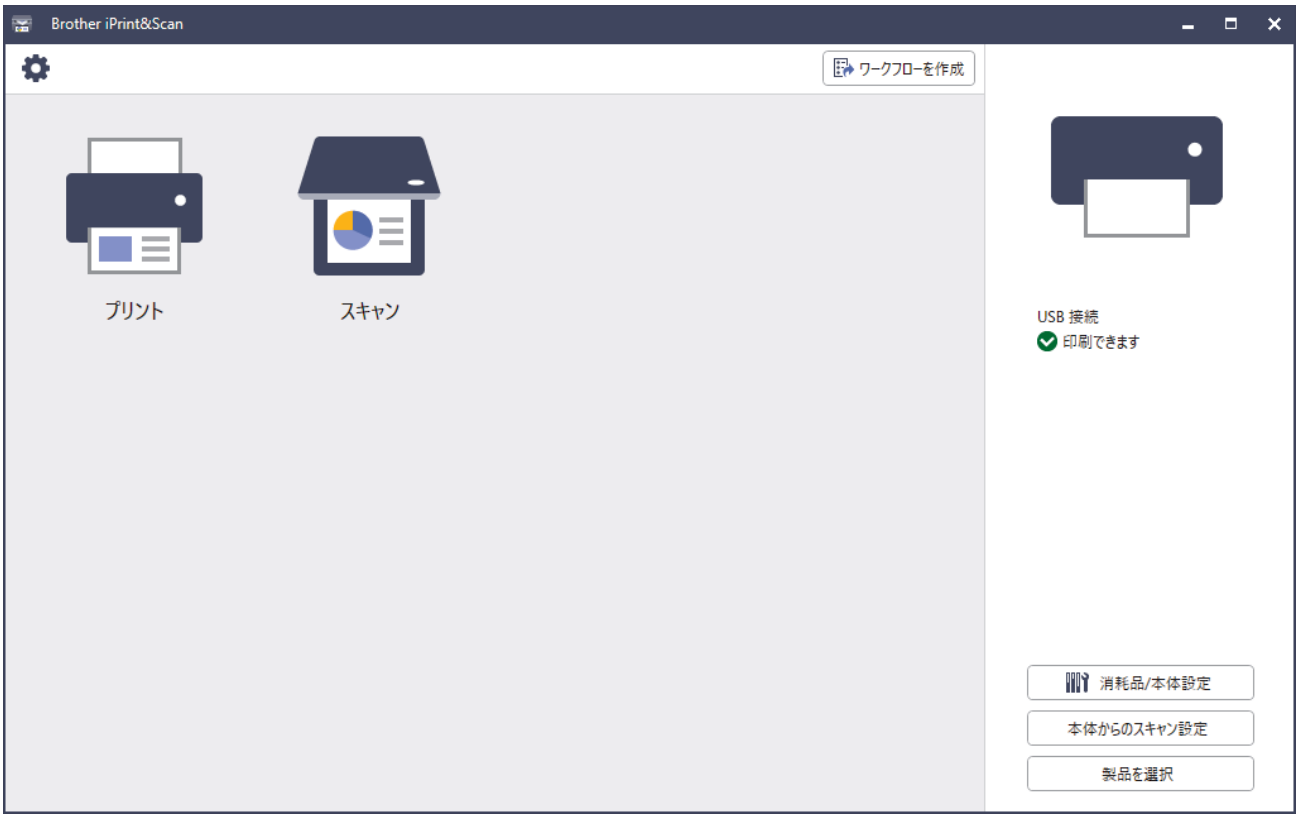
  Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

指示が表示された場合は、本製品を使用するために必要なドライバーとソフトウェアをインストールします。製品の最新のドライバーとソフトウェアを、support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからダウンロードします。

1. 次のいずれかを行ってください：
   - Windows 11

     > **すべてのアプリ** > **Brother** > **Brother iPrint&Scan** をクリックします。
   - Windows 10

     > **Brother** > **Brother iPrint&Scan** をクリックします。



アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。

関連情報

- 本製品のご案内

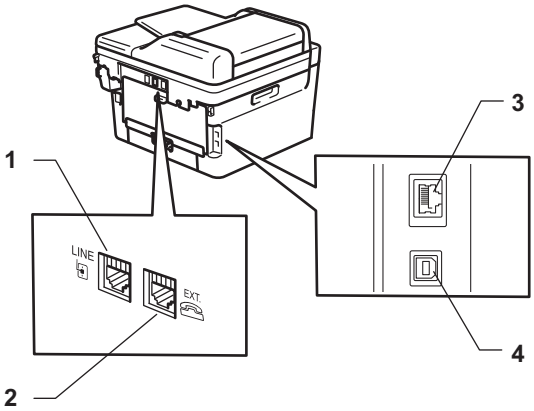
関連トピック：

- Brother Mobile Connect
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更

本製品の入出力ポートの場所

入出力ポートは本製品の前面と背面にあります。



1. LINE ジャック（MFC モデル）
2. EXT ジャック（MFC モデル）
3. 10BASE-T/100BASE-TX ポート（ネットワークモデル用）
4. USB ポート

USB ケーブルまたはネットワークケーブルを接続する場合は、ソフトウェア/ドライバーインストーラーに表示される指示に従ってください。

本製品の操作に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 本製品のご案内

紙の取り扱い

- 用紙のセット
- 用紙設定
- 原稿のセット
- 読み取りできない範囲および印刷できない範囲
- 特殊用紙を使用する

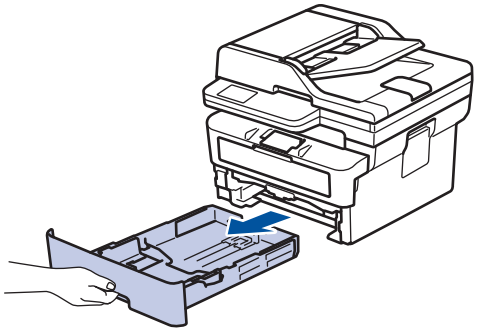
用紙のセット

- 用紙トレイに用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする
- 厚紙とラベルを手差しトレイにセットして印刷する
- 手差しトレイに封筒をセットして印刷する

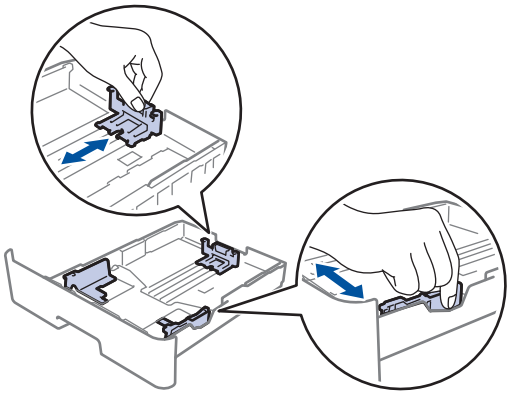
用紙トレイに用紙をセットする

- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出し、画面に用紙タイプと用紙サイズを変更するか尋ねるメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って、必要に応じてこれらの設定を変更します。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

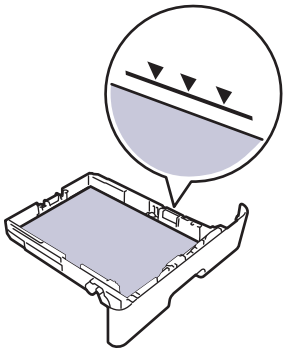
1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



2. 用紙ガイドを押してスライドさせ、用紙に合わせます。
   緑色のリリースレバーを押して用紙ガイドをスライドさせます。

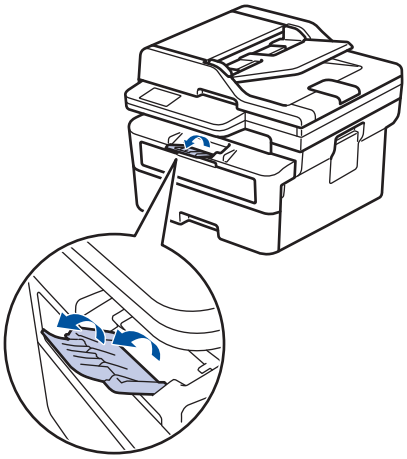


3. 用紙をよくさばきます。
4. 用紙の印刷面を 下にして、用紙トレイにセットします。
5. 用紙の束が最大用紙容量マーク（▼▼▼）よりも下になっていることを 確認します。
   用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となる場合があります。



6. 用紙トレイをゆっくりと押して、本製品に確実に取り付けます。

7. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が排紙トレイから滑り落ちないようにします。



関連情報

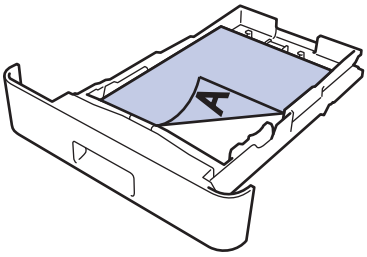
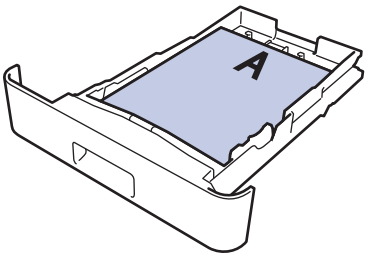
- 用紙のセット
  - 用紙トレイを使用して印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

用紙トレイを使用して印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

印刷済み用紙を両面印刷に使用するときは、本製品の設定を変更します。

- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置が事前に印刷されている用紙とずれている場合、用紙トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

向き

	片面印刷の場合 • 下向き • 上端を用紙トレイの手前方向へ
	自動両面印刷（長辺とじ）の場合 • 上向き • 下端を用紙トレイの手前方向へ

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して以下を選択します。
   a. [ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]を選択します。**OK** を押します。
   b. [両面印刷]を選択します。**OK** を押します。
   c. [片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式]を選択します。**OK** を押します。
   d. [両面搬送経路]を選択します。**OK** を押します。
3. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [プリンター] > [両面印刷] > [片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式] > [両面搬送経路]を押します。
2. を押します。

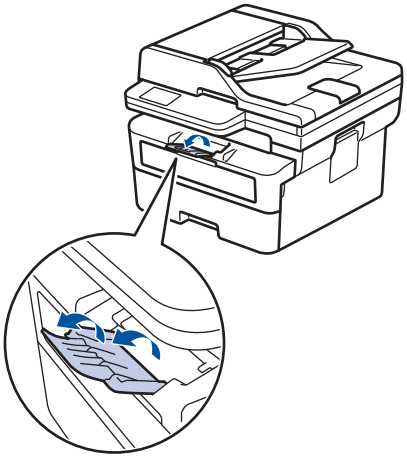
関連情報

- 用紙トレイに用紙をセットする

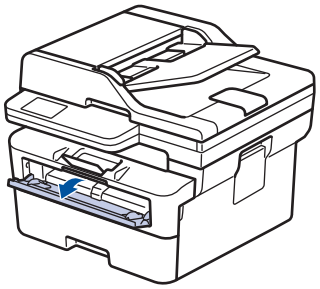
手差しトレイに用紙をセットする

異なる用紙サイズをトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズ設定を変更する必要があります。

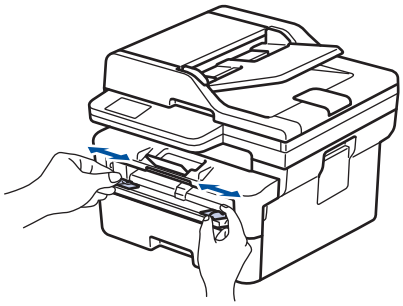
1. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないようにします。



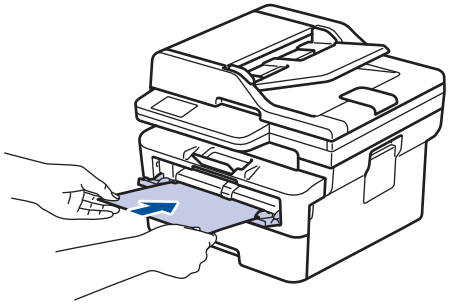
2. 手差しトレイのカバーを開けます。



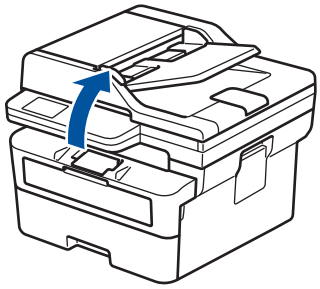
3. 使用する用紙サイズの幅に合わせて、手差しトレイの用紙ガイドを両手で調整します。



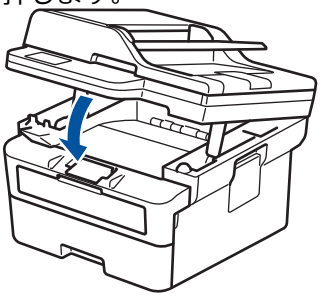
4. 両手で手差しトレイに用紙を 1 枚挿入し、用紙の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。本製品に用紙が引き込まれていると感じたら、手を放します。



- 印刷面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。
- 手差しトレイに用紙が真っ直ぐ正しい位置にセットされていることを確認します。正しくセットされていない場合、給紙が正しく行われず、印刷の歪みや紙詰まりが発生します。
- 排紙トレイから小さな印刷物を取り除くには、両手で本体カバーを持ち上げます。



- 本体カバーを持ち上げた状態でも本製品を使用できます。本体カバーを閉じるには、両手でゆっくりと押します。



5. 印刷ジョブを本製品に送信します。

印刷画面で印刷設定を変更します。

6. 印刷済み用紙が排出されたら、手差しトレイに次の用紙をセットします。印刷したい用紙ごとに同じ作業を繰り返します。

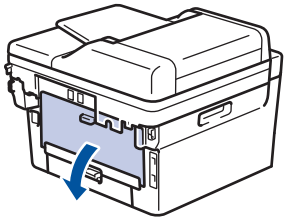
関連情報

- 用紙のセット

厚紙とラベルを手差しトレイにセットして印刷する

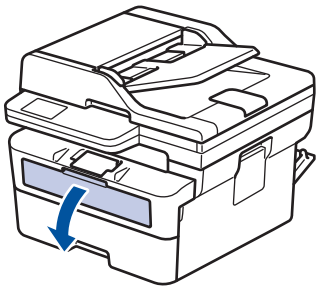
異なる用紙サイズをトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズ設定を変更する必要があります。

1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。

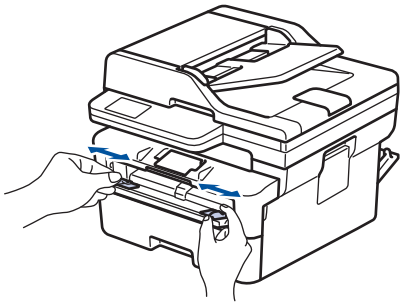


手差しトレイに用紙をセットすると、本製品は自動で手動モードに切り替わります。

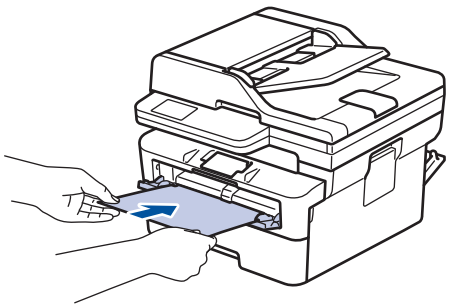
2. 本製品の前面にある手差しトレイのカバーを開きます。



3. 使用する用紙の幅に合わせて、手差しトレイの用紙ガイドを両手で調整します。



4. 両手で手差しトレイに用紙を 1 枚挿入し、用紙の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。本製品に用紙が引き込まれていると感じたら、手を放します。



- 印刷面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。
- 手差しトレイに再度用紙をセットする場合は、まず用紙を完全に取り外します。
- 手差しトレイには、一度に 2 枚以上の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。
- 手差しトレイに用紙が真っ直ぐ正しい位置にセットされていることを確認します。正しくセットされていない場合、給紙が正しく行われず、印刷の歪みや紙詰まりが発生します。

5. 印刷ジョブを本製品に送信します。

印刷画面で印刷設定を変更します。

6. 印刷されたページが本製品の背面から排紙されたら、次の用紙を手差しトレイにセットします。印刷したい用紙ごとに同じ作業を繰り返します。
7. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

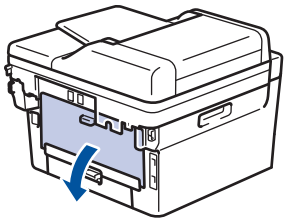
関連情報

- 用紙のセット

手差しトレイに封筒をセットして印刷する

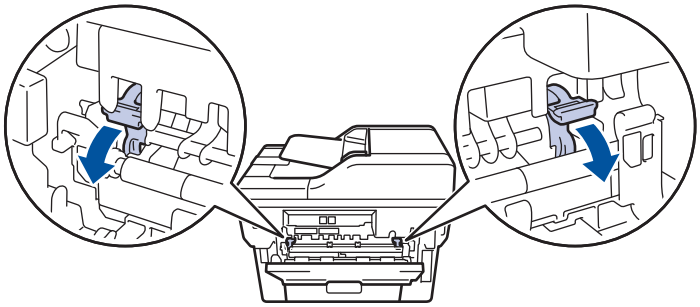
封筒の角や側面を押して平らにしてからトレイにセットします。
異なる用紙サイズをトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズ設定を変更する必要があります。

1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。

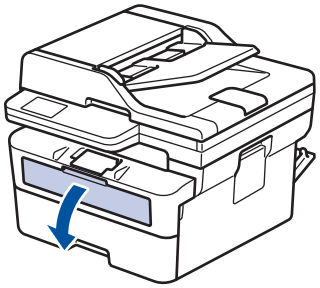


手差しトレイに用紙をセットすると、本製品は自動で手動モードに切り替わります。

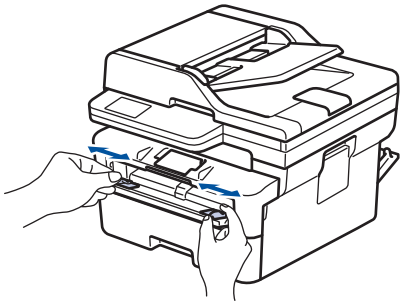
2. イラストのように、左側と右側に 1 つずつある計 2 つの緑色のレバーを下に引きます。



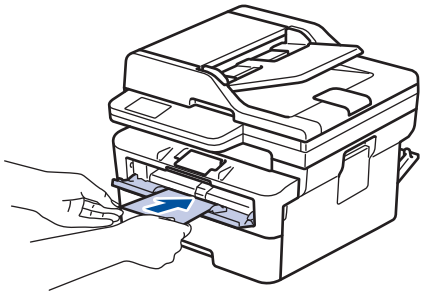
3. 本製品の前面にある手差しトレイのカバーを開きます。



4. 使用する用紙の幅に合わせて、手差しトレイの用紙ガイドを両手で調整します。



5. 両手で手差しトレイに封筒を挿入し、封筒の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。本製品に用紙が引き込まれていると感じたら、手を放します。



- 印刷面を上にして、手差しトレイに封筒をセットします。
- 手差しトレイに再度封筒をセットする場合は、まず封筒を完全に取り外します。
- 手差しトレイには、一度に 2 枚以上の封筒をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。
- 手差しトレイに封筒が真っ直ぐ正しい位置にセットされていることを確認します。封筒が正しくセットされていない場合、給紙が正しく行われず、印刷物の歪みや紙詰まりが発生します。

6. 印刷ジョブを本製品に送信します。

印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	封筒に使用するオプション
用紙サイズ	**洋形 4 号封筒** **長形 3 号封筒** **長形 4 号封筒**
用紙種類	**封筒** **封筒 (厚め)** **封筒 (薄め)**

7. 印刷済みの封筒が本製品から出てきた後に、次の封筒をセットします。印刷したい封筒 1 枚ずつに、この手順を繰り返します。
8. 印刷を終了したら、以前の手順で調整した緑色のレバー 2 つを元の位置に戻します。
9. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

関連情報

- 用紙のセット
- 印刷

用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- トレイ確認の設定を変更する

用紙サイズと用紙タイプを変更する

トレイにセットする用紙のサイズと用紙タイプを変更した場合、画面でも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾄﾚｲ設定]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[用紙ﾀｲﾌﾟ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[普通紙]、[普通紙(厚め)]、[厚紙]、[再生紙]または[ﾊｶﾞｷ]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[用紙ｻｲｽﾞ]を表示し、**OK** を押します。
7. ▲または▼を押して使用するオプションを表示させ、**OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [用紙タイプ]を押します。
2. ▲または▼を押して用紙タイプオプションを表示し、設定したいオプションを押します。

用紙タイプはお使いのモデルによって異なることがあります。

3. [用紙サイズ]を押します。
4. ▲または▼を押して用紙サイズオプションを表示し、設定したいオプションを押します。
5. を押します。

関連情報

- 用紙設定

トレイ確認の設定を変更する

用紙確認設定がオンに設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出すと、画面に用紙サイズと用紙タイプの設定を変更するか尋ねるメッセージが表示されます。

お買い上げ時の設定はオンです。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［基本設定］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾄﾚｲ設定］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［ﾄﾚｲ確認］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［ｵﾝ］または［ｵﾌ］を選択してから、 **OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［基本設定］>［用紙トレイ設定］>［トレイ確認］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 用紙設定

原稿のセット

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

複数ページの一般的なサイズの原稿をコピーまたはスキャンするときは、ADF（自動原稿送り装置）を使用します。

- ADF（自動原稿送り装置）では、次の枚数をセットして 1 枚ずつ送ることができます。

  最大 50 枚
- 坪量 80 g/m^2 の標準用紙を使用します。
- 原稿の修正液またはインクが完全に乾いたことを確認してください。

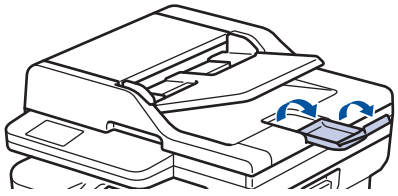
重要

- 原稿台ガラスの上に厚手の原稿を放置したままにしないでください。ADF(自動原稿送り装置)に紙が詰まる場合があります。
- カールした紙、しわのある紙、折ってある紙、破れた紙、ホチキスで閉じてある紙、クリップの付いた紙、のりが付いた紙、またはテープが付いた紙は使わないでください。
- ボール紙、新聞紙、または布は使わないでください。
- ADF(自動原稿送り装置)使用時、本製品の損傷を防ぐため、原稿の給紙中に原稿を引き出さないでください。

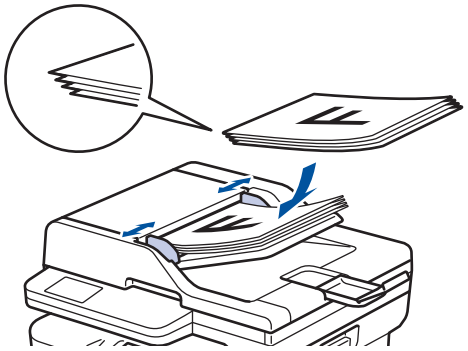
サポートされている原稿サイズ

長さ:	147.3 ～ 355.6 mm
幅：	105 ～ 215.9 mm
重さ：	60 ～ 105 g/m²

1. ADF(自動原稿送り装置)原稿排紙トレイのフラップを開きます。



2. 用紙をよくさばきます。
3. イラストのように原稿のページをずらし、原稿を上向きにして上端を先に ADF（自動原稿送り装置）にセットします。



4. 原稿の幅に合わせて原稿ガイドを調整します。

関連情報

- 原稿のセット

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスを使用して、1 ページずつファクス、コピー、またはスキャンします。

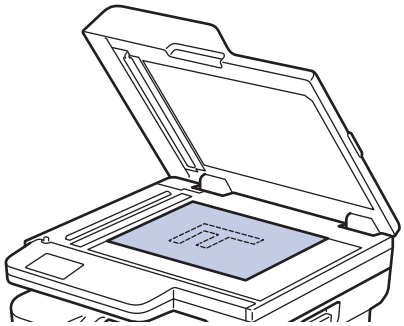
サポートされている原稿サイズ

長さ:	最大 300 mm
幅：	最大 215.9 mm
重さ：	最大 2kg

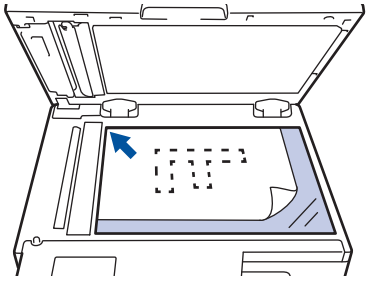
お願い

（ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合）原稿台ガラスを使用する場合は、ADF（自動原稿送り装置）に何もセットしないでください。

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



3. 原稿台ガラスの左上隅にページの隅を合わせて置きます。



4. 原稿台カバーを閉じます。

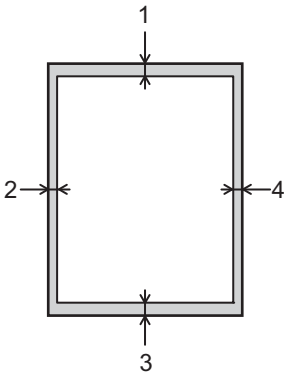
   原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーを軽く押し付けます。

関連情報

- 原稿のセット

読み取りできない範囲および印刷できない範囲

以下の表の数値は、一般的に使用される用紙サイズでの、端からの読み取り不可および印刷不可の最大値を示しています。この数値は、お使いのアプリケーションの用紙サイズや設定によって変わる場合があります。



これらの領域でスキャン、コピー、または印刷しようとしないでください。これらの領域は、出力に反映されません。

用途	原稿サイズ	上部（1） 下部（3）	左（2） 右（4）
ファクス（送信）	レター、リーガル	2.9 mm	3.9 mm
	A4	2.9 mm	（ADF（自動原稿送り装置）） 1.0 mm （原稿台ガラス） 3.0 mm
コピー [1]	レター、リーガル	4.0 mm	4.0 mm
	A4	4.0 mm	3.0 mm
	はがき	4.0 mm	3.0 mm
スキャン	レター	3.0 mm	3.0 mm
	A4	3.0 mm	3.0 mm
	リーガル	3.0 mm	3.0 mm
印刷	レター、リーガル	4.2 mm	4.2 mm
	A4	4.2 mm	4.2 mm
	はがき	4.2 mm	4.2 mm

[1] 1 in 1 コピーおよび 100%原稿サイズコピー

関連情報

- 紙の取り扱い

特殊用紙を使用する

用紙を購入する前に、サンプル用紙を使用して正しく印刷できるかを確認してください。

- 紙詰まりや製品損傷の原因となりますので、インクジェット紙は使用しないでください。
- 粗面紙、しわのある/しわ加工紙を使用すると、印字品質が低下することがあります。

印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。

重要

一部の用紙は印字品質を低下させ、製品損傷の原因となる場合があります。

次に該当する用紙は使用しないでください:

- 表面が極めてざらついている
- 表面が極めてつるつるしている、または光沢がある
- 丸まっている、または反っている
- コーティング加工または化学薬品で仕上げされている
- 破損、しわ、または折り曲げがある
- 本ガイドで指定する推奨重量を超えている
- タブやホチキスが留められている
- マルチパートまたはノーカーボン紙
- インクジェット専用紙

上記いずれかに該当する用紙をご使用になった場合、製品損傷の原因となる場合があります。これが起因の損傷は、保証またはサービス契約の対象外となります。

関連情報

- 紙の取り扱い

印刷

- パソコンから印刷する（Windows）
- パソコンから印刷する（Mac）
- 手差しトレイに封筒をセットして印刷する
- E メールの添付ファイルを印刷する
- 操作パネルを使用し印刷の設定を変更する
- 印刷ジョブをキャンセルする
- テスト印刷

パソコンから印刷する（Windows）

- 文書を印刷する（Windows）
- 用紙の両面に印刷する（Windows）
- セキュリティ印刷（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 印刷設定（Windows）
- BR-Script3 プリンタードライバー（PostScript® 3™言語エミュレーション）を使用して文書を印刷する（Windows）
- お使いのパソコンから本製品の状態を監視する （Windows）

文書を印刷する（Windows）

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。

- お使いのモデルによっては両面印刷が初期設定であることがあります。片面印刷時の場合は、プリンタードライバーの両面印刷設定をオフにします。
- すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

  詳しい説明は「関連情報」をご覧ください：初期値の印刷設定を変更する（*Windows*）

1. 用紙トレイに用紙をセットします。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

4. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
5. **用紙サイズ**のリストから用紙サイズを選択します。
6. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

7. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
8. **用紙種類** のドロップダウンリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
9. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト** のドロップダウンリストからお好みの設定を選択します。
10. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックし、使用するオプションを選択します。

11. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。

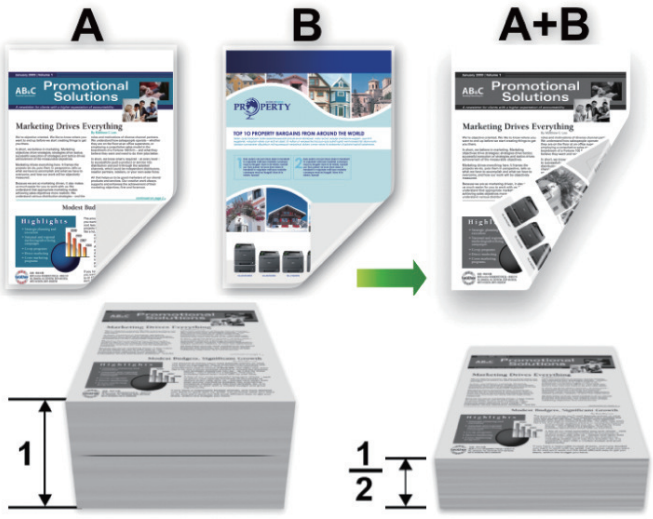
関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷の問題
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 用紙設定
- 印刷設定（Windows）

用紙の両面に印刷する（Windows）



自動両面印刷機能を使用するときは、A4 サイズの用紙を選択します。

- バックカバーが閉まっていることを確認します。
- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 用紙が薄過ぎると、しわになることがあります。
- 手動の両面印刷機能を使用する場合、紙詰まりが発生したり、印刷品質が悪くなることがあります。

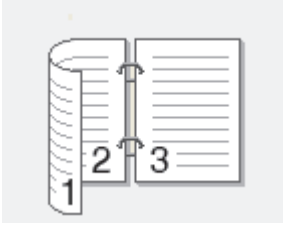
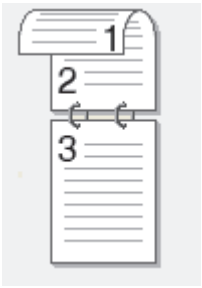
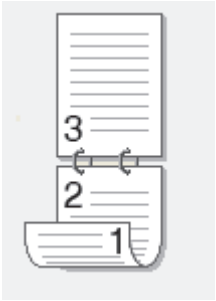
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

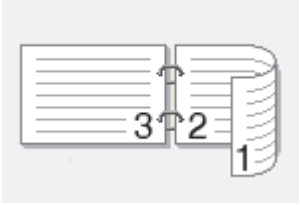
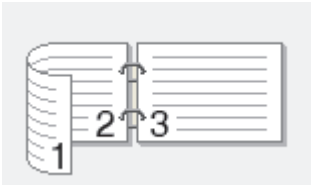
4. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックし、**両面印刷**または**両面印刷 (手動)**を選択します。

オプション	詳細
両面印刷（特定のモデルのみ対応）	自動的に用紙の両面に印刷します。
両面印刷 (手動)	本製品では、最初にすべての用紙の片面に偶数ページの内容を印字します。それから、プリンタードライバーにより用紙を再度セットするよう求められます（ポップアップメッセージの表示）。

5. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
6. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。
   両面が選択された場合、それぞれの向きで、4 種類の両面印刷の綴じ方から選択できます。

縦向き	詳細
長辺とじ (左)	
長辺とじ (右)	
短辺とじ (上)	
短辺とじ (下)	

横向き	詳細
長辺とじ (上)	
長辺とじ (下)	

横向き	詳細
短辺とじ (右)	
短辺とじ (左)	

7. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
8. **OK** をクリックします。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. 次のいずれかを行ってください：
    - 自動両面印刷の場合、もう一度 **OK** をクリックし、印刷操作を完了させます。
    - 手動両面印刷の場合は、**OK** を再度クリックして画面の指示に従います。

用紙が正しくセットされていないと、用紙がカールすることがあります。用紙を取り出し、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

セキュリティ印刷（Windows）

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

セキュリティ印刷を使用して、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷**欄の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード**欄で 4 桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて、**ユーザー名**および**印刷ジョブ名**欄にユーザー名とジョブ名を入力します。
8. **OK** をクリックし、**セキュリティ印刷設定**画面を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、◀または▶を押して［セキュリティ印刷］を表示し、［セキュリティ印刷］を押します。
12. ▲または▼を押して、ユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
13. 4 桁のパスワードを入力し、［OK］を押します。
    画面には、この名前に対する保護されたジョブが一覧表示されます。
14. ▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
15. 印刷枚数を入力し、［OK］を押します。
16. ［スタート］を押します。
    データが印刷されます。

セキュリティで保護されたデータは印刷後、本製品のメモリーから消去されます。

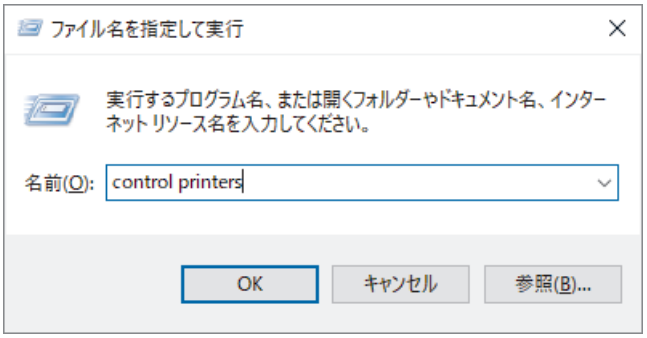
関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

初期値の印刷設定を変更する（Windows）

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

1. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら Rキーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ**を選択します。（プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。）
   プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
4. **全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。
   プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。

- トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします（特定モデルのみ対応）。
- プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。

5. すべての Windows プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷の問題
- 文書を印刷する（Windows）
- 印刷設定（Windows）

印刷設定（Windows）

- アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。

  詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： 文書を印刷する（*Windows*）
- お買い上げ時の印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

  詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： 初期値の印刷設定を変更する（*Windows*）

>> **基本設定**タブ
>> **拡張機能**タブ

基本設定タブ

1. **用紙サイズ**

   使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するか選択します。
2. **印刷の向き**

   印刷の向き（縦または横）を選択します。

   お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。
3. **部数**

   印刷する部数（1～999）を入力します。

部単位

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

4. **用紙種類**

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

5. **解像度**

印刷の解像度を選択します。印刷品質と印刷速度は関連しているため、解像度が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

6. **印刷設定**

印刷する文書の種類を選択します。

手動設定...

明るさ、コントラスト、その他の設定などを追加で設定します。

グラフィックス

プリンターのハーフトーンを使う

プリンタードライバーを使用してハーフトーンを表現する場合は、このオプションを選択します。

明るさ

明るさを調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

ディザリング

印刷する文書の種類に合わせてグラフィックスまたはテキストを選択し、最良の品質で印刷します。

階調印刷を改善する

影付きの部分の画像品質を高める場合は、このオプションを選択します。

パターン印刷を改善する

コンピューター画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合にパターン印刷を改善するには、このオプションを選択します。

細線の印刷を改善する

細線の画像品質を高める場合は、このオプションを選択します。

システムのハーフトーンを使う

このオプションを選択し、Windows を使用してハーフトーンを表現します。

TrueType 設定 （特定のモデルのみ対応）

モード

印刷に使用するフォントの処理方法を選択します。

プリンターのアウトライン フォントを使う

フォント処理時に内蔵フォントを使用するかどうかを選択します。

7. **レイアウト**

複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

ページの順序

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

仕切り線

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

8. **両面印刷/小冊子印刷**

両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

両面印刷設定

綴じ方を選択するときにこのボタンを押します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

9. **給紙方法**

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

1 ページ目

1 ページ目を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

2 ページ目以降

2 ページ目以降を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

拡張機能タブ

1. **拡大縮小**

印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

印刷用紙サイズに合わせます

印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

任意倍率 [25 - 400 %]

文書のページを手動で拡大または縮小する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、入力欄に値を入力します。

2. **上下反転**

   上下を 180 度回転して印刷できます。

3. **透かし印刷を使う**

   ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

4. **現在の日付・時間・ID を印刷する**

   日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

5. **トナー節約モード**

   この機能を選択すると、少ない量のトナーで印刷できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

6. **セキュリティ印刷 （特定のモデルのみ対応）**

   この機能は、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

7. **設定保護管理機能**

   この機能を使用すると、管理者パスワードを変更したり、さまざまな印刷機能を制限できます。

8. **ユーザー認証 （特定のモデルのみ対応）**

   この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

9. **その他特殊機能**

   スリープまでの時間

   印刷後すぐにスリープモードに移行するよう設定する場合は、このオプションを選択します。

   マクロ設定 （特定のモデルのみ対応）

   この機能を選択すると、本製品のメモリーに印刷ジョブのオーバーレイとして保存した電子フォーム（マクロ）が印刷されます。

   濃度調整

   印刷濃度を指定します。

   印刷結果の改善

   紙の反りを抑えたり、トナーの定着を改善したりする場合に、このオプションを選択します。

   白紙ページの節約

   プリンタードライバーが自動的に空白ページを検出し、印刷しないようにする場合は、このオプションを選択します。

   黒文字印刷

   カラーの文字を黒色で印刷する場合は、このオプションを選択します。

   プリント アーカイブ

   印刷データを PDF 形式でパソコンに保存するときに選択します。

   エコ設定

   この項目を選択すると印刷時の音が軽減されます。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 文書を印刷する（Windows）

BR-Script3 プリンタードライバー（PostScript® 3™言語エミュレーション）を使用して文書を印刷する（Windows）

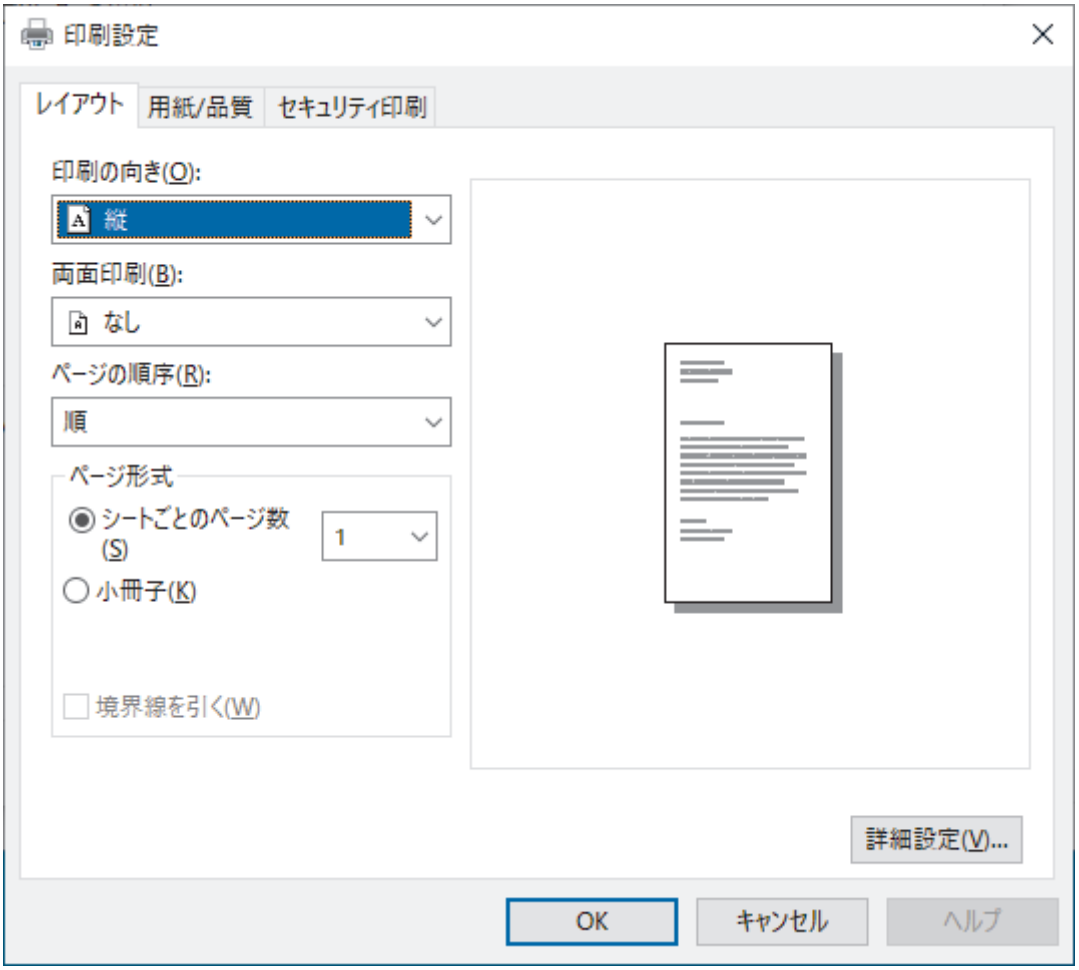
関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

BR-Script3 プリンタードライバーを使用すると、PostScript®データをより鮮明に印刷できます。

support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに移動し、PS ドライバー（BR-Script3 プリンタードライバー）をインストールします。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **BR-Script3** を含むお使いのモデルを選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. **レイアウト**、**用紙/品質**、または **セキュリティ印刷** タブをクリックして、基本的な印刷設定を変更します。（特定のモデルのみ対応）

   レイアウトまたは**用紙/品質**タブをクリックし、**詳細設定**ボタンをクリックして、詳細な印刷設定を変更します。**OK** をクリックします。
4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

お使いのパソコンから本製品の状態を監視する （Windows）

ステータスモニターは、1 台または複数台の製品の状態をモニターするための設定可能なツールで、エラー発生時には即座にお知らせします。

次のいずれかを行ってください：

- タスクトレイの アイコンをダブルクリックします。
- （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ステータスモニター**をクリックします。

ウェブ Q & A

ウェブ Q & A ボタンをクリックして、サポートのウェブサイトにアクセスします。

ブラザー純正消耗品サイトのご案内

ブラザー純正の消耗品については、**ブラザー純正消耗品サイトのご案内**ボタンをクリックして参照してください。

関連情報

- パソコンから印刷する（Windows）

関連トピック：

- 印刷の問題

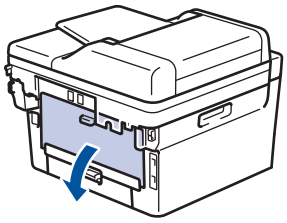
パソコンから印刷する（Mac）

- AirPrint を使用する前に（macOS）
- AirPrint を使用して印刷する

手差しトレイに封筒をセットして印刷する

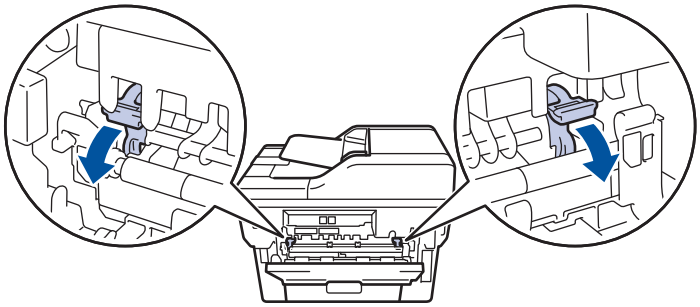
封筒の角や側面を押して平らにしてからトレイにセットします。
異なる用紙サイズをトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズ設定を変更する必要があります。

1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。

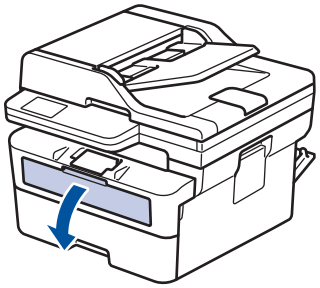


手差しトレイに用紙をセットすると、本製品は自動で手動モードに切り替わります。

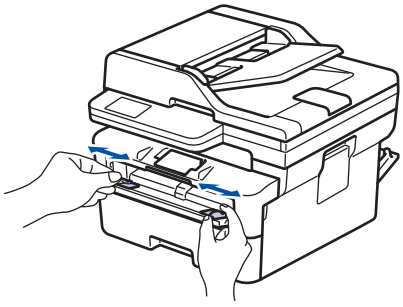
2. イラストのように、左側と右側に 1 つずつある計 2 つの緑色のレバーを下に引きます。



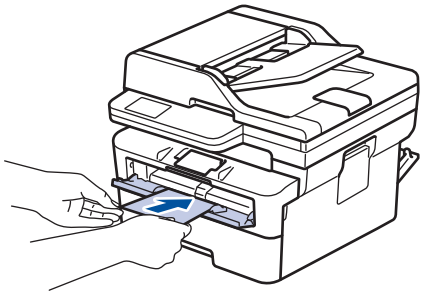
3. 本製品の前面にある手差しトレイのカバーを開きます。



4. 使用する用紙の幅に合わせて、手差しトレイの用紙ガイドを両手で調整します。



5. 両手で手差しトレイに封筒を挿入し、封筒の先端が給紙ローラーに当たるまで差し込みます。本製品に用紙が引き込まれていると感じたら、手を放します。



- 印刷面を上にして、手差しトレイに封筒をセットします。
- 手差しトレイに再度封筒をセットする場合は、まず封筒を完全に取り外します。
- 手差しトレイには、一度に 2 枚以上の封筒をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。
- 手差しトレイに封筒が真っ直ぐ正しい位置にセットされていることを確認します。封筒が正しくセットされていない場合、給紙が正しく行われず、印刷物の歪みや紙詰まりが発生します。

6. 印刷ジョブを本製品に送信します。

印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	封筒に使用するオプション
用紙サイズ	**洋形 4 号封筒** **長形 3 号封筒** **長形 4 号封筒**
用紙種類	**封筒** **封筒 (厚め)** **封筒 (薄め)**

7. 印刷済みの封筒が本製品から出てきた後に、次の封筒をセットします。印刷したい封筒 1 枚ずつに、この手順を繰り返します。
8. 印刷を終了したら、以前の手順で調整した緑色のレバー 2 つを元の位置に戻します。
9. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

関連情報

- 用紙のセット
- 印刷

E メールの添付ファイルを印刷する

E メールで本製品にファイルを送信して印刷できます。

- Web Based Management がオンに設定されていることを確認してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- 最大 10 個、計 20MB の文書をメールに添付できます。
- この機能は、次の形式に対応しています。
  - 文書ファイル：PDF、TXT、Microsoft Office ファイル
  - 画像ファイル：JPEG、BMP、GIF、PNG、TIFF
- 本製品は E メールの文章と添付ファイルの両方を印刷します。E メールの添付ファイルのみ印刷するには、必要に応じて設定を変更します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**オンライン機能** > **オンライン機能設定**をクリックします。

- 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
- この機能がロックされている場合は、ネットワーク管理者に連絡してアクセスできるように依頼してください。

5. **同意してオンライン機能を有効にする**ボタンをクリックします。
6. お使いの製品の画面で、指示に従って設定を有効にします。
7. パソコンで、**基本設定**をクリックします。

   E メールプリント：**基本設定**画面が表示されます。
8. **オンにする**ボタンをクリックします。

   説明シートが印刷されます。
9. シートに記載されているメールアドレスに E メールを送信します。メールの添付ファイルが印刷されます。

- E メールアドレスや印刷設定などの設定を変更するには、**オンライン機能の設定**ボタンをクリックします。
- （DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW）

  本製品から設定することもできます。［お役立ちツール］>［オンライン機能］を押して、画面の指示に従います。

関連情報

- 印刷

関連トピック：

- 操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする

操作パネルを使用し印刷の設定を変更する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

印刷する文書の種類を選択します。

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［プリンター］>［印刷設定］を押します。
2. ［テキスト］または［グラフィックス］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 印刷

印刷ジョブをキャンセルする

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

停止/終了を押します。

複数の印刷ジョブをキャンセルするには、**停止/終了**を４秒間押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

を押します。

複数の印刷ジョブをキャンセルするには、 を約４秒間押します。

関連情報

- 印刷

関連トピック：

- 印刷の問題

テスト印刷

印刷品質に問題がある場合は、以下の指示に従ってテスト印刷を行います。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]オプションを表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. **スタート**を押します。
   本製品でテスト印刷ページが印刷されます。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [プリンター] > [プリンター オプション] > [テストプリント]を押します。
2. [はい]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 印刷

関連トピック：

- 印刷品質の改善

スキャン

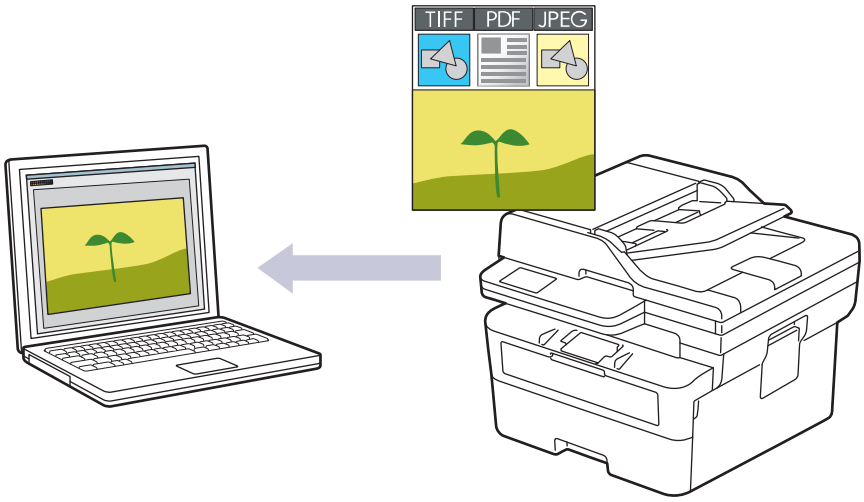
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- お使いのパソコンからスキャンする （Windows）
- お使いのパソコンからスキャンする （Mac）
- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

- 写真やグラフィックをスキャンする
- 単一または複数のページを単一の PDF ファイルでフォルダーへスキャン
- 編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR）
- スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する
- スキャンしたデータを E メール受信者に送信する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）
- Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11）
- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更
- 署名入り PDF 用の証明書を設定する
- お使いのコンピューターからスキャンを無効にする

写真やグラフィックをスキャンする

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。



- **本製品からスキャンするには：**
  - Brother iPrint&Scan を使用して、製品を選択する必要があります。
  - Brother iPrint&Scan を使用し、ファイルの種類やファイルの保存場所などのスキャン設定を変更します。

  詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* からスキャンボタン設定の変更
- **お使いのパソコンからスキャンするには：**

  「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* を使用してスキャンする（*Windows/Mac*）

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to PC]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ｲﾒｰｼﾞ]を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、▲または▼を押して接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。

PIN の入力を求められたら、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力し、**OK** を押します。

7. スキャンの設定値を変更するには、**オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押し、▲または▼を押して使用するオプションを選択し、次に **OK** を押して引き続き次のスキャン設定に進みます。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [ｶﾗｰ設定]
   - [解像度]
   - [ﾌｧｲﾙ形式]
   - [原稿ｻｲｽﾞ]
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

8. **スタート**を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [イメージ]を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を押します。

コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。

4. スキャン設定を変更するには、[設定変更]を押して変更するスキャン設定を選択します。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [両面スキャン]（特定モデルで利用可能）
   - [スキャン設定]
   - [カラー設定]
   - [解像度]
   - [ファイル形式]
   - [原稿サイズ]
   - [明るさ]
   - [コントラスト]（特定設定のみ対応）
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルで利用可能）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
- 本製品に[OK]ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]を押します。

5. [スタート]を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

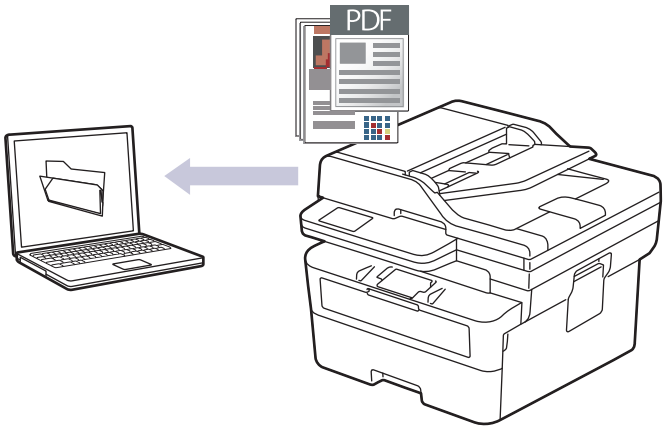
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

単一または複数のページを単一の PDF ファイルでフォルダーへスキャン

複数のページを単一の PDF 原稿にまとめます。



- **本製品からスキャンするには：**
  - Brother iPrint&Scan を使用して、製品を選択する必要があります。
  - Brother iPrint&Scan を使用し、ファイルの種類やファイルの保存場所などのスキャン設定を変更します。

  詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* からスキャンボタン設定の変更
- **お使いのパソコンからスキャンするには：**

  「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* を使用してスキャンする（*Windows/Mac*）

複数のページをスキャンして PDF ファイルにする場合、本製品でファイル形式を [PDF マルチページ] に設定します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to PC] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌｧｲﾙ] を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、▲または▼を押して接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。

PIN の入力を求められたら、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力し、**OK** を押します。

7. スキャンの設定値を変更するには、**オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押し、▲または▼を押して使用するオプションを選択し、次に **OK** を押して引き続き次のスキャン設定に進みます。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [ｶﾗｰ設定]
   - [解像度]
   - [ﾌｧｲﾙ形式]
   - [原稿ｻｲｽﾞ]
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）

- ［地色除去］（特定設定のみ対応）

スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

8. **スタート**を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］>［PC］>［ファイル］を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を押します。

コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4 桁の PIN を入力して、［OK］を押します。

4. スキャン設定を変更するには、［設定変更］を押して変更するスキャン設定を選択します。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - ［両面スキャン］（特定モデルで利用可能）
   - ［スキャン設定］
   - ［カラー設定］
   - ［解像度］
   - ［ファイル形式］
   - ［原稿サイズ］
   - ［明るさ］
   - ［コントラスト］（特定設定のみ対応）
   - ［ADF 傾き補正］（特定モデルで利用可能）
   - ［地色除去］（特定設定のみ対応）

- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
- 本製品に［OK］ボタンが表示された場合は、［OK］を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、［ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録］を押します。

5. ［スタート］を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

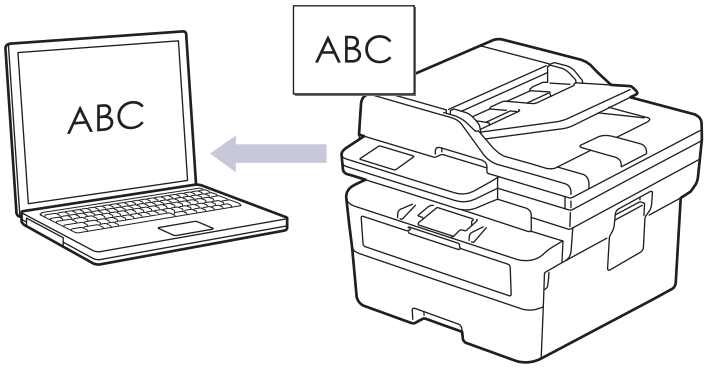
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR）

本製品は、OCR（光学式文字認識）の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストに変換することができます。テキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。



- スキャン to OCR 機能は、特定の言語にのみ対応しています。
- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to PC]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[OCR]を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、▲または▼を押して接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。

PIN の入力を求められたら、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力し、**OK** を押します。

7. スキャンの設定値を変更するには、**オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押し、▲または▼を押して使用するオプションを選択し、次に **OK** を押して引き続き次のスキャン設定に進みます。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [ｶﾗｰ設定]
   - [解像度]
   - [ﾌｧｲﾙ形式]
   - [原稿ｻｲｽﾞ]
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

8. **スタート**を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [OCR]を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を押します。

コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。

4. スキャン設定を変更するには、[設定変更]を押して変更するスキャン設定を選択します。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [両面スキャン]（特定モデルで利用可能）
   - [スキャン設定]
   - [カラー設定]
   - [解像度]
   - [ファイル形式]
   - [原稿サイズ]
   - [明るさ]
   - [コントラスト]（特定設定のみ対応）
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルで利用可能）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

   - スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
   - 本製品に[OK]ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
   - 設定をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]を押します。

5. [スタート]を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

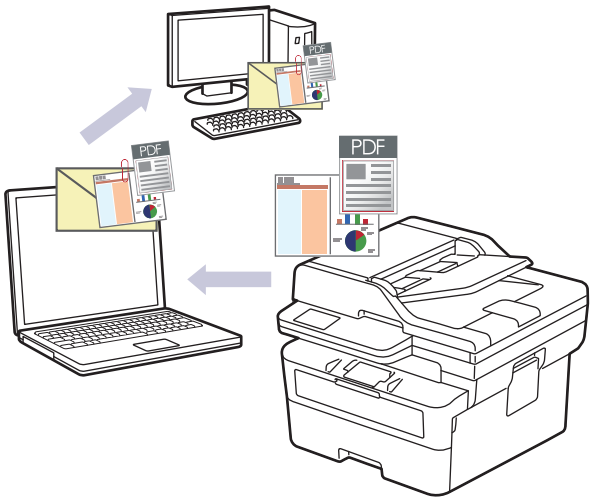
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更

スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する

スキャンしたデータを本製品からお使いの電子メールアプリケーションに添付ファイルとして送信します。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。
- この機能を本製品のスキャンボタンで使用するには、Brother iPrint＆Scan で次のアプリケーションのいずれかを選択していることを確認してください。
  - Windows：Microsoft Outlook
  - Mac：Apple Mail

  その他のアプリケーションやウェブメールサービスの場合は、スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って原稿をスキャンして、スキャンしたデータを電子メールに添付してください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to PC]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[Eﾒｰﾙ]を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、▲または▼を押して接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。

PIN の入力を求められたら、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力し、**OK** を押します。

7. スキャンの設定値を変更するには、**オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押し、▲または▼を押して使用するオプションを選択し、次に **OK** を押して引き続き次のスキャン設定に進みます。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [ｶﾗｰ設定]
   - [解像度]
   - [ﾌｧｲﾙ形式]
   - [原稿ｻｲｽﾞ]
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。

8. **スタート**を押します。
   原稿がスキャンされ、添付ファイルとして保存されます。それからお使いの E メールアプリケーションが起動され、スキャンしたファイルが添付された新規の空メールが開きます。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [E メール添付]を押します。
3. 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を押します。

コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。

4. スキャン設定を変更するには、[設定変更]を押して変更するスキャン設定を選択します。初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [両面スキャン]（特定モデルで利用可能）
   - [スキャン設定]
   - [カラー設定]
   - [解像度]
   - [ファイル形式]
   - [原稿サイズ]
   - [明るさ]
   - [コントラスト]（特定設定のみ対応）
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルで利用可能）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）

- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan がインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
- 本製品に[OK]ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]を押します。

5. [スタート]を押します。
   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更

スキャンしたデータを E メール受信者に送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

パソコンを使用せずに、スキャンしたデータを本製品から E メールの受信者に直接送信します。この機能を使用すると、本製品がパソコンに接続されていなくても、原稿をスキャンして E メールアドレスに送信することができます。パソコン上の iPrint&Scan ソフトウェアまたは本製品のスキャンボタンを使用して、スキャンしたデータを添付ファイルとしてデフォルトの E メールアプリケーションに直接送信する場合は、代わりに「スキャン to E メール添付ファイル」機能を使用します。

- スキャンしたデータを E メールの受信者に送信するには、ネットワークおよび E メールの送受信に使用する E メールサーバーと通信するように本製品を設定する必要があります。
- これらの項目は、本製品の操作パネルまたは Web Based Management から設定します。
- スキャン to E メールサーバー機能を使用するには、本製品をネットワークに接続し、SMTP サーバーにアクセスします。以下の SMTP E メール設定を行ってください：
  - サーバーアドレス
  - ポート番号
  - ユーザー名
  - 暗号化タイプ（SSL または TLS）
  - E メールサーバー証明書（使用する場合）

  これらの設定が不明な場合は、E メールサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ]を選択し、**OK** を押します。
4. スキャンの設定値を変更するには、**オプション**を押し、▲または▼を押して使用するオプションを選択し、次に **OK** を押して引き続き次のスキャン設定に進みます。 初期値のスキャン設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [ｶﾗｰ設定]
   - [解像度]
   - [ﾌｧｲﾙ形式]
   - [原稿ｻｲｽﾞ]
   - [ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ]（特定設定のみ対応）
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）
5. [ｱﾄﾞﾚｽ入力]を選択し、**OK** を押します。
6. 画面に、E メールアドレスの入力を要求するメッセージが表示されます。**プリセット**ボタンまたは短縮ダイヤルを使用し、使用する E メールアドレスを選択します。

   宛先の E-mail アドレスを指定するには、Web Based Management を使用してその E-mail アドレスを短縮ダイヤルまたはショートカットに追加していることを確認します。
7. **スタート**を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [E メール送信] を押します。
3. 以下のいずれかを行って、宛先 E-mail アドレスを入力します。
   - E-mail アドレスを手動で入力するには [手動入力] を押して、画面に表示される文字ボタンを使用して入力します。完了したら、[OK] を押します。
   - E メールアドレスが本製品のアドレス帳に保存されている場合は、[電話帳] を押して、該当のアドレスを選択します。

     [OK] を押します。
4. E-mail アドレスを確認し、[次へ] を押します。
5. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し変更対象のボタンを選択します。お買い上げ時の設定を使用するには、この手順をスキップします。
   - [両面スキャン]（特定モデルのみ対応）
   - [カラー設定]
   - [解像度]
   - [ファイル形式]
   - [原稿サイズ]
   - [明るさ]
   - [コントラスト]（特定設定のみ対応）
   - [ファイル名]（特定設定のみ対応）
   - [ファイル名項目順序]
   - [ファイルサイズ]（特定設定のみ対応）
   - [ADF 傾き補正]（特定モデルのみ対応）
   - [地色除去]（特定設定のみ対応）
   - [ファイル分割]

   - 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
   - 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して [設定を保持する] を押し、[はい] を押します。
   - お買い上げ時の設定に戻すには [設定をリセットする] を押し、[はい] を押します。
   - 設定をショートカットとして保存するには、[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録] を押します。
6. [スタート] を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

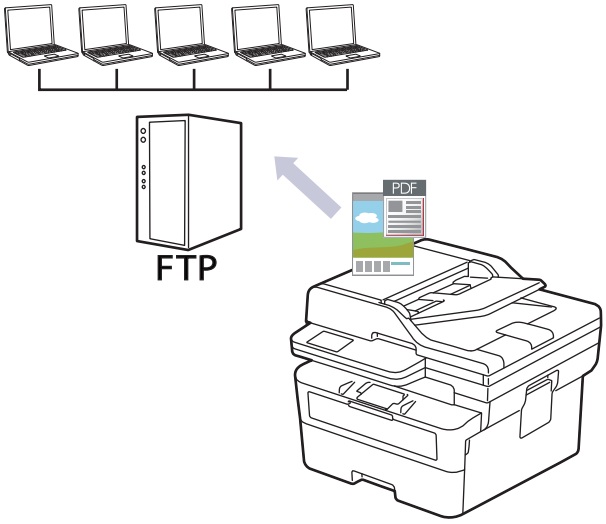
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。



- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャン to FTP プロファイルを設定する

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **スキャン to FTP/Network** をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。

5. **FTP** を選択し **OK** をクリックします。
6. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル**をクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名（32 文字以下）を入力します。
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
SSL/TLS	**SSL/TLS** オプションを設定して、SSL/TLS 通信を使用して安全にスキャンします。必要に応じて **CA 証明書** 設定を変更します。

オプション	詳細
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先である FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください（正しい例：brother/abc）。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称＋原稿台/ADF（自動原稿送り装置）の 6 桁カウンター＋拡張子」がファイル名となります。（例：「Mitsumori_098765.pdf」）
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 **本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 **本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正または **ADF 傾き補正**	**自動**オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
両面読取 （MFC-L2880DW）	元のレイアウトに応じて**長辺とじ**または**短辺とじ**オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
ファイル分割 （DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW）	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
パッシブモード	FTP サーバーおよびネットワークファイアウォール設定に応じて、**パッシブモード**のオフ／オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定はオンです。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

スキャンした情報を FTP サーバーへ保存して共有します。

>> FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｽｷｬﾝ to FTP]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して一覧表示されたプロファイルのいずれかを選択し、**OK** を押します。

   プロファイルが不完全な場合（例えば、ログオンアカウント名とパスワードが無い、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
5. **スタート**を押します。

   液晶ディスプレーに、[接続中]メッセージが表示されます。FTP サーバーへ接続されると、本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [FTP サーバー]を押します。
3. ▲または▼を押して、一覧表示されたネットワークサーバーのプロファイルのいずれかを選択します。プロファイルが不完全な場合（例えば、ログオンアカウント名とパスワードがない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. [スタート]を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

関連モデル: MFC-L2880DW

スキャンしたデータを、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to ネットワークの送信先を保存することもできます。

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

関連モデル: MFC-L2880DW

スキャン to ネットワークのプロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の CIFS サーバーに直接送ることができます。

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **スキャン to FTP/Network** をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。

5. **ネットワーク**を選択し、**OK** をクリックします。
6. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル**をクリックします。
7. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
ネットワークフォルダパス	スキャンしたデータの送信先である CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称＋原稿台/ADF（自動原稿送り装置）の 6 桁カウンター＋拡張子」がファイル名となります。（例：「Mitsumori_098765.pdf」）
画質	品質設定を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。

オプション	詳細
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。**本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 **本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 **本体で設定**オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正または **ADF 傾き補正**	**自動**オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
両面読取	元のレイアウトに応じて**長辺とじ**または**短辺とじ**オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
ファイル分割	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルを PIN で保護するには、**オン**を選択し、**接続パスワード**欄に 4 桁の PIN を入力します。
認証方法	認証方式を設定するには、**自動**、**Kerberos**、または **NTLMv2** を選択します。
ユーザー名	**ネットワークフォルダパス**欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザーのユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 • **ユーザー名@ドメイン名** • **ドメイン名\ユーザー名**
パスワード	**ユーザー名**欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。**パスワード確認**欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	**認証方法**オプションで **Kerberos** を選択した場合は、Kerberos サーバーアドレスを入力する必要があります（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

8. **OK** をクリックします。
9. SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、すべての認証方式に対して操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。本製品の時刻は、Kerberos サーバーや CIFS サーバーで使用される時刻と一致していなければなりません。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）
  - Web Based Management を使用して日時を設定する

Web Based Management を使用して日時を設定する

Web Based Management または操作パネルで、日付と時刻、タイムゾーンの設定が正しく行われていることを確認してください。本製品の時刻は、認証を行うサーバーで使用される時刻と一致していなければなりません。

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- Web Based Management の画面が開いている場合は、手順 1 を行いません。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定** > **時計設定**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **SNTP サーバーと同期する**チェックボックスの選択を外します。
6. **日付** 欄に日付を入力します。
7. **時計表示** 欄から時計の表示形式を選択します。
8. **時間** 欄に時刻を入力します。
9. **タイムゾーン**ドロップダウンリストから、現在の地域と UTC との時差を選択します。
10. **OK** をクリックします。

関連情報

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

関連モデル: MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. ［スキャン］>［ネットワーク］を押します。
3. Web Based Management で設定したサーバープロファイルが表示されたら、使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
4. ［スタート］を押します。

   本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了してください。

関連情報

- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）

Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11）

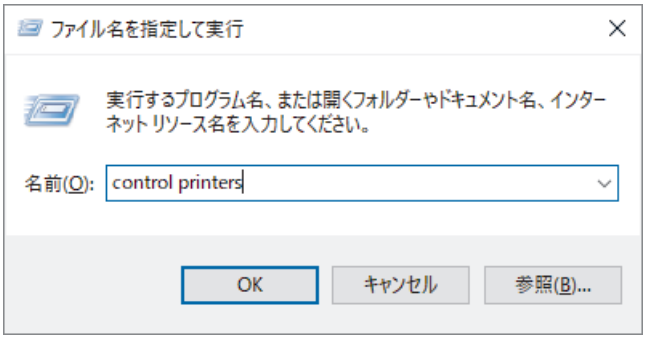
Windows 10 および Windows 11 をお使いの場合、Web サービスプロトコルにより、ネットワーク上のブラザー製品を使ってスキャンすることができます。Web サービス経由でドライバーをインストールする必要があります。

- Web サービスプロトコルを使用してスキャナードライバーをインストールする（Windows 10 および Windows 11）
- Web サービスプロトコルを使用して本製品からスキャンする（Windows 10 および Windows 11）
- Web サービスプロトコルのスキャンプロファイルを編集する

Web サービスプロトコルを使用してスキャナードライバーをインストールする（Windows 10 および Windows 11）

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
- この設定を行う前に、本製品で IP アドレスを設定する必要があります。

1. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら Rキーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. **デバイスの追加**をクリックします。

- 本製品の Web サービス名は、お使いのモデル名と MAC アドレスです。
- 製品名の上でマウスを動かすと、製品情報が表示されます。

4. インストール先の製品を選択し、画面の指示に従います。

ドライバーをアンインストールするには、**アンインストール**または ⊖（**デバイスの削除**）をクリックします。

関連情報

- Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11）

Web サービスプロトコルを使用して本製品からスキャンする（Windows 10 および Windows 11）

Web サービス経由でスキャナーのドライバーをインストールしている場合、本製品の画面で Web サービススキャンメニューにアクセスできます。

言語設定がお使いのオペレーティングシステムと本製品間で異なる場合、画面に表示されるメッセージの文字の一部が空白に置き換えられることがあります。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. （**スキャン**）を押します。
3. ▲または▼を押して、[Webｻｰﾋﾞｽｽｷｬﾝ]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、使用するスキャンの種類を選択し、**OK** を押します。
5. スキャンデータの送信先パソコンを選択し、**OK** を押します。
6. **スタート**を押します。
   本製品はスキャンを開始します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

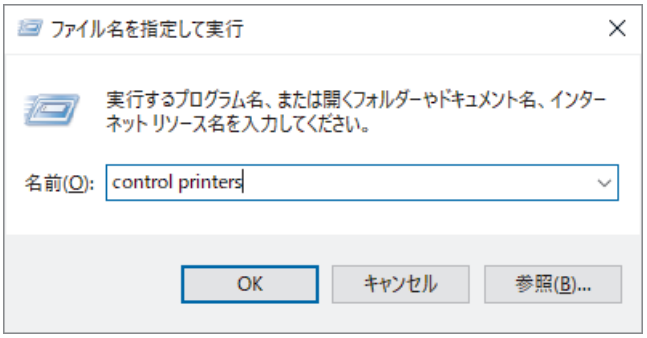
1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [Web サービス]を押します。
3. ▲または▼を押してスキャンオプションを表示し、スキャンのタイプを押します。
4. ▲または▼を押して、データ送信先のパソコン名を表示し、パソコン名を押します。
5. [スタート]を押します。
   本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11）

Web サービスプロトコルのスキャンプロファイルを編集する

1. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら Rキーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. 本製品のアイコンを右クリックし、**スキャン　プロファイル**を選択します。**スキャン　プロファイル**ダイアログボックスが表示されます。
4. 目的のスキャンプロファイルを選択します。
5. **スキャナー**一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応している製品であることを確認し、**既定に設定**ボタンをクリックします。
6. **編集**をクリックします。

   既定のプロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。
7. **スキャナーの種類**、**用紙サイズ**、**色の形式**、**ファイルの種類**、**解像度（DPI）**、**明るさ**および**コントラスト**設定を選択します。
8. **プロファイルの保存**ボタンをクリックします。

   Web サービスを使ってスキャンする場合のプロトコルとして適用されます。

スキャンアプリケーションを選択するよう表示された場合は、一覧から Windows FAX とスキャンを選択します。

関連情報

- Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows 10 および Windows 11）

Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定の変更

Brother iPrint＆Scan を使用すると、本製品のスキャンの設定を変更できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows：

     パソコンのデスクトップにある （**Brother iPrint&Scan**）アイコンをダブルクリックします。

     詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
   - Mac：

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

お願い

最新のアプリケーションをダウンロードするには：

- Windows の場合：

  support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。
- Mac の場合：

  Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

2. 本製品が選択されていない場合、**製品を選択**ボタンをクリックし、画面の指示に従って本製品を選択します。
3. **本体からのスキャン設定**ボタンをクリックし、画面の指示に従って、原稿のサイズ、カラー、解像度などのスキャン設定を変更します。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）
- 写真やグラフィックをスキャンする
- 単一または複数のページを単一の PDF ファイルでフォルダーへスキャン
- 編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR）
- スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する

署名入り PDF 用の証明書を設定する

スキャン機能で署名入り PDF を選択した場合、Web Based Management を使用して、本製品に証明書を設定する必要があります。

署名入り PDF を使用するには、本製品とお使いのパソコンに証明書をインストールする必要があります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定** > **電子署名付 PDF** をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。

5. **証明書の選択**ドロップダウンリストから証明書を選択します。

6. **OK** をクリックします。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

お使いのコンピューターからスキャンを無効にする

パソコンからのスキャン機能を無効にするには、Web Based Management を使用してプルスキャンの設定を無効にします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **PC からのスキャン**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **PC からのスキャン**欄で、**無効**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

お使いのパソコンからスキャンする （Windows）

お使いのパソコンを使用して、写真や文書を本製品でスキャンします。弊社から提供されているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする
- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）

1. 原稿をセットします。
2. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows：

     パソコンのデスクトップにある （**Brother iPrint&Scan**）アイコンをダブルクリックします。

     詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
   - Mac：

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

お願い

最新のアプリケーションをダウンロードするには：

- Windows の場合：

  support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。
- Mac の場合：

  Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

3. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
4. **スキャン**アイコンをクリックします。
5. スキャン設定を行い、**スキャン**ボタンをクリックしてスキャンを開始します。
6. すべての文書をスキャンしたら、スキャン済みデータを保存および共有するオプションを選択します。
7. **ファイル名**および**ファイル形式**を含めて詳細設定を行います。

複数のスキャンを 1 つのファイルにまとめるには、**ファイル形式**として PDF を選択します。

8. スキャンプロセスを終了します。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする （Windows）

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）
- 写真やグラフィックをスキャンする
- 単一または複数のページを単一の PDF ファイルでフォルダーへスキャン

Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをスキャンに使用することができます。

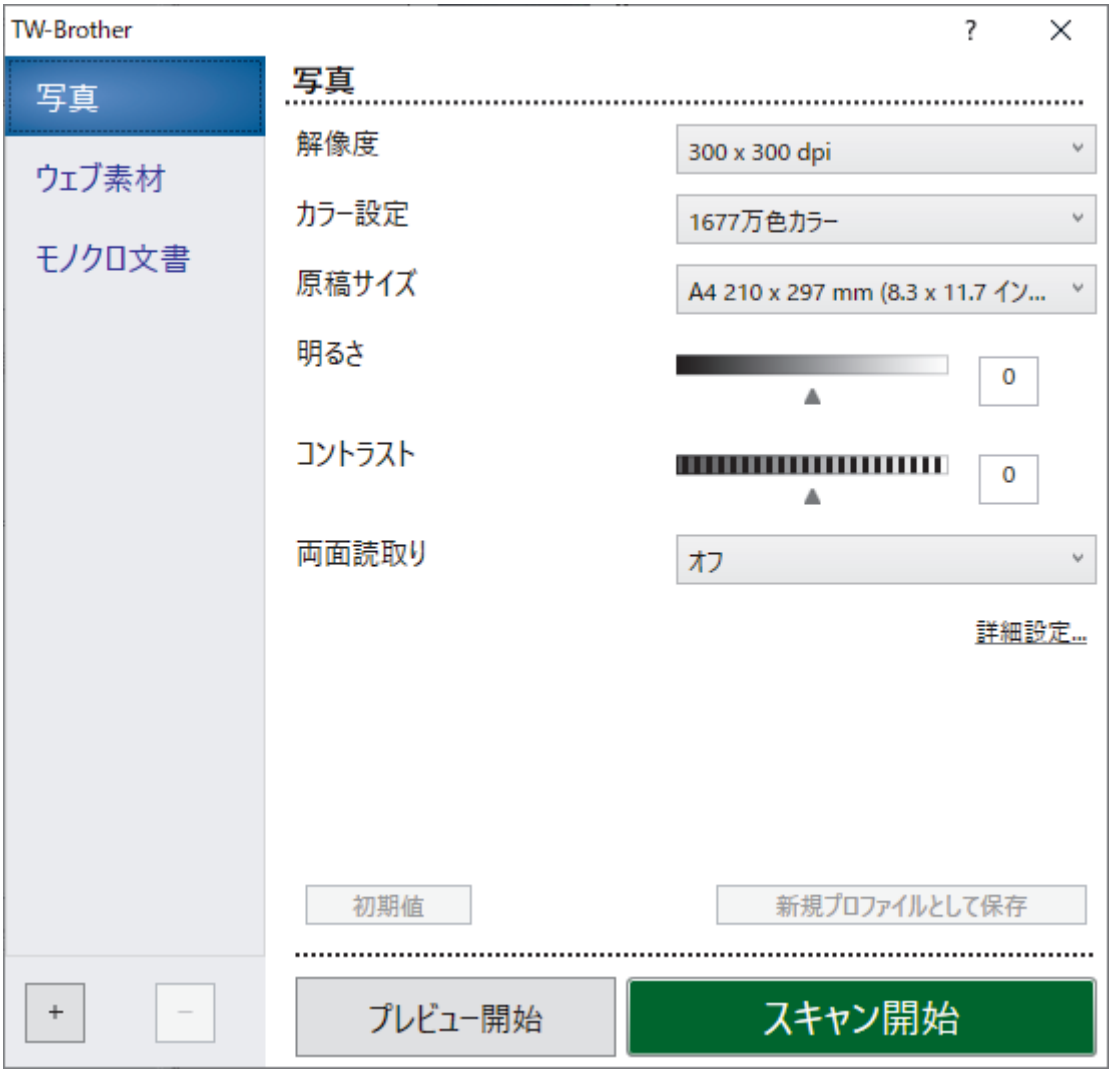
- Nuance™ PaperPort™ 14SE アプリケーションをダウンロードするには、 （**Brother Utilities**）をクリックし、左ナビゲーションバーで**もっと活用する**を選択して、**PaperPort** をクリックします。
- Nuance™ PaperPort™ 14SE は、Windows 10 と Windows 11 をサポートしています。
- アプリケーションの使い方については、各アプリケーションの**ヘルプ**メニューをクリックして、**ヘルプ**リボンで**使い方ガイド**をクリックして確認してください。

これらの手順は、PaperPort™ 14SE を使用してスキャンする場合の指示です。その他の Windows アプリケーションの場合も、手順は同様です。PaperPort™ 14SE は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーをサポートしています。TWAIN ドライバー（推奨）は、本手順で使用されています。

1. 原稿をセットします。
2. PaperPort™ 14SE を起動します。
   次のいずれかを行ってください：
   - Windows 11

     > **すべてのアプリ** > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
   - Windows 10

     > **Nuance PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
3. **デスクトップ**メニューをクリックして、**デスクトップ**リボンで**スキャン設定**をクリックします。
   画面の左側に、**スキャンまたは写真の取り込み**パネルが表示されます。
4. **選択**をクリックします。
5. 利用可能なスキャナー一覧から、名前に **TWAIN: TW** が含まれるお使いのモデルを選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **スキャンまたは写真の取り込み**パネルで**スキャナ ダイアログ ボックスの表示**チェックボックスを選択します。
8. **スキャン**をクリックします。
   スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。



9. 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスで設定値を調整します。
10. **原稿サイズ**ドロップダウンリストから原稿サイズを選択します。

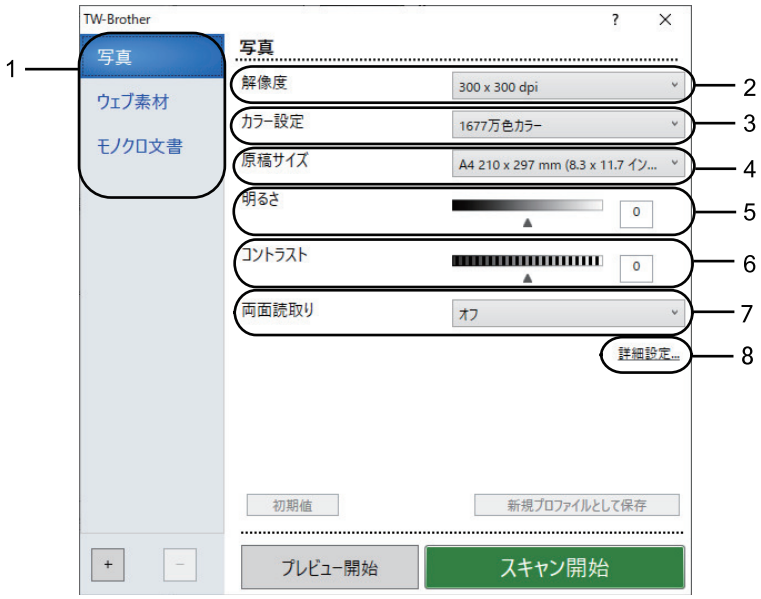
原稿の両面をスキャンするには（MFC-L2880DW）：
自動両面スキャンは、ADF(自動原稿送り装置)を使用する場合にのみ利用可能です。
プレビュー機能を使用してスキャンした画像をプレビューすることはできません。

11. 画像をプレビューして、スキャンする前に不要な部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。
12. **スキャン開始**をクリックします。
本製品はスキャンを開始します。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする （Windows）
  - TWAIN ドライバーの設定 (Windows)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows)



- 設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- **コントラスト**は、**グレー（誤差拡散）**、**256 階調グレー**、または **1677 万色カラー**を**カラー設定**ドロップダウンリストから選択した場合にのみ利用可能です。

1. **スキャン設定**

   スキャンする原稿の種類にあわせて、**写真**、**ウェブ素材**、または**モノクロ文書**を選択します。

スキャン（画像種類）		**解像度**	**カラー設定**
写真	写真のスキャンに使用します。	300 x 300 dpi	**1677 万色カラー**
ウェブ素材	スキャンした画像を Web ページに添付するときに使用します。	100 x 100 dpi	**1677 万色カラー**
モノクロ文書	テキスト原稿をスキャンするときに使用します。	200 x 200 dpi	**モノクロ**

2. **解像度**

   解像度ドロップダウンリストからスキャン解像度を選択します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. **カラー設定**

   さまざまな色濃度の中から選択します。

   - **モノクロ**

     文字原稿または線画に使用します。

   - **グレー（誤差拡散）**

     写真やグラフィックに使用します。（誤差拡散は、グレーの点を使用せずに、擬似的にグレー画像を作成する手法です。見た目を自然なグレーに見せるために、黒い点を一定の規則で配置しています。）

   - **256 階調グレー**

     写真やグラフィックに使用します。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

   - **1677 万色カラー**

     最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くかかります。

4. **原稿サイズ**

   あらかじめ設定されたスキャンサイズから、使用する原稿と同じサイズを選択します。

   ユーザー定義サイズを選択すると、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定できます。

5. **明るさ**

   つまみを右または左に移動させて明暗レベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさを下げて、再度スキャンします。スキャンした画像が暗すぎる場合は、明るさを上げて、再度スキャンします。数値を入力して明暗レベルを設定することも可能です。

6. **コントラスト**

   つまみを右または左に移動させてコントラストレベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー領域がより強調されます。値を入力して、コントラストのレベルを設定することもできます。

7. **両面読取り（MFC-L2880DW）**

   原稿の両面をスキャンします。自動両面スキャン機能を使用する場合、ページをめくったときに向きが意図した通りになるように、**両面読取り**ドロップダウンリストから**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

8. **詳細設定**

   スキャン設定ダイアログボックスの**詳細設定**ボタンをクリックして、詳細設定を行います。

   - **原稿補正**
     - **傾き補正**

       ページがスキャンされたときに、原稿の歪みが自動的に修正されるように本製品を設定します。
     - **原稿後端自動検知 (ADF)**

       ADF（自動原稿送り装置）からスキャンした原稿の長さが、選択した原稿サイズよりも短い場合、原稿の端を検知して自動で用紙サイズを調整します。
     - **画像回転**

       スキャンした画像を回転します。
     - **塗りつぶし**

       スキャンした画像の四辺の縁を、選択した色と範囲で塗りつぶします。
   - **画質調整**
     - **背景スムージング**
       - **裏写り・地紋除去**

         裏写りや地紋を防止します。
       - **地色除去**

         原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。
     - **ドロップアウトカラー**

       スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。
     - **エッジ強調**

       文字を鮮明にします。
     - **ノイズ軽減**

       スキャン画像の品質を改善させます。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**および **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** のスキャン解像度を選択した場合に利用可能です。
   - **モノクロ画質調整**
     - **文字補正**
       - **かすれ文字補正**

         とぎれた文字や不完全な文字を調整して読みやすくします。
       - **文字強調**

         原本の文字を太字にして強調します。
     - **白黒反転**

       モノクロ画像の白黒を反転します。

- **搬送制御**
  - **レイアウト**（DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW）

    レイアウトを選択します。
  - **継続スキャン**

    複数のページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選択します。

関連情報

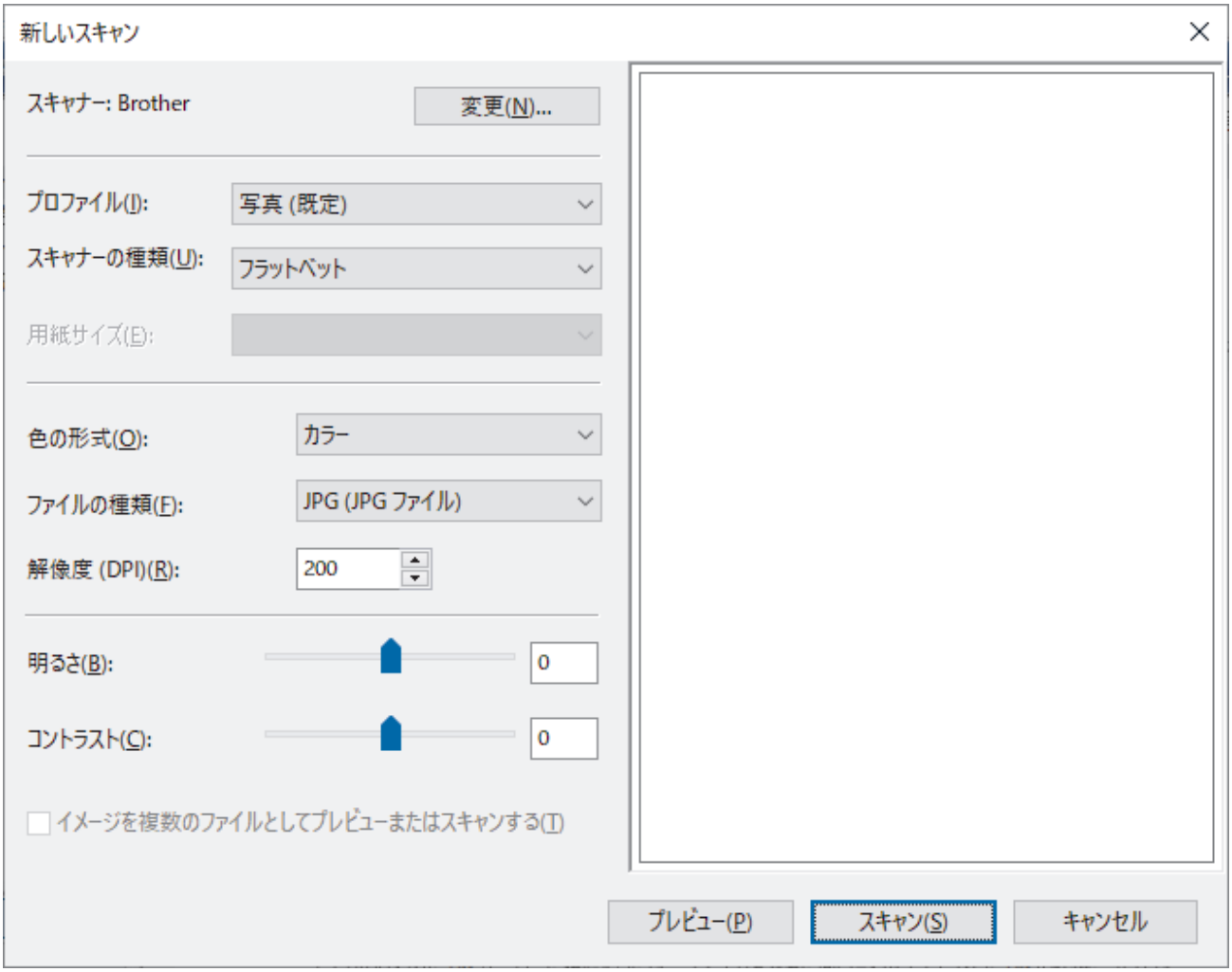
- Nuance™ PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows FAX とスキャンアプリケーションは、スキャン時に使用できるもう 1 つのオプションです。

- Windows FAX とスキャンは、WIA スキャナードライバーを使用します。
- 原稿をスキャンした後にページの一部を切り取るには、原稿台ガラス（フラットベットとも呼ばれます）を使用してスキャンする必要があります。

1. 原稿をセットします。
2. Windows FAX とスキャンを起動します。
3. **ファイル** > **新規作成** > **スキャン**をクリックします。
4. 利用するスキャナーを選択します。
5. **OK** をクリックします。
   新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

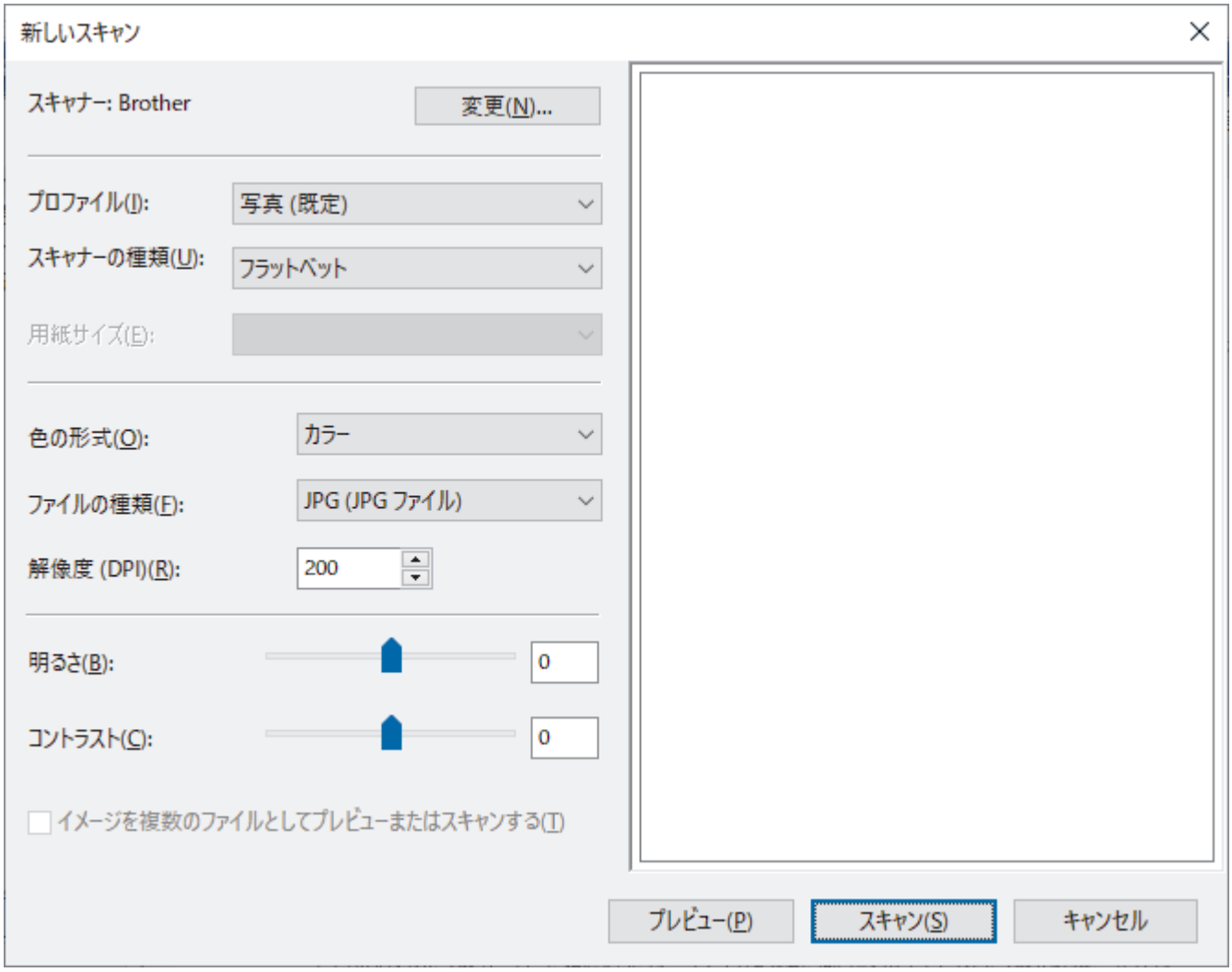


6. 必要に応じて、ダイアログボックスで設定値を調整します。
   スキャナーの解像度は、最大 1200dpi に設定可能です。さらに高解像度でスキャンしたい場合は、**Brother Utilities** の **Scanner Utility** ソフトウェアを使用してください。
   お使いの製品が両面スキャンに対応していて、原稿の両面をスキャンする場合は、**スキャナーの種類**ドロップダウンリストから**フィーダー（両面スキャン）**を選択します。
7. **スキャン**をクリックします。
   原稿のスキャンが開始されます。

関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする （Windows）
  - WIA ドライバーの設定（Windows）

WIA ドライバーの設定（Windows）



プロファイル

プロファイルドロップダウンリストから、使用するスキャンプロファイルを選択します。

スキャナーの種類

ドロップダウンリストから、**フラットベット**、**フィーダー (片面スキャン)**または**フィーダー（両面スキャン）**オプションを選択します。

用紙サイズ

スキャナーの種類ドロップダウンリストから**フィーダー (片面スキャン)**または**フィーダー（両面スキャン）**オプションを選択した場合は、**用紙サイズ**オプションを使用できます。

色の形式

色の形式ドロップダウンリストから、スキャンのカラー形式を選択します。

ファイルの種類

ファイルの種類ドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します。

解像度 (DPI)

解像度 (DPI)欄でスキャン解像度を設定します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

明るさ

つまみを右または左に移動させて明暗レベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさを下げて、再度スキャンします。スキャンした画像が暗すぎる場合は、明るさを上げて、再度スキャンします。数値を入力して明暗レベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させてコントラストレベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー領域がより強調されます。数値を入力してコントラストのレベルを設定することも可能です。

関連情報

- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

お使いのパソコンからスキャンする （Mac）

- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）
- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

- Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する

Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する

Web Based Management を使用して、スキャンしたデータのファイル名を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン** > **スキャン ファイル名称**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. ドロップダウンリストから **ファイル名項目順序** を選択します。
6. **ファイル名項目順序**欄で日付を含めるオプションを選択した場合、ドロップダウンリストから日付フォーマットを選択します。
7. ファイル名に時間情報を含めるには、**時間**欄で**オン**を選択します。
8. **カウンタ** 欄で、 **自動更新** または **読み取り毎にリセット**を選択します。

   読み取り毎にリセットを選択すると、ファイル名の重複が起こることがあります。
9. ファイル名の先頭にユーザー定義の名称をつけたい場合は、各スキャン機能のユーザー定義欄にファイル名を入力します。

   ?、/、\、*の文字は使用しないでください。
10. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

コピー

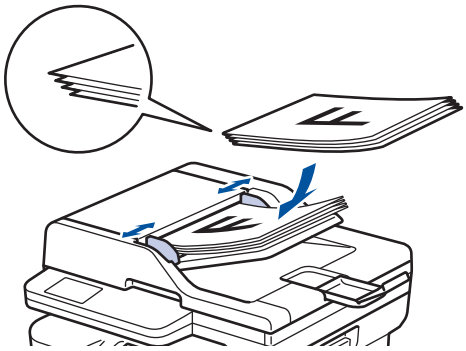
- 用紙の片面をコピーする（片面コピー）
- 用紙の両面をコピーする（両面コピー）
- コピー画像を拡大または縮小する
- レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする
- ソートコピー
- ID カードをコピーする
- コピーオプション

用紙の片面をコピーする（片面コピー）

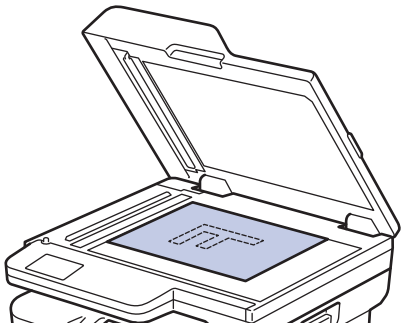
>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。（特定モデルのみ対応）
     （複数ページをコピーを行う場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）



   - 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



お願い

重要な原稿や破れやすい原稿には、本製品の原稿台ガラスを使用してください。

3. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     （**コピー**）を押します。

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。

   画面に以下のとおり表示されます。

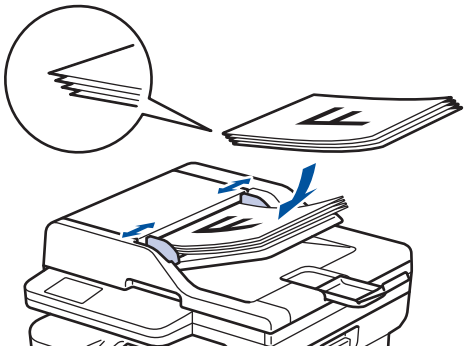
```
ｿｰﾄｺﾋﾟｰ   ｺﾋﾟｰ数:01
100%□□■□□   自動
```

4. **スタート**を押します。

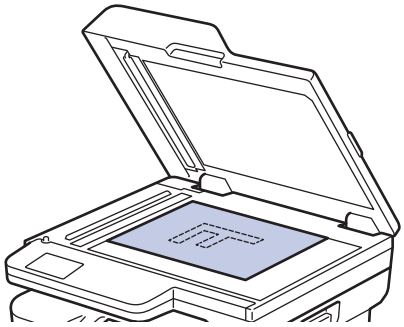
DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。

2. 次のいずれかを行ってください：
   - ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。
     （複数ページをコピーを行う場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）



   - 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



お願い

重要な原稿や破れやすい原稿には、本製品の原稿台ガラスを使用してください。

3. （[コピー]）を押します。

   画面に以下のとおり表示されます。

4. 部数を入力し、次のいずれかを行います。
   - 液晶ディスプレーから[-]または[+]を押します。
   - ×01を押し、液晶ディスプレーにテンキーを表示し、部数を入力します。[OK]を押します。
5. [スタート]を押します。

関連情報

- コピー

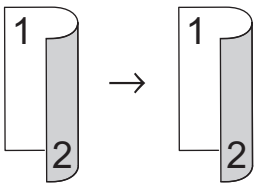
用紙の両面をコピーする（両面コピー）

用紙の両面にコピーして、使用する枚数を減らします。

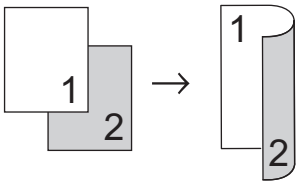
- 両面コピーをする前に、以下の設定から両面コピーのレイアウトを選択する必要があります。
- 元の原稿のレイアウトに合わせて、どの両面コピー設定を選択すべきか決定します。
- （ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合）重要な原稿や破れやすい原稿には、本製品の原稿台ガラスを使用してください。
- （ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合）自動両面コピー機能を使用するには、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする必要があります。
- 手動で両面原稿から両面コピーする場合は、原稿台ガラスを使用してください。
- 両面コピー機能を使用する場合、A4 サイズの用紙を選択します。

縦向き

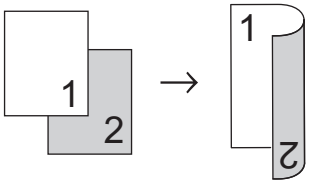
両面から両面



片面から両面（長辺とじ）

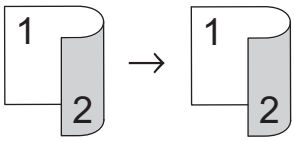


片面から両面（短辺とじ）

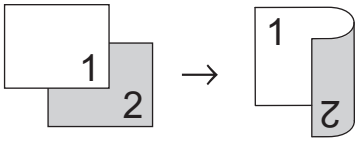


横向き

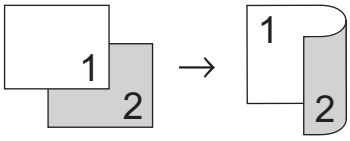
両面から両面



片面から両面（長辺とじ）



片面から両面（短辺とじ）



>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     （**コピー**）を押します。

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - **両面**を押します。
   - **オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押します。

     ▲または▼を押して、［両面印刷］を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［とじ方向　長辺］または［とじ方向　短辺］を表示し、**OK** を押します。
5. 長い辺送りにするか、短い辺送りにするかを選択します。
6. ▲または▼を押して、［長辺とじ］または［短辺とじ］を表示し、**OK** を押します。

お願い

（DCP-L2600DW/FAX-L2800DW の場合）［両面⇒両面］を選択した場合、ADF(自動原稿送り装置)は使用できません。原稿台ガラスを使用します。

7. **スタート**を押します。

   ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
8. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、▲を押して次のページをスキャンします。
9. すべてのページのスキャンが終わったら、▼を押して［完了］オプションを選択します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. （［コピー］）を押します。
3. 部数を入力します。
4. ［設定変更］を押します。
5. ▲または▼を押して、［両面コピー］を表示し、［両面コピー］を押します。
6. ▲または▼を押してレイアウト･オプションを表示させ、希望のオプションを押します。

お願い

（DCP-L2660DW/MFC-L2860DW の場合）［両面⇒両面］を選択した場合、ADF(自動原稿送り装置)は使用できません。原稿台ガラスを使用します。

7. 完了したら、［OK］を押します。
8. ［スタート］を押します。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
9. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、［読み取り開始］を押して次のページをスキャンします。

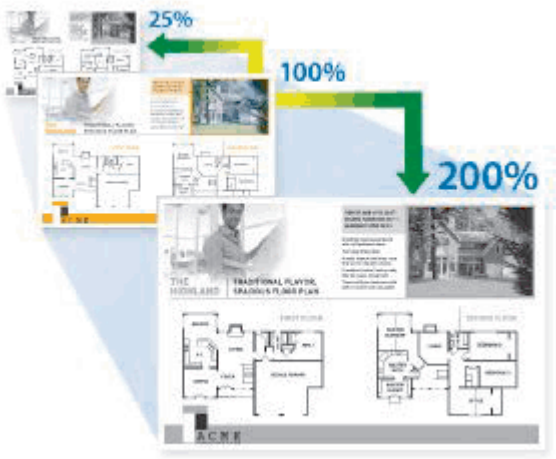
10. スキャンが終わったら、[読み取り完了]を押して終了します。

関連情報

- コピー

コピー画像を拡大または縮小する

拡大率または縮小率を選択して、コピーデータの大きさを変更します。



>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     （**コピー**）を押します。

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
3. **オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押します。
4. ▲または▼を押して、[拡大/縮小]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、拡大率または縮小率を選択し、**OK** を押します。

   [ｶｽﾀﾑ (25-400%)]を選択する場合、ダイヤルパッドを使用するか、▲または▼を押し、[25%]から[400%]の間で拡大率または縮小率を入力し、**OK** を押します。
6. **スタート**を押します。

- [自動]は、用紙サイズに合わせるため、縮小率を計算します。
- [自動]は ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合のみ利用可能です。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. （[コピー]）を押します。
3. 部数を入力します。
4. [設定変更]を押します。
5. ▲または▼を押して、[拡大/縮小]を表示し、[拡大/縮小]を押します。
6. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、変更したいオプションを押します。

7. 次のいずれかを行ってください：
   - [拡大]または[縮小]を選択した場合、希望の拡大率または縮小率を押します。
   - [カスタム(25-400%)]を選択した場合、 （バックスペースキー）を押して、表示されている倍率を消すか、◀を押してカーソルを移動し、[25%]から[400%]の間で拡大率または縮小率を入力します。[OK]を押します。
   - [等倍 100%]または[自動]を選んだ場合は、次の手順に進みます。
8. 完了したら、[OK]を押します。
9. [スタート]を押します。

- [自動]は、用紙サイズに合わせるため、縮小率を計算します。
- [自動]は ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合のみ利用可能です。

関連情報

- コピー

レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする

N in 1 コピー機能は、2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーすることで、用紙を節約します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     （**コピー**）を押します。

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
3. **オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押し、[ｵﾌ(1 in 1)]、[2in1 (縦長)]、[2in1 (横長)]、[4in1 (縦長)] または [4in1 (横長)] を選択し、**OK** を押します。
6. **スタート**を押します。

   ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
7. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、▲を押して次のページをスキャンします。
8. すべてのページのスキャンが終わったら、▼を押して[完了]オプションを選択します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. （[コピー]）を押します。
3. 部数を入力します。
4. [設定変更]を押します。
5. ▲または▼を押して、[レイアウト コピー]を表示し、[レイアウト コピー]を押します。

6. ▲または▼を押してオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。

オプション	詳細
[2in1(縦長)]	
[2in1(横長)]	
[4in1(縦長)]	
[4in1(横長)]	

7. 完了したら、[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
9. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、[読み取り開始]を押して次のページをスキャンします。
10. スキャンが終わったら、[読み取り完了]を押して終了します。

関連情報

- コピー

ソートコピー

複数ページのコピーを部単位でまとめます。コピーされたページは、原稿の順番通りに排出されます：1、2、3など。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 原稿をセットします。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     （**コピー**）を押します。

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
3. **オプション**または**コピー/スキャン オプション**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ｽﾀｯｸ/ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｿｰﾄｺﾋﾟｰ]を選択し、**OK** を押します。
6. **スタート**を押します。

   ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
7. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、▲を押して次のページをスキャンします。
8. すべてのページのスキャンが終わったら、▼を押して[完了]オプションを選択します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

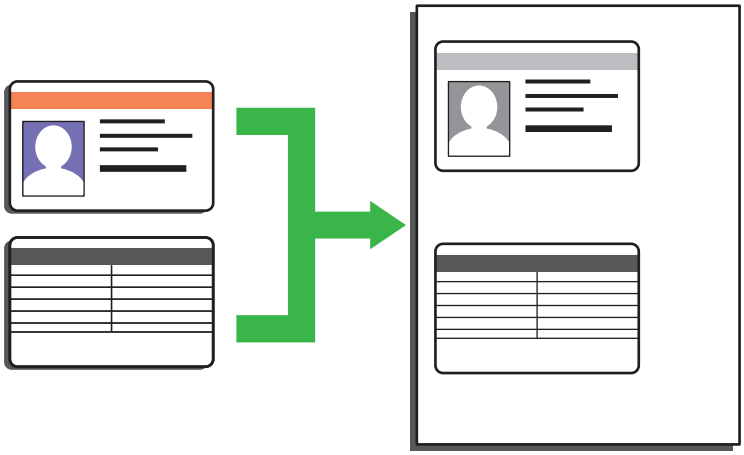
1. 原稿をセットします。
2. （[コピー]）を押します。
3. 部数を入力します。
4. [設定変更]を押します。
5. ▲または▼を押して、[スタック/ソート]を表示し、[スタック/ソート]を押します。
6. [ソートコピー]を押します。
7. 完了したら、[OK]を押します。
8. [スタート]を押します。ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。

   原稿台ガラスを使用している場合は、次の手順に進みます。
9. 製品がページをスキャンしたら、原稿台ガラスに次のページをセットし、[読み取り開始]を押して次のページをスキャンします。
10. スキャンが終わったら、[読み取り完了]を押して終了します。

関連情報

- コピー

ID カードをコピーする



法律で認められる範囲内で、身分証明書のコピーを行ってください。詳しい説明は「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

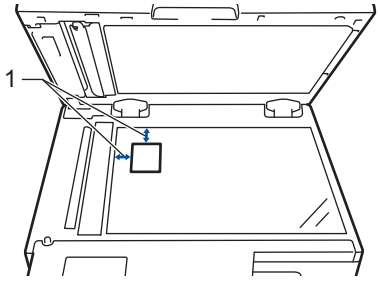
>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. （MFC モデルの場合）

   （**コピー**）を押します。

2. 身分証明書を、読み取る面を下にして、原稿台ガラスの左上角の近くに置きます。



   1: 4.0 mm 以上（上端および左端）

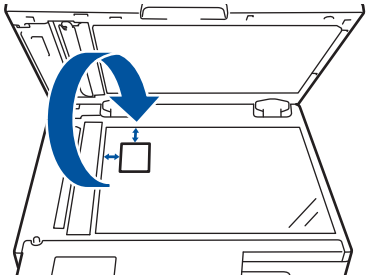
3. **2 in 1 (ID) コピー**を押します。
4. 以下のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合

     ダイヤルパッドの数字を押して、印刷枚数を入力します。
   - DCP モデルの場合

     ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
5. **スタート**を押します。

   本製品で身分証明書の片面のスキャンを開始します。

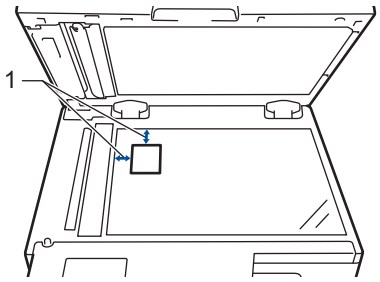
6. 製品が片面をスキャンしたら、身分証明書を裏返しにします。



7. **スタート** を押し、反対側もスキャンします。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

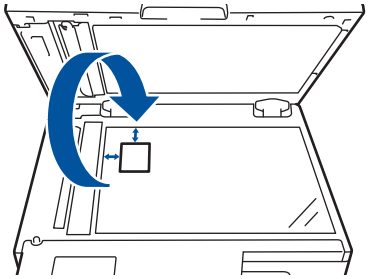
1. 身分証明書を、読み取る面を下にして、原稿台ガラスの左上角の近くに置きます。



1: 4.0 mm 以上（上端および左端）

2. （[コピー]）を押します。
3. [ID]を押します。
4. 部数を入力します。
5. [スタート]を押します。

   本製品で身分証明書の片面のスキャンを開始します。
6. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、[裏面を開始]を押してもう一方の片面もスキャンします。



関連情報

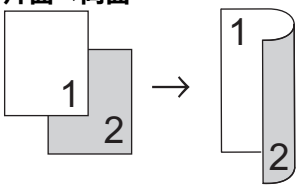
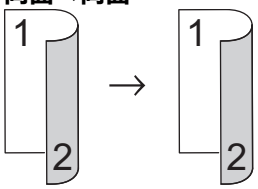
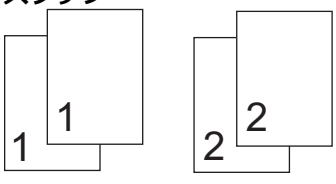
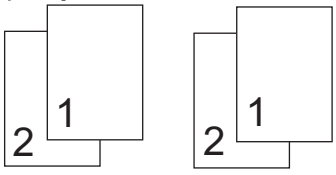
- コピー

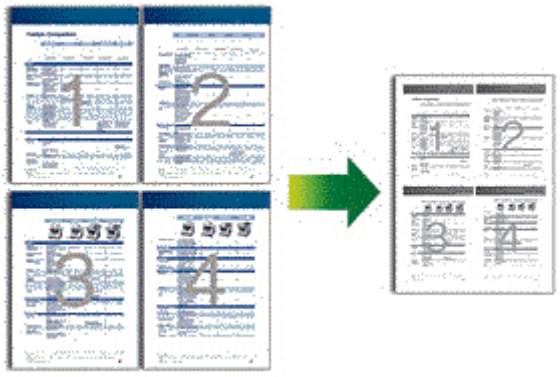
コピーオプション

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

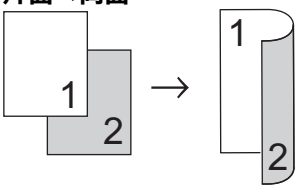
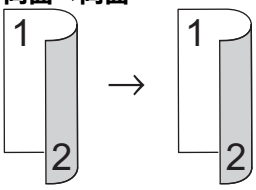
コピー設定を変更するには、**オプション**または**コピー/スキャン オプション**ボタンを押します。

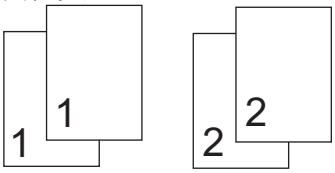
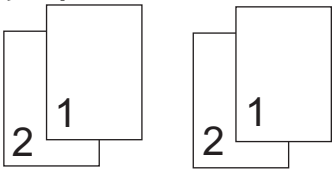
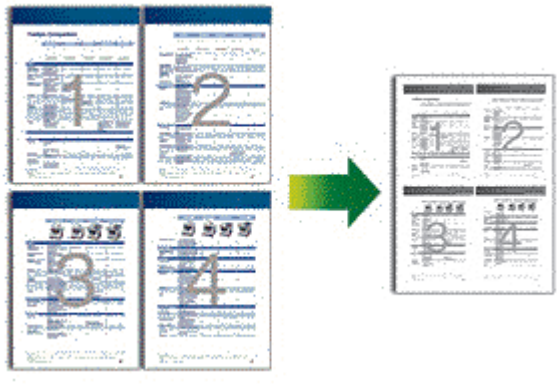
メニューの選択	オプションコード	
[ｺﾋﾟｰ画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。	
[拡大/縮小]	[100%]	-
	[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
	[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
	[自動] (特定モデルのみ対応)	セットした用紙サイズに合うように、コピーサイズを調整します。
	[ｶｽﾀﾑ (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
[印刷濃度]	濃度を高くして、文字を濃くします。 濃度を低くして、文字を薄くします。	
[両面印刷] (特定モデルのみ対応)	両面コピーを選択します。 **片面→両面**  **両面→両面** 	
[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	コントラストを上げて、イメージを鮮明にします。 コントラストを下げて、イメージを落ち着いた印象にします。	
[ｽﾀｯｸ/ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ]	スタックまたはソートコピーを選択します。 **スタック**  **ソート** 	

メニューの選択	オプションコード
[ﾚｲｱｳﾄ ｺﾋﾟｰ]	N in 1 コピーをします。 **4 in 1** 

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

コピー設定を変更するには、[設定変更]を押します。

メニューの選択	オプションコード	
[コピー画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。	
[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
	[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
	[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
	[自動] (特定のモデルのみ対応)	セットした用紙サイズに合うように、コピーサイズを調整します。
	[カスタム(25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
[コピー濃度]	濃度を高くして、文字を濃くします。 濃度を低くして、文字を薄くします。	
[両面コピー]	両面コピーを選択します。 **片面→両面**  **両面→両面**  お使いのモデルによって使用可能なオプションは異なります。	
[両面レイアウトコピー] (特定設定のみ対応)	長い辺または短い辺を選択します。	
[コントラスト]	コントラストを上げて、イメージを鮮明にします。 コントラストを下げて、イメージを落ち着いた印象にします。	

メニューの選択	オプションコード
[スタック/ソート]	スタックまたはソートコピーを選択します。 **スタック**  **ソート** 
[レイアウト コピー]	N in 1 コピーをします。 **4 in 1** 

関連情報

- コピー

ファクス

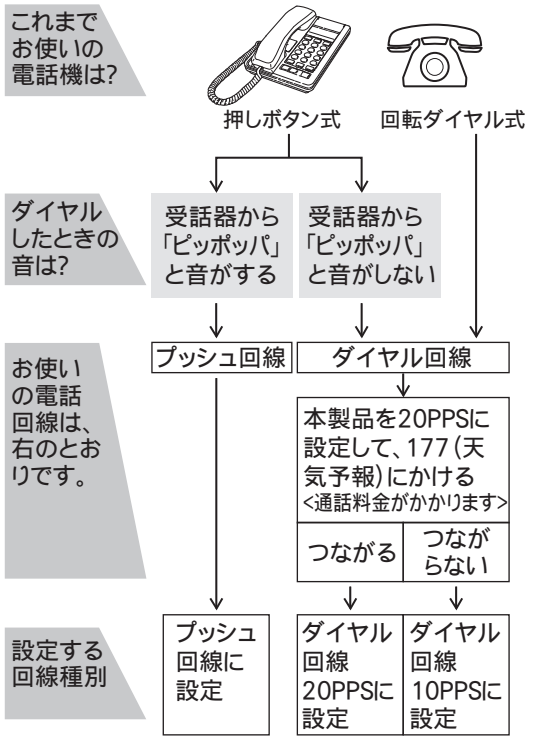
関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 電話/ファクス回線接続を確認する
- ファクスを送信する
- ファクスを受信する
- 電話帳
- 電話サービスと色々な接続方法
- ファクスレポート
- PC-FAX

電話/ファクス回線接続を確認する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品の回線接続設定が正しいことを確認します。



>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **オンフック/保留**を押し、「ツー」という音が聞こえることを確認します。
   - 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
   - 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。
3. もう一度**オンフック/保留**を押し、回線を切ります。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. （[ファクス]）を押します。
2. みるだけ受信をオンにしている場合は、[ファクス送信]を押します。
3. [ｵﾝﾌｯｸ]を押し、「ツー」という音が聞こえることを確認します。
   - 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
   - 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。
4. もう一度（[ｵﾝﾌｯｸ]）を押して回線を切ります。
5. を押します。

関連情報

- ファクス

ファクスを送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ファクスを送信する
- ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する
- 手動でファクスを送信する
- 通話の最後にファクスを送信する
- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- リアルタイム送信する
- 時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）
- ファクス自動再ダイヤル設定を変更する
- ファクスに表紙を追加する
- ファクス送信をキャンセルする
- 送信待ちファクスを確認、キャンセルする
- ファクスオプション

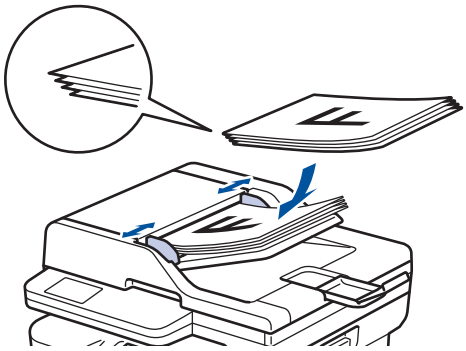
ファクスを送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

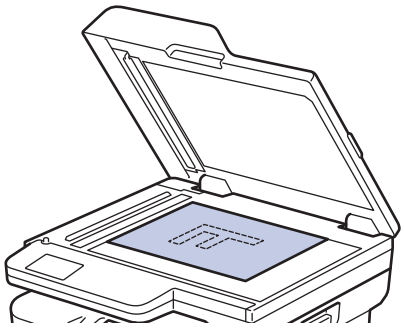
>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：
   - ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。
     （複数ページをファクスする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）



   - 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



3. ファクス番号を入力します。
   - **ダイヤルパッドを使用する**
     ダイヤルパッドを使用してファクス番号を入力します。

   - **プリセットボタンの使用**
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使いショートカットの番号を入力します。

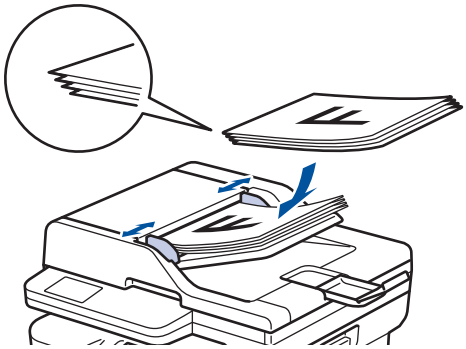
   - **短縮ダイヤルコードを使用する**
     を 2 回押して、3 桁の短縮ダイヤルコードを入力します。**OK** を押します。
4. **スタート**を押します。
   本製品は原稿をスキャンし、送信します。
   原稿台ガラスに原稿をセットする場合、表の指示に従ってください。

オプション	詳細
[開始]	次のページをスキャンするには、▲を押し、[開始]を選択し、原稿台ガラスに次のページをセットします。 **OK** を押して、ページをスキャンします。
[完了(送信)]	最後のページまでスキャンしたら、▼を押して[完了(送信)]を選択します（またはもう 1 度 **スタート** を押します）。 本製品が原稿を送信します。

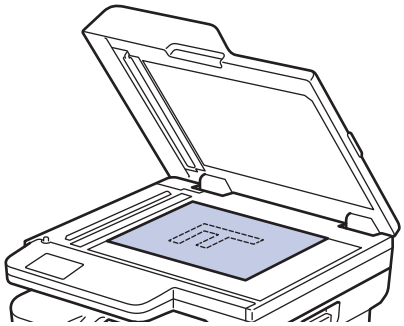
ファクスを停止するには、**停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 以下のいずれかを行ってください：
   - ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。
     （複数ページをファクスする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）



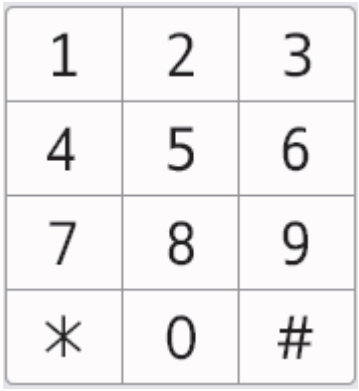
   - 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が[しない(受信したら印刷)]に設定されている場合は、 （[ファクス]）を押します。
   - みるだけ受信が[する(画面で確認)]に設定されている場合は、 （[ファクス]）を押したあと、[ファクス送信]を押します。

3. ファクス番号を入力します。
   - **ダイヤルパッドを使用する**

     数字を押して、ファクス番号を入力します。

   - **アドレス帳を使用する**

     電話帳（[電話帳]）を押して、以下のいずれかを実行します。

     - ▲または▼を押して希望の番号を表示させ、 これを押します。
     - を押し、名前を入力し、 [OK] を押します。ダイヤルしたい名前を押します。

     完了したら、[送信先に設定]を押します。
   - **通話履歴を使用する**

     履歴（[履歴]）を押してから、 [発信履歴] を押します。

     ▲または▼を押して希望のファクス番号を表示させ、 これを押します。

     ファクスを送信するには、 [送信先に設定] を押します。
4. [スタート]を押します。

   本製品は原稿をスキャンし、送信します。

   原稿台ガラスに原稿をセットする場合、表の指示に従ってください。

オプション	詳細
[はい]	次のページをスキャンするには、[はい] を押し、原稿台ガラスに次のページをセットします。[OK] を押して、ページをスキャンします。
[いいえ]	最後のページまでスキャンしたら、 [いいえ] を押します。 本製品が原稿を送信します。

ファクスを停止するには、を押します。

画面に[停止しますか?]が表示されたら、 [はい] を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ADF(自動原稿送り装置)を使って両面ファクスを送信する

関連モデル: MFC-L2880DW

両面ファクスを送信する前に、読み取り形式を選択する必要があります。原稿のレイアウトに応じて、長辺とじまたは短辺とじを選択してください。原稿のレイアウトによって、長辺とじ原稿か、短辺とじ原稿かを選択してください。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が［しない（受信したら印刷）］に設定されている場合は、 （［ファクス］）を押します。
   - みるだけ受信が［する（画面で確認）］に設定されている場合は、 （［ファクス］）を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ［設定変更］ > ［両面ファクス］を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - 長辺を綴じた原稿の場合は、［両面スキャン：長辺綴じ原稿］を押します。
   - 短辺を綴じた原稿の場合は、［両面スキャン：短辺綴じ原稿］を押します。
5. ［OK］を押します。
6. ファクス番号を入力します。
7. ［スタート］を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

手動でファクスを送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

手動送信を使用すると、ダイヤルトーン（ツーという音）、呼出音、またファクス受信音（ピーヒョロヒョロという音）を確認してファクスを送信することができます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. **オンフック/保留** を押して、ダイヤルトーンを聞きます。
4. 呼び出したいファクス番号をダイヤルします。
5. ファクス音が聞こえたら、**スタート**を押します。
   原稿台ガラスを使用している場合は、▲を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が［しない（受信したら印刷）］に設定されている場合は、 （［ファクス］）を押します。
   - みるだけ受信が［する（画面で確認）］に設定されている場合は、 （［ファクス］）を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ［ｵﾝﾌｯｸ］を押して、ダイヤルトーンを聞きます。
4. 呼び出したいファクス番号をダイヤルします。
5. ファクス音が聞こえたら、［スタート］を押します。
   原稿台ガラスを使用している場合は、［送信］を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

通話の最後にファクスを送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

電話を切る前に、ファクスを通話相手に送信できます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. 送信相手に、ファクス音（ビープ音）を待ち、スタートボタンを押してから電話を切るよう依頼します。
2. 原稿をセットします。
3. **スタート**を押します。
   原稿台ガラスを使用している場合は、▲を押します。
4. 受話器を元にもどします。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 送信相手に、ファクス音（ビープ音）を待ち、スタートボタンを押してから電話を切るよう依頼します。
2. 原稿をセットします。
3. ［ファクス送受信］を押します。
   原稿台ガラスを使用している場合は、［送信］を押します。
4. 受話器を元にもどします。

関連情報

- ファクスを送信する

複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

同じ原稿を複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信機能を使用します。

- 同一の同報送信には、グループ、電話帳の番号（一部の機種では、ショートカット番号や短縮ダイヤル番号）、手動で発信した番号（最大 50 件）を含めることができます。
- アドレス帳に登録されている番号（一部の機種では、ショートカット番号や短縮ダイヤル番号）を本製品のメモリーに登録してから同報送信を行うことができます。
- グループダイヤルを同報送信で使用する場合も、事前にグループダイヤルを製品のメモリーに登録する必要があります。グループダイヤルには、アドレス帳登録番号（一部の機種では、ショートカット番号や短縮ダイヤル番号）を含めることができ、これにより簡単に ダイヤルすることができます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

ショートカット番号や短縮ダイヤル番号にグループダイヤルを使用していない場合、最大 260 件の異なる番号にファクスを同報送信することができます。

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. 番号を入力し、 **OK** を押します。
   ショートカット、短縮ダイヤル、グループ番号やダイヤルパッドを使い手動で入力した番号を使用することができます。
   同報送信先のすべての番号を入力するにはこのステップを繰り返します。
4. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

電話帳にグループダイヤルを使用していない場合、最大 250 件の異なる番号にファクスを同報送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が［しない（受信したら印刷）］に設定されている場合は、（［ファクス］）を押します。
   - みるだけ受信が［する（画面で確認）］に設定されている場合は、（［ファクス］）を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ［設定変更］ > ［同報送信］を押します。
4. ［手動入力］を押します。
   以下の方法で、同報送信に番号を追加できます。
   - ［番号追加］を押し、液晶ディスプレーからファクス番号を入力します。
     ［OK］を押します。
   - ［電話帳から選択］を押して、番号を選択し、［OK］を押します。
   - ［検索して選択］を押し、番号を検索します。
     液晶ディスプレーを使い名前を入力し、［OK］を押します。

追加したい名前と番号を選択します。

- E メールアドレスを使用して同報送信する場合、 を押して E メールアドレスを入力してから、[OK]を押します。

  （機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

5. 完了したら、[OK]を押します。
6. [スタート]を押します。
7. 次のいずれかを行ってください：
   - ADF（自動原稿送り装置）を使用している場合、本製品は原稿をスキャンし、送信します。
   - 原稿台ガラスを使用している場合、本製品は最初のページのスキャンします。

     液晶ディスプレーに[次の原稿はありますか?]が表示されたら、表に記載されるいずれかのオプションを押します。

オプション	詳細
[はい]	[はい]を選択し、次のページをスキャンします。 次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。 すべてのページをスキャンするにはこのステップを繰り返します。
[いいえ]	[いいえ]を選択し、原稿を送信します。

- 本製品の利用可能なメモリーは、メモリー内のジョブの種類や、同報送信に使用される番号により異なります。利用可能な最大数の番号に同報送信する場合は、動作中の送信やタイマー送信は利用できません。
- [メモリがいっぱいです]メッセージが表示された場合、 または[中止する]を押してキャンセルするか、または[読み取り分送信]を押して今までスキャンしたページを送信します。

関連情報

- ファクスを送信する
  - 同報送信をキャンセルする

同報送信をキャンセルする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

同報送信中に、現在のあて先のみか、全ての送信先かを選んで送信をキャンセルすることができます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[通信待ち一覧]を表示し、**OK** を押します。
   画面にブロードキャストジョブ番号が表示され、次にダイヤルされたファクス番号（例：[#001 123456789]）、その後にブロードキャストジョブ番号（例：[同報送信#001]）が表示されます。
4. ▲または▼を押してダイヤルされたファクス番号またはブロードキャストジョブ番号を表示し、**OK** を押します。
5. 表に表示されるオプションを押し、キャンセルまたはキャンセルの処理を終了します。

オプション	詳細
▲	送信中のファクスをキャンセルします。
▼	キャンセルを中止し、キャンセル処理を終了します。

6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. を押します。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - すべての同報送信をキャンセルするには、[全ての同報送信]を押します。[はい]を押して確認するか、[いいえ]を押してブロードキャストをキャンセルせずに操作をやめます。
   - 現在のジョブをキャンセルするには、画面でキャンセルする名前または番号を押します。[はい]を押して確認するか、[いいえ]を押して送信中のファクスをキャンセルせずに操作をやめます。
   - キャンセルせずに終了する場合、を押します。

関連情報

- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

リアルタイム送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品は、ファクス送信する時、送信前に原稿を製品のメモリーに記憶します。電話回線につながり次第、本製品はダイヤルとファクス送信を始めます。重要な原稿を本製品がメモリーから読み取るのを待たずに、すぐに送信したい場合は、[リアルタイム送信]を有効にします。

- メモリーが一杯になった状態で ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送信しようとすると、本製品は（[リアルタイム送信]が[オフ]に設定されていたとしても）そのままファクスを送信します。メモリーが一杯になると、原稿台ガラスからファクスを送ることができません。一部のメモリーを消去してください。
- リアルタイム送信では、原稿台ガラスを使用しているときは自動再ダイヤル機能は機能しません。
- [リアルタイム送信]がオンに設定されていると、両面スキャンは利用できません。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. **メニュー**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[送信設定]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[ﾘｱﾙﾀｲﾑ送信]を表示し、**OK** を押します。
7. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]を表示し、**OK** を押します。
8. 完了したら、**停止/終了**を押します。
9. ファクス番号を入力します。
10. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が[しない(受信したら印刷)]に設定されている場合は、（[ファクス]）を押します。
   - みるだけ受信が[する(画面で確認)]に設定されている場合は、（[ファクス]）を押したあと、[ファクス送信]を押します。
3. [設定変更] > [リアルタイム送信]を押します。
4. [オン]または[オフ]を押します。
5. [OK]を押します。
6. ファクス番号を入力します。
7. [スタート]を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

時間を指定してファクスを送信する（タイマー送信）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

24 時間以内に送信するファクスを、50 件まで製品のメモリーに保存することができます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. **オプション**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾀｲﾏｰ送信]を表示し、**OK** を押します。
5. ファクスを送信する時間を入力します。
   - [時計ｾｯﾄ]設定で[12 時間表示]をセットする場合は、12 時間形式で時刻を入力し、**OK** を押します。
     ▲または▼を押して、[AM]または[PM]を表示し、**OK** を押します。
   - [時計ｾｯﾄ]設定で[24 時間表示]をセットする場合は、24 時間形式で時刻を入力し、**OK** を押します。
     （例：午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。）
6. ファクス番号を入力します。
7. **スタート**を押します。

メモリーにスキャンできるページ数は、各ページのデータ量に依存します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が[しない(受信したら印刷)]に設定されている場合は、 （[ファクス]）を押します。
   - みるだけ受信が[する(画面で確認)]に設定されている場合は、 （[ファクス]）を押したあと、[ファクス送信]を押します。
3. [設定変更] > [タイマー送信] > [タイマー送信]を押します。
4. [オン]を押します。
5. [指定時刻]を押します。
6. ファクスを送信する時間を入力します。
   - [時計セット]設定で[12 時間表示]をセットする場合は、12 時間形式で時刻を入力します。
     AM PM ボタンを押し、[AM]または[PM]を選択してから、[OK]を押します。
   - [時計セット]設定で[24 時間表示]をセットする場合は、24 時間形式で時刻を入力し、[OK]を押します。
     （例：午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。）
7. [OK]を押します。
8. ファクス番号を入力します。
9. [スタート]を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクス自動再ダイヤル設定を変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクスを自動送信中に回線が混み合っている場合、ファクス自動再ダイヤル設定がオンにされていれば、3 回まで 5 分間隔で再ダイヤルします。初期設定はオンです。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[送信設定]を表示し、**OK** を押します。
4. [自動再ﾀﾞｲﾔﾙ]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [送信設定] > [自動再ダイヤル]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクスに表紙を追加する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

次のファクスまたは送信するすべてのファクスに表紙を追加することができます。

- この機能は発信元を設定した場合にのみ作動します。
- 表紙には発信元、コメント、アドレス帳に保存されている名前、ショートカットまたは短縮ダイヤル（該当機種のみ）が印刷されます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. **オプション**を押します。
4. ▲または▼を押して、[送付書]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[オン]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、コメントオプションを表示し、**OK** を押します。
7. ダイヤルパッドを使用して合計ページ数を入力し、**OK** を押します。
8. 完了したら、**停止/終了**を押します。
9. ファクス番号を入力します。
10. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が[しない(受信したら印刷)]に設定されている場合は、（[ファクス]）を押します。
   - みるだけ受信が[する(画面で確認)]に設定されている場合は、（[ファクス]）を押したあと、[ファクス送信]を押します。
3. [設定変更] > [送付書] > [送付書設定]を押します。
4. [オン]を押します。
5. [送付書コメント]を押します。
6. ▲または▼を押して使用したいコメントを表示し、そのコメントを押します。
7. [枚数]を押します。
8. 合計ページ数を入力し、[OK]を押します。
9. を押します。
10. [OK]を押します。
11. ファクス番号を入力します。
12. [スタート]を押します。

次のファクスに表紙が追加されます。送信するすべてのファクスに表紙を追加したい場合は、現在の設定を初期値として保存します。

関連情報

- ファクスを送信する
  - 表紙のコメントを作成する

表紙のコメントを作成する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

最大 2 つの表紙コメントを作成して、送信ファクスに追加できます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[送信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[送付書ｺﾒﾝﾄ]オプションを表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[5.]または[6.]オプションを表示し、**OK** を押します。
7. ダイヤルパッドを使用してコメントを入力し、**OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [送信設定] > [送付書コメント]を押します。
2. [5.]または[6.]を押して、コメントを保存します。
3. 画面でコメントを入力し、[OK]を押します。
4. を押します。

関連情報

- ファクスに表紙を追加する

ファクス送信をキャンセルする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. 本製品がダイヤル中またはファクス送信中に**停止/終了**を押します。
2. 表のオプションを押して、進行中のファクスジョブをキャンセルまたは続行します。

オプション	詳細
▲	ファクス送信ジョブをキャンセルします。
▼	ファクス送信ジョブをキャンセルしません。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 本製品がダイヤル中またはファクス送信中に を押します。

   画面に［停止しますか?］が表示されます。
2. 表のオプションを押して、進行中のファクスジョブをキャンセルまたは続行します。

オプション	詳細
［はい］	ファクス送信ジョブをキャンセルします。
［いいえ］	ファクス送信ジョブをキャンセルしません。

関連情報

- ファクスを送信する

送信待ちファクスを確認、キャンセルする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクスがメモリーに保存されている間は、ファクスジョブを送信する前にキャンセルできます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[通信待ち一覧]を表示し、**OK** を押します。
   メモリーに待機中の送信待ちのジョブが画面に表示されます。
5. ▲または▼を押してキャンセルしたいジョブを表示し、**OK** を押します。
6. 次の表に表示されるオプションを押し、キャンセルまたはキャンセルの処理を終了します。

オプション	詳細
▲	ジョブをキャンセルします。
▼	キャンセルを中止し、キャンセル処理を終了します。

7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [通信待ち一覧]を押します。
2. 確認したいファクスジョブやキャンセルしたいファクスジョブに対して下記の操作を行います。
   a. ▲または▼を押して送信待ちのジョブをスクロールして表示し、キャンセルしたいジョブを押します。
   b. [停止]を押します。
   c. [はい]を押してファクスジョブをキャンセルするか、[いいえ]を押してキャンセルせずに終了します。
3. ジョブのキャンセルが終わったら、を押します。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクスオプション

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

ファクスの送信設定を変更するには、**オプション**ボタンを押します。

オプション	詳細
[ﾌｧｸｽ画質]	ファクス送信するときの画質を設定します。 ファクス画質を変更することで、ファクスの画質が改善されます。
[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	コントラストを設定します。 原稿が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は、コントラストを変更することで、ファクスの画質が改善される場合があります。
[原稿台ｽｷｬﾝｻｲｽﾞ]	原稿のサイズに合わせて、原稿台ガラスのスキャン範囲を調整します。
[ﾀｲﾏｰ送信]	指定した時刻にファクスを送信します。
[ﾘｱﾙﾀｲﾑ送信]	製品のメモリーからデータが読み取られるのを待たずに、すぐにファクスを送信します。
[送付書]	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
[海外送信ﾓｰﾄﾞ]	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス送信設定を変更するには、 [設定変更]を押します。

オプション	詳細
[ファクス画質]	ファクス送信するときの画質を設定します。 ファクス画質を変更することで、ファクスの画質が改善されます。
[原稿濃度]	コントラストを設定します。 原稿が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は、コントラストを変更することで、ファクスの画質が改善される場合があります。
[両面ファクス] (自動両面スキャンモデル用)	両面読み取りの形式を設定します。
[原稿台スキャンサイズ]	原稿のサイズに合わせて、原稿台ガラスのスキャン範囲を調整します。
[同報送信]	1 回の操作で複数の相手先に同じ原稿を送ります。
[タイマー送信]	指定した時刻にファクスを送信します。
[リアルタイム送信]	製品のメモリーからデータが読み取られるのを待たずに、すぐにファクスを送信します。
[送付書]	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
[海外送信モード]	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
[履歴]	履歴から番号を選択します。
[電話帳]	電話帳から番号を選択します。

オプション	詳細
[設定を保持する]	現在の設定を初期値として保存します。
[設定をリセットする]	設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]を押して、現在の設定を保存できます。

関連情報

- ファクスを送信する

ファクスを受信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信モードの設定
- メモリー受信オプション
- リモコン機能

受信モードの設定

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信モードの概要
- 正しい受信モードを選択する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する
- 親切受信を設定する
- サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する
- 受信ファクスを両面印刷するように設定する
- ファクス受信スタンプの設定
- 電話通話の最後にファクスを受信する
- 受信ファクスを制限する
- ファクス無鳴動受信を設定する

受信モードの概要

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

一部の受信モードは自動的に応答します（ファクス専用モード、F/T=自動切換えモード）。 これらのモードを使用する前に、呼出ベル回数を変更してください。

ファクス専用モード

（製品のメニューでは[FAX=ファクス専用]）

ファクス専用モードでは、すべての着信をファクスとして自動的に応答します。

F/T=自動切換えモード

（製品のメニューでは[F/T=自動切換え]）

F/T=自動切換えモードを使うと、ファクスか音声通話かを認識し、次の方法で応答するので、着信の管理に便利です。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、再呼出ベルで電話に出るようお知らせします。再呼出ベルは、本製品で作られた高速の擬似呼出音/二重呼び出し音です。

手動モード

（製品のメニューでは[TEL=電話]）

手動モードでファクスを受信するには、本製品に接続されている外付け電話の受話器を取るか、表のボタンを押します。

対象モデル	受話器を取る別の方法
FAX-L2800DW	**オンフック/保留**
MFC-L2860DW/MFC-L2880DW	[ｵﾝﾌｯｸ]

ファクス受信音（「ポーポー」という音）が聞こえたら表のボタンを押し、ファクスを受信します。親切受信機能を使い、本製品と接続している電話機の受話器を取ることでファクスを受信することもできます。

対象モデル	ファクスを受信するには
FAX-L2800DW	**スタート**、そして▼
MFC-L2860DW/MFC-L2880DW	[ファクス送受信] > [受信]

外付け留守番電話機モード

（製品のメニューでは[留守=外付け留守電]）

外付け留守番電話機モードでは外付け留守番電話機が着信を管理します。

着信は下記のように判別されます。

- ファクスの場合は自動的に受信します。
- 音声通話の場合は、外付け留守番電話機にメッセージを録音します。

関連情報

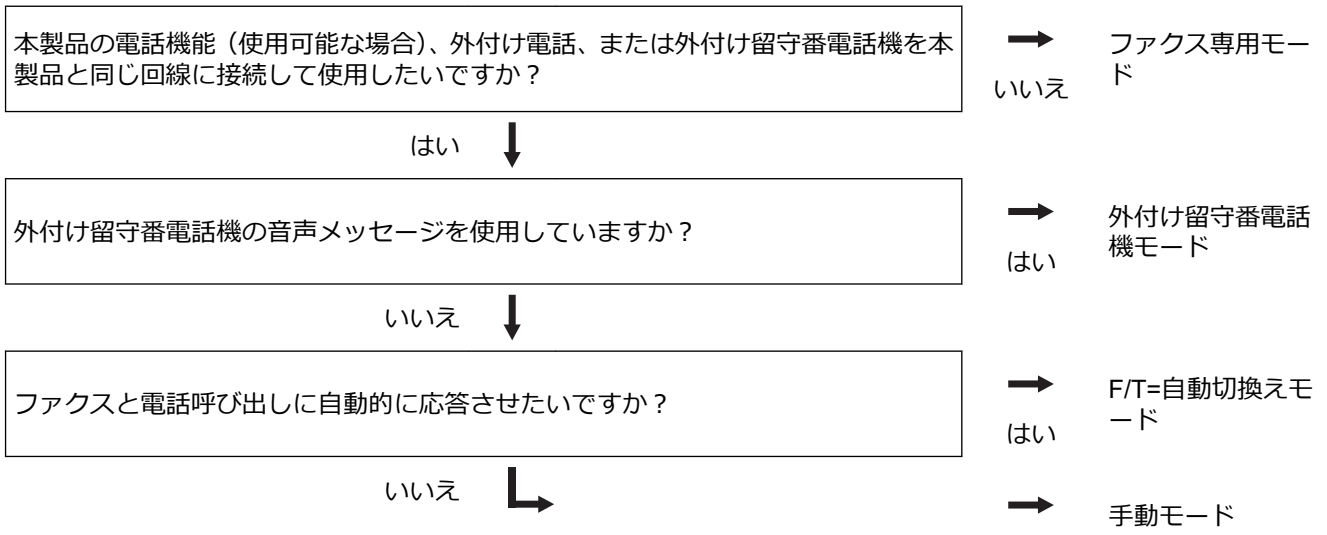
- 受信モードの設定

正しい受信モードを選択する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

お使いの回線で使用している外部機器および電話サービスに合わせて、受信モードを選択する必要があります。

お買い上げ時の設定では、本製品は送られてきたファクスを自動的にすべて受信します。下記を参考に、正しいモードを選択してください。



>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[受信ﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して[FAX=ファクス専用]、[F/T=自動切換え]、[留守=外付け留守電]または[TEL=電話]を選択し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信モード]を押します。
2. ▲または▼を押して、[FAX=ファクス専用]、[F/T=自動切換え]、[留守=外付け留守電]または[TEL=電話]を表示させ、使用したいオプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品に着信があると、通常の着信音が鳴ります。着信音の回数は、呼出ベル回数オプションで設定します。

- 呼出ベル回数設定で、ファクス専用モードと F/T=自動切換えモードのときに自動受信するまでの着信音の回数を設定します。
- 製品と同じ回線に外付けおよび内線電話がある場合、着信回数の最大値を選択します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[呼出ﾍﾞﾙ回数]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押し、本製品が応答するまでに呼び出し音を鳴らす回数を選択してから、 **OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

[00]を選択した場合、着信音は鳴らず、自動受信します（一部の地域でのみ利用可能）。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [呼出ベル回数]を押します。
2. 本製品が応答するまでに呼び出し音を鳴らす回数を押します。

[0]を選択した場合、着信音は鳴らず、自動受信します（一部の地域でのみ利用可能）。

3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

関連トピック：

- 電話とファクスの問題

再呼出ベル回数を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

受信モードが F/T=自動切換えモードに設定されていると、着信がファクスの場合に、本製品は自動的にファクスを受信します。しかし、着信が音声通話の場合、本製品は再呼出ベル回数オプションで設定した回数だけ再呼出ベル（疑似／二重呼び出し音）を鳴らします。再呼出ベルが聞こえた場合、音声通話の着信が入っているということが分かります。

再呼出ベル回数機能は、F/T=自動切換えモードを受信モードにしている場合にご利用になれます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［受信設定］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［再呼出ベル回数］を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、音声通話の呼出しベルの回数を表示し、 **OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

再呼出ベルが鳴っている間に発信者が電話を切った場合でも、製品は設定されている回数だけ再呼出ベルを鳴らします。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［再呼出ベル回数］を押します。
2. 音声通話の呼出しベルが鳴る希望の回数を押します。
3. を押します。

再呼出ベルが鳴っている間に発信者が電話を切った場合でも、製品は設定されている回数だけ鳴らします。

関連情報

- 受信モードの設定

親切受信を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

親切受信がオンの場合：本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は、約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。画面に［受信中］と表示されたら受話器を戻します。

親切受信がオフの場合：本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は相手がファクスですので、下の表のボタンを押して、ファクスを受信します。本製品に接続されている電話機から、リモート起動番号（#51）を押して、リモート受信することもできます。

対象モデル	ファクスを受信するには
FAX-L2800DW	**スタート**、そして▼
MFC-L2860DW/MFC-L2880DW	［ファクス送受信］>［受信］

この機能が［オン］に設定されていても、自動的にファクスに切り替わらないときは、本製品に接続されている電話機から、リモート起動番号（#51）を押して受信します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［受信設定］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［親切受信］を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、［ｵﾝ］または［ｵﾌ］を表示し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［親切受信］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

サイズを超えた受信ファクスのサイズを縮小する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

自動縮小機能を有効にすると、お使いの用紙に合わせて受信ファクスのページを適宜縮小します。ファクスの用紙サイズと用紙サイズ設定から、本製品が縮小率を計算します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[自動縮小]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [自動縮小]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

受信ファクスを両面印刷するように設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

［両面印刷］が［オン］に設定されている場合、受信したファクスは用紙の両面に印刷されます。

- この機能では、A4 サイズの用紙（60～105 g/m^2）を使用してください。
- 両面印刷設定が有効になっていると、受信したファクスが用紙トレイにセットされている用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［受信設定］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［両面印刷］を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、［ｵﾝ］または［ｵﾌ］を表示し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［両面印刷］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

ファクス受信スタンプの設定

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

受信した日付と時刻を受信したファクスページの上中央に印字するよう設定することができます。

- 製品に現在の日付と時刻を設定していることを確認してください。
- インターネットファクスを使用している場合は、受信した日付と時刻は表示されません。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[受信スタンプ]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信スタンプ]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

電話通話の最後にファクスを受信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

通話中、通話先がファクス機に接続している電話で通話している場合、双方が電話を切る前に通話先からファクスを受けることができます。

その場合、お使いの ADF（自動原稿送り装置）が空であることを確認してください。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. ファクス機に原稿を置いて、スタートキーまたは送信ボタンを押してもらうよう相手側に依頼します。
2. CNG トーン（ゆっくり繰り返すビープ音）が聞こえたら、**スタート**を押します。
3. ▼を押してファクスを受信します。
4. 受話器を元にもどします。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ファクス機に原稿を置いて、スタートキーまたは送信ボタンを押してもらうよう相手側に依頼します。
2. CNG トーン（ゆっくり繰り返すビープ音）が聞こえたら、［ファクス送受信］を押します。

- スリープモード中で液晶ディスプレーが暗い場合、ディスプレーに触れて［ファクス］を表示させて、［ファクス送受信］を押します。
- 本製品が自動リダイヤルに設定されている場合、ビープ音の終了後、再度ボタンを押します。

3. ［受信］を押してファクスを受信します。
4. 受話器を元にもどします。

関連情報

- 受信モードの設定

受信ファクスを制限する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信ファクス制限の方法を選択する
- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける
- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

受信ファクス制限の方法を選択する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品には受信ファクスを制限する方法が 2 つあります。特定の番号からのファクス受信のみを受け付けるには、許可リストを使用します。特定の番号からのファクスを受信しないようにするには、拒否リストを使用します。

> 許可リスト機能と拒否リスト機能を使用するには、ご利用の電話会社でナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [制限方法]を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[オフ]	受信ファクス機能を使用しない場合は、[オフ]を選択します。
[許可リスト]	登録済みの番号のみからファクスを受信する場合は、[許可リスト]を選択します。
[拒否リスト]	登録済みの番号からのファクスを受信しないようにする場合は、[拒否リスト]を選択します。

3. を押します。

関連情報

- 受信ファクスを制限する

登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信許可リストに番号を登録する
- 許可リストから番号を削除する
- 許可リストを印刷する

受信許可リストに番号を登録する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

知っている番号からのファクス受信のみを許可したい場合は、番号を受信許可リストに登録します。

- ご利用の電話会社で、ナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。
- この機能では、着信電話や受信ファクスがブロックされます。
- 着信履歴機能は、一部の国ではご利用いただけません。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［着信制限］>［許可リスト］>［登録］を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
［電話帳と連動］	許可リストと電話帳を同期させる場合は、［電話帳と連動］を選択します。 画面の指示に従って、同期機能を有効／無効にします。
［手動入力］	番号を許可リストに手動で追加する場合は、［手動入力］を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。
［発信履歴］	発信履歴から番号を追加する場合は、［発信履歴］を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。
［着信履歴］	着信履歴から番号を追加する場合は、［着信履歴］を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。

3. を押します。

関連情報

- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける

許可リストから番号を削除する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［着信制限］>［許可リスト］>［消去］を押します。
2. ▲または▼を押して削除する番号を表示し、その番号を押して選択し、［OK］を押します。
3. ［はい］を押します。
4. を押します。

関連情報

- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける

許可リストを印刷する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［着信制限］>［許可リスト］>［レポート印刷］を押します。
2. ［はい］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける

特定の番号からのファクス受信を拒否する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信拒否リストに番号を登録する
- 拒否リストから番号を削除する
- 拒否リストを印刷する

受信拒否リストに番号を登録する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

特定の番号からファクスや通話を受信したくない場合は、その番号を受信拒否リストに登録します。本製品は着信履歴メモリーから 100 件までファクスまたは電話番号を登録できます。

- ご利用の電話会社で、ナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。
- 登録する番号は、着信履歴メモリーに登録されている必要があります。
- 着信履歴機能は、一部の国ではご利用いただけません。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［拒否リスト］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［登録］を表示し、**OK** を押します。
   本製品は着信履歴メモリーの番号を表示します。
6. ▲または▼を押して登録したい番号を表示し、**OK** を押します。
7. ▲を押し、番号を登録します。

番号を登録せずに戻るには、▼を押します。

8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［着信制限］>［拒否リスト］>［登録］を押します。
   本製品は着信履歴メモリーの番号を表示します。
2. ▲または▼を押して登録したい番号を表示し、それを押します。
3. ［はい］を押します。
4. を押します。

関連情報

- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

拒否リストから番号を削除する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[拒否リスト]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[消去]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して削除したい番号を表示させ、**OK** を押します。
7. ▲を押し、番号を削除します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [拒否リスト] > [消去]を押します。
2. ▲または▼を押して削除する番号を表示し、表示された番号を押します。
3. [OK]を押します。
4. [はい]を押します。
5. を押します。

関連情報

- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

拒否リストを印刷する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［拒否リスト］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、［印刷］を表示し、**OK** を押します。画面メニューの指示に従います。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［着信制限］>［拒否リスト］>［レポート印刷］を押します。
2. ［はい］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

ファクス無鳴動受信を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

受信モードが電話とファクス自動切り替えに設定されている場合、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［受信設定］を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押し、［ﾌｧｸｽ無鳴動受信］を選択して **OK** を押します。
6. ▲または▼を押し、［ｵﾝ］を選択して **OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［受信設定］>［ファクス無鳴動受信］を押します。
2. ［オン］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 受信モードの設定

メモリー受信オプション

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品から離れているときは、メモリー受信を使って受信ファクスを管理することができます。メモリー受信オプションは一度につき 1 つのみ使用可能です。

メモリー受信は下記のオプションに設定できます：

- PC ファクス受信
- ファクス転送
- メモリ保持のみ
- ファクスクラウド転送（受信ファクスはオンラインサービスに転送されます。）
- オフ

- PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）
- 受信ファクスを別のファクス機に転送する
- 本製品のメモリーに受信ファクスを保存する
- メモリー受信オプションを変更する
- メモリー受信をオフにする
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する

PC-FAX 受信を使用して受信したファクスをパソコンに転送する（Windows のみ）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

PC-FAX 受信機能をオンにすると、本製品のメモリーに受信ファクスが自動的に保存され、お使いのパソコンに送信されます。パソコンを使用して、これらのファクスを表示または保存します。

パソコンに受信ファクスを転送するには、お使いのパソコンで実行する PC-FAX 受信ソフトウェアをインストールしておく必要があります。

パソコンの電源を切った場合でも（夜間や週末など）、本製品はファクスを受信し、メモリーに保存していきます。

パソコンを起動し PC-FAX 受信ソフトウェアが動作すると、本製品は自動的にファクスをパソコンに転送します。

バックアップ印刷安全機能をオンに設定すると、製品によりファクスも印刷されます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[PCﾌｧｸｽ受信]を表示し、**OK** を押します。

- PC-Fax 受信機能は macOS では利用できません。
- エラーメッセージが出て、メモリーに保存されているファクスを印刷できない場合、この設定を使い、ファクスをパソコンに転送することができます。

6. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]を表示し、**OK** を押します。
7. **OK** を押します。
8. ▲または▼を押し、[<USB>]またはパソコン名を表示させてから、**OK** を押します。
9. ▲または▼を押し、[する]または[しない]（バックアップ印刷設定の場合）を表示させてから、**OK** を押します。
10. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [PC ファクス受信]を押します。
2. [オン]を押します。

- PC-Fax 受信機能は macOS では利用できません。
- エラーメッセージが出て、メモリーに保存されているファクスを印刷できない場合、この設定を使い、ファクスをパソコンに転送することができます。

3. [OK]を押します。
4. [<USB>]を押すか、ネットワークに接続している場合はファクス受信したいパソコンの名前を押してから、[OK] を押します。

5. [本体でも印刷する]または[本体では印刷しない]を押します。
6. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

受信ファクスを別のファクス機に転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス転送機能を使って、受信するファクスを自動的に別のファクス機に転送します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[転送/ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ転送]を表示し、**OK** を押します。
   液晶ディスプレーはファクス転送先番号を入力するように表示します。
6. 次のいずれかを行ってください：
   - ダイヤルパッドを使用して番号を入力し（最大 20 桁）、**OK** を押します。
   - **プリセット**ボタンを長押しして、1 桁のコードを押します。
     OK を押します。
   - および 3 桁のコードを押して、**OK** を押します。
     OK を押します。

   - インターネットファクス機能が設定されている場合、E メールアドレスを入力することができます。
   - **プリセット**キーや短縮ダイヤルコードにグループを登録している場合は、ファクスは複数のファクス番号に転送されます。

7. ▲または▼を押して、バックアップ印刷設定をオン/オフにします。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信]を押します。
2. [ファクス転送]を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - [手動入力]を押して、液晶ディスプレーから転送ファクス番号（最大 20 桁）を入力します。
     [OK]を押します。
   - [電話帳]を押します。
     ▲または▼を押して転送先ファクス番号を表示します。
     転送先ファクス番号を押します。

お願い

[本体でも印刷する]または[本体では印刷しない]を押します。[本体でも印刷する]を選択すると、本製品が受信したファクスのコピーも印刷します。

ファクスをメール転送するには、 を押して E メールアドレスを入力し、[OK]を押します。

（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

4. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

本製品のメモリーに受信ファクスを保存する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス保持機能を使用して、本製品のメモリーに受信ファクスを保存します。ファクス機から離れた場所にいる場合、リモコンコードを使用して、保存されているファクスメッセージをファクス機から取り出します。お使いの製品は、保存されているファクスをバックアップ印刷します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[転送/ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。

お願い

▲または▼を押し、バックアップ印刷設定をオン/オフにします。バックアップ印刷設定をオンに選択すると、本製品が受信したファクスの印刷も行います。（特定のモデルのみ対応）

6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信]を押します。
2. [メモリ保持のみ]を押します。

お願い

[本体でも印刷する]または[本体では印刷しない]を押します。[本体でも印刷する]を選択すると、本製品が受信したファクスの印刷も行います。（特定のモデルのみ対応）

3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

メモリー受信オプションを変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

メモリー受信オプションを変更する際に、お使いの製品のメモリー内に受信したファクスがある場合、画面に次のいずれかの質問が表示されます：

受信したファクスが印刷済みの場合、画面に [ﾌｧｸｽを消去しますか?] と表示されます。

- 次のいずれかを行ってください：
  - ▲を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスを消去します。
  - ▼を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

印刷されていないファクスがメモリー内に存在する場合、画面に [全てのﾌｧｸｽをﾌﾟﾘﾝﾄしますか?] と表示されます。

- 次のいずれかを行ってください：
  - ▲を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスが印刷されます。バックアップコピーが印刷済みの場合、再印刷されません。
  - ▼を押すと、メモリー内のファクスは印刷されず、設定も変更されません。

他のオプション（[ﾌｧｸｽ転送]や[ﾒﾓﾘ受信]）から [PCﾌｧｸｽ受信] に変更した際に、受信したファクスが本製品のメモリ内に残っている場合。

- ネットワークに接続中の場合、[<USB>]またはパソコン名を選択し、**OK** を押します。

  画面に以下のとおり表示されます。

  [ﾌｧｸｽを PC に転送しますか?]
  - ▲を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスがパソコンに送信されます。本体でも印刷するように設定するか尋ねられます。
  - ▼を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リモートファクスの操作を変更したときに、受信したファクスが製品のメモリーにある場合、次の質問のいずれかが画面に表示されます。

受信したファクスが印刷済みの場合、画面に [ファクスを消去しますか?] と表示されます。

- 次のいずれかを行ってください：
  - [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスを消去します。
  - [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

印刷されていないファクスが製品のメモリー内に存在する場合、画面に [全てのファクスをプリントしますか?] と表示されます。

- 次のいずれかを行ってください：
  - [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスが印刷されます。
  - [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは印刷されず、設定も変更されません。

他のオプション（[ファクス転送]、[メモリ保持のみ]または[ファクス クラウド転送]）から [PC ファクス受信] に変更した際に、受信したファクスが本製品のメモリ内に残っている場合。

- ネットワークに接続中の場合、[<USB>]またはパソコン名を押し、[OK]を押します。本体でも印刷するように設定するか尋ねられます。

  画面に以下のとおり表示されます。

  [ファクスを PC に転送しますか?]

- [はい]を押すと、設定変更前にメモリー内のファクスがパソコンに送信されます。
- [いいえ]を押すと、メモリー内のファクスは消去されず、設定も変更されません。

関連情報

- メモリー受信オプション

メモリー受信をオフにする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品が受信ファクスを保存または転送しないように設定する場合は、メモリー受信をオフにします。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[転送/ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。

本製品のメモリーに受信ファクスが残っている場合、画面に選択項目が表示されます。

6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信]を押します。
2. [オフ]を押します。

本製品のメモリーに受信ファクスが残っている場合、画面に選択項目が表示されます。

3. を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス保存機能をオンに設定すると、製品のメモリーからファクスを印刷することもできます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ出力]を表示し、**OK** を押します。
5. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ファクス出力]を押します。
2. [はい]を押します。

関連情報

- メモリー受信オプション

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

リモコン機能

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リモコン機能を使うと、電話回線のトーン信号から本製品を呼び出すことができ、暗証番号とリモコンコードを使ってファクスを取り出すことができます。

- 暗証番号を設定する
- 暗証番号を使用する
- リモコンコード
- リモコン機能を使ってファクス転送する
- ファクス転送先の番号を変更する

暗証番号を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

離れた場所からでも本製品へのアクセスと制御を行えるよう、暗証番号を設定します。

リモコン機能を使うには、暗証番号を設定しておく必要があります。お買い上げ時の番号は無効な番号（---*）になっています。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[暗証番号]を表示し、**OK** を押します。
5. **0** から **9** までの数字を使用して 3 桁のコードを入力するか、***** または**#** を入力し、**OK** を押します。

   - 暗証番号を無効にするには、 **クリア** を押し、このステップで 3 桁のコードを削除します。次に **OK** を押します。
   - ***** をプリセットすることはできません。

6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [暗証番号]を押します。
2. 液晶ディスプレーを使い[0] から [9] までの数字を 3 桁入力するか、 [*] または [#] を入力し（プリセットの「*」は変更できません）[OK] を押します。

   暗証番号を無効にするには、 を長押しして未設定の状態（---*）に戻し、[OK]を押します。

3. を押します。

関連情報

- リモコン機能

暗証番号を使用する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. タッチトーンを使用している電話やファクス機から、ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、すぐに暗証番号（3 桁の後に*）を入力します。
3. 本製品がメッセージを受信している場合は、信号音が鳴ります。
   - 長いビープ音 1 回：ファクスメッセージ
   - ビープ音なし：メッセージなし
4. ピピッと 2 回鳴った場合は、リモコンコードを入力します。
   - リモコンコードを入力するまでに 30 秒以上経った場合は、通信が切れます。
   - 無効なリモコンコードが入力された場合は、ピピピッと 3 回鳴ります。
5. 操作を終了したら、90 を押して製品をリセットします。
6. 電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

リモコンコード

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

外出先など、本製品から離れているときにファクス操作をするには、下表のリモコンコードを使用します。本製品に電話をし、暗証番号（3 桁の番号と*）を入力します。ピピッと 2 回鳴ったら、リモコンコード（1 列目）に続けて、オプションコード（2 列目）を入力してください。

リモコンコード	オプション	詳細
95	**ファクス転送、またはメモリー保持のみ設定を変更する**	
	1　オフ	すべてのファクスメッセージを受信、または消去した後に、オフを選択できます。
	2　ファクス転送	正しく受け付けられた場合は、ピーッという音が長く 1 回鳴ります。正しく受け付けられなかった場合は、設定が不十分なため変更されず、ピピピッと 3 回鳴ります（例えば、ファクス転送先番号が未登録の場合）。 4 を押すことで、ファクス転送先番号を登録できます。番号を登録後、ファクス転送することができます。
	4　ファクス転送先番号	
	6　メモリー保持のみ	
96	**ファクスを取り出す**	
	2　全てのファクスを取り出す	メモリーに保存されたファクスを受信するために、離れた場所にあるファクス機のファクス番号を入力します。
	3　メモリーからファクスを消去する	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、メモリーからファクスが消去されたことを示します。
97	**受信状態を確認する**	
	1　ファクス	お使いの本製品がファクスを受信したかどうかを確認します。ファクスを受信している場合、ビーッという音が長く 1 回鳴ります。ファクスを受信していない場合、ピピピッと 3 回鳴ります。
98	**受信モードを変更する**	
	1　留守=外付け留守電	ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、変更が受け付けられたことを示します。
	2　F/T=自動切換え	
	3 FAX=ファクス専用	
90	**終了する**	リモコンアクセスを終了するには、**9 0** を押します。ピーッという音が長く 1 回鳴ったら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

リモコン機能を使ってファクス転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

トーン信号の出せる電話機またはファクス機から本製品を呼び出して、受信ファクスを別のファクス機に転送します。

この機能を使うには、メモリ保持機能を有効にする必要があります。

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の後に*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、962 を押します。
4. 長いビープ音を待ってから、ダイヤルパッドを使用して、ファクス送信先のリモートファクス機の番号を入力し、続けて「# #」（最大 20 桁）を入力します。
5. 本製品のビープ音が聞こえたら、電話を切ります。本製品が相手のファクス機を呼び出すと、相手側のファクス機がファクスメッセージを印刷します。

関連情報

- リモコン機能

ファクス転送先の番号を変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

他のトーン信号の出せる電話機、またはファクス機からファクス転送番号を変更できます。

1. ファクス番号をダイヤルします。
2. 本製品が応答したら、暗証番号（3 桁の後に*）を入力します。「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージがあります。
3. ピピッと 2 回聞こえたら、954 を押します。
4. 長いピーッという音を待ってから、ダイヤルパッドを使用して、新しいファクス転送先のファクス番号(20 桁まで)を入力して、最後に# #を入力します。

   ビーッという音が長く 1 回鳴ります。
5. 短いビープ音がピピッと 2 回鳴った場合は、90 を押してリモコンアクセスを停止します。
6. 本製品のビープ音が聞こえたら、電話を切ります。

関連情報

- リモコン機能

電話帳

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ファクス/電話番号を登録する
- ショートカットでダイヤルする
- 短縮ダイヤルでダイヤルする
- 同報送信のグループダイヤルを設定する

ファクス/電話番号を登録する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 電話帳に登録する
- 電話帳の名前や番号を変更、または削除する

電話帳に登録する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [（ファクス）] > [電話帳] を押します。
2. 次のステップを行います。
   a. [設定] を押します。
   b. [電話帳登録] を押します。
   c. [名前] を押します。
   d. 液晶ディスプレーを使用し名前を入力し（最大 16 字）、 [OK] を押します。
      名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
   e. [宛先] を押します。
   f. 液晶ディスプレーを使用し番号を入力し（最大 20 桁）、 [OK] を押します。

   インターネットファクスまたはスキャン to E メールサーバー機能を使うために E メールアドレスを登録するには、を押して E メールアドレスを入力し、 [OK] を押します。
   （機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）
   g. [OK] を押します。

   別の相手先の番号を電話帳に登録する場合は、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する
  - 発信履歴から電話帳に番号を登録する

発信履歴から電話帳に番号を登録する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

発信履歴から番号をコピーして、電話帳に登録できます。

1. [（ファクス）] > [履歴] > [発信履歴] を押します。
2. 希望の番号を押します。
3. [設定] > [電話帳に登録] > [名前] を押します。

番号を削除するには、[設定] > [消去] を押します。[はい] を押して確認します。

4. 液晶ディスプレーを使用し名前を入力します（最大 16 字 ）。
5. [OK] を押します。
   名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
6. [OK] を押して、登録するファクスまたは電話番号を確認します。
7. を押します。

関連情報

- 電話帳に登録する

電話帳の名前や番号を変更、または削除する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [（ファクス）] > [電話帳] > [設定] を押します。
2. 以下のいずれかを行ってください：

   [変更] を押して、名前、ファクス番号または電話番号を編集します。

   ▲または▼を押して変更したい番号を表示させ、それを押します。

   - 名前を変更するには、[名前] を押します。画面で新しい名前（最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。

     名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
   - ファクスまたは電話番号を変更するには、[宛先] を押します。画面で新しいファクス番号または電話番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。

   [OK] を押して操作を終了します。

   テキストの入力方法：

   文字を変更するには、◀または▶を押して対象の文字にカーソルを合わせて反転表示し、 を押します。新しい文字を入力します。

   番号を削除するには、▲または▼を押して [消去] を表示させ、[消去] を押します。

   削除するファクスまたは電話番号を押してチェックマークが表示されたら、[OK] を押します。
3. を押します。

関連情報

- ファクス/電話番号を登録する

ショートカットでダイヤルする

関連モデル: FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. **プリセット**ボタンを長押しし、ダイヤルしたいファクスまたは電話番号に割り当てられた 1 桁のコードを押します。
4. **スタート**を押します。

関連情報

- 電話帳
  - ファクス番号のショートカットを作成する
  - ファクス番号のショートカットを変更または削除する

ファクス番号のショートカットを作成する

関連モデル: FAX-L2800DW

ファクス番号のショートカットは 10 個登録することができ、**プリセット**ボタンを使いアクセスします。

1. （**ファクス**）を押します。
2. **プリセット**ボタンを長押しし、ダイヤルパッドの番号を 1 つ押します。この番号が保存するファクス番号の 1 桁のショートカットコードになります。
   ファクス番号がこの 1 桁のコードでまだ登録されていない場合、液晶ディスプレーに [登録しますか?] が表示されます。
3. ▲を押します。

お願い

インターネットファクス（I-Fax）とその設定は保存できます。
（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

4. 電話またはファクス番号（最大 20 桁）を入力し、**OK** を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - ダイヤルパッドを使用して名前（最大 16 文字）を入力し、**OK** を押します。
   - 名前なしで番号を保存する場合は **OK** を押します。

関連情報

- ショートカットでダイヤルする

ファクス番号のショートカットを変更または削除する

関連モデル: FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、[電話帳/ｼｮｰﾄｶｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. **プリセット**ボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い変更または削除する 1 桁のショートカットコードを押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 保存済みの名前と番号を変更するには：
     a. ▲を押します。
     b. 名前と番号の編集：
     保存済みの名前と番号を編集するには、◀または▶を押して変更したい文字にカーソルを置き、**クリア**を押します。
     目的の文字を入力し、**OK** を押します。
   - 保存済みの名前と番号を削除するには：
     a. ▼を押します。
     b. ▲を押して確認します。
   - 変更せずに終了するには、**停止/終了**を押します。
6. **停止/終了**を押します。

関連情報

- ショートカットでダイヤルする

短縮ダイヤルでダイヤルする

関連モデル: FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - を 2 回押して、3 桁の短縮ダイヤルコードを入力します。
   - を押します。

     名前の最初の数文字をダイヤルパッドボタンを使って入力し、**OK** を押します。

     ▲または▼を押し、探している名前が表示されるまでスクロールし、**OK** を押します。
4. **OK** を押します。
5. **スタート**を押します。

関連情報

- 電話帳
  - 短縮ダイヤル番号を保存する
  - 短縮ダイヤル番号を変更または削除する

短縮ダイヤル番号を保存する

関連モデル: FAX-L2800DW

短縮ダイヤル番号機能では、名前で最大 200 件まで保存できます。

1. （**ファクス**）を押します。
2. を 2 回押して、3 桁の短縮ダイヤルコードを入力します（001～200）。**OK** を押します。

   番号が保存されていない場合、液晶ディスプレイに［登録しますか?］が表示されます。
3. ▲を押します。

お願い

インターネットファクス（I-Fax）とその設定は保存できます。

（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

4. 電話またはファクス番号（最大 20 桁）を入力し、**OK** を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - ダイヤルパッドを使用して名前（最大 16 文字）を入力し、**OK** を押します。
   - 名前なしで番号を保存する場合は **OK** を押します。

関連情報

- 短縮ダイヤルでダイヤルする

短縮ダイヤル番号を変更または削除する

関連モデル: FAX-L2800DW

短縮ダイヤルコードを変更または削除できます。

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、[電話帳/短縮]を表示し、**OK** を押します。
4. 変更または削除したい短縮ダイヤルコードを入力し、**OK** を押します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
   - 保存済みのファクスまたは電話の番号と名前を変更するには：
     a. ▲を押します。
     b. 番号と名前の編集：
     保存済みの番号または名前を編集するには、◀または▶を押して変更したい文字にカーソルを置き、**クリア**を押します。
     目的の文字を入力し、**OK** を押します。
   - 保存済みのファクスまたは電話の番号と名前を削除するには：
     a. ▼を押します。
     b. ▲を押して確認します。
   - 変更せずに終了するには、**停止/終了**を押します。
6. **停止/終了**を押します。

関連情報

- 短縮ダイヤルでダイヤルする

同報送信のグループダイヤルを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

単一のファクスを複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信グループを作成します。お使いのモデルによっては、製品のアドレス帳、ショートカットまたは短縮ダイヤルに同報送信グループを保存できます。

まず電話帳にファクス番号を登録する必要があります。次に、その番号をグループダイヤルに登録します。各グループはアドレス帳（一部の機種ではショートカットまたは短縮ダイヤル）に登録された番号を使用します。

対象モデル	グループ登録最大数	グループ登録最大数
FAX-L2800DW	20	209
MFC-L2860DW/MFC-L2880DW	20	199

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、[電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ]を表示し、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - 短縮ダイヤルに登録したグループを登録するには：
     を押して、3 桁の短縮ダイヤルを入力してから **OK** を押します。
   - ショートカットにグループを登録するには：
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い 1 桁のショートカット番号を入力します。
5. ダイヤルパッドでグループ番号（01～20）を入力し、 **OK** を押します。

お願い

インターネットファクス（I-Fax）とその設定は、選択できます。
（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

6. 番号をグループに追加する:
   - 短縮ダイヤル番号を追加するには：
     を押して、3 桁の短縮ダイヤルコードを入力します。
   - ショートカット番号を追加するには：
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い 1 桁のショートカット番号を入力します。

   液晶ディスプレーに選択された短縮ダイヤル番号と*、ショートカット番号と#が表示されます（例: #006、*009）。
7. 番号の追加が終わったら、 **OK** を押します。
8. ダイヤルパッドからグループ名を入力します（最大 16 字）。
9. **OK** を押します。
10. ヨミガナを確認、編集して **OK** を押します。
11. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [（ファクス）] > [電話帳] を押します。
2. 次のステップを行います。
   a. [設定] > [グループ登録] > [名前] を押します。
   b. 液晶ディスプレーを使用しグループ名（最大 16 文字）を入入力し、[OK] を押します。
      名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
   c. [追加/消去] を押します。
   d. グループに追加するアドレス帳の番号を押してチェックマークが表示されたら、[OK] を押します。
   e. 表示された選択済みの名前と番号の一覧を確認し、[OK] を押してグループに登録します。

   同報送信用に別のグループダイヤルも登録するには、これらの手順を繰り返します。
3. を押します。

関連情報

- 電話帳
  - 同報送信のグループダイヤルの名前を変更する
  - 同報送信のグループダイヤルを削除する
  - 同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

同報送信のグループダイヤルの名前を変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、[電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ]を表示し、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - 短縮ダイヤルに保存されたグループのグループ名を変更するには：
     を押して、3 桁の短縮ダイヤルを入力してから **OK** を押します。
   - ショートカットに保存されたグループのグループ名を変更するには:
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い 1 桁のショートカット番号を入力します。
5. ▲を押して、保存されたグループ情報を変更します。

お願い

インターネットファクス（I-Fax）とその設定は保存できます。
（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

6. **OK** を押します。
7. 名前を編集するには、◀または▶を押して変更する文字の下にカーソルを置きます。次に**クリア**を押して削除し、ダイヤルパッドを使用して希望の文字を押します。
   編集が終了したら、**OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [（ファクス）] > [電話帳] > [設定] > [変更]を押します。
2. ▲または▼を押して使用するグループを表示し、表示されたグループを押します。
3. [名前]を押します。
4. 画面でグループ名（最大 16 文字）を入力し、[OK]を押します。
   あわせて、読みがなも修正してください。

保存されている名前の変更方法：

文字を変更するには、◀または▶を押して修正したい文字にカーソルを合わせて反転表示し、を押します。
新しい文字を入力します。

5. [OK]を押します。
6. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

同報送信のグループダイヤルを削除する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、[電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ]を表示し、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - 短縮ダイヤルに登録したグループを削除するには：
     を押して、3 桁の短縮ダイヤルを入力してから **OK** を押します。
   - ショートカットに登録したグループを削除するには：
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い 1 桁のショートカット番号を入力します。
5. ▼を押して、グループを削除します。
6. ▲を押して確認します。
7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [（ファクス）] > [電話帳] > [設定] > [消去]を押します。
2. ▲または▼を押して使用するグループを表示し、表示されたグループを押します。
3. [OK]を押します。
4. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

同報送信のグループダイヤルのメンバーを追加または削除する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. ▲を 3 回押します。
3. ▲または▼を押して、［電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ］を表示し、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - 短縮ダイヤルに登録したグループの番号を変更するには：
     を押して、3 桁の短縮ダイヤルを入力してから **OK** を押します。
   - ショートカットに登録したグループの番号を変更するには：
     プリセットボタンを長押しして、ダイヤルパッドを使い 1 桁のショートカット番号を入力します。
5. ▲を押してグループに保存された番号を変更します。

お願い

インターネットファクス（I-Fax）とその設定は保存できます。
（機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールサーバー機能を使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。）

6. ショートカット番号または短縮ダイヤル番号の追加または削除
   - ショートカット番号を追加するには：
     ◀または▶を押して、最後の番号の末尾にカーソルを置きます。
     プリセットボタンを長押しし、追加する番号の 1 桁のショートカットを入力します。
   - 短縮ダイヤル番号を追加するには：
     ◀または▶を押して、最後の番号の末尾にカーソルを置きます。
     次に を押して、追加したい番号の 3 桁の短縮ダイヤルを入力します。
   - ショートカット番号または短縮ダイヤル番号を削除するには、◀または▶を押して削除する番号にカーソルを置き、**クリア**を押します。

   編集が終了したら、**OK** を押します。
7. **OK** を押します。
8. **OK** を押します。
9. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［（ファクス）］>［電話帳］>［設定］>［変更］を押します。
2. ▲または▼を押して使用するグループを表示し、表示されたグループを押します。
3. ▲または▼を押して［追加/消去］を表示し、それを押します。
4. ▲または▼を押して、追加または削除する番号を表示します。
5. 変更したい番号に対して、以下の操作を行います。

- グループに番号を追加するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを付けます。
- グループから番号を削除するには、対象番号のチェックボックスを押してチェックマークを外します。

6. [OK]を押します。
7. [OK]を押します。
8. を押します。

関連情報

- 同報送信のグループダイヤルを設定する

電話サービスと色々な接続方法

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ナンバー・ディスプレイとは
- 電話回線の種類を設定する
- 安心通信モードを設定する
- 現在の電話回線状態を確認する（電話回線診断）
- 外付け留守番電話機
- 外付け電話機を接続する
- リモートコードを使う

ナンバー・ディスプレイとは

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に画面に表示されるサービスです。 サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。

本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能

  電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。
- 名前表示機能

  電話帳に名前が登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が画面に表示されます。
- 着信履歴機能

  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。

お願い

- 本製品はキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法
  - ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイを利用する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]を表示し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押し、設定したい項目を選択して**OK**を押します。

オプション	詳細
[あり(本製品に表示)]	本体の画面に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を[あり(本製品に表示)]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオフにしてください。
[なし]	相手の電話番号または名前が表示されません。 ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社との契約が必要です。契約していない場合は[なし]にしてください。
[あり(外付け電話に表示)]	本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を[あり(外付け電話に表示)]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオンにしてください。

[あり(外付け電話に表示)]で使用する場合、本製品の受信モードを[F/T=自動切換え]に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ナンバーディスプレイ]を押します。
2. 設定したい項目を選択します。

オプション	詳細
[オン]	本体の画面に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を[オン]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオフにしてください。
[オフ]	相手の電話番号または名前が表示されません。

オプション	詳細
	ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社との契約が必要です。契約していない場合は[オフ]にしてください。
[外付け電話優先]	本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を[外付け電話優先]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオンにしてください。

[外付け電話優先]で使用する場合、本製品の受信モードを[F/T=自動切換え]に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

3. を押します。

関連情報

- ナンバー・ディスプレイとは

電話回線の種類を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス送受信用に PBX または ISDN の回線を本製品に接続する場合、お使いの回線に合わせて電話回線種類を選択します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[特別回線対応]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[一般]、[PBX] または [光・ISDN] を表示し、**OK** を押します。

[PBX]を選択すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が解除されます。引き続きナンバー・ディスプレイを利用するには、[一般]を選択してください。

5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [特別回線対応] を押します。
2. [一般]、[PBX]、または[光・ISDN]を押します。

[PBX]を選択すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が解除されます。引き続きナンバー・ディスプレイを利用するには、[一般]を選択してください。

3. を押します。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

安心通信モードを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

通信エラーが発生しやすい相手や回線で、ファクスをより確実に送受信したいときに設定します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[安心通信ﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押し、[高速]、[標準]、[安心 (VoIP)]のいずれかを選択して **OK** を押します。

- 送受信時間は[高速]、[標準]、[安心 (VoIP)]の順で遅くなりますが、[標準]または[安心 (VoIP)]に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。[標準]、[安心 (VoIP)]の順にお試しください。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。

5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [安心通信モード] を押します。
2. [高速]、[標準]、[安心(VoIP)]のいずれかを選択します。

- 送受信時間は[高速]、[標準]、[安心(VoIP)]の順で遅くなりますが、[標準]または[安心(VoIP)]に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。[標準]、[安心(VoIP)]の順にお試しください。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。

3. を押します。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

現在の電話回線状態を確認する（電話回線診断）

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ファクス］>［電話回線診断］を押します。
2. ［はい］を押します。
   回線診断が始まります。診断は、回線接続チェック、外付電話接続チェック、ダイヤルトーンチェック、回線種別チェックの順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

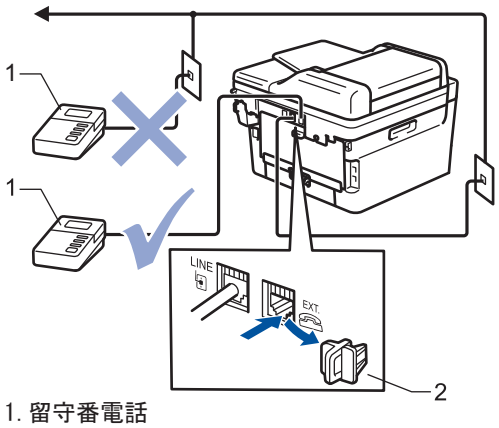
外付け留守番電話機

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

外付け留守番電話機（TAD）を本製品が使用しているのと同じ回線に接続します。留守番電話機が受信すると、送信側のファクス機から送信された CNG（ファクスコール）トーンを感知します。トーンを感知すると、電話をコントロールし、ファクスを受信します。トーンを感知しない場合、留守番電話機が音声メッセージを録音し、液晶ディスプレーが [通話中] を表示します。

外付け留守番電話を接続する場合は、本製品の受信モードを外付け留守電モードに設定してください。

外付け留守番電話の呼び出し回数は 4 回以内に設定してください。(2 回を推奨します) これは、外付け留守番電話機が電話に反応するまで、製品は CNG トーンを感知することができないためです。送信側のファクス機が CNG トーンを送信するのはほんの 8～10 秒です。ファクス機が作動するのに 4 回以上ベルを鳴らす必要がある場合、お使いの外付け留守番電話機でトールセーバー機能を使用することは推奨していません。



1. 留守番電話
2. 保護キャップ

重要

同じ電話回線上の別の場所に留守番電話機を接続しないでください。

ファクスの受信に問題が発生する場合は、外付け留守番電話機の呼出ベル回数設定を減らしてください。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法
  - 外付け留守番電話機を接続する
  - 外付け留守番電話機上の応答メッセージ（OGM）を記録する

外付け留守番電話機を接続する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品の背面にある EXT.と示された差し込み口に、外付け留守番電話機を差し込む必要があります。壁の差し込み口に留守番電話機を差し込むと、本製品は正常に動作しません（着信鳴り分けを使用している場合を除く）。

1. 壁の電話用差し込み口から本製品の背面にある LINE と示された差し込み口に、電話機コードを差し込みます。
2. 本製品の背面にある EXT.と示された差し込み口に、外付け留守番電話機の電話機コードを差し込みます。（このコードはその電話器の差し込み口ではなく、留守番電話機の電話機コードに必ず差し込んでください。）
3. 外付け留守番電話機を、許容される最小呼出ベル回数に設定します。詳細については、ご契約中の電話会社にお問い合わせください。（本製品の呼出ベル回数の設定は適用されません。）
4. 外付け留守番電話機の応答メッセージを録音します。
5. 着信に応答するよう留守番電話機を設定します。
6. 本製品の受信モードを［留守=外付け留守電］に設定します。

関連情報

- 外付け留守番電話機

外付け留守番電話機上の応答メッセージ（OGM）を記録する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. メッセージの冒頭に、5 秒間の無音状態が録音されます。これにより本製品がファクス受信音を聞く時間ができます。
2. 録音するメッセージは 20 秒以内にしてください。

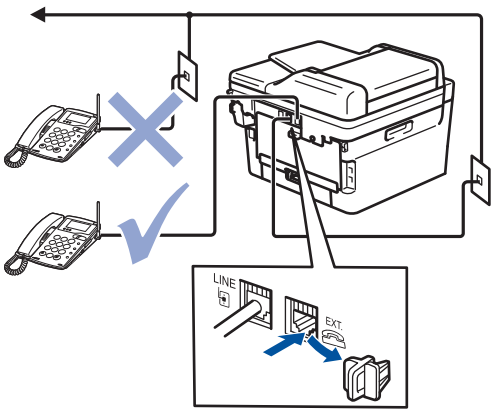
関連情報

- 外付け留守番電話機

外付け電話機を接続する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

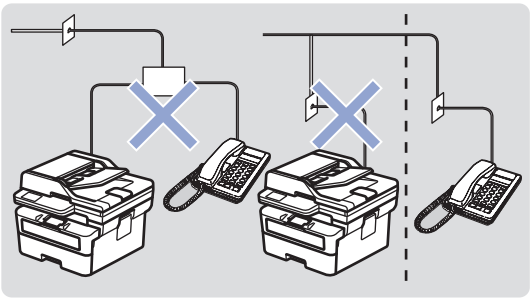
お使いの電話機を本製品に接続することができます。本製品背面の外付け電話端子（EXT.）に付いているキャップを外して接続してください。



重要

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります

- ファクス送受信中に、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
- 着信時に、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合が あります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本製品で保留にした場合、並列に接続された電話機では本製品の保留状態を解除できません。
- 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。



関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法

リモートコードを使う

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リモートコードを使うと、本製品と接続している外付け電話機から本製品を操作して、ファクスを受信することができます。これをリモート受信といいます。

着信音が鳴ったら外付け電話機の受話器を取り、「#51」(リモート起動番号)を入力します。画面に受信中の表示がされたら、外付け電話機の受話器を戻します。リモート受信が始まります。

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行う場合は、外付け電話機のトーンボタンを押して、トーン信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾘﾓｰﾄ受信]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押し、[ｵﾝ]を選択して **OK** を押します。
7. リモート起動番号を入力して、**OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [リモート受信]を押します。
2. もう一度[リモート受信]を押して、[オン]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 電話サービスと色々な接続方法
  - リモートコードを変更する

リモートコードを変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

あらかじめ設定されたリモート起動番号は#51 です。リモート起動番号を変更するときは、1 桁目は「#」のままで、下 2 桁の数字部分を変更してください。

3 桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している外付け電話から特定の相手に電話がかけられなくなります。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾘﾓｰﾄ受信]を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押し、[ｵﾝ]を選択して **OK** を押します。
7. リモート起動番号を変更して **OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [リモート受信]を押します。
2. [起動番号]を押してから、リモート起動番号を変更して[OK]を押します。
3. を押します。

関連情報

- リモートコードを使う

ファクスレポート

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 送信結果レポートを印刷する
- 通信管理レポートを印刷する

送信結果レポートを印刷する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

送信結果レポートでファクス送信したことを確認できます。送信結果レポートには、送信相手の名前やファクス番号、送信日時、通信時間、送信したページ数、送信が成功したかどうかが一覧で印刷されます。

送信結果レポートには複数の設定があります：

[送信毎に印刷]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。
[送信毎に印刷 (+画像)]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[エラー時のみ]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。
[エラー時のみ (+画像)]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[印刷しない]	お使いの製品では、ファクス送信後のレポートは印刷されません。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾚﾎﾟｰﾄ設定]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[送信結果レポート]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｴﾗｰ時のみ]、[ｴﾗｰ時のみ (+画像)]、[印刷しない]、[送信毎に印刷]または[送信毎に印刷 (+画像)]を表示させ、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [送信結果レポート]を押します。
2. ▲または▼を押して使用したいオプションを選択します。

   [送信毎に印刷 (+画像)]または[エラー時のみ (+画像)]を選択し、リアルタイム送信が[オン]に設定されている場合送信結果レポートに画像は表示されません。
3. を押します。

   送信が成功した場合、送信結果レポートの「結果」の横に「OK」が表示されます。送信が成功しなかった場合、「結果」の横に「ｴﾗｰ」が表示されます。

関連情報

- ファクスレポート

通信管理レポートを印刷する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

通信管理レポートの印刷間隔を設定できます。(50 件ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと)

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾚﾎﾟｰﾄ設定]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[通信管理間隔]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[50 件ごと]、[6 時間ごと]、[12 時間ごと]、[24 時間ごと]、[2 日ごと]、[7 日ごと]、または[ｵﾌ]を表示させ、**OK** を押します。
   - 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日ごと

     製品は設定された間隔ごとにレポートを印刷すると、メモリーから通信記録を消去します。印刷指定時刻より前に通信記録が 200 件を超えると、自動的に通信管理レポートが印刷され、メモリーから全てのジョブが消去されます。印刷指定時刻より先に通信管理レポートが必要な場合は、メモリーから通信記録を削除することなく印刷することができます。
   - 50 件ごと

     通信結果が 50 件に達すると、自動的にレポートが印刷されます。
6. 7 日ごとを選択する場合、▲または▼を押して、[月曜日ごと]、[火曜日ごと]、[水曜日ごと]、[木曜日ごと]、[金曜日ごと]、[土曜日ごと]または[日曜日ごと]を表示させ、**OK** を押します。
7. 6、12、24 時間、2、7 日を選択した場合、印刷開始時間を入力するために、次のいずれかの作業を行います。
   - 日付と時刻設定で[12 時間表示]を選択した場合、12 時間形式で時間を入力し、**OK** を押します。

     ▲または▼押して、[AM]または[PM]を表示し、**OK** を押します。
   - 日付と時刻設定で[24 時間表示]を選択した場合、24 時間形式で時間を入力し、**OK** を押します。

     (例:午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。)
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [通信管理レポート] > [通信管理レポート]を押します。
2. ▲または▼を押して使用するインターバルを選択し、それを押します。
   - 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日ごと

     製品は設定された間隔ごとにレポートを印刷すると、メモリーから通信記録を消去します。印刷指定時刻より前に通信記録が 200 件を超えると、自動的に通信管理レポートが印刷され、メモリーから全てのジョブが消去されます。印刷指定時刻より先に通信管理レポートが必要な場合は、メモリーから通信記録を削除することなく印刷することができます。
   - 50 件ごと

     通信結果が 50 件に達すると、自動的にレポートが印刷されます。
3. 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日を選択した場合、[印刷時刻指定]を押してから、液晶ディスプレーに時刻を入力し、[OK]を押します。
4. [7 日ごと]を選択した場合、[曜日指定]を押します。
5. ▲または▼を押して[月曜日ごと]、[火曜日ごと]、[水曜日ごと]、[木曜日ごと]、[金曜日ごと]、[土曜日ごと]、または[日曜日ごと]を表示させ、レポートを印刷する曜日を押します。

6. を押します。

関連情報

- ファクスレポート

PC-FAX

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- PC-FAX（Windows の場合）
- PC-FAX（Mac の場合）

PC-FAX（Windows の場合）

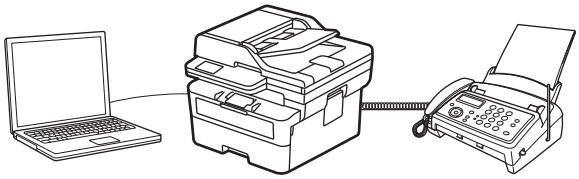
関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- PC-FAX の概要（Windows）
- PC-FAX を使用してファクスを送信する（Windows）
- パソコンでファクスを受信する（Windows）

PC-FAX の概要（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷せずにパソコンから直接ファクス（モノクロのみ）を送信します。 この機能により、用紙の消費を抑えたり、時間を節約したりすることができます。



- PC-FAX の設定を行う（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

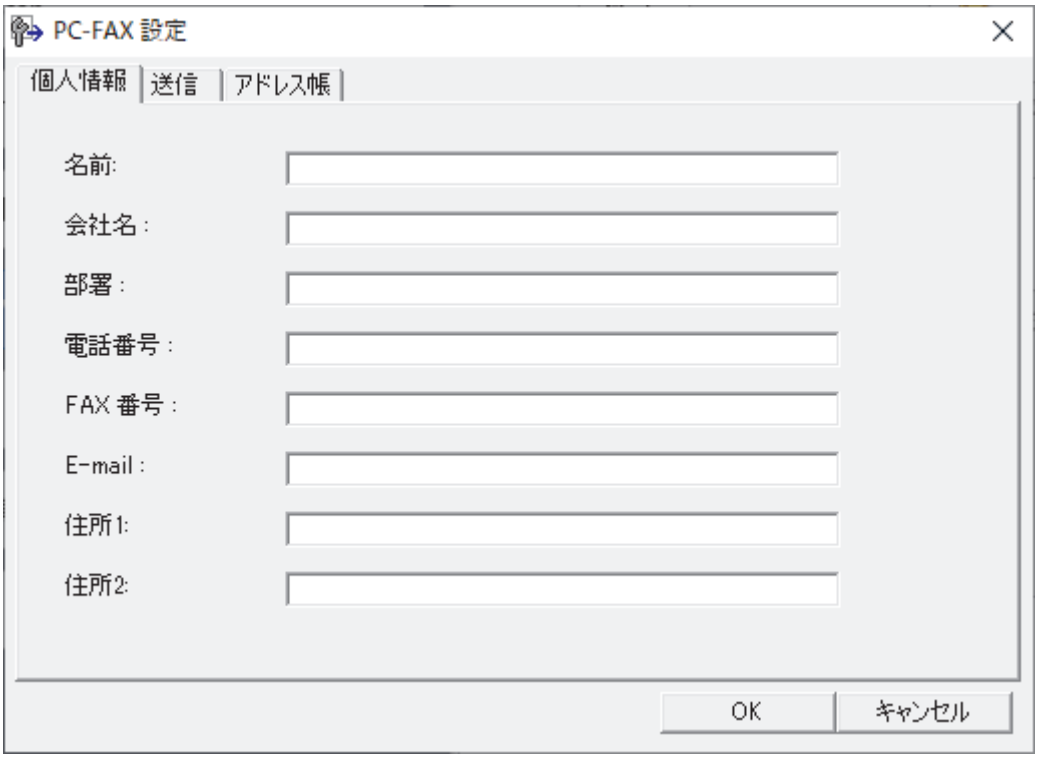
PC-FAX の設定を行う（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

PC-FAX を使用してファクスを送信する前に、**PC-FAX 設定**ダイアログボックスの各タブにある送信設定をカスタマイズします。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信設定**をクリックします。

   PC-FAX 設定ダイアログボックスが表示されます。



3. 次のいずれかを行ってください：
   - **個人情報**タブをクリックし、各欄にユーザー情報を入力します。

   各 Microsoft アカウントでは、ファクスのヘッダーや送付書に、カスタマイズした**個人情報**画面をそれぞれ設定することができます。

   - **送信**タブをクリックし、必要に応じて**外線番号**欄に外線発信番号を入力します。**ヘッダー情報追加**チェックボックスを選択し、ヘッダー情報を含めます。
   - **アドレス帳**タブをクリックし、**使用するアドレス帳**のドロップダウンリストから、PC-FAX に使いたいアドレス帳を選択します。
4. **OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX の概要（Windows）

PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

PC-FAX アドレス帳で、メンバーやグループを追加、編集、または削除などのカスタマイズを行います。

- PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）
- PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

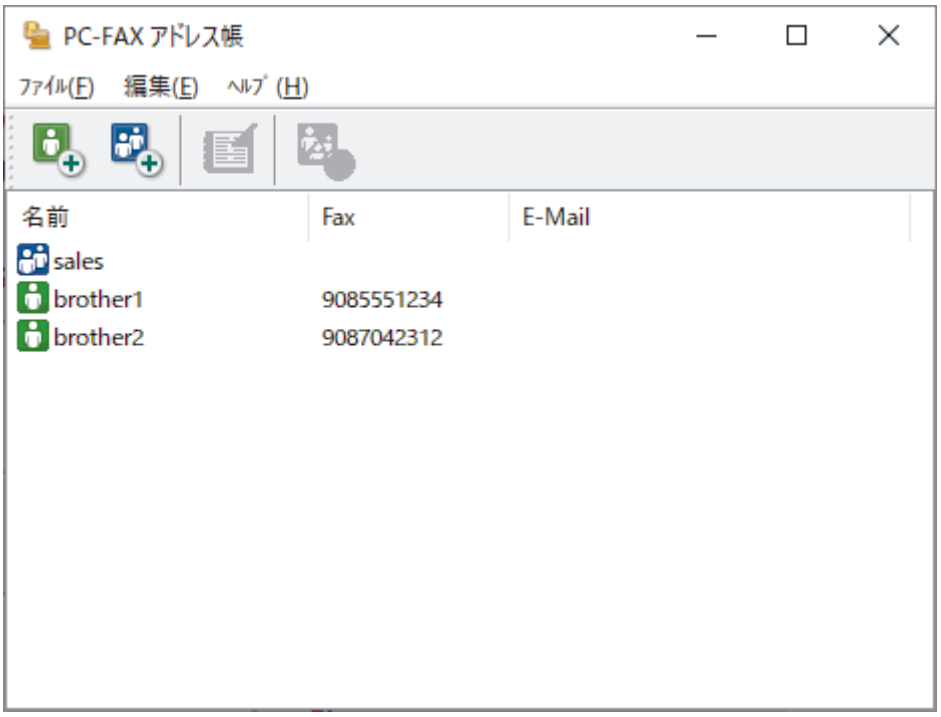
PC-FAX のアドレス帳にメンバーを追加する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

Brother PC-FAX ソフトウェアを使用してファクスを送信する場合は、新規のメンバーおよびそのメンバーのファクス情報を PC-FAX アドレス帳に追加します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックして新しいメンバーを追加します。

   PC-FAX アドレス帳 メンバー設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 対応する入力欄にメンバーの情報を入力します。**名前**欄は必須です。

電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

5. **決定**をクリックします。

関連情報

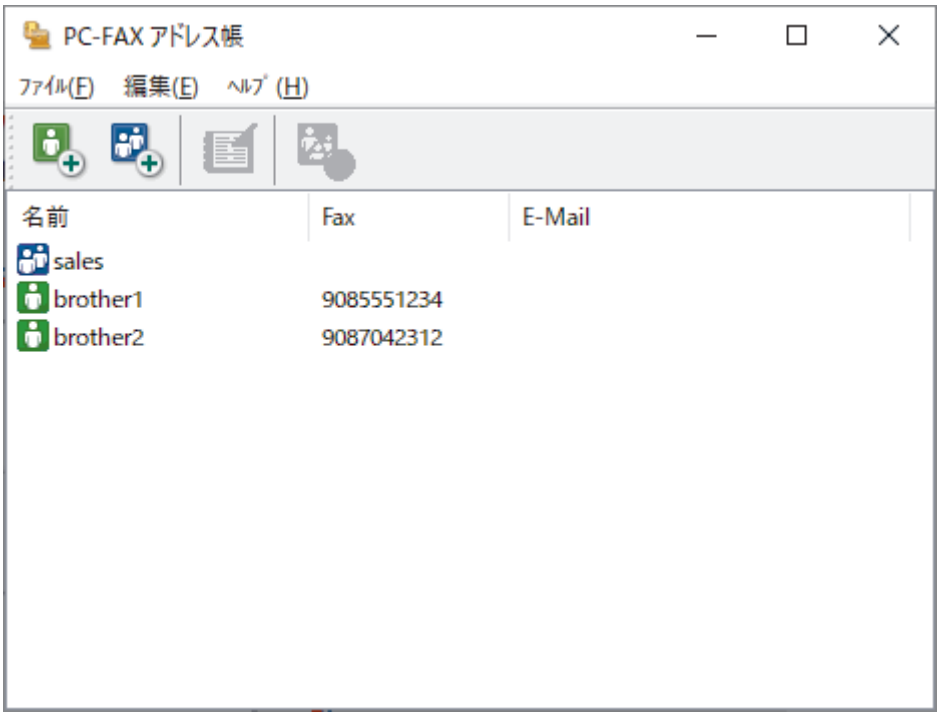
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳にグループを作成する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

同じ PC-FAX を一度に複数の受信者に同報送信するためのグループを作成します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。
   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. をクリックして新しいグループを追加します。
   PC-FAX アドレス帳 グループ設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 新しいグループの名前を**グループ名**欄に入力します。
5. **選択可能ﾒﾝﾊﾞｰ**欄で、グループに含める名前をそれぞれ選択し、**追加**をクリックします。
   グループに追加されたメンバーが**選択済みﾒﾝﾊﾞｰ**に表示されます。
6. 完了後、**決定**をクリックします。

各グループには、最大 50 名のメンバーを含めることができます。

関連情報

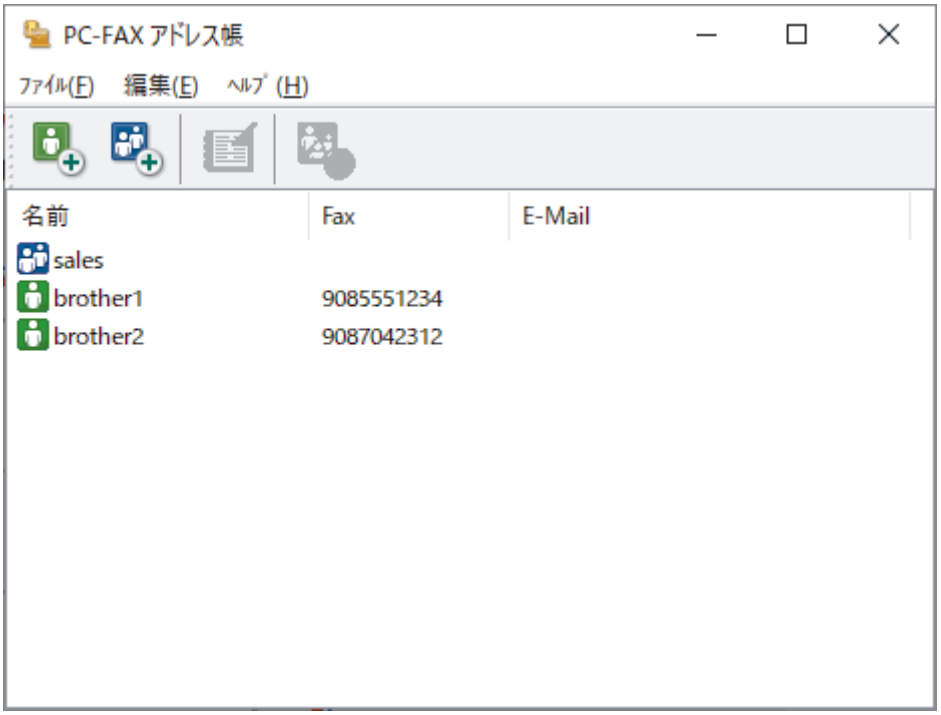
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループ情報を編集する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 編集したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**詳細情報**）をクリックします。
5. メンバーまたはグループ情報を変更します。
6. **決定** をクリックします。

関連情報

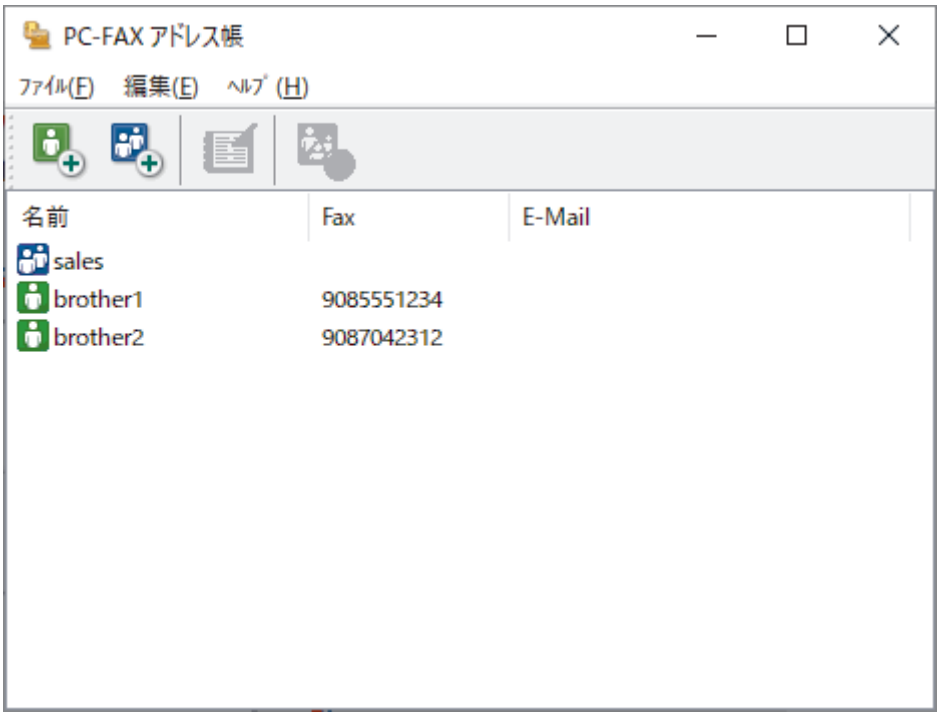
- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳のメンバーまたはグループを削除する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. 削除したいメンバーまたはグループを選択します。
4. （**削除**）をクリックします。
5. 確認ダイアログボックスが表示されたら、**OK** をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX のアドレス帳をエクスポートする（Windows）

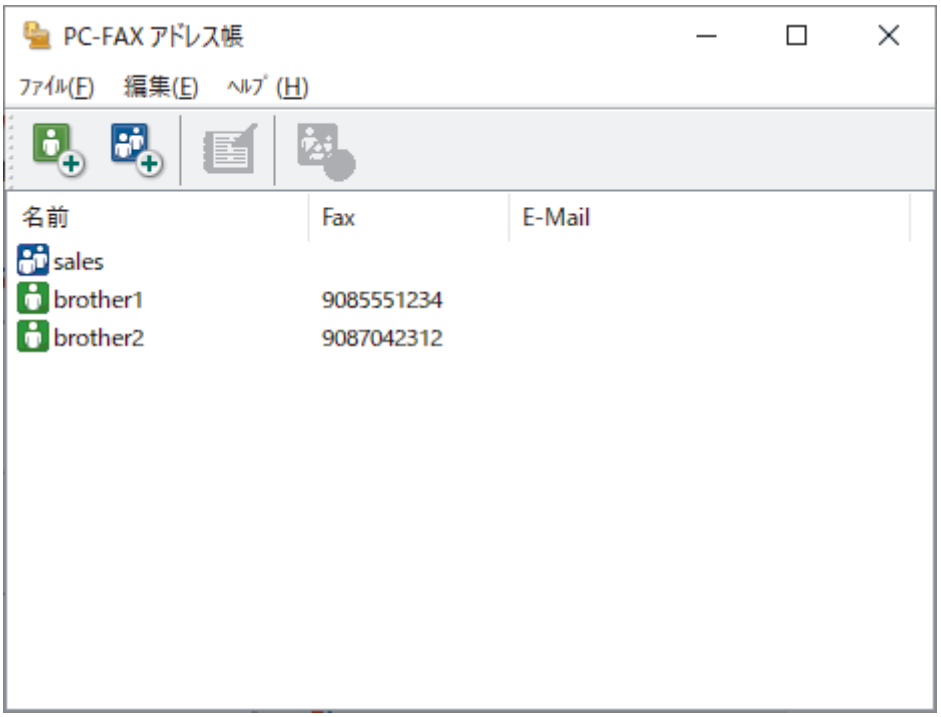
関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

アドレス帳を ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）としてエクスポートし、パソコンに保存できます。

PC-FAX アドレス帳のデータをエクスポートする場合、グループ設定はエクスポートできません。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ﾌｧｲﾙ** > **ｴｸｽﾎﾟｰﾄ**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **ﾃｷｽﾄﾌｧｲﾙ**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。次の手順に進みます。
   - **vCard**

     このオプションを選択する前に、アドレス帳からエクスポートするメンバーを選択する必要があります。

     vCard の保存先フォルダーを開き、**ファイル名**欄にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。
5. **選択可能項目**欄で、エクスポートするデータを選択し、**追加**をクリックします。

表示する順に項目を選択して追加します。

6. ASCII ファイルにエクスポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データの保存先のパソコンのフォルダーを開き、ファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

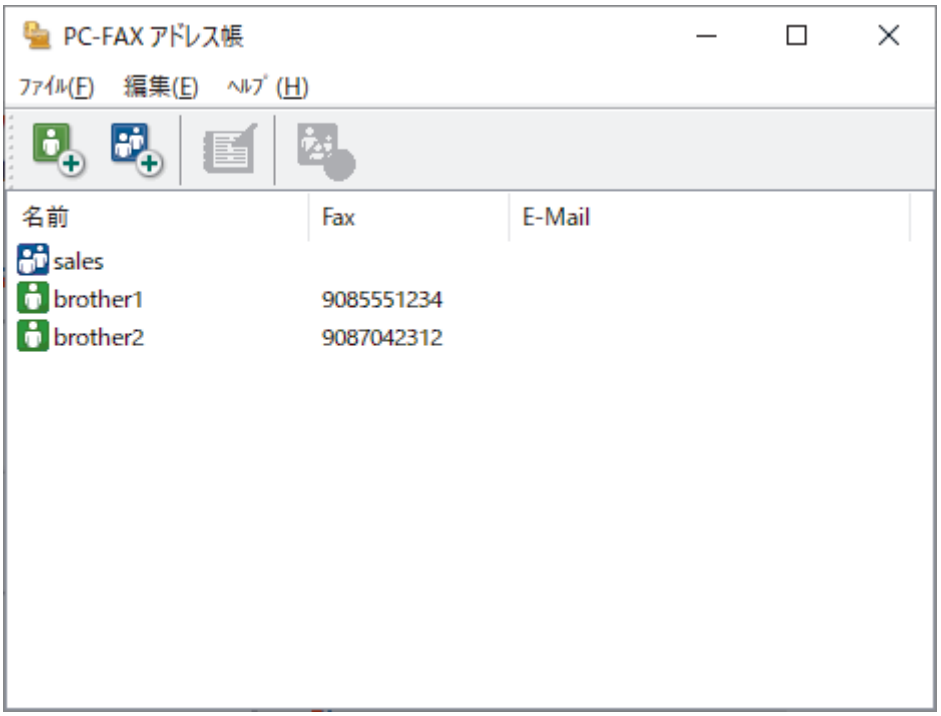
PC-FAX のアドレス帳に情報をインポートする（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ASCII テキストファイル（*.csv）または vCard（電子名刺）をアドレス帳にインポートできます。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 送信アドレス帳**をクリックします。

   PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



3. **ﾌｧｲﾙ** > **ｲﾝﾎﾟｰﾄ**をクリックします。
4. 以下のいずれかを選択します。
   - **ﾃｷｽﾄﾌｧｲﾙ**

     項目選択ダイアログボックスが表示されます。手順 5 に進みます。
   - **vCard**

     手順 8 に進みます。
5. **選択可能項目**欄で、インポートするデータを選択し、**追加**をクリックします。

選択可能項目リストから、インポートテキストファイルに表示されている順に項目を選択して追加する必要があります。

6. ASCII ファイルをインポートする場合は、**区切り文字**セクションで**タブ**または**コンマ**オプションを選択して、データフィールドを区切ります。
7. **決定** をクリックします。
8. データのインポート先のフォルダーを参照し、ファイル名を入力して、**開く**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する（Windows）

PC-FAX を使用してファクスを送信する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

PC-FAX 機能は、モノクロのファクスにのみ対応しています。元データがカラーで、受信側のファクス機がカラーファクスに対応していても、モノクロのファクスが送信されます。

1. お使いのパソコンの任意のアプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. プリンターとして **Brother PC-FAX** を選択し、印刷操作を完了します。
   Brother PC-FAX ダイアログボックスが表示されます。

4. 以下のいずれかの方法で、ファクス番号を入力します。
   - ダイヤルパッド上の数字をクリックして番号を入力し、**送信先追加**をクリックします。

ダイヤル制限機能チェックボックスを選択すると、確認ダイアログボックスが表示されるので、キーボードを使用してファクス番号を再入力します。この機能は、間違った宛先への送信を防ぐのに役立ちます。

   - **アドレス帳**ボタンをクリックし、電話帳からメンバーまたはグループを選択します。

間違えて入力した場合は、**全削除**をクリックするとすべての項目が削除されます。

5. 表紙を付ける場合は、**送付書使用**チェックボックスを選択します。 をクリックして、表紙を作成または編集することもできます。
6. **送信**をクリックすると、ファクスが送信されます。

- ファクスをキャンセルするには、**キャンセル**をクリックします。
- リダイヤルするには、**再ダイヤル**をクリックして過去 5 件のファクス番号を表示させ、番号を選択して、**送信**をクリックします。

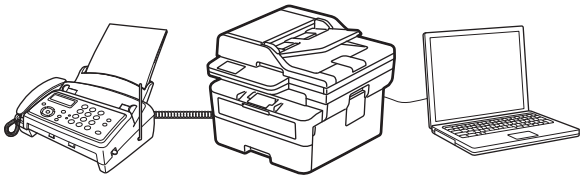
関連情報

- PC-FAX（Windows の場合）

パソコンでファクスを受信する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使って、パソコンでファクスを受信し、確認して、必要な場合には印刷することができます。



- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

PC-FAX 受信ソフトウェアにより、パソコンで受信したファクスの閲覧や保存ができます。本製品のソフトウェアとプリンタードライバーをインストールする際に、PC-FAX 受信ソフトウェアもインストールされます。

PC-FAX 受信機能は、モノクロのファクスにのみ対応しています。

パソコンの電源を切っていても、本製品は継続してファクスを受信し、メモリーに保存します。保存されたファクスの数が本製品の画面に表示されます。アプリを起動すると、本製品が受信したファクスをまとめてパソコンに転送します。ファクスがパソコンに送信される前、もしくはパソコンの電源を切る前に、ファクスを印刷したい場合は、バックアップ印刷オプションを有効にします。バックアップ印刷は、本製品から設定できます。

関連情報

- パソコンでファクスを受信する（Windows）
  - パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する（Windows）
  - 受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

お使いの製品で PC-FAX 受信が無効になっている場合は、設定を有効にしてから PC-FAX 受信を実行してみてください。

この機能を有効にする方法については、「関連情報」をご覧ください：*Web Based Management* を使用して *PC-FAX* 受信を設定する

パソコンの電源を入れたときに自動的にソフトウェアが起動し、ファクスを転送できるように、**パソコン起動時に起動する**チェックボックスを選択しておくことを推奨します。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。
3. メッセージを確認し、**Yes** をクリックします。

   PC ファクス受信ウィンドウが表示されます。（**待機中**）アイコンがパソコンのタスクトレイに表示されます。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）
  - パソコンで PC-FAX 受信を設定する（Windows）
  - PC-FAX 受信機器に本製品を追加する（Windows）

関連トピック：

- Web Based Management を使用して PC-FAX 受信を設定する

パソコンで PC-FAX 受信を設定する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**待機中**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定**をクリックします。
3. 必要に応じて次のオプションを設定します。

   起動

   Windows の起動時に、PC-FAX 受信が自動的に起動されるよう設定します。

   保存

   受信した PC-FAX の保存先や保存形式を選択します。

   アップロード先

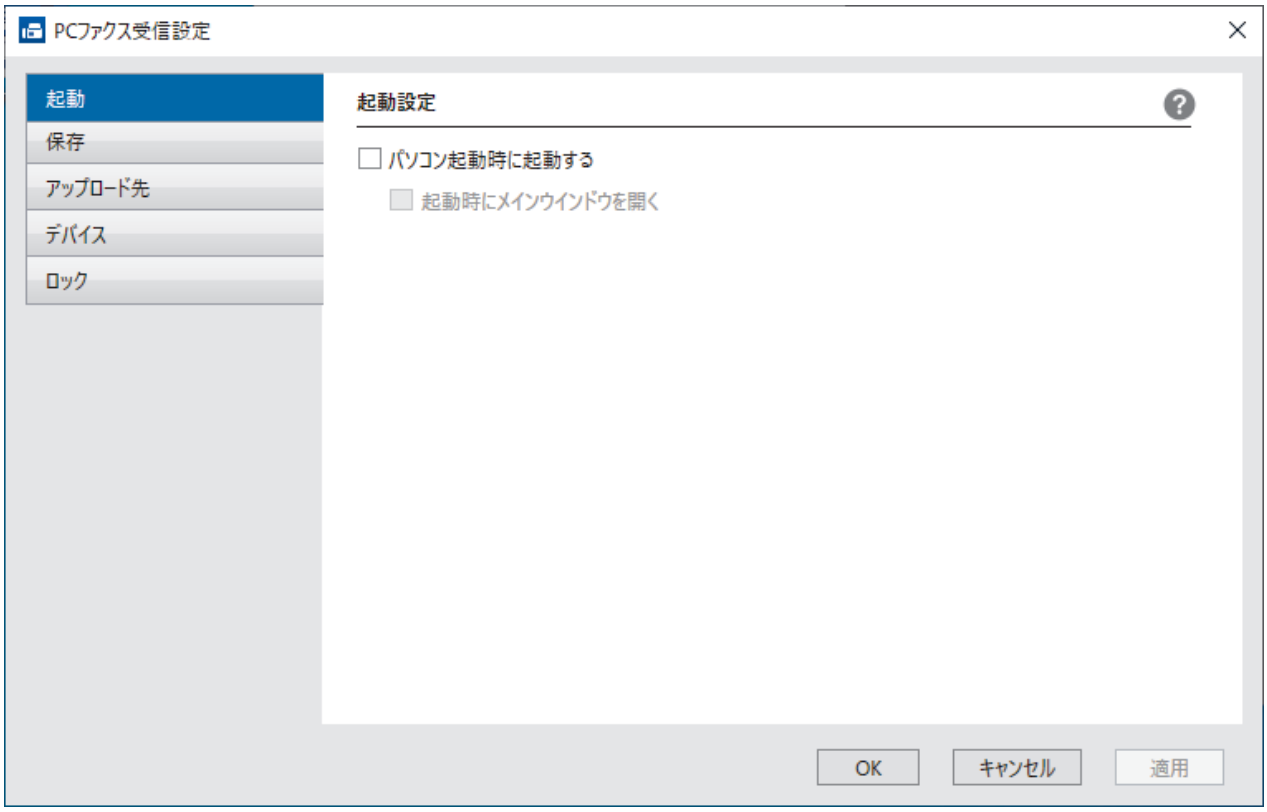
   サーバーへのパスを設定し、アップロードの自動または手動を選択します。（管理者のみ利用可能）

   デバイス

   PC-FAX を受信したいブラザー製品を設定します。

   ロック （管理者のみ利用可能）

   管理者権限の無いユーザーに対して、設定を制限することができます。



4. **OK** をクリックします。

関連情報

- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する（Windows）

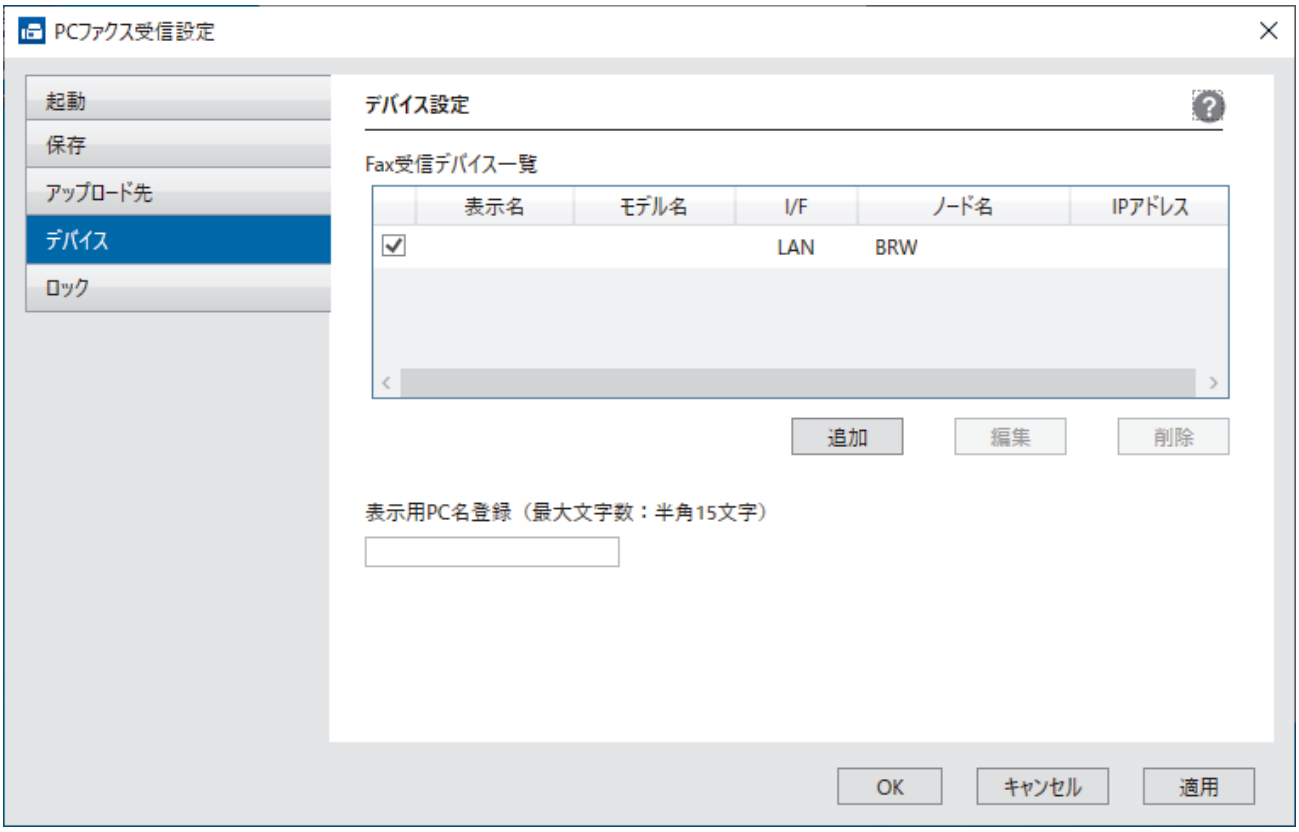
PC-FAX 受信機器に本製品を追加する（Windows）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

画面の指示に従って本製品を設置すれば、使用可能な状態になります。

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**待機中**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
2. **設定**をクリックします。
3. **デバイス** > **追加**をクリックします。



4. 正しい接続方法を選択します。

   自動検索結果から選択してデバイスを追加

   接続済みの製品の一覧が表示されます。使用する製品を選択します。**OK** をクリックします。

   IP アドレスを入力してデバイスを追加

   IP アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力し、**OK** をクリックします。
5. 本製品の画面に表示されるパソコン名を変更するには、**表示用 PC 名登録（最大文字数：半角 15 文字）**欄に新しい名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する（Windows）

受信した PC-FAX メッセージを表示する（Windows）

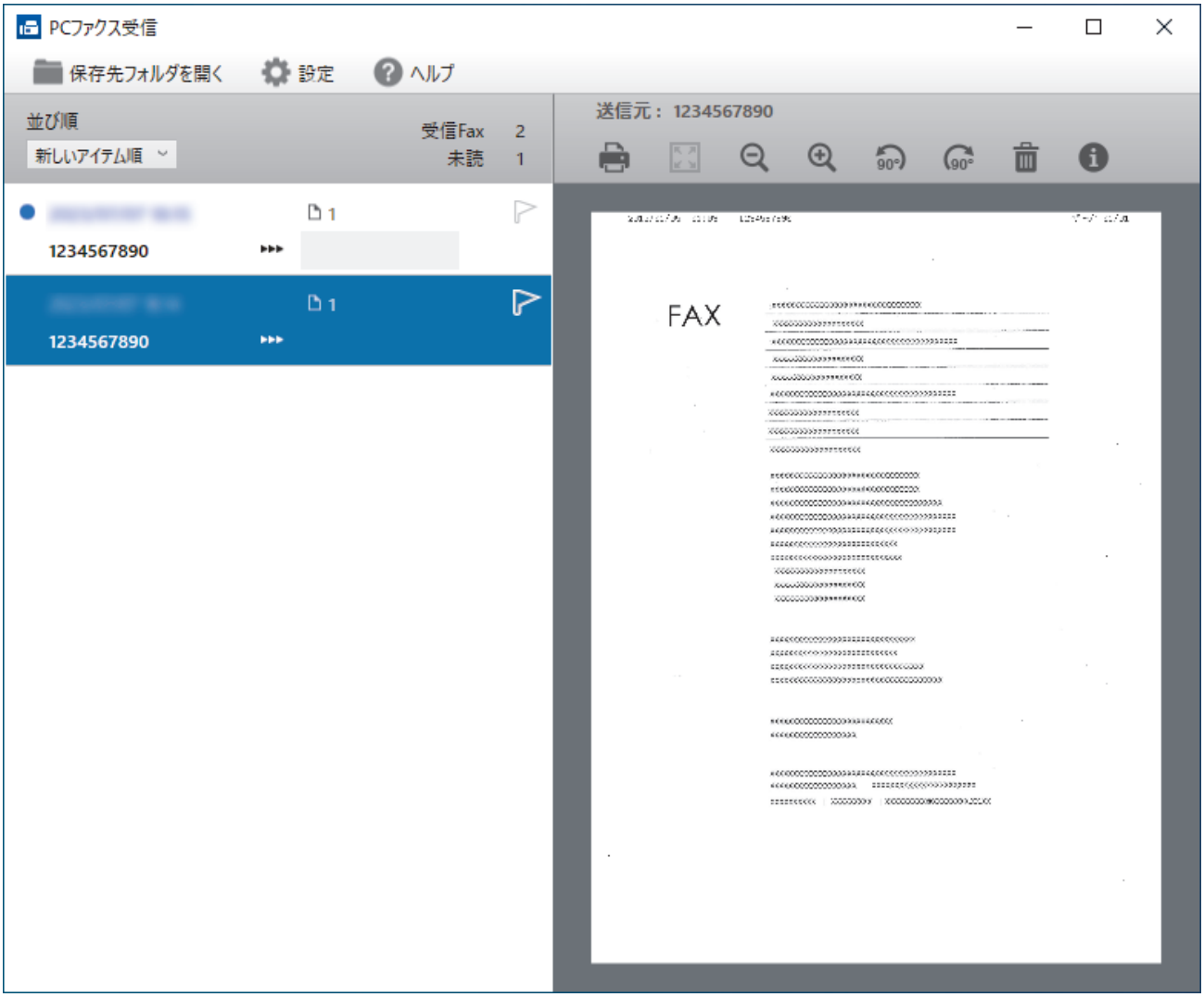
関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

受信ステータス

アイコン	状態
	待機モード 未読メッセージなし
	メッセージを受信中
	メッセージを受信済み 未読メッセージあり

1. お使いのパソコンで、タスクトレイの (**待機中**) アイコンをダブルクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。



2. リストをクリックすると、ファクスが表示されます。
3. 完了したら、画面を閉じます。

ウィンドウを閉じた後も、PC-FAX 受信は起動しているので、パソコンのタスクトレイに （**待機中**）アイコンが表示されたままになります。PC-FAX 受信を閉じるには、パソコンのタスクトレイのアイコンをクリックし、**閉じる**をクリックします。

関連情報

- PC-FAX 受信を使用してファクスを受信する（Windows）

PC-FAX（Mac の場合）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワークを設定する
- 無線ネットワーク設定
- ネットワーク機能

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
スキャン	○		○
PC ファクス送信（特定のモデルのみ対応）	○		○
PC ファクス受信（特定のモデルのみ対応）	○		
Web Based Management [1]	○	○	○
ステータスモニター	○		
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	

1 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

- 本製品の有線・無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。

  本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。
- 本製品がグローバルネットワークに接続された場合、警告が表示されます。この警告が表示された場合は、ネットワークの設定を確認し、安全なネットワークに再接続することを強くお勧めします。
- 本製品のグローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバルネットワークからのアクセスが遮断されます。グローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを使用しているパソコンやモバイル端末から、特定の印刷やスキャンのジョブを受信できない場合があります。

関連情報

- ネットワーク

関連トピック：

- Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

ネットワークを設定する

- 操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの［ネットワーク］メニューの項目を使用します。

- 操作パネルを使用して設定できるネットワーク設定については「関連情報」をご覧ください：設定一覧
- Web Based Management を使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［ﾈｯﾄﾜｰｸ］を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して使用したいネットワークオプションを選択し、**OK** を押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［ネットワーク］を押します。
2. ▲または▼を押して使用したいネットワークオプションを表示し、これを押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

関連情報

- ネットワークを設定する

関連トピック：

- 設定一覧（2 行液晶ディスプレー MFC 機種）
- 設定一覧（2 行液晶ディスプレー DCP 機種）
- 設定一覧（2.7"タッチパネル MFC モデルおよび 3.5"タッチパネル MFC モデル）
- 設定一覧（2.7 型タッチパネル DCP 機種）
- 対応している基本ネットワーク機能について

無線ネットワーク設定

- 無線ネットワークを使用する
- Wi-Fi Direct®を使用する
- 無線 LAN を有効/無効にする
- WLAN レポートを印刷する

無線ネットワークを使用する

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に
- パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

無線ネットワークに本製品を設定する前に

無線 LAN ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 常に文書を快適に印刷するために、本製品を無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。

  無線 LAN 接続は必ずしもすべてのタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）、または最速で処理可能な USB 接続で印刷することをお勧めします。
- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のネットワークで使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、自由に無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティ設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
  - 個人情報または機密情報の盗用
  - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
  - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散

無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とネットワークキー（パスワード）を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページからインストーラーをダウンロードします。
2. インストーラーを起動し、画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)**を選択してから**次の項目へ** をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

ネットワークキー

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

ネットワークキー
12345

- ご使用の無線 LAN アクセスポイント/ルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

  SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーの見つけ方

  - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書を調べてください。
  - 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
  - セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ選択(SSID)]を選択し、**OK** を押します。
6. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
7. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して、使用したい SSID を選択します。
8. **OK** を押します。
9. 次のいずれかを行ってください：

- 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。

  文字の入力が終了したら、**OK** を押します。

  設定を適用するには、[はい]を選択します。
- 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。

10. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

ネットワークキー

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

ネットワークキー
12345

- ご使用の無線 LAN アクセスポイント/ルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

  SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーの見つけ方

  - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書を調べてください。
  - 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
  - セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線に切替えますか?]が表示されたら、[はい]を押します。

   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。

   SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して接続する SSID を表示し、表示した SSID を押します。
5. [OK]を押します。

6. 次のいずれかを行ってください：
   - 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。

     文字の入力が終了したら、[OK]を押します。
   - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
7. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターが WPS（PBC：プッシュボタン設定）をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[WPS(ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ)]を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 画面に[AP のﾎﾞﾀﾝを押す]と表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの、WPS ボタンを押します。その後、本製品の画面の指示に従います。本製品は、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターを自動的に検出し、無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(プッシュボタン)]を押します。
2. [無線に切替えますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
3. タッチパネルに[アクセスポイントの WPS ボタンを 押してください 操作ができたら [OK]を押してください]と表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押します。本製品の[OK]を押します。本製品は、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターを自動的に検出し、無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 無線 LAN レポートのエラーコードについて

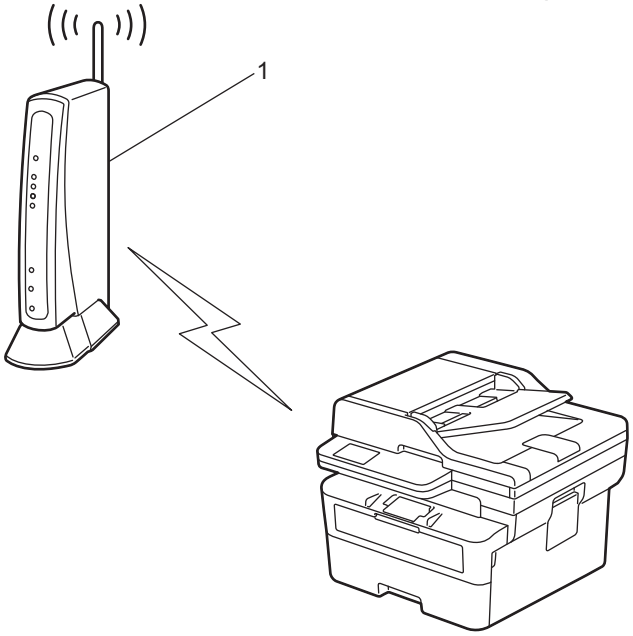
Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号（PIN：Personal Identification Number）方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、 Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジストラー（無線 LAN を管理する機器）に送信することで、無線ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書を参照してください。

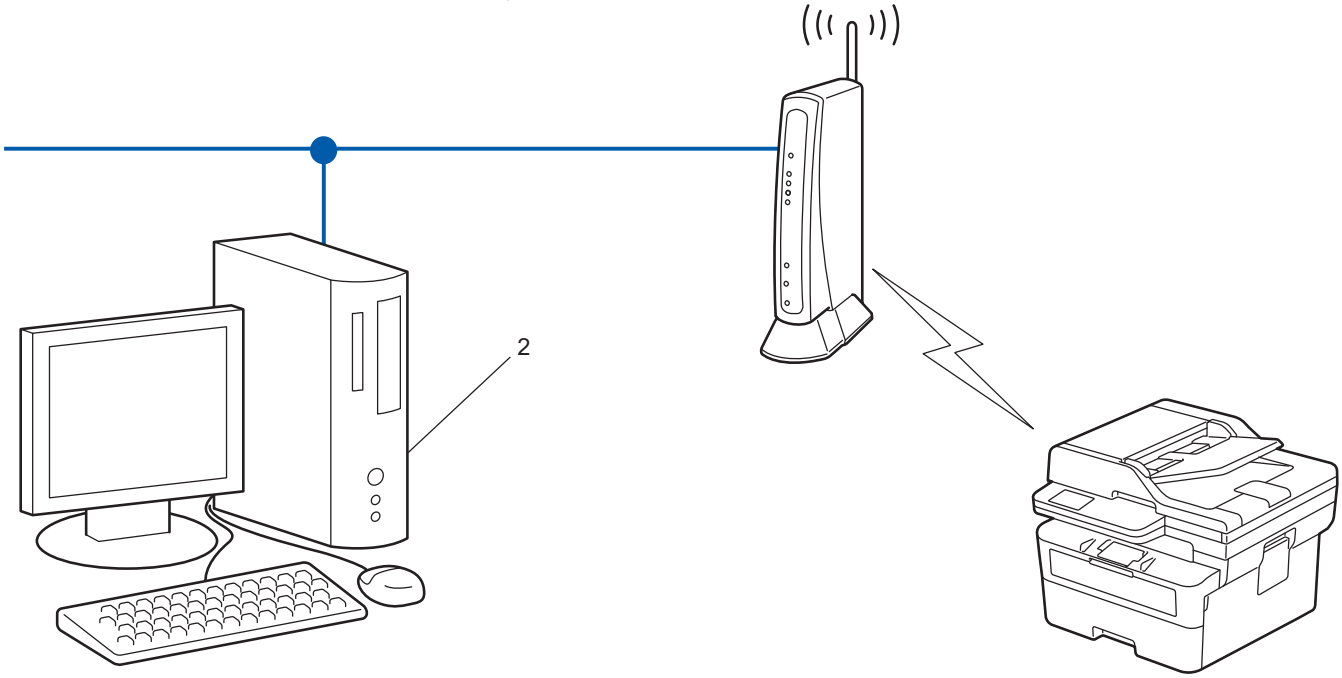
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント／ルーター（1）がレジストラーを兼ねている場合の接続：



使用例 B

コンピューターなど、その他の機器（2）がレジストラーとして使用される場合の接続：



>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

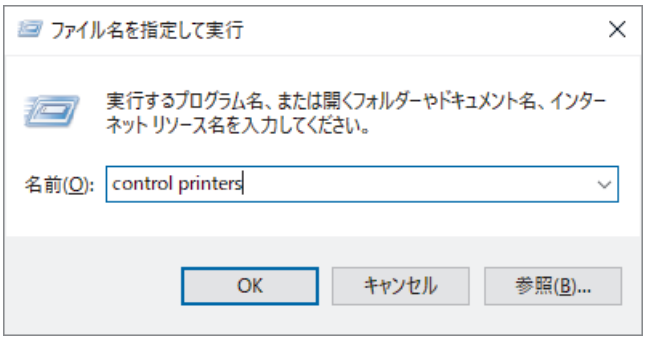
DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[WPS(PINｺｰﾄﾞ)]を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
7. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザーのアドレスバーに入力します（例：http://192.168.1.2）。
8. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。

- レジストラーは通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

9. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら R キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
10. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

11. **デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタドライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

12. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
13. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
14. **閉じる**をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

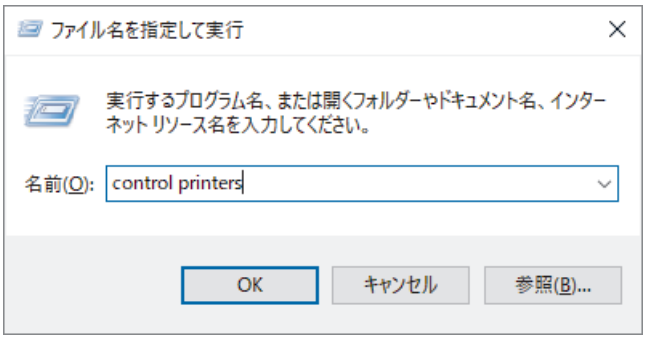
DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [WPS(PIN コード)]を押します。
2. [無線に切替えますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
3. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザーのアドレスバーに入力します（例：http://192.168.1.2）。
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。

- レジストラーは通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら R キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
7. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

8. **デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタドライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

9. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
10. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
11. **閉じる**をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 無線 LAN レポートのエラーコードについて

SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA2-PSK	AES	12345678

お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ選択(SSID)]を選択し、**OK** を押します。
6. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
7. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>]を選択し、**OK** を押します。
8. SSID 名を入力し、 **OK** を押します。
9. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK** を押します。
10. 次のいずれかを行ってください：
    - [ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ認証]を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを[なし]または[WEP]から選択し、**OK** を押します。
      暗号化方式に [WEP] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、**OK** を押します。
    - [共有ｷｰ認証] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、 **OK** を押します。

- [WPA-Personal]を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択し、**OK** を押します。

  WPA™キーを入力し、**OK** を押します。
- [WPA3-SAE]オプションを選択した場合、暗号化タイプ[AES]を選択し、**OK** を押します。

  WPA™キーを入力し、**OK** を押します。

本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

11. 設定を適用するには、[はい]を選択します。解除するには、[いいえ]を選択します。
12. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA2-PSK	AES	12345678

お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。
3. [無線に切替えますか?]が表示されたら、[はい]を押します。

   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して[<New SSID>]を表示します。[<New SSID>]を押し、[OK]を押します。
5. SSID 名を入力し、[OK]を押します。

6. 認証方式を選択します。
7. 次のいずれかを行ってください：
   - [オープンシステム認証] オプションを選択した場合、[なし] または [WEP] を押します。
     暗号化方式に [WEP] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK] を押します。
   - [共有キー認証] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK] を押します。
   - [WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE] オプションを選択した場合、[TKIP+AES] または [AES] を押します。
     WPA™キーを入力し、[OK] を押します。
   - [WPA3-SAE] オプションを選択した場合は、[AES] を押します。
     WPA™キーを入力し、[OK] を押します。

本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

8. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 無線ネットワーク設定を完了できない
- 本製品にテキストを入力するには
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて

エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して以下を選択します。
   a. [ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択します。**OK** を押します。
   b. [無線 LAN(Wi-Fi)]を選択します。**OK** を押します。
   c. [ﾈｯﾄﾜｰｸ選択(SSID)]を選択します。**OK** を押します。
4. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
5. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>]を選択し、**OK** を押します。
6. SSID 名を入力し、 **OK** を押します。
7. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK** を押します。
8. 次のいずれかを行ってください：
   - [EAP-FAST]、[PEAP]または[EAP-TTLS]を選択した場合、▲または▼を押して内部認証方式を[NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC]または[PAP]から選択し、**OK** を押します。

     使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

     ▲または▼を押して、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択し、**OK** を押します。

     ▲または▼を押して、検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+ｻｰﾊﾞｰID]から選択し、**OK** を押します。
     - [CA 証明書+ｻｰﾊﾞｰID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度 **OK** を押します。
     - その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワード（必要な場合）を入力し、その都度 **OK** を押します。

     本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、メッセージ[検証しない]が表示されます。
   - [EAP-TLS]を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択し、**OK** を押します。

     使用可能なクライアント証明書のリストが製品に表示された場合、使用する証明書を選択し **OK** を押します。

     ▲または▼を押して、検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+ｻｰﾊﾞｰID]から選択し、**OK** を押します。
     - [CA 証明書+ｻｰﾊﾞｰID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度 **OK** を押します。
     - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、**OK** を押します。
9. 設定を適用するには、[はい]を選択します。解除するには、[いいえ]を選択します。
10. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名（SSID）

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名（SSID）
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)] > [ネットワーク選択(SSID)]を押します。

3. [無線に切替えますか?]が表示されたら、[はい]を押します。
   これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ]を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して[<New SSID>]を表示します。[<New SSID>]を押し、[OK]を押します。
5. SSID 名を入力し、[OK]を押します。
6. 認証方式を選択します。
7. 次のいずれかを行ってください：
   - [EAP-FAST]、[PEAP]または[EAP-TTLS]を選択した場合、内部認証方式を[なし]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC]または[PAP]から選択します。

   使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

   暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。
   検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。
   - [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度[OK]を押します。
   - その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワード（必要な場合）を入力し、その都度[OK]を押します。

   本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない]と表示されます。

   - [EAP-TLS]オプションを選択した場合、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択します。
     使用可能なクライアント証明書のリストが本製品に表示されます。表示されたリストから証明書を選択します。
     検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバー ID]から選択します。
     - [CA 証明書+サーバー ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度[OK]を押します。
     - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、[OK]を押します。
8. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページをご覧ください。

関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

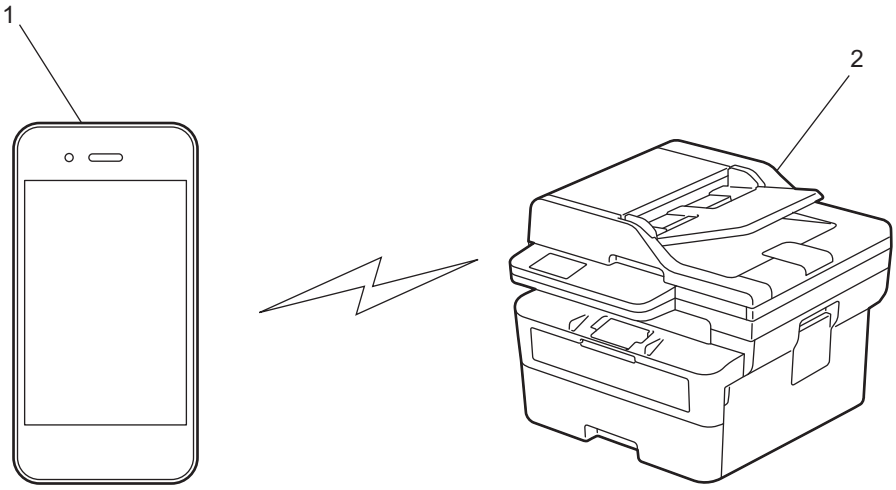
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて

Wi-Fi Direct®を使用する

- Wi-Fi Direct の概要
- Wi-Fi Direct を手動で接続する
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

Wi-Fi Direct の概要

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター/アクセスポイントを使用せずに、モバイル端末を本製品に安全に接続できます。



1. モバイル端末
2. 本製品

- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct に対応している機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct を手動で接続する
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

Wi-Fi Direct を手動で接続する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

お使いのモバイル端末で、Wi-Fi Direct または WPS が非サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

本製品がモバイル端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、画面に [接続しますか?] というメッセージが表示されます。OK を選択して接続します。

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[手動接続]を選択し、**OK** を押します。
5. [Wi-Fi Direct 有効?]が表示されたら、オンを選択します。
6. 本製品に SSID 名とパスワードが表示されます。ご使用のモバイル端末の無線ネットワーク設定画面で、この SSID 名を選択して、パスワードを入力します。
7. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

お使いのモバイル端末で、Wi-Fi Direct または WPS が非サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

本製品がモバイル端末からの Wi-Fi Direct 要求を受信すると、[Wi-Fi Direct の接続リクエストが きています 通信を開始するには[OK]を押して ください] というメッセージが画面に表示されます。[OK]を押して接続します。

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続]を押します。
2. 本製品に SSID 名とパスワードが 2 分間表示されます。ご使用のモバイル端末の無線ネットワーク設定画面で、この SSID 名を選択して、パスワードを入力します。
3. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ接続]を選択し、**OK** を押します。
5. [Wi-Fi Direct 有効?]が表示されたら、オンを選択します。
6. [相手側ﾃﾞﾊﾞｲｽの Wi-Fi Direct 設定を有効にして OKﾎﾞﾀﾝを押してください]が本製品の画面に表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いのモバイル端末の取扱説明書を参照）。製品の **OK** を押します。

   これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。
7. 次のいずれかを行ってください：
   - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
   - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。▲または▼を押して、接続したいモバイル端末を選択し、**OK** を押します。利用可能な機器を再検索するには、[<ﾘｽｷｬﾝ>]を選択してから、**OK** を押します。
8. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

本製品がモバイル端末からの Wi-Fi Direct 要求を受信すると、[Wi-Fi Direct の接続リクエストが きています 通信を開始するには[OK]を押して ください]というメッセージが画面に表示されます。[OK]を押して接続します。

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [プッシュボタン接続]を押します。
2. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を 有効にして[OK]ボタンを押して ください]が本製品の画面に表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いのモバイル端末の取扱説明書を参照）。製品の[OK]を押します。

   これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。キャンセルするには、 を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
   - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。[再検索]を押して、利用可能な機器を再検索します。
4. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

関連情報

- Wi-Fi Direct®を使用する

関連トピック：

- Wi-Fi Direct の概要
- Wi-Fi Direct を手動で接続する

無線 LAN を有効/無効にする

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[無線 LAN 有効]を選択し、**OK** を押します。
5. 次のいずれかを行ってください：
   - Wi-Fi を有効にするには、[ｵﾝ]を選択します。
   - Wi-Fi を無効にするには、[ｵﾌ]を選択します。
6. **OK** を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN(Wi-Fi)]を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN 有効]を選択します。[無線 LAN 有効]を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - Wi-Fi を有効にするには、[オン]を選択します。
   - Wi-Fi を無効にするには、[オフ]を選択します。
4. を押します。

関連情報

- 無線ネットワーク設定

WLAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して［ﾚﾎﾟｰﾄ印刷］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［無線 LANﾚﾎﾟｰﾄ］を選択し、**OK** を押します。
4. **スタート**を押します。
   本製品は無線 LAN レポートを印刷します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［レポート印刷］>［無線 LAN レポート］を押します。
2. ［はい］を押します。
   製品は無線 LAN レポートを印刷します。

無線 LAN レポートが印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1 分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。

関連情報

- 無線ネットワーク設定
  - 無線 LAN レポートのエラーコードについて

関連トピック：

- ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

無線 LAN レポートのエラーコードについて

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線 LAN（Wi-Fi）設定が有効になっていません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。 • 本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。
TS-02	接続する無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 • セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター／アクセスポイントに近づけてみてください。 • MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター／アクセスポイントの設定をご確認ください。本製品の MAC アドレスは、ネットワーク設定リストの印刷結果で確認できます。 • 手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）が間違っている可能性があります。セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式）を再度確認し、入力をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-03	無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 以下の情報を確認してください。 - 本製品で選択したネットワーク名（SSID)。 - 本製品で選択したセキュリティ情報（認証方式／暗号化方式／ユーザー ID など） ネットワーク名（SSID)やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-04	無線アクセスポイント／ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしていません。 インフラストラクチャモードの場合（最も一般的） 無線 LAN ルーター／アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更します。本製品は、以下の方式をサポートしています。 • WPA-パーソナル： TKIP / AES • WPA2-パーソナル： TKIP / AES • WPA3-パーソナル： AES • OPEN： WEP / なし（認証なし） • 共有キー： WEP 解決しない場合は、選択した SSID または入力したネットワーク設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-05	ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）を確認してください。 • ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN（Wi-Fi）ルーター／アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • ルーター／アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。
TS-06	セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ネットワークキー（パスワード）を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 • 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター／アクセスポイントが対応しているものを選択してください。 • ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認してください。ルーター／アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。 • 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している（SSID ステルス）場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをオフにしてください。 お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-07	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりませんでした。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • ルーター／アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター／アクセスポイントの説明書で確認してください。 • WPS で接続する場合は、本製品とルーター／アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザーズガイドで確認してください。 • これらの情報がわからない場合は、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-08	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが、2 個以上検出されています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 • 本製品と接続する 1 つのルーター／アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。 • 他のルーター／アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの無線セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）の確認方法：

1. お買い上げ時のセキュリティ設定が、無線 LAN アクセスポイント／ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント／ルーターのメーカー名もしくは型番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定として使用されている場合があります。
2. セキュリティ設定の表示場所については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。

- 無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが SSID をブロードキャストするように設定されていない場合、SSID は自動的には検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
- ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとして記載されている場合もあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧になるか、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- WLAN レポートを印刷する

関連トピック：

- ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ （WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

ネットワーク機能

- 操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする
- Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する
- ネットワーク設定レポートを印刷する
- Web Based Management を使用して PC-FAX 受信を設定する
- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Web Based Mgmt]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して使用したいオプションを選択し、**OK** を押します。

この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Web Based Mgmt]を押します。
2. 押してセットしたいオプションを選択します。

この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- E メールの添付ファイルを印刷する

Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。
6. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
7. プロキシサーバーの情報を入力します。
8. **OK** をクリックします。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定が一覧表示されます。

- ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRN123456abcdef」、無線 LAN の場合は「BRW123456abcdef」です。(「123456abcdef」は、本製品の MAC アドレス／イーサネットアドレスを示します。)
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
  - IP アドレス：192.168.0.5
  - サブネットマスク：255.255.255.0
  - ノード名：BRN000ca0000499
  - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して［ﾚﾎﾟｰﾄ印刷］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｽﾄ］を選択し、**OK** を押します。
4. **スタート**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［レポート印刷］>［ネットワーク設定リスト］を押します。
2. ［はい］を押します。
   本製品はネットワーク設定レポートを印刷します。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- 本製品のネットワーク設定を確認する
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- エラーメッセージ
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
- Web Based Management にアクセスする

Web Based Management を使用して PC-FAX 受信を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

Web Based Management を使用して、ウェブブラウザーで PC ファクス受信を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. **PC-FAX 受信**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
6. 本製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報

- ネットワーク機能

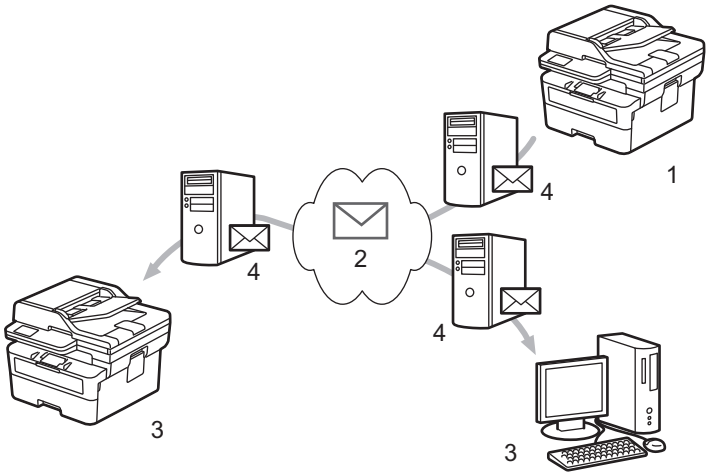
関連トピック：

- パソコンで本製品の PC-FAX 受信を起動する（Windows）

インターネットを使用したファクス（I-Fax）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

インターネットファクス（I-Fax）を使用すると、インターネットを使用してファクス文書を送受信することができます。文書は、添付 TIFF-F ファイルとして、E メールで送信されます。お使いのコンピューターに TIFF-F ファイルの生成と閲覧に対応したアプリケーションがインストールされていると、文書の送受信が可能です。いずれの TIFF-F ビューアアプリケーションも利用可能です。本製品を介して送信された文書は、自動的に TIFF-F 形式に変換されます。本製品とメッセージを送受信するには、お使いのコンピューターの E メールアプリケーションが Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) をサポートしている必要があります。



1. 送信者
2. インターネット
3. 受信者
4. E メールサーバー

I-Fax では、レターまたは A4 サイズ、およびモノクロの原稿の送受信のみをサポートしています。

関連情報

- ネットワーク機能
  - インターネットファクス（I-Fax）に関する重要事項
  - E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する
  - インターネットファクス（I-Fax）を送信する
  - サーバーに手動でポーリングする
  - I-FAX オプション

関連トピック：

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

インターネットファクス（I-Fax）に関する重要事項

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

LAN 上での I-Fax 通信は、E メールによる通信と非常によく似ていますが、通常の電話回線を使ったファクス通信とは異なります。I-FAX を使用する際には、以下の内容を必ずお読みください。

- 受信者の場所、LAN の構造、回線（インターネットなど）の混み具合などの要因により、エラーメールの送信に通常より時間がかかることがあります。
- 機密文書を送信する場合は、（セキュリティレベルが低いため）インターネットではなく、一般的な電話回線を使用することをお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME に対応していない場合、I-FAX で文書を送信することはできません。可能であれば事前に確認してください。また、サーバーによってはエラー返信をしない場合もありますのでご注意ください。
- I-FAX で送信する文書が大きすぎる場合、受信者に届かないことがあります。
- 受信したインターネットメールの文字のフォントや大きさを変更することはできません。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

I-Fax を使用する前に、本製品がネットワークおよびメールサーバーと通信できるように設定します。これらの設定は、本製品の操作パネルまたは Web Based Management から行うことができます。本製品で次の情報が設定されている必要があります。

- IP アドレス（すでに本製品をネットワーク上で使用している場合は、本製品の IP アドレスは正しく設定されています。）
- E メールアドレス
- SMTP、POP3、IMAP4 サーバーアドレス／ポート／認証方式／暗号化方式／サーバー証明書の検証
- メールボックス名とパスワード

ご不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
  - E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）の初期設定
  - 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

関連トピック：

- I-FAX オプション

E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）の初期設定

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

I-Fax を送信する前に、操作パネルまたは Web Based Management を使用して、以下のオプション項目を設定します。

- **メールタイトル**
- **スキャン to E メール 文書**
- **サイズ制限**
- **受信確認要求を行う**

ご不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。

関連情報

- E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する
  - 本製品によるインターネットファクス（I-Fax）の受信方法

関連トピック：

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

本製品によるインターネットファクス（I-Fax）の受信方法

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品が着信 I-Fax を受信すると、I-Fax が自動的に印刷されます。I-Fax を受信するには、操作パネルまたは Web Based Management を使用して、次のオプション項目を設定することをお勧めします。

- **自動受信**
- **ポーリング間隔**
- **ヘッダー印刷**
- **エラーメール削除/既読**
- **受信確認通知を行う**

E メールの受信方法は 2 通りあります：

- 通常間隔での POP3/IMAP4 受信
- 手動開始の POP3/IMAP4 受信

POP3/IMAP4 受信を使用している場合、本製品はお使いの E メールサーバーにポーリングしてデータを受信します。ポーリングは設定した間隔で発生させたり（例えば、10 分間隔で E メールサーバーにポーリングするよう製品を設定できます）、サーバーに対して手動で実行したりできます。

- 本製品が E メールの受信を開始すると、液晶ディスプレーに [受信中] が表示されます。E メールは自動的に印刷されます。
- データを受信したときに用紙切れの場合、受信データは本製品のメモリーに保持されます。このデータは、用紙が用紙トレイにセットされると自動的に印刷されます。
- 本製品のファクス一時バックアップ機能をオンにすると、受信データが一定期間保存されます。
- 受信メールがプレーンテキスト形式ではない場合、または添付ファイルが TIFF-F 形式ではない場合は、「**添付ファイルのフォーマットは使用できません**」というエラーメッセージが印刷されます。
- 受信メールのサイズが大きすぎる場合は、「**ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ が大きすぎます**」というエラーメッセージが印刷されます。
- **エラーメール削除/既読**が**オン**（初期値）の場合、エラーメールが E メールサーバーから自動的に削除されます。

関連情報

- E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）の初期設定

関連トピック：

- 受信した I-FAX をパソコンに表示させるには
- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

受信した I-FAX をパソコンに表示させるには

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

パソコンが I-Fax 文書を受信すると、文書は E メールに添付され、「件名」欄に、E メールサーバーが I-Fax を受信したことが通知されます。本製品が電子メールサーバーをポーリングするのを待つか、または手動で電子メールサーバーをポーリングして、着信データを受信することができます。

関連情報

- E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する

関連トピック：

- 本製品によるインターネットファクス（I-Fax）の受信方法

インターネットファクス（I-Fax）を送信する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

I-Fax の送信は、通常のファクスの送信と同様です。受信者の情報が、お使いの E メールアドレス帳に保存されていることを確認し、I-Fax で送信する原稿を本製品にセットします。

- 原稿の送信先パソコンで Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019/2022、Windows 10、または Windows 11 が動作していない場合、TIFF ファイルを表示できるソフトウェアをパソコンの所有者にインストールしてもらいます。
- 複数のページを送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. ファクス送信の設定を変更するには、**メニュー**を押してから、▲または▼を押して［ﾌｧｸｽ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［送信設定］を表示し、**OK** を押します。設定の変更が終了したら、**OK** を押します。
5. 短縮ダイヤルまたはショートカット番号を選択します。

受信者の E-mail アドレスを指定する前に、Web Based Management を使用してその E-mail アドレスが短縮ダイヤルまたはショートカットに追加されていることを確認します。

6. **スタート**を押します。
   本製品はスキャンを開始します。原稿はスキャンされると、SMTP サーバー経由で受信者に送信されます。スキャン中に**停止/終了**を押すと、送信操作をキャンセルすることができます。送信が終了すると、製品は待機モードに入ります。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が［しない（受信したら印刷）］に設定されている場合は、［ファクス］を押します。
   - みるだけ受信が［する（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ファクス送信設定を変更するには、［設定変更］を押します。
4. ▲または▼を押して、ファクス設定値をスクロールします。変更対象の設定値が表示されたら、それを押して変更後の値を選択します。設定の変更が終了したら、［OK］を押します。
5. 次のいずれかを行ってください：
   - を押し、E-mail アドレスを入力したあとに［OK］を押します。
   - ［電話帳］を押し、受信者の E-mail アドレスを選択して、［送信先に設定］を押します。
6. ［スタート］を押します。
   本製品はスキャンを開始します。原稿はスキャンされると、SMTP サーバー経由で受信者に送信されます。スキャン中にを押すと、送信操作をキャンセルすることができます。送信が終了すると、製品は待機モードに入ります。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

サーバーに手動でポーリングする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Eﾒｰﾙ/IFAX]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[手動受信]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[はい]オプションを選択します。
6. 画面に[受信中]と表示され、本製品は E-mail サーバーから送られたデータを印刷します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [手動受信]を押します。
2. [はい]を押して確認します。
3. 画面に[受信中]と表示され、本製品は E-mail サーバーから送られたデータを印刷します。

関連情報

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）

I-FAX オプション

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 受信 E-mail とファクスメッセージを転送する
- 同報送信をリレーする
- インターネットファクス（I-Fax）検証メール
- E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）用に本製品を設定する

受信 E-mail とファクスメッセージを転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品の I-Fax 機能を使用して、E メールや一般的なファクスメッセージを、他のパソコン、ファクス機、または別の I-Fax 機に転送します。本製品の操作パネルを使用して、転送機能を有効にします。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[転送/ﾒﾓﾘ受信]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ転送]を表示し、**OK** を押します。
6. 次のいずれかを行ってください：
   - 受信者のファクス番号を入力します。
   - 短縮ダイヤルまたはショートカット番号を選択し、受信者の E メールアドレスを入力します。
7. **OK** を押します。
8. E-mail アドレスを選択した場合は、▲または▼を押して、ファイルタイプを選択し、**OK** を押します。

コピーを取るために本製品で受信ファクスを印刷するには、▲または▼を押して[する]オプションを選択してから **OK** を押します。

9. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

操作パネルを使用して、E-mail 転送を有効にする手順：

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [メモリ受信]を押します。
2. [ファクス転送]を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - [手動入力]を押して、画面から受信者のファクス番号（最大 20 桁）または E-mail アドレスを入力します。

     [OK]を押します。
   - [電話帳]を押します。

     ▲または▼を押して、ファクスを転送するファクス番号または E-mail アドレスを表示します。

     転送先のファクス番号または E メールアドレスを押します。
4. E-mail アドレスを選択した場合は、必要なファイル形式を選択します。

[本体でも印刷する]を押して本製品で受信ファクスを印刷すると、コピーを作成できます。

5. を押します。

関連情報

- I-FAX オプション

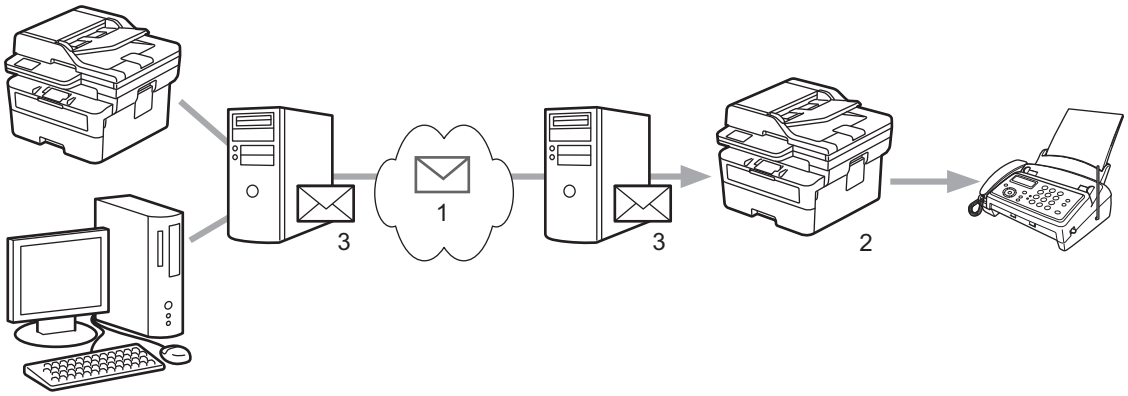
関連トピック：

- インターネットを使用したファクス（I-Fax）
- E メールまたはインターネットファクス（I-Fax）の初期設定
- 本製品によるインターネットファクス（I-Fax）の受信方法

同報送信をリレーする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リレー同報送信では、本製品がインターネットを介してメッセージを受信し、従来の電話回線を使用して別のファクス機にメッセージを中継します。遠隔地や海外に文書をファクスする必要がある場合、リレー同報送信機能を使用すると、通信費を節約できます。



1. インターネット
2. 電話回線
3. E メールサーバー

本製品の操作パネルまたは Web Based Management を使用して、次の項目を設定します。

- **リレー許可**

  リレー許可 を **オン** に設定します。
- **許可ドメイン**

  ファクス機に原稿を同報送信する製品に、本製品のドメイン名を設定します。本製品をリレー同報送信機器として使用する場合は、信頼できるドメイン名（「@」記号より後ろの部分）を本製品で指定する必要があります。信頼できるドメインは慎重に選択してください。最大 10 個までドメイン名を登録できます。
- **リレー配信レポート**

  本製品がリレー同報送信を完了した後の、レポート印刷の有無を指定します。

リレー配信機能

関連情報

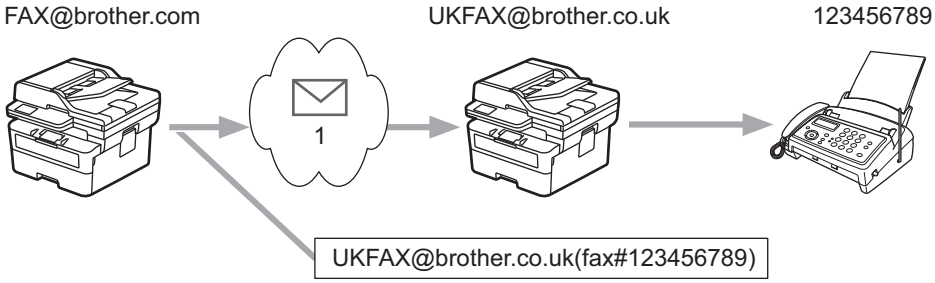
- I-FAX オプション
  - 本製品から同報送信をリレーする
  - お使いのパソコンから同報送信をリレーする

本製品から同報送信をリレーする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リレー同報送信機能を使用して、本製品からファクス機に E メールを送信します。

Web Based Management で **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていることを確認します。**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていない場合は、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスを選択します。**OK** をクリックして、本製品を再起動します。



1. インターネット

この例では、本製品の E メールアドレスは FAX@brother.com であり、原稿を本製品から、E メールアドレスが UKFAX@brother.co.uk の、イギリスの一般的なファクス機に送信します。また、送信には従来の電話回線が使用されます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

この機能を使用するには、E-mail アドレスをショートカットの番号、または短縮ダイヤルの番号として登録する必要があります。

1. （**ファクス**）を押します。
2. 原稿をセットします。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - **プリセット**ボタンを長押しして、1 桁のショートカットの番号を入力します。
   - （アドレス帳）を押して、登録済みの 3 桁の短縮ダイヤルを入力します。

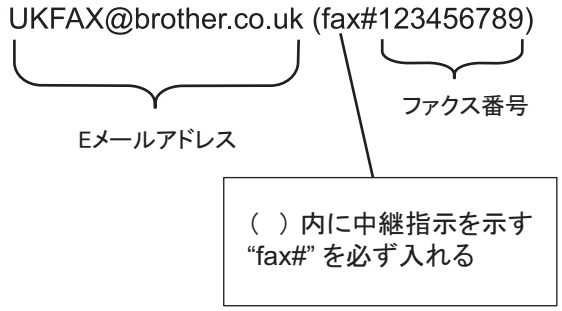
     OK を押します。
4. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - みるだけ受信が［しない（受信したら印刷）］に設定されている場合は、［ファクス］を押します。
   - みるだけ受信が［する（画面で確認）］に設定されている場合は、［ファクス］を押したあと、［ファクス送信］を押します。
3. ［設定変更］を押します。
4. ▲または▼を押して、［同報送信］を表示します。
5. ［同報送信］を押します。

6. ［番号追加］を押します。
7. 以下の方法で、同報送信に E-mail アドレスを追加できます。
   - ［手動入力］を押します。 を押し、E-mail アドレスを入力したあと、［OK］を押します。
   - ［電話帳から選択］を押します。同報送信に追加する E-mail アドレスのチェックボックスを押します。追加対象すべての E-mail アドレスを確認し、［OK］を押します。
   - ［検索して選択］を押します。名前を入力し、［OK］を押します。検索結果が表示されます。名前を押してから、同報送信に追加する E-mail アドレスを押します。

   E-mail アドレスと電話番号の入力方法の例を以下に示します。



   すべてのファクス番号を入力し、［OK］を押します。
8. ［スタート］を押します。

関連情報

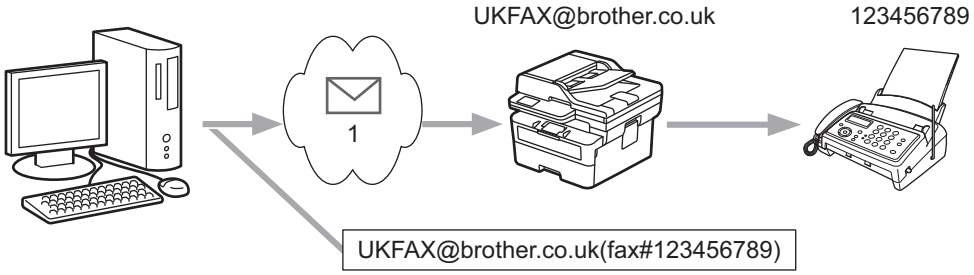
- 同報送信をリレーする

お使いのパソコンから同報送信をリレーする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

リレー同報送信機能を使用して、パソコンからファクス機に E メールを送信します。

- 複数のファクス番号へ E メール送信できない E メールアプリケーションもあります。お使いの E メールアプリケーションが複数のファクス番号をサポートしていない場合、一度にリレーできるファクス機は 1 つのみです。



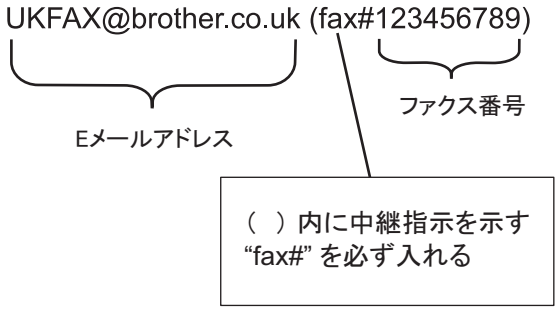
1. インターネット

- Web Based Management で **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていることを確認します。**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスがオンになっていない場合は、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**および **SMTP サーバー**チェックボックスを選択します。**OK** をクリックして、本製品を再起動します。

E メールを従来のファクス機に送信する場合、ファクス番号を入力する方法は、使用しているメールアプリケーションによって異なります。

1. お使いの E メールアプリケーションで、新しいメールメッセージを作成し、リレー機の E メールアドレスおよび最初のファクス機のファクス番号を、「TO」ボックスに入力します。

   E メールアドレスとファクス番号の入力方法の例を以下に示します。



Microsoft Outlook の場合、アドレス情報は、以下に示すようにアドレス帳に入力します。

名前：fax#123456789

電子メールアドレス：UKFAX@brother.co.uk

2. リレー機の E メールアドレスおよび、2 台目のファクス機のファクス番号を、「TO」ボックスに入力します。
3. E メールを送信します。

関連情報

- 同報送信をリレーする

インターネットファクス（I-Fax）検証メール

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- 送信検証メールでは、I-Fax または E メールを受信して処理した受信ステーションからの通知を要求できます。
- 受信検証メールでは、I-Fax または E メールを正常に受信して処理した後、初期設定のレポートを送信ステーションに送信できます。

この機能を使用するには、本製品の操作パネルの、［メール　受信設定］で［受信確認］を、［メール　送信設定］で［受信確認要求］を設定します。

関連情報

- I-FAX オプション
  - TX 確認メールの送信通知を有効にする
  - TX 確認メールの受信通知を有効にする
  - I-Fax のエラーメール

TX 確認メールの送信通知を有効にする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Eﾒｰﾙ/IFAX]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾒｰﾙ 送信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[受信確認要求]を表示し、**OK** を押します。
6. [ｵﾝ]または[ｵﾌ]を選択して、送信通知機能を有効または無効にしてから **OK** を押します。
   送信通知がオンの場合、ファクスには、メッセージの配信情報を含む、開封通知（MDN : Message Disposition Notification）と呼ばれるフィールドが追加されます。

通知レポートを送信するために、MDN フィールドがファクス受信者の製品でサポートされている必要があります。

7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [メール 送信設定] > [受信確認要求]を押します。
2. [オン]または[オフ]を選択して、送信通知機能を有効または無効にします。
   送信通知がオンの場合、ファクスには、メッセージの配信情報を含む、開封通知（MDN : Message Disposition Notification）と呼ばれるフィールドが追加されます。

通知レポートを送信するために、MDN フィールドがファクス受信者の製品でサポートされている必要があります。

3. を押します。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

TX 確認メールの受信通知を有効にする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Eﾒｰﾙ/IFAX]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾒｰﾙ 受信設定]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[受信確認]を表示し、**OK** を押します。
6. 3 つの設定オプションの中から 1 つを選択します。

オプション	詳細
受信通知[ｵﾝ]	受信通知が[ｵﾝ]の場合、テンプレートが送信者に返信され、メッセージの受信と処理が正常に行なわれたことが通知されます。 これらのテンプレートは、送信者が要求した操作により異なります。 例： [成功：(PC のメールアドレス)から受信しました。]
受信通知[MDN]	受信通知が[MDN]の場合、発信局が要求確認を[MDN]（開封通知）フィールドに送信していると、受信と処理が正常に行なわれたことを示すレポートが送信者に返信されます。
受信通知[ｵﾌ]	受信通知が[ｵﾌ]の場合、すべての形式の受信通知が無効になり、要求の種類に関わらず、送信者には何も返信されません。

- TX 確認メールを送信するには、送信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [ﾒｰﾙ 送信設定]の[受信確認要求]を[ｵﾝ]に切り替えます。
  - [ﾒｰﾙ 受信設定]の[ﾍｯﾀﾞｰ印刷]を[全て]または[ﾍｯﾀﾞｰ のみ]に切り替えます。
- TX 確認メールを受信するには、受信者が以下の設定を行っている必要があります。
  [ﾒｰﾙ 受信設定]の[受信確認]を[ｵﾝ]に切り替えます。

7. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [E メール/IFAX] > [メール 受信設定] > [受信確認]を押します。
2. 3 つの設定オプションの中から 1 つを押します。

オプション	詳細
受信通知[オン]	受信通知が[オン]の場合、テンプレートが送信者に返信され、メッセージの受信と処理が正常に行なわれたことが通知されます。 これらのテンプレートは、送信者が要求した操作により異なります。 例：

オプション	詳細
	[成功：(PC のメールアドレス) から受信しました。]
受信通知 [MDN]	受信通知が [MDN] の場合、発信局が要求確認を [MDN]（開封通知）フィールドに送信していると、受信と処理が正常に行なわれたことを示すレポートが送信者に返信されます。
受信通知 [オフ]	受信通知が [オフ] の場合、すべての形式の受信通知が無効になり、要求の種類に関わらず、送信者には何も返信されません。

- TX 確認メールを送信するには、送信者が以下の設定を行っている必要があります。
  - [メール 送信設定] の [受信確認要求] を [オン] に切り替えます。
  - [メール 受信設定] の [ヘッダー印刷] を [全て] または [ヘッダー のみ] に切り替えます。
- TX 確認メールを受信するには、受信者が以下の設定を行っている必要があります。
  [メール 受信設定] の [受信確認] を [オン] に切り替えます。

3. を押します。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

I-Fax のエラーメール

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

インターネットファクス（I-FAX）送信時に配信エラーが発生すると、メールサーバーはファクスを送信した本製品にエラーメッセージを送り、エラーメッセージが印刷されます。

I-Fax 受信時にエラーが発生すると、「本製品に送信中のメッセージは TIFF 形式ではありませんでした」などのエラーメッセージが印刷されます。

本製品でエラーメールの受信と印刷を行うには、［メール 受信設定］で、［ヘッダー印刷］を、［全て］または［ヘッダー のみ］に切り替えます。

関連情報

- インターネットファクス（I-Fax）検証メール

Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP）は、SNTP タイムサーバーとの認証で本製品が使用する時間を同期させるために使用されます。（これは本製品の画面に表示される時刻ではありません。）本製品で使用される時刻を、SNTP タイムサーバーによって提供される UTC（協定世界時）と自動または手動で同期させることができます。

- Web Based Management で日時を設定する
- Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

Web Based Management で日時を設定する

製品で使用されている時間を SNTP タイムサーバーと同期させるように、日時を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定** > **時計設定**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **タイムゾーン** 設定を確認します。
6. **SNTP サーバーと同期する**チェックボックスを選択します。
7. **OK** をクリックします。

日付と時刻は手動で設定することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	**AUTO** または **STATIC** を選択します。 • **AUTO** ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的にそのサーバーからアドレスを取得します。 • **STATIC** 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス **セカンダリー SNTP サーバーアドレス**	サーバーのアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーのアドレスは、プライマリー SNTP サーバーのアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート **セカンダリー SNTP サーバーポート**	ポート番号を入力します（1～65535）。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期の試行間隔（1 時間から 168 時間）を入力します。

10. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットします。これにより、管理者パスワードを除きすべての情報がリセットされます。

Web Based Management を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. 製品の指示に従って、ネットワークの設定をリセットします。
   本製品が再起動します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット]を押します。
2. [再起動しますか? 実行する場合は[OK]を 2 秒間 押してください 実行しない場合は [キャンセル]を押してください]が表示されます。[OK]を 2 秒間押して、確認します。
   本製品が再起動します。

関連情報

- ネットワーク機能

関連トピック：

- 本製品を初期状態に戻す

セキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IEEE 802.1x 認証を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する
- E メールを安全に送受信する
- 操作パネルから製品の設定をロックする
- グローバルネットワーク検出機能を使う

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

FTP サーバーおよび TFTP プロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。

関連情報

- セキュリティ
  - 不要なプロトコルを無効にする

不要なプロトコルを無効にする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. 不要なプロトコルのチェックボックスをオフにして無効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、証明書を設定する必要があります。
証明書を設定するには、Web Based Management を使用する必要があります。

- サポートされているセキュリティ証明書機能
- 証明書を作成してインストールする方法
- 自己署名証明書を作成する
- 証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて
- 複数の証明書を管理する

サポートされているセキュリティ証明書機能

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な管理、認証、本製品との通信が可能になります。本製品では、以下のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- SMTP/POP3/IMAP4 の SSL 通信 （特定のモデルのみ可能）
- IEEE 802.1x 認証

本製品は以下をサポートしています。

- プリインストール証明書

  本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。

プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書

  本プリントサーバーは自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局（CA）発行の証明書

  CA 発行の証明書をインストールする場合、2 とおりの方法があります。CA 発行の証明書がすでにある場合、または外部の信頼できる CA の証明書を使用する場合：

  - 本プリントサーバーからの証明書署名要求（CSR）を使用する場合。
  - 証明書とプライベートキーをインポートする場合。

- 認証局（CA）証明書

  CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。

- SSL/TLS 通信を使用する場合は、まずシステム管理者に連絡することをお勧めします。
- プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

証明書を作成してインストールする方法

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

オプション 1

自己署名証明書

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

オプション 2

CA からの証明書

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. **自己署名証明書の作成**をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
   - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **EC(256bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

外部の信頼された認証局（CA）から取得した証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA から取得した証明書が存在しない場合、証明書署名要求（CSR）を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

証明書署名要求（CSR：Certificate Signing Request）を作成する

証明書署名要求（CSR）は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局（CA）に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのパソコンにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. **CSR の作成**をクリックします。
6. **コモンネーム**（必須）を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報（任意）を追加します。

   - CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
   - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
   - 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
   - **組織**、**部署**、**市**、および**県/州**の長さは 64 バイト未満の必要があります。
   - **国**は、2 文字の ISO 3166 国コードです。
   - X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **EC(256bit)**です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。

   CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。
10. **保存**をクリックします。

- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019/2022 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。

関連情報

- 証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

証明書を本製品にインストールする

認証局（CA）から証明書を受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の証明書署名要求（CSR）と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他のCSR を作成する場合は、新しい CSR を作成する前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。他の CSR の作成は、この証明書を必ず先にインストールしてから行ってください。新しい CSR のインストール前に作成された CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. **証明書のインストール** をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。

   証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

関連情報

- 証明書署名要求（CSR）を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。

   パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK** をクリックします。
8. **保存**をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。

関連情報

- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- CA 証明書をインポートする
- CA 証明書をエクスポートする

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **CA 証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- CA 証明書のインポートとエクスポートについて

複数の証明書を管理する

複数の証明書の機能により、Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または **CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	6
CA 証明書	9

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。

- HTTPS/IPPS、IEEE 802.1x、または署名済み PDF を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP/POP3/IMAP4 通信に SSL を使用する場合（特定モデルにのみ対応）、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用する

- SSL/TLS について
- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理
- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する
- E メールを安全に送受信する

SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることがありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

関連情報

- SSL/TLS を使用する
  - SSL/TLS の略歴
  - SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS の略歴

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザーとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを非認証のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の最も重要なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部署が定期的に給与明細を印刷しているとします。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、コードのページが表示されるだけです。

関連情報

- SSL/TLS について

SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択**ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Yes** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

ネットワーク上で本製品を安全に管理するために、HTTPS プロトコルを使用した Web Based Management を使用します。

- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- HTTPS プロトコル設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

- 以下の手順は、Microsoft Edge を使用する場合です。その他のウェブブラウザーを使用している場合は、ウェブブラウザーの説明書またはオンラインヘルプで、証明書のインストール方法を参照してください。
- Web Based Management を使用して、自己署名証明書を作成したことを確認してください。

1. **Microsoft Edge** アイコンを右クリックし、**管理者として実行**をクリックします。
   ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
   例：
   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。
     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 接続がプライベートでない場合は、**詳細設定**ボタンをクリックしてから、ウェブページに進んでください。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
5. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **セキュリティ** > **証明書**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
6. **エクスポート** をクリックします。
7. 出力ファイルを暗号化するには、**パスワード設定**欄にパスワードを入力します。**パスワード設定**欄が空白の場合、出力ファイルは暗号化されません。
8. **パスワード確認**欄にパスワードを再度入力し、**OK** をクリックします。
9. ダウンロードしたファイルをクリックして開きます。
10. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、 **次へ**をクリックします。
11. **次へ** をクリックします。
12. 必要に応じて、パスワードを入力し、**次へ**をクリックします。
13. **証明書をすべて次のストアに配置する** を選択してから **参照...** をクリックします。
14. **信頼されたルート証明機関**を選択し、**OK** をクリックします。
15. **次へ** をクリックします。
16. **完了** をクリックします。
17. フィンガープリント（拇印）が正しければ、**はい**をクリックします。
18. **OK** をクリックします。

関連情報

- SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- IPPS を使用して文書を印刷する
- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

IPPS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。

   IPP チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。

   製品を再起動して、設定を有効にします。

   本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。
6. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS** チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。

関連情報

- SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3（SNMPv3）は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定**をクリックします。
6. SNMPv1/v2c モードの設定を行います。

オプション	詳細
SNMP v1/v2c read-write access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、本製品のすべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
SNMP v1/v2c read-only access	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c（読み取り専用アクセス）を使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を無効にします。 SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMP v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使います。

7. SNMPv3 モードの設定を行います。

オプション	詳細
有効	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、SNMPv3 モードを使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver. 3 を無効にします。 SNMPv3 を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv3 アプリケーションの使用を許可するには、SNMPv3 モードを使います。

8. **OK** をクリックします。

本製品にプロトコル設定オプションが表示された場合は、使用するオプションを選択します。

9. 製品を再起動して、設定を有効にします。

関連情報

- SNMPv3 を使用する

IEEE 802.1x 認証を使用する

- IEEE 802.1x 認証について
- Web Based Management（ウェブブラウザー）を使用した有線または無線ネットワークの IEEE 802.1x 認証の設定
- IEEE 802.1x 認証方式

IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本ブラザー製品は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証を使用する

Web Based Management（ウェブブラウザー）を使用した有線または無線ネットワークの IEEE 802.1x 認証の設定

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

操作パネルから無線セットアップウィザードを使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます（無線 LAN）。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. 次のいずれかを行ってください：
   - 有線 LAN の場合

     有線 > **有線 802.1x 認証**をクリックします。
   - 無線 LAN の場合

     無線 > **無線 (エンタープライズ)**をクリックします。
6. IEEE 802.1x 認証を設定します。

   - 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x** で**有効**を選択します。
   - **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書（証明書の名前付きで表示）を、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
   - **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	共通名を確認する検証方法[1]を確認する検証方法。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、**<Wired IEEE 802.1x>**の状態を確認します。

オプション	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証を使用する

関連トピック：

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

1 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名と、**サーバー ID** に設定された文字列を比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせて、**サーバー ID** を設定してください。

IEEE 802.1x 認証方式

EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling）は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5 （有線 LAN）

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5（EAP-MD5：Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5）はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ／レスポンス認証を行います。

PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル（PEAP：Protected Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer（SSL）/Transport Layer Security（TLS）トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティー（EAP-TTLS：Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security）は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティー（EAP-TLS：Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。

関連情報

- IEEE 802.1x 認証を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

セキュリティ機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定のユーザーページへのアクセスを設定して、以下の機能の一部または全部へのアクセスを許可します。

Web Based Management を使用して、以下のセキュリティ機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

  印刷には、AirPrint、Brother iPrint&Scan、および Brother Mobile Connect を経由するプリントジョブの送信が含まれます。

  ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。
- **コピー**
- **スキャン**

  スキャンには、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を経由するスキャンジョブの送信が含まれます。
- **送信**（サポート対象モデルのみ）
- **受信**（サポート対象モデルのみ）
- **クラウド接続**（サポート対象モデルのみ）
- **お役立ちツール**（サポート対象モデルのみ）
- **枚数制限**
- **ページカウンター**

タッチパネル液晶ディスプレーモデル：

セキュリティ機能ロックが有効な場合、本製品は自動的にパブリックモードになり、本製品の機能の一部が許可されたユーザーのみに制限されるようになります。制限された本製品の機能にアクセスするには、 を押し、ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側にあるナビゲーションバーで、**管理者設定** > **制限機能**または**制限管理**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **ユーザーリスト/機能制限** 欄にグループ名またはユーザー名を入力します。
9. **印刷**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. 最大ページ数を設定するには、**枚数制限**列の**オン**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
11. **OK** をクリックします。
12. **ユーザーリスト**メニューをクリックします。
13. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
14. **パスワード**欄に、パスワードを入力します。

お使いのモデルによって設定できる文字数は異なります。

15. ユーザーごとにドロップダウンリストから**ユーザーリスト/機能制限**を選択します。
16. **OK** をクリックします。

セキュリティ機能ロックメニューでユーザーリストのロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用してスキャンする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

スキャン制限を設定する（管理者向け）

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用すると、管理者はスキャンを許可するユーザーを制限できます。パブリックユーザー設定でスキャン機能がオフに設定されている場合、**スキャン**チェックボックスが選択されているユーザーだけがスキャンを実行できます。

スキャン機能を使用する（制限されたユーザー向け）

- 本製品の操作パネルを使用してスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、操作パネルでパスワードを入力してスキャンモードにアクセスする必要があります。
- パソコンからスキャンする場合：

  制限されたユーザーは、各自のパソコンからスキャンする前に、操作パネルでパスワードを入力する必要があります。操作パネルでパスワードが入力されなかった場合、ユーザーのパソコンにエラーメッセージが表示されます。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。これにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。

パブリックモードの対象は、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を介して送信される印刷ジョブなどです。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側にあるナビゲーションバーで、**管理者設定** > **制限機能**または**制限管理**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
9. **OK** をクリックします。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

セキュリティ機能ロック画面で以下の機能を設定します。

カウンターリセット

ページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

CSV ファイルへ出力

CSV ファイルへ出力をクリックして、**ユーザーリスト/機能制限**情報を含む現在および前回のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

前回ログ

カウンターをリセットした後でページ数を確認したい場合は、**前回ログ**をクリックします。

関連情報

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

E メールを安全に送受信する

- Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う
- ユーザー認証を使用して E メールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送受信を行う

Web Based Management を使用して E メール送信または受信の設定を行う

Web Based Management を使用して、安全なユーザー認証付き E メール送信の設定、または SSL/TLS を使用した E メール送信の設定を行うことを推奨します。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。

左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

5. **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**欄で、**詳細設定**をクリックして、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**の状態が**有効**であることを確認します。

認証方式選択画面が表示された場合は、お使いの認証方式を選択し、画面の指示に従います。

6. **POP3/IMAP4/SMTP クライアント**の設定を行います。
   - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
   - POP3/IMAP4/SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。
7. 完了後、**OK** をクリックします。

   E メール送信／受信設定のテストダイアログボックスが表示されます。
8. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。

関連情報

- E メールを安全に送受信する

ユーザー認証を使用して E メールを送信する

E-mail は、本製品によりユーザー認証を必要とする E-mail サーバーを経由し送信されます。この方式により、権限のないユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスを防止します。

ユーザー認証を使用して E メール通知、E メールレポートおよび I-Fax を送信できます。（MFC モデルの場合）

Web Based Management を使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。

Web Based Management を使用して SMTP サーバー認証を有効にするには、**POP3/IMAP4/SMTP クライアント**画面の**送信メールサーバー認証方式**で使用する認証方式を選択します。

関連情報

- E メールを安全に送受信する

SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送受信を行う

本製品では SSL/TLS 通信方式をサポートしています。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを使用するには、次の設定が必要です。

Web Based Management を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、 **SSL** または **TLS** を選択している場合、 **サーバー証明書を検証** チェックボックスが自動的に選択されます。

- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書のインポートの必要性について確認するには、ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合は、**サーバー証明書を検証**チェックボックスの選択を解除してください。

ポート番号

SSL または **TLS** を選択すると、**ポート**値がプロトコルと一致するように変更されます。手動でポート番号を変更するには、**SSL/TLS** 設定を選択した後、ポート番号を入力します。

本製品の通信方式を、お使いの E-mail サーバーで使用されている方式に合わせて設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

ほとんどの場合、安全なウェブメールサービスには次の設定が必要です。

SMTP	**ポート**	587
	送信メールサーバー認証方式	**SMTP-AUTH**
	SSL/TLS	**TLS**
POP3	**ポート**	995
	SSL/TLS	**SSL**
IMAP4	**ポート**	993
	SSL/TLS	**SSL**

関連情報

- E メールを安全に送受信する

関連トピック：

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

操作パネルから製品の設定をロックする

本製品の設定ロックをオンにする前に、パスワードをメモして保存してください。パスワードを忘れた場合は、管理者またはブラザーコールセンターに問い合わせて、本製品に保存されているパスワードをすべてリセットする必要があります。

- 設定ロックの概要

設定ロックの概要

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

設定ロック機能を使用して、製品への不正アクセスを防ぎます。
設定ロックがオンに設定されているとき、本製品の設定にアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。

- 設定ロックパスワードを設定する
- 設定ロックパスワードを変更する
- 設定ロックをオンにする

設定ロックパスワードを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｾｷｭﾘﾃｨ設定ﾛｯｸ]を表示し、**OK** を押します。
4. パスワードに 4 桁の数値を入力します。
5. **OK** を押します。
6. 画面に[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. **OK** を押します。
8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック]を押します。
2. パスワードに 4 桁の数値を入力します。
3. [OK]を押します。
4. 画面に[パスワード確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。
5. [OK]を押します。
6. を押します。

関連情報

- 設定ロックの概要

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには

設定ロックパスワードを変更する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｾｷｭﾘﾃｨ設定ﾛｯｸ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定]を選択し、**OK** を押します。
5. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
6. **OK** を押します。
7. 新しい 4 桁のパスワードを入力します。
8. **OK** を押します。
9. 画面に[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。
10. **OK** を押します。
11. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [パスワード設定]を押します。
2. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。
4. 新しい 4 桁のパスワードを入力します。
5. [OK]を押します。
6. 画面に[パスワード確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. [OK]を押します。
8. を押します。

関連情報

- 設定ロックの概要

設定ロックをオンにする

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ｾｷｭﾘﾃｨ設定ﾛｯｸ]を表示し、**OK** を押します。
4. 液晶ディスプレーに[ｵﾝ]が表示されたら、**OK** を押します。
5. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
6. **OK** を押します。

設定ロックをオフにするには、**メニュー**を押します。液晶ディスプレーに[ﾛｯｸ解除?]が表示されたら、▲を押して[はい]を選択し、現在の 4 桁のパスワードを入力して、**OK** を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [ロック オフ⇒オン]を押します。
2. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。

設定ロックをオフにするには、液晶ディスプレーの を押し、現在の 4 桁のパスワードを入力して、[OK]を押します。

関連情報

- 設定ロックの概要

グローバルネットワーク検出機能を使う

プライベートネットワークで本製品を使用する場合、グローバルネットワーク検出機能を使用して、グローバルネットワークからの予期せぬ攻撃からリスクを回避します。

- グローバル IP アドレス検出を有効にする
- グローバルネットワークからの通信をブロックする

グローバル IP アドレス検出を有効にする

この機能を使用して、お使いの製品の IP アドレスを確認します。お使いの製品にグローバル IP アドレスが割り当てられている場合、警告が表示されます。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Global Detect]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[Allow Detect]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]を選択し、**OK** を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Global Detect] > [Allow Detect] > [オン]を押します。
2. を押します。

関連情報

- グローバルネットワーク検出機能を使う

グローバルネットワークからの通信をブロックする

この機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを持つ機器からのジョブの受信が制限されます。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Global Detect]を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[Reject Access]を選択し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]を選択し、**OK** を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Global Detect] > [Reject Access] > [オン]を押します。
2. を押します。

関連情報

- グローバルネットワーク検出機能を使う

モバイル/クラウド接続

- クラウド接続機能
- AirPrint
- Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan
- Brother Mobile Connect

クラウド接続機能

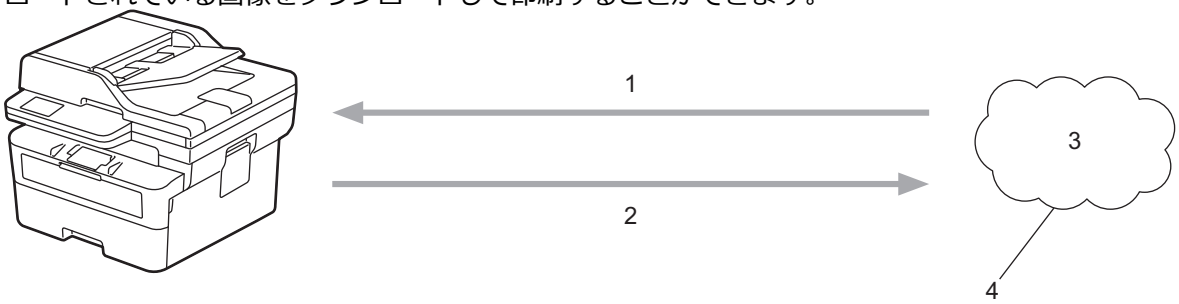
関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- クラウド接続機能の概要
- クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス
- クラウド接続機能の設定
- 写真や原稿をスキャンしてアップロードする
- 写真や文書をダウンロードして印刷する
- ファクスクラウド／E メール転送

クラウド接続機能の概要

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ユーザーが画像やファイルをアップロードしたり、ウェブサイト上でそれらを閲覧するサービスを提供しているウェブサイトがあります。本製品では、画像をスキャンしてこのようなサービスにアップロードしたり、アップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. スキャン
3. 写真、画像、文書、その他のファイル
4. ウェブサービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品がインターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。

プロキシサーバーを使用するネットワーク環境の場合は、お使いのブラザー製品でプロキシサーバーの設定をする必要があります。お使いのネットワークの設定が不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンとインターネットとの間を仲介するコンピューターのことです。

関連情報

- クラウド接続機能
  - 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いのブラザー製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［ネットワーク］>［Web 接続設定］>［プロキシ設定］>［プロキシ経由接続］>［オン］を押します。
2. プロキシーサーバー情報を押して、設定するオプションを入力します。
3. を押します。

関連情報

- クラウド接続機能の概要

関連トピック：

- Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ブラザークラウド接続機能を使用すると、ご使用のブラザー製品から以下のサービスにアクセスできます。

クラウド接続機能を使用するには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。

アカウントがある場合は、さらにアカウントを作成する必要はありません。

Google Drive™

オンラインの文書保管、編集、共有、およびファイルの同期サービスです。

URL: drive.google.com

Evernote®

オンラインのファイル保管および管理サービスです。

URL: www.evernote.com

Dropbox

オンラインのファイル保管、共有、および同期サービスです。

URL: www.dropbox.com

OneDrive

オンラインのファイル保管、共有、および管理サービスです。

URL: onedrive.live.com

Box

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL: www.box.com

OneNote

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL: www.onenote.com

SharePoint Online

オンラインのコンテンツ保管、共有、および管理サービスです。

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイトを参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box OneNote SharePoint Online
画像のダウンロードと印刷[1]	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box OneNote SharePoint Online
スキャンした画像のアップロード	JPEG PDF [2] DOCX XLSX PPTX TIFF XPS
オンラインサービスへのファクス転送 （特定モデルで利用可能）	JPEG PDF TIFF

1 画像は DOC/XLS/PPT 形式でもダウンロードまたは印刷できます。

2 検索可能な PDF、署名済み PDF、セキュア PDF、PDF/A および高圧縮 PDF が含まれます。

関連情報

- クラウド接続機能

クラウド接続機能の設定

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- クラウド接続機能設定の概要について
- クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する
- クラウド接続機能の利用申請を行う
- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

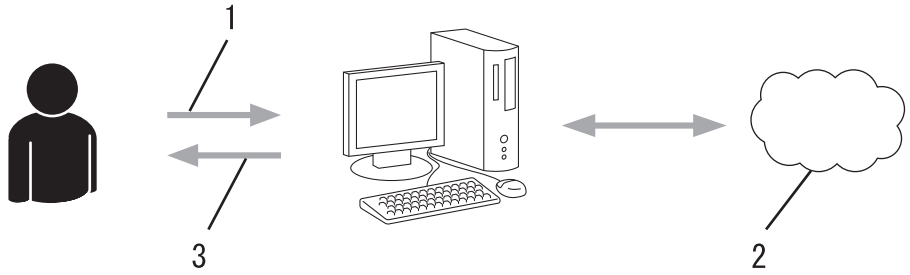
クラウド接続機能設定の概要について

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します：

手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

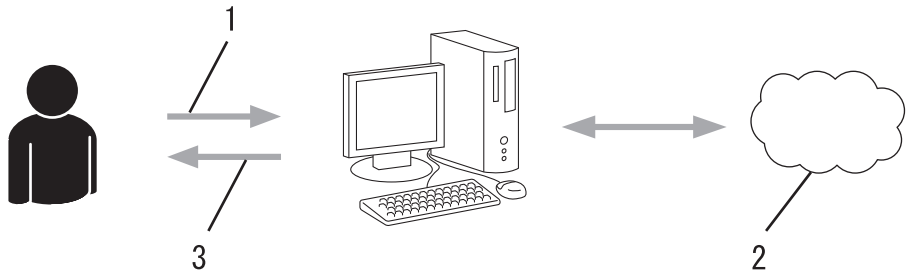
パソコンを使用してサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

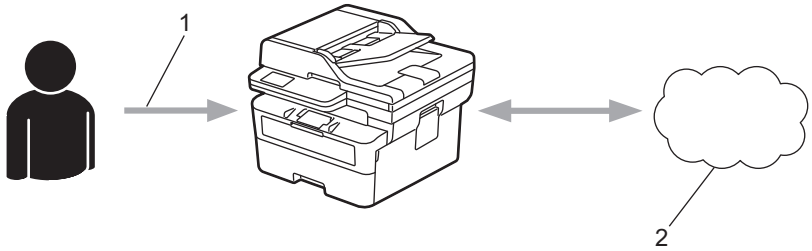
パソコンを使用してクラウド接続機能にアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるよう、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いのブラザー製品で Web サービスを利用できます。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスにアクセスするには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンを使用してサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成します。アカウントを作成したら、クラウド接続機能を使用する前に、パソコンで一度アカウントにログオンして使用してみます。一度もログオンしていない場合、ブラザークラウド接続機能を使ってサービスにアクセスできないことがあります。

すでにアカウントをお持ちの場合は、追加でアカウントを作成する必要はありません。

利用するオンラインサービスでアカウントを作成したら、クラウド接続機能へのアクセスを申請します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能の利用申請を行う

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

オプション	詳細
Windows	（**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。 左ナビゲーションバーの**もっと活用する**をクリックして、**Brother Web Connect** をクリックします。 ウェブサイトに直接アクセスすることもできます。 お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。
Mac	お使いのウェブブラウザーのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

ブラザークラウド接続機能のページが起動します。

2. 利用するサービスを選択します。
3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。

SharePoint Online を利用する場合は、画面の指示に従ってドキュメントライブラリを登録します。

完了すると、仮登録 ID が表示されます。

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザーを閉じます。

次に、お使いのブラザー製品にアカウントを登録します。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

関連トピック：

- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

クラウド接続機能を使用するために、お使いのブラザー製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の日時が正しく設定されていることを確認します。

1. ◀または▶を押して、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。

- 画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. ライセンス契約に関する情報が表示された場合は、[OK]を押して、画面の指示に従ってください。
4. ライセンス契約に関する情報が表示された場合は、同意の可否を選択して、画面の指示に従ってください。
5. ▲または▼を押して、登録対象のサービスを表示します。
6. 対象のサービス名を押します。
7. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、[OK]を押します。
8. [アカウントの登録／削除]を押します。
9. [アカウント登録]を押します。
   クラウド接続機能の利用申請を行ったときに取得した仮登録 ID の入力を求められます。
10. [OK]を押します。
11. 液晶画面を使って、仮登録 ID を入力します。
12. [OK]を押します。

入力した情報が申請時に取得した仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、または再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

   画面に表示するアカウント名の入力を求められます。
13. [OK]を押します。
14. 液晶画面に表示されているキーを使用して名前を入力します。
15. [OK]を押します。
16. 次のいずれかを行ってください：
    - アカウントの PIN コードを設定するには、[はい]を押します。（PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。）4 桁の数字を入力し、[OK]を押します。
    - PIN コードを設定しない場合は、[いいえ]を押します。
17. 入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。
18. [はい]を押して入力した情報を登録します。
19. [OK]を押します。
20. を押します。

登録が完了し、本製品がサービスにアクセスできるようになりました。

関連情報

- クラウド接続機能の設定

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには
- クラウド接続機能の利用申請を行う

写真や原稿をスキャンしてアップロードする

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

スキャンした写真やドキュメントを、パソコンを使用せずに、直接 Web サービスにアップロードします。

アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。
アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。
セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）を有効にしたことでクラウド接続の利用が制限されている場合、スキャンしたデータのアップロードはできません。

1. 原稿をセットします。
2. ◀または▶を押して、[クラウド]を表示します。
3. [クラウド]を押します。

- 画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

4. ▲または▼を押して、アップロード先のアカウントを保持するサービスを表示します。対象のサービス名を押します。
5. ▲または▼を押してお使いのアカウント名を表示し、それを押します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- クラウド接続機能

写真や文書をダウンロードして印刷する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

Web サービスにアップロードされている写真や文書を、本製品に直接ダウンロードして印刷することができます。他のユーザーがアップロードした共有の写真や文書は、閲覧権限を持っていれば本製品にダウンロードして印刷することができます。

セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）が有効になっていることでクラウド接続が制限されたユーザーの場合、データのダウンロードはできません。

セキュリティ機能ロックで印刷枚数を制限している場合、クラウド接続機能を使用して送信される印刷ジョブも制限の対象になります。

関連情報

- クラウド接続機能
  - Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ◀または▶を押して、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。

- 画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. ▲または▼を押して、ダウンロードと印刷を行う文書を持つサービスを表示します。対象のサービス名を押します。
4. サービスにログオンするには、▲または▼を押してお使いのアカウント名を表示し、表示されたアカウント名を押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4 桁の PIN を入力して、[OK]を押します。

サービスにより、リストからアカウント名を選択する必要がある場合があります。

5. [ダウンロードして印刷]を押します。
6. ▲または▼を押して使用するフォルダを表示し、表示されたフォルダを押します。フォルダに文書を保存する必要のないサービスもあります。フォルダに保存されていない文書の場合、[未分類のファイルを表示]を選択し、文書を選択します。
7. 印刷する文書のサムネイルを押します。液晶ディスプレーに表示される文書を確認して、[OK]を押します。さらに印刷する文書を選択します（最大 10 個の文書が選択可能です）。
8. 完了したら、[OK]を押します。
9. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- 写真や文書をダウンロードして印刷する

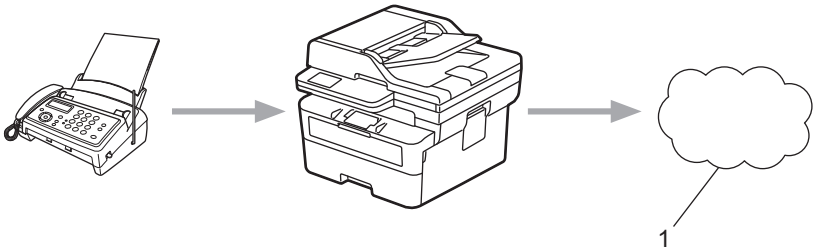
関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには

ファクスクラウド／E メール転送

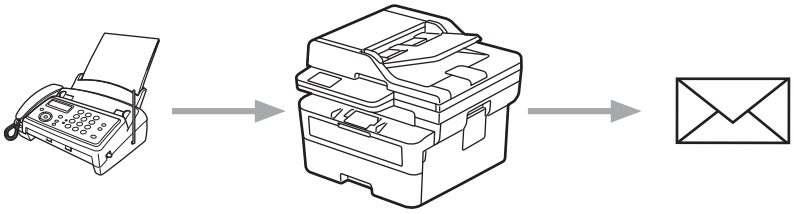
関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ファクスクラウド転送機能を使用して、受信ファクスを、利用可能なオンラインサービスのアカウントへ自動的に転送します。



1. Web サービス

- E メール転送機能を使用して、受信ファクスを E メールの添付ファイルとして、受信ボックスへ自動的に転送します。



関連情報

- クラウド接続機能
  - ファクス転送機能を使用してファクスをクラウドや E メールに転送する
  - ファクス E メール転送またはファクスクラウド転送を停止する

ファクス転送機能を使用してファクスをクラウドや E メールに転送する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス転送機能をオンにして、受信したファクスをオンラインサービスへ転送したり、E メールへ添付ファイルとして転送します。

- セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）を有効にしたことでアプリやファクス受信が制限されたユーザーの場合、受信ファクスのアップロードはできません。
- 転送できるのは、モノクロファクスのみです。
- ファクスクラウド転送機能をオンにする場合、以下のオプションは使用できません。
  - [ファクス転送]
  - [メモリ保持のみ]
  - [PC ファクス受信]

1. ◀または▶を押して、[お役立ちツール]を表示します。
2. [お役立ちツール]を押します。

- 画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。 表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. [ファクス　クラウド転送]を選択します。

[ファクス　クラウド転送]に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。

4. [オン]を押します。
5. [クラウドサービスへ転送]または[メールで転送]を押します。
   - [クラウドサービスへ転送]を選択した場合、ファクスを受信するために使用するオンラインサービスを選択して、自分のアカウント名を指定します。
   - [メールで転送]を選択した場合、E メールへ添付ファイルとしてファクスを受信する E メールアドレスを入力します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

ファクス E メール転送またはファクスクラウド転送を停止する

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

受信したファクスをウェブサービスまたは E メールに転送したくない場合は、ファクスクラウド転送機能をオフにします。

受信したファクスが本製品のメモリーに残っている場合、ファクス転送機能をオフにできません。

1. ◀または▶を押して、[お役立ちツール]を表示します。
2. [お役立ちツール]を押します。

- 画面にインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。 表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. [ファクス　クラウド転送]を選択します。

[ファクス　クラウド転送]に関する情報が表示された場合は、情報を読み[OK]を押します。

4. [オフ]を押します。
5. [OK]を押します。

関連情報

- ファクスクラウド／E メール転送

AirPrint

- AirPrint の概要
- AirPrint を使用する前に（macOS）
- AirPrint を使用して印刷する
- AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）
- AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、iPod touch、および Mac パソコンから写真、E メール、ウェブページ、および文書をワイヤレスで印刷することを可能にする、Apple 社の OS 用の印刷ソリューションです。

（FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW）

AirPrint ではさらに、原稿を印刷せずに、お使いの Mac パソコンから直接ファクスを送信したり、お使いの Mac パソコンに原稿をスキャンしたりすることができます。

（DCP-L2600DW/DCP-L2660DW）

AirPrint を使用すると、お使いの Mac パソコンに原稿をスキャンすることもできます。

詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。

Works with Apple AirPrint

関連情報

- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint の問題

AirPrint を使用する前に（macOS）

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac パソコンのプリンター一覧に追加してください。

1. 次のいずれかを行ってください：
   - macOS v13
     アップルメニューから**システム設定**を選択します。
   - macOS v12 および macOS v11
     アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ**を選択します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - macOS v13
     プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...をクリックします。
   - macOS v12 および macOS v11
     画面左側のプリンターリストの下にある[+]アイコンをクリックします。

   プリンタを追加画面が表示されます。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - macOS v13 および macOS v12
     本製品を選択して、**ドライバ**ポップアップメニューから、お使いのモデル名を選択します。
   - macOS v11
     本製品を選択して、**ドライバ**のポップアップメニューから **AirPrint** を選択します。
5. **追加**をクリックします。

関連情報

- AirPrint

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

印刷手順はアプリケーションによって異なる場合があります。以下の例では Safari を使用します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. 印刷するページを Safari で開きます。
4. または をタップします。
5. **プリント**をタップします。
6. 本製品が選択されていることを確認します。
7. 別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ**をタップします。
   利用可能な製品の一覧が表示されます。
8. 一覧で本製品の名前をタップします。
9. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）など、必要なオプションを選択します。
10. **プリント**をタップします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

AirPrint を使用して印刷を行う（macOS）

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
4. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
5. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、本製品を選択します。
6. 印刷枚数や両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
7. **プリント** をクリックします。

関連情報

- AirPrint を使用して印刷する

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してスキャンを行う（macOS）

スキャンする前に、Mac のスキャナーリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - macOS v13
     アップルメニューから**システム設定**を選択します。
   - macOS v12 および macOS v11
     アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
3. **プリンタとスキャナ**を選択します。
4. スキャナーリストから本製品を選択します。
5. 次のいずれかを行ってください：
   - macOS v13
     スキャナを開く...ボタンをクリックします。
   - macOS v12 および macOS v11
     スキャンタブをクリックし、**スキャナを開く...**ボタンをクリックします。

   スキャナー画面が表示されます。
6. ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**チェックボックスを選択し、ポップアップメニューからスキャンサイズを選択します。
7. 保存先設定ポップアップメニューで、保存先フォルダーまたはアプリケーションを選択します。
8. 必要に応じて、**詳細情報を表示**をクリックし、スキャン設定を変更します。
   原稿台ガラスからスキャンした場合は、スキャンしたい部分にマウスポインタをドラッグして、画像をトリミングすることができます。
9. **スキャン**をクリックします。

関連情報

- AirPrint

関連トピック：

- AirPrint を使用する前に（macOS）

AirPrint を使用してファクス送信を行う（macOS）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品がお使いの Mac のプリンターリストに表示されていることを確認してください。以下の手順は、テキストエディットを例にして説明しています。

AirPrint はモノクロのファクス原稿のみに対応しています。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac で、ファクスとして送信したいファイルを開きます。
3. **ファイル**をクリックして、**プリント**を選択します。
4. **プリンタ**のポップアップメニューをクリックして、名前に**- Fax** が含まれるお使いのモデルを選択します。
5. 宛先などのファクス情報を入力します。
6. **ファクス** をクリックします。

関連情報

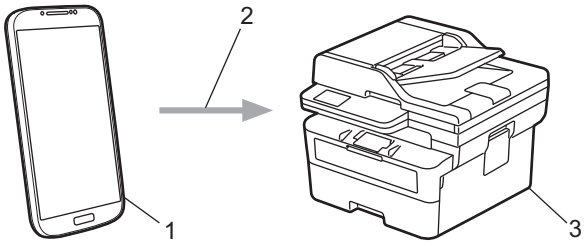
- AirPrint

関連トピック：

- PC-FAX（Mac の場合）
- AirPrint を使用する前に（macOS）

Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan

Mopria™ Print Service と Mopria™ Scan はそれぞれ、Mopria Alliance™が開発した Android™モバイル端末用の印刷機能とスキャン機能です。このサービスを使うことによって、追加の設定をしなくても本製品と同じネットワークに接続し、印刷やスキャンを行うことができます。



1. Android™モバイル端末
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™から Mopria™ Print Service または Mopria™ Scan をダウンロードして、お使いの Android™端末にインストールする必要があります。これらの Mopria™機能を使用する前に、お使いのモバイル端末でこれらの機能が有効になっていることを確認してください。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

Brother Mobile Connect

Brother Mobile Connect を使用して、モバイル端末から印刷とスキャンを行います。

- Android™端末の場合：

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの Android™端末から直接本製品の機能を使用できます。

  Google Play™から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
- iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器の場合：

  Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの iOS または iPadOS 機器から直接本製品の機能を使用できます。

  App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

関連情報

- モバイル/クラウド接続

関連トピック：

- Brother iPrint&Scan へのアクセス（Windows/Mac）

トラブルシューティング

本製品の使用時に生じやすい一般的な問題を解決するには、この章をご覧ください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

重要

技術的サポートについては、必ず本製品をお買い上げの国でお問い合わせください。

さらにサポートが必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスしてください。

まず、以下の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。 「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 本製品の保護部材がすべて取り外されている。 「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 本製品とパソコンにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている。または、本製品とパソコンの両方で無線接続が設定されている。
- エラーとメンテナンスメッセージ

各項目を確認しても問題が解決しない場合は、問題を特定し、「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- クラウド接続機能のエラーメッセージ
- 原稿が詰まったときは
- 紙詰まり
- 印刷の問題
- 印刷品質の改善
- 電話とファクスの問題
- ネットワークの問題
- AirPrint の問題
- その他の問題
- 本製品の情報を確認する
- 製品のファームウェアのアップデート
- 本製品を初期状態に戻す

エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

高度な機能を備えたオフィス製品によく見られるように、エラーが発生したり、消耗品の交換が必要なことがあります。その場合、本製品はエラーや必要な定期メンテナンスを特定し、適切なメッセージを表示します。最も一般的なエラーおよびメンテナンスメッセージを表に記載します。

エラーを解決し、メッセージを消すには **「対処方法」** 欄の指示に従ってください。

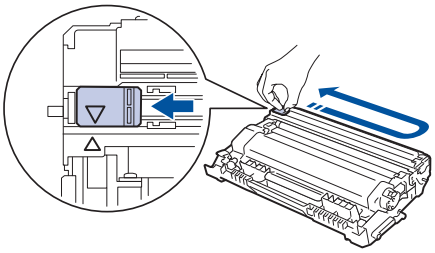
ほとんどの問題解決と定期メンテナンスはご自身で実行できます。サポートが必要な場合は、support.brother.co.jp を参照してください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[印刷できません] ##	製品に機械的な異常があります。	• 本製品の電源を切るには、 を長押しし、 数分待ってから、電源をもう一度入れます。 • 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[ｶﾊﾞｰが開いています]	フロントカバーが完全に閉まっていません。	本製品のフロントカバーを開け、しっかりと閉めます。
	電源投入時に、定着ユニットカバーが完全に閉まっていないか、製品の後部で紙詰まりが発生しています。	製品のバックカバーの内側にある定着ユニットカバーを閉じます。
	ADF（自動原稿送り装置）カバーが完全に閉まっていません。	ADF カバーを閉じます。 本製品の電源を切るには、 を長押しし、数分待ってから、電源をもう一度入れます。 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[紙詰まり 後ろ]	製品の後方で用紙が詰まっています。	定着ユニットカバーを開け、すべての詰まった用紙を取り除きます。定着ユニットカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合、 **スタート**を押します。
[紙詰まり ﾄﾚｲ1]	表示された用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	用紙トレイを完全に引き出し、詰まっているすべての用紙をゆっくりと取り除きます。用紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。
[紙詰まり 内部]	製品の内部で用紙が詰まっています。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。すべての詰まった用紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合、**スタート**を押します。
[紙詰まり 両面]	両面用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	用紙トレイと両面トレイを完全に引き出し、バックカバーを開けてすべての詰まった用紙を取り除きます。バックカバーを閉じ、用紙トレイと両面

エラーメッセージ	原因	対処方法
		トレイを本製品へしっかりと戻します。
[原稿が詰まっています]	原稿が挿入されていないか、原稿が正しく送られずに詰まっているか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンされた原稿が長すぎました。	詰まった用紙を ADF（自動原稿送り装置）ユニットから取り除きます。 ADF（自動原稿送り装置）ユニットの用紙送り部から異物を完全に取り除きます。 **停止/終了**を押します。
[ｻｲｽﾞｴﾗｰ 両面]	プリンタードライバーおよび本製品の用紙サイズ設定で指定された用紙サイズは、自動両面印刷に適していません。	**停止/終了**を押します。両面印刷に対応している用紙サイズを選択します。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
	トレイにセットされている用紙サイズが正しくないか、自動両面印刷に適していない用紙です。	トレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
[ｽｷｬﾝできません] ##	製品に機械的な異常があります。	• 原稿を取り除きます。 ⏻ を長押しして本製品の電源を切り、 電源をもう一度入れます。 • 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[切断されました]	送信相手または送信相手のファクス機により、通信が停止されました。	もう一度ファクス送信または受信してください。 受信が繰り返し停止し、VoIP（Voice over IP）システムを使用している場合、互換から安心（VoIP）に変更してみます。
[着信がありません]	着信履歴がありません。着信がなかったか、電話会社のナンバー・ディスプレイサービスに加入していません。	ナンバー・ディスプレイサービス機能の使用を希望される場合は、電話会社に問い合わせてください。
[通信ｴﾗｰ]	電話回線の状態が悪いため、通信エラーが発生しました。	ファクスを再送信するか、本製品を他の電話回線に接続します。問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を確認してください。
[手差し印刷]	**手差し** がプリンタードライバーで給紙方法として選択されましたが、手差しトレイに用紙がありません。	手差しトレイに用紙をセットします。
[ﾄﾅｰ が確認できません ﾄﾅｰ を入れなおしてください]	トナーカートリッジが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを引き抜き、トナーカートリッジをいったん取り出し、ドラムユニットに戻します。ドラムユニットとトナーカートリッジのセットを、本製品に戻します。 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[ﾄﾅｰ がｾｯﾄされていません]	トナーカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。トナーカー

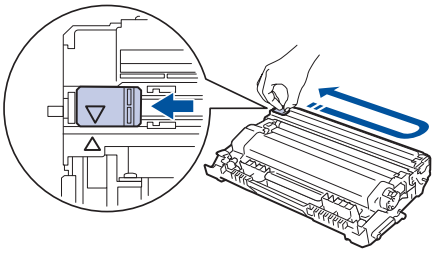
エラーメッセージ	原因	対処方法
		トリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを新しいものに交換します。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[ﾄﾅｰ交換]	トナーカートリッジが寿命です。本製品はすべての印刷操作を停止します。 メモリーに空き容量がある場合、ファクスはメモリーに保存されます。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[トナー停止]	トナーカートリッジが寿命です。本製品はすべての印刷操作を停止します。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。
[ﾄﾅｰ の型番が違います]	装着されているトナーカートリッジが、お使いの製品に合っていません。	ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、正しい型番のトナーカートリッジを取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[ﾄﾅｰ を検知できません]	ドラムユニットを検出できません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
	トナーカートリッジを検出できません。	
[ﾄﾞﾗﾑ お手入れ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ を開けてﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄについているｸﾞﾘｰﾝのつまみを左右に動かしてください]	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃する必要があります。	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。 
	ドラムユニットまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジを、ドラムユニットに取り付けます。次に、トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
[ﾄﾞﾗﾑ交換]	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを交換してください。 「関連情報」をご覧ください： ドラムユニットを交換する
	ドラムユニットを新しいものに交換した後も、このメッセージが表示される場合は、ドラムユニットカウンターがリセットされていません。	ドラムユニットカウンターをリセットします。 「関連情報」をご覧ください： ドラムカウンターをリセットする
[話し中/応答がありません]	ダイヤルした番号は、応答がないか、通話中です。	番号を確認し、かけ直します。
[まもなくﾄﾅｰ交換]	液晶ディスプレーにこのメッセージが表示されても、まだ印刷できます。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	新しいトナーカートリッジを注文して、液晶ディスプレーに[ﾄﾅｰ交換]と表示された場合に、トナーカートリッジをすぐに交換できるようにします。
[まもなくﾄﾞﾗﾑ交換]	ドラムユニットの寿命が近づいています。	メッセージ「[ﾄﾞﾗﾑ交換]」が表示される前に、新しいドラムユニットを注文してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ﾒﾓﾘがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	**ファクスの送信またはコピー操作が進行中の場合** 次のいずれかを行ってください： • **スタート**を押してスキャンしたページを送信またはコピーします。 • **停止/終了**を押し、他の進行中の操作が終了するのを待ってから、再実行します。 • メモリー内のファクスを印刷します。 • メモリー内のデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにします。 **印刷操作が進行中の場合：** 次のいずれかを行ってください： • 解像度を低くします。 • メモリーからファクスを消去します。
[用紙がありません ﾄﾚｲ 1]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	• 用紙トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 • 用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 • 用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。
[用紙ｻｲｽﾞ が合いません]	トレイの用紙サイズが正しくありません。	トレイに正しいサイズの用紙を入れ、用紙サイズをそのトレイに合わせて設定します。
[用紙種類が違います]	プリンタードライバーで指定された用紙種類が本製品のメニューで指定された用紙タイプと一致しません。	液晶ディスプレーに表示されたトレイに正しいタイプの用紙をセットするか、本製品の用紙タイプ設定で正しいメディアタイプを選択してください。
[両面印刷できません]	製品のバックカバーが完全に閉まっていません。	本製品のバックカバーを閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
	両面トレイが完全に装着されていません。	両面トレイを本製品へしっかりと装着します。
[冷却中]	本製品内側の温度が高すぎます。本製品は現在の印刷ジョブを一時停止し、冷却モードに入ります。本製品の冷却中は、冷却ファンが作動し、画面に[冷却中]が表示されます。	本製品が冷却を終了するまでお待ちください。障害物で排気口をふさがないようにしてください。 本製品の冷却が終了すると、印刷が再開されます。 製品はオンの状態にしますが、数分間は使用しないでください。ファンが回っていない場合、本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れます。
[ﾋｰﾀｰ確認中 電源を入れ直して 15 分お待ちください]	定着ユニットが正しく動作しません。	を長押しして本製品の電源を切り、数秒待ってから、電源をもう一度入れます。電源を入れたまま、製品を 15 分間待機状態にします。
	定着ユニットが熱すぎます。	

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[印刷できません] ##	製品に機械的な異常があります。	• 本製品の電源を切るには、 を長押しし、 数分待ってから、電源をもう一度入れます。 • 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[印刷データがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	を押して、保存済みのセキュリティ印刷データを削除します。
[印刷ページ数超過]	セキュリティ機能ロック 3.0 に設定された印刷の上限に達しました。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[カバーが開いています]	フロントカバーが完全に閉まっていません。	本製品のフロントカバーを開け、しっかりと閉めます。
	電源投入時に、定着ユニットカバーが完全に閉まっていないか、製品の後部で紙詰まりが発生しています。	製品のバックカバーの内側にある定着ユニットカバーを閉じます。
	ADF（自動原稿送り装置）カバーが完全に閉まっていません。	ADF カバーを閉じます。 本製品の電源を切るには、 を長押しし、数分待ってから、電源をもう一度入れます。 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[紙詰まり 後ろ]	製品の後方で用紙が詰まっています。	定着ユニットカバーを開け、すべての詰まった用紙を取り除きます。定着ユニットカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合は、[リトライ]を押します。
[紙詰まり トレイ 1]	表示された用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	用紙トレイを完全に引き出し、詰まっているすべての用紙をゆっくりと取り除きます。用紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。
[紙詰まり 内部]	製品の内部で用紙が詰まっています。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。詰まっている紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。
[紙詰まり 両面]	両面用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	用紙トレイと両面トレイを完全に引き出し、バックカバーを開けてすべての詰まった用紙を取り除きます。バックカバーを閉じ、用紙トレイと両面トレイを本製品へしっかりと戻します。
[原稿詰まり ADF]	原稿が挿入されていないか、原稿が正しく送られずに詰まっているか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンされた原稿が長すぎました。	詰まった用紙を ADF（自動原稿送り装置）ユニットから取り除きます。 ADF（自動原稿送り装置）ユニットの用紙送り部から異物を完全に取り除きます。 を押します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サイズエラー]	選択した用紙トレイが、プリンタードライバーで指定された用紙サイズに対応していません。	プリンタードライバーで選択した用紙サイズと選択したトレイにセットされている用紙サイズが一致するように、プリンタードライバーの設定または本製品のトレイの設定を変更してください。
[サイズエラー 両面]	プリンタードライバーおよび本製品の用紙サイズ設定で指定された用紙サイズは、自動両面印刷に適していません。	を押します。両面印刷に対応している用紙サイズを選択します。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
	トレイにセットされている用紙サイズが正しくないか、自動両面印刷に適していない用紙です。	トレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
[スキャンできません]	原稿が長すぎるため両面スキャンできません。	を押します。両面スキャンに適切なサイズの用紙を使用します。
[スキャンできません] ##	製品に機械的な異常があります。	• を長押しして本製品の電源を切り、 電源をもう一度入れます。 • 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。
[切断されました]	送信相手または送信相手のファクス機により、通信が停止されました。	もう一度ファクス送信または受信してください。 受信が繰り返し停止し、VoIP（Voice over IP）システムを使用している場合、互換から安心（VoIP）に変更してみます。
[タッチパネルエラー]	電源オン時の初期化が終了する前に、タッチパネルが押されました。	タッチパネルには何も触れないように、また物を置かないようにします。
	タッチパネルの下部とフレームとの間に、異物がはさまっている可能性があります。	タッチパネルの下部とフレームとの間に厚紙などを差し込み、前後にスライドさせて異物を押し出してください。
[着信がありません]	着信履歴がありません。着信がなかったか、電話会社のナンバー・ディスプレイサービスに加入していません。	ナンバー・ディスプレイサービス機能の使用を希望される場合は、電話会社に問い合わせてください。
[通信エラー]	電話回線の状態が悪いため、通信エラーが発生しました。	ファクスを再送信するか、本製品を他の電話回線に接続します。問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を確認してください。
[手差し印刷]	**手差し** がプリンタードライバーで給紙方法として選択されましたが、手差しトレイに用紙がありません。	手差しトレイに用紙をセットします。
[トナーが確認できません] [トナーを入れ直してください]	トナーカートリッジが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを引き抜き、トナーカートリッジをいったん取り出し、ドラムユニットに戻します。ドラムユニットとトナーカートリッジのセットを、本製品に戻します。 問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、

エラーメッセージ	原因	対処方法
		地域の販売店にお問い合わせください。
[ﾄﾅｰ がｾｯﾄされていません]	トナーカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを新しいものに交換します。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[トナー停止]	トナーカートリッジが寿命です。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。
[トナーの型番が違います]	装着されているトナーカートリッジが、お使いの製品に合っていません。	ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、正しい型番のトナーカートリッジを取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[トナーを検知できません]	ドラムユニットを検出できません。 トナーカートリッジを検出できません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
[トナーを交換してください]	トナーカートリッジが寿命です。本製品はすべての印刷操作を停止します。 メモリーに空き容量がある場合、ファクスはメモリーに保存されます。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。 「関連情報」をご覧ください： トナーカートリッジを交換する
[ドラム お手入れ]	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃する必要があります。	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。 
	ドラムユニットまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジを、ドラムユニットに取り付けます。次に、トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
[ドラム交換]	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを交換してください。 「関連情報」をご覧ください： ドラムユニットを交換する
	ドラムユニットを新しいものに交換した後も、このメッセージが表示される場合は、ドラムユニットカウンターがリセットされていません。	ドラムユニットカウンターをリセットします。 「関連情報」をご覧ください： ドラムカウンターをリセットする
[話し中/応答がありません]	ダイヤルした番号は、応答がないか、通話中です。	番号を確認し、かけ直します。
[ヒーター確認中]	定着ユニットが正しく動作しません。	を長押しして本製品の電源を切り、数秒待ってから、電源をもう一度

エラーメッセージ	原因	対処方法
	定着ユニットが熱すぎます。	入れます。電源を入れたまま、製品を15 分間待機状態にします。
[ﾌｧｸｽﾒﾓﾘが少なくなりました]	本製品のファクスメモリーが一杯です。	みるだけ受信機能を使用している場合は、不要な受信ファクスデータを削除します。 ファクスデータを印刷するには、 [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ファクス出力]を押します。
[まもなくﾄﾅｰ交換]	液晶ディスプレーにこのメッセージが表示されても、まだ印刷できます。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	液晶ディスプレーに[トナーを交換してください]と表示された場合は、トナーカートリッジをすぐに交換できるように新しいトナーカートリッジを注文します。
[まもなくドラム交換]	ドラムユニットの寿命が近づいています。	メッセージ「[ドラム交換]」が表示される前に、新しいドラムユニットを注文してください。
[メモリがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	**ファクスの送信またはコピー操作が進行中の場合** 次のいずれかを行ってください： • または[中止する]を押し、他の進行中の操作が終了するのを待ってから、再実行します。 • [読み取り分 送信]を押してこれまでにスキャンしたページを送信します。 • メモリー内のデータを消去します。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにしてください。 • メモリー内のファクスを印刷します。 **印刷操作が進行中の場合：** 次のいずれかを行ってください： • 解像度を低くします。 • メモリーからファクスを消去します。
[用紙がありません トレイ 1]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	• 用紙トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 • 用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 • 用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。
[用紙サイズが合いません]	トレイの用紙サイズが正しくありません。	トレイに正しいサイズの用紙を入れ、用紙サイズをそのトレイに合わせて設定します。
[用紙種類が違います]	プリンタードライバーで指定された用紙種類が本製品のメニューで指定された用紙タイプと一致しません。	液晶ディスプレーに表示されたトレイに正しいタイプの用紙をセットするか、本製品の用紙タイプ設定で正し

エラーメッセージ	原因	対処方法
		いメディアタイプを選択してください。
[利用できません]	使用する機能は、セキュリティ機能ロック 3.0 により制限されています。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[両面印刷できません]	製品のバックカバーが完全に閉まっていません。	本製品のバックカバーを閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
	両面トレイが完全に装着されていません。	両面トレイを本製品へしっかりと装着します。
[冷却中]	本製品内側の温度が高すぎます。本製品は現在の印刷ジョブを一時停止し、冷却モードに入ります。冷却モードでは、冷却ファンの動作音が聞こえ、液晶ディスプレーに [冷却中] が表示されます。	本製品が冷却を終了するまでお待ちください。障害物で排気口をふさがないようにしてください。 本製品の冷却が終了すると、印刷が再開されます。 製品はオンの状態にしますが、数分間は使用しないでください。ファンが回っていない場合、本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れます。

関連情報

- トラブルシューティング
  - 印刷またはスキャンできない - ファクスの転送

関連トピック：

- トナーカートリッジを交換する
- ドラムユニットを交換する
- コロナワイヤーを清掃する
- 本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷する
- 用紙のセット
- ドラムカウンターをリセットする

印刷またはスキャンできない - ファクスの転送

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

液晶ディスプレーに次の表示がある場合:

- ［印刷できません］##
- ［スキャンできません］##

ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送することをお勧めします。

ファクス通信管理レポートを転送して、転送する必要があるファクスがあるかどうかを確認することもできます。

ファクス転送後に画面にエラーメッセージが表示される場合、本製品から電源を外した状態で数分おいてから、接続しなおしてください。

関連情報

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
  - 別のファクス機にファクスを転送する
  - お使いのパソコンにファクスを転送する
  - 別のファクス機に通信管理レポートを転送する

別のファクス機にファクスを転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクスを別のファクス機に転送する前に、発信元登録を設定する必要があります。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ｻｰﾋﾞｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. **OK** を押して、[ﾃﾞｰﾀ転送]を選択します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ転送]を表示し、**OK** を押します。
5. 次のいずれかを行ってください：
   - 液晶ディスプレーに[受信ﾃﾞｰﾀはありません]と表示された場合は、製品のメモリー内にはファクスは残っていません。**停止/終了**を押します。
   - ファクスの転送先であるファクス番号を入力します。**スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [サービス] > [データ転送] > [ファクス転送]を押します。
2. 次のいずれかを行ってください：
   - 液晶ディスプレーに[受信データはありません]と表示された場合は、製品のメモリー内にはファクスは残っていません。[閉じる]を押します。
   - ファクスの転送先であるファクス番号を入力します。
3. [スタート]を押します。

関連情報

- 印刷またはスキャンできない - ファクスの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する

お使いのパソコンにファクスを転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. ソフトウェアおよびドライバーがパソコンにインストールされていることを確認します。
2. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
3. 製品で［PCﾌｧｸｽ受信］を設定したことを確認します。

   PC-Fax 受信機能をセットアップする際にファクスがメモリーにある場合、液晶ディスプレーに［ﾌｧｸｽを PC に転送しますか?］が表示されます。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - パソコンにすべてのファクスを転送するには、▲を押して［はい］を選択します。
   - 終了して、ファクスを本製品のメモリーに残すには、▼を押して［いいえ］を選択します。
5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ソフトウェアおよびドライバーがパソコンにインストールされていることを確認します。
2. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックして、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送受信する**をクリックして、**PC-FAX 受信を起動**をクリックします。

   PC ファクス受信画面が表示されます。
3. 製品で［PC ファクス受信］を設定したことを確認します。

   PC-Fax 受信機能をセットアップする際にファクスがメモリーにある場合、液晶ディスプレーに［ファクスを PC に転送しますか?］が表示されます。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - パソコンにすべてのファクスを転送するには、［はい］を押します。
   - 終了して、ファクスを本製品のメモリーに残すには、［いいえ］を押します。
5. を押します。

関連情報

- 印刷またはスキャンできない - ファクスの転送

別のファクス機に通信管理レポートを転送する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス通信管理レポートを別のファクス機に転送する前に、発信元登録を設定する必要があります。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ｻｰﾋﾞｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. **OK** を押して、[ﾃﾞｰﾀ転送]を選択します。
4. ▲または▼を押して、[ﾚﾎﾟｰﾄ転送]を表示し、**OK** を押します。
5. ファクス通信管理レポート用に送信先ファクス番号を入力します。
6. **スタート**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [サービス] > [データ転送] > [レポート転送]を押します。
2. ファクス通信管理レポート用に送信先ファクス番号を入力します。
3. [スタート]を押します。

関連情報

- 印刷またはスキャンできない - ファクスの転送

関連トピック：

- 発信元を登録する
- Web Based Management で日時を設定する

クラウド接続機能のエラーメッセージ

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

エラーが発生すると、本製品にエラーメッセージが表示されます。最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

ほとんどのエラーはご自身で解決できます。以下の表をお読みになっても、問題が解決しない場合は、support.brother.co.jp でトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

接続エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ネットワーク接続エラー 02] [ネットワークに接続されていません ネットワークの接続状況を確認してください]	本製品はネットワークに接続されていません。	• 適格な IP アドレスが本製品に割り当てられていることを確認してください。 • アクセスポイント／ルーターが起動しており、インターネット接続が確立されていることを確認してください。 • アクセスポイント／ルーターの電源が入っていることを確認してください。 • お使いのブラザー製品の電源を投入した後に、すぐに［クラウド］ボタンを押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 03] [サーバーへの接続に失敗しました ネットワーク設定を確認して ください]	• ネットワークやサーバーの設定が間違っています。 • ネットワークまたはサーバーに問題があります。	• ネットワークの設定が正しいことを確認するか、少し待ってから後で再試行してください。 • お使いのブラザー製品の電源を投入した後に、すぐに［クラウド］ボタンを押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。
[ネットワーク接続エラー 07] [サーバーへの接続に失敗しました 時刻設定が正しくありません]	日付と時刻の設定が間違っています。	日付と時刻を正しく設定します。本製品の電源コードが抜かれた場合、日付と時刻の設定がお買い上げ時の設定にリセットされる場合があります。 「関連情報」をご覧ください： *Web Based Management* で日時を設定する

認証エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[認証エラー 01] [PIN コードが正しくありません 正しい PIN を入力してください]	このアカウントにアクセスするために入力した PIN コードが正しくありません。PIN コードは、本製品へのアカウントの登録時に入力した 4 桁の番号です。	正しい PIN コードを入力してください。
[認証エラー 02] [仮登録 ID が間違っているか発行された仮登録 ID がすでに失効しています または一度使用した仮登録 ID は	入力した仮登録 ID が間違っています。	正しい仮登録 ID を入力してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
使用できません 正しい仮登録 ID を入力するか仮登録 ID の再発行を行ってください 仮登録 ID の有効期限は発行から 24 時間です]	入力した仮登録 ID は期限が切れています。仮登録 ID は 24 時間有効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[認証エラー 03] [表示名がすでに登録されています 異なる表示名を登録してください]	表示名として入力した名前がすでに別のユーザーに登録されています。	別の表示名を入力してください。

サーバーエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サーバーエラー 01] [サービスへの認証情報が無効です 下記ウェブページより 仮登録 ID を取得する必要があります http://bwc.brother.com 仮登録 ID を取得後 OK を押してください]	本製品の認証情報（サービスへのアクセスに必要）が、期限切れまたは無効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[サーバーエラー 03] [サービスが対応していないファイルの、 アップロードに失敗しました 未対応のファイルもしくは画像が壊れています ファイル情報を確認してください]	アップロードしようとしているファイルに、次のような問題があります。 • ファイルの画素数、ファイルサイズなどがサービスの制限を超えている。 • ファイル形式が非対応。 • ファイルが破損している。	• サービスが対応しているファイルサイズ、形式の上限を確認してください。 • 別のファイル形式で保存してください。 • 可能であれば、新しく破損していないファイルを取得してください。
[サーバーエラー 13] [サービスが一時的に利用できません 時間をおいて再試行してください]	ウェブサービスに問題があり、現在利用できません。	少し待ってから再度実行してください。このメッセージが再び表示された場合は、ウェブサービスが利用可能かどうかを確認するためにパソコンからウェブサービスにアクセスしてみてください。

関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

- Web Based Management で日時を設定する

原稿が詰まったときは

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり
- 原稿台カバーの下部の紙詰まり
- ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く

ADF(自動原稿送り装置)の上部の原稿詰まり

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ADF(自動原稿送り装置)から詰まっていない用紙を取り除きます。
2. ADF カバーを開けます。
3. 詰まった紙を左方向に引っ張り出します。原稿が破れている場合は、また紙詰まりを起こさないように、すべての紙片を取り除いてください。

4. ADF カバーを閉じます。
5. **停止/終了**または を押します。

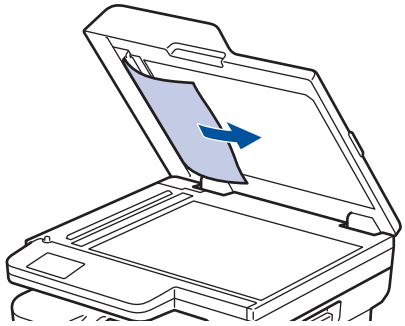
関連情報

- 原稿が詰まったときは

原稿台カバーの下部の紙詰まり

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ADF(自動原稿送り装置)から詰まっていない用紙を取り除きます。
2. 原稿台カバーを持ち上げます。
3. 詰まった紙を右方向に引っ張り出します。原稿が破れている場合は、また紙詰まりを起こさないように、すべての紙片を取り除いてください。



4. 原稿台カバーを閉じます。
5. **停止/終了**または を押します。

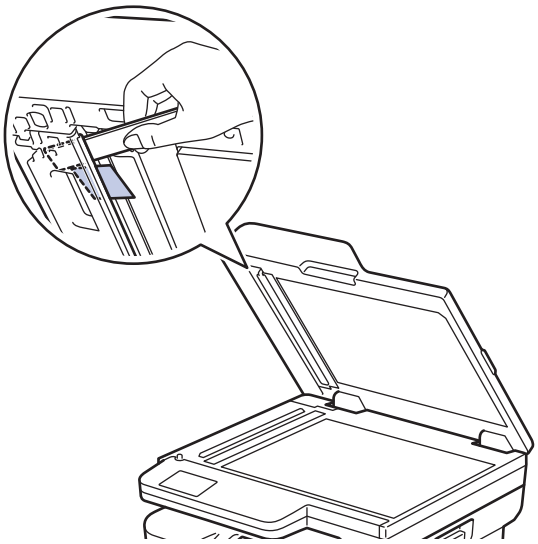
関連情報

- 原稿が詰まったときは

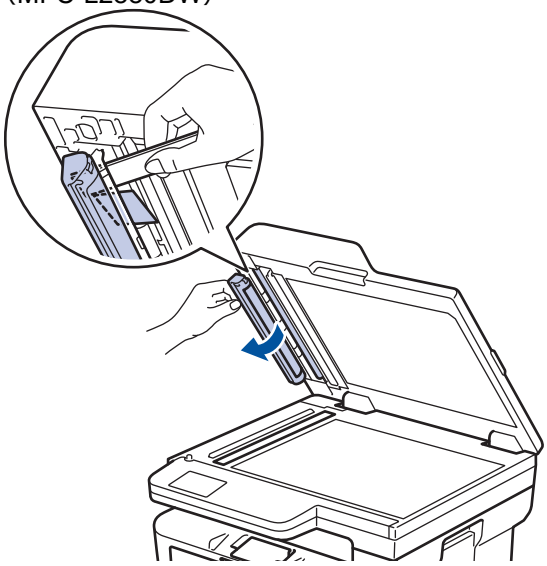
ADF(自動原稿送り装置)に詰まった紙片を取り除く

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. ADF(自動原稿送り装置)に厚紙などの硬い紙を入れ、細かい紙片を押し出します。
   （DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW）



（MFC-L2880DW）



3. 原稿台カバーを閉じます。
4. **停止/終了**または を押します。

関連情報

- 原稿が詰まったときは

紙詰まり

用紙を追加する際は、必ずトレイにある残りの用紙を一度出し、よくさばき、追加する用紙と一緒にばらつきがないようにまとめてください。こうすることで紙詰まりを防ぐことができます。

- 紙詰まりの解消
- 用紙トレイで紙が詰まっている
- 排紙トレイで紙が詰まっている
- 製品の背面で紙が詰まっている
- 製品の内部で紙が詰まっている
- 両面トレイの内部で紙が詰まっている

紙詰まりの解消

用紙が詰まったり、重送が頻繁に起こる場合は、以下の操作を行ってください。

- 用紙トレイの給紙ローラーと分離パッドを清掃する。
  「関連情報」をご覧ください： 給紙ローラーを清掃する
- 用紙をトレイに正しくセットする。
  「関連情報」をご覧ください： 用紙のセット
- 本製品に正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。
  「関連情報」をご覧ください： 用紙設定
- お使いのパソコンに正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。
  「関連情報」をご覧ください： 文書を印刷する（*Windows*）
  「関連情報」をご覧ください： *AirPrint* を使用して印刷する
- 推奨されている用紙を使用する。
  「関連情報」をご覧ください： 特殊用紙を使用する

関連情報

- 紙詰まり

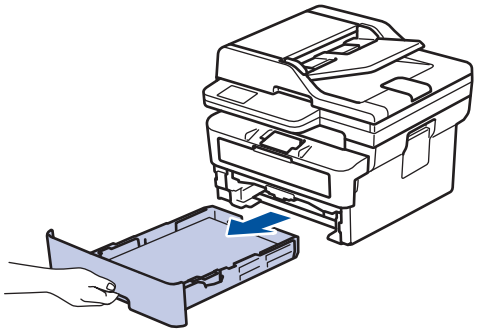
関連トピック：

- 給紙ローラーを清掃する
- 用紙のセット
- 用紙設定
- 文書を印刷する（Windows）
- AirPrint を使用して印刷する
- 特殊用紙を使用する

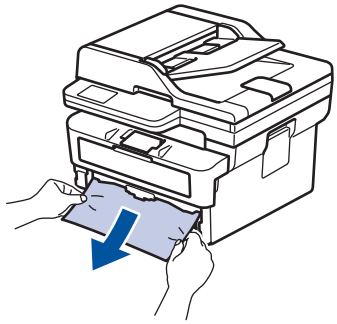
用紙トレイで紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスモニターが用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。

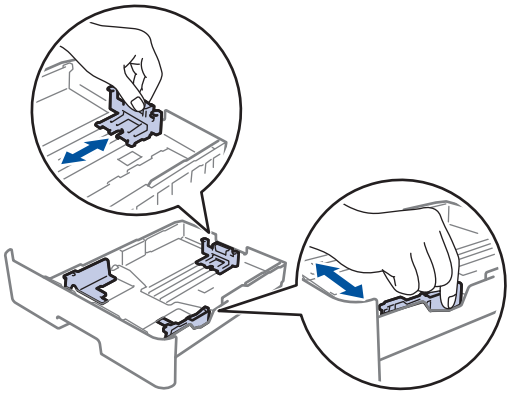


2. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。

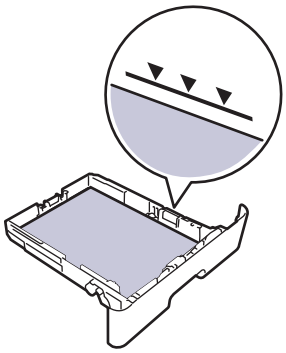


両手で詰まった紙を下方向に引っ張ると紙を簡単に取り除くことができます。

3. また紙詰まりが起きないよう、用紙の束をあおぐようにしごいてから、用紙サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。用紙トレイに用紙をセットします。



4. 用紙が用紙最大位置（▼▼▼）以下にあることを確認します。



5. 用紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。

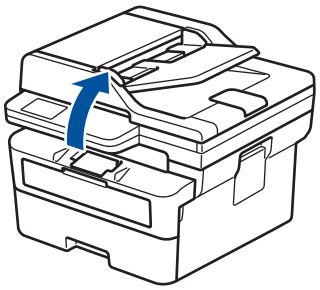
関連情報

- 紙詰まり

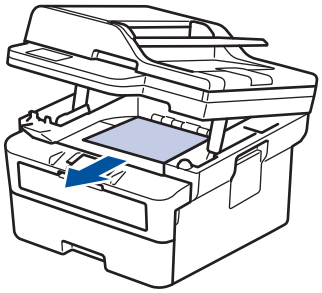
排紙トレイで紙が詰まっている

排紙トレイに紙詰まりがある場合は、次の手順に従ってください。

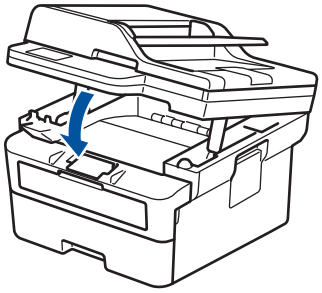
1. 両手でスキャナを開きます。



2. 詰まっている紙を取り除きます。



3. スキャナを両手で下に押すようにして閉じます。



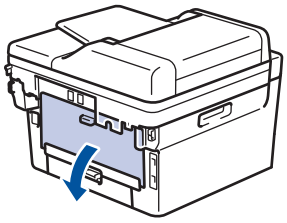
関連情報

- 紙詰まり

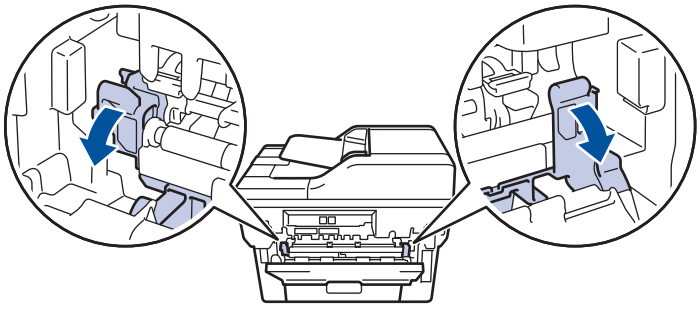
製品の背面で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスモニターが製品の背面に紙詰まりがある（背面詰まり）ことを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. バックカバーを開きます。



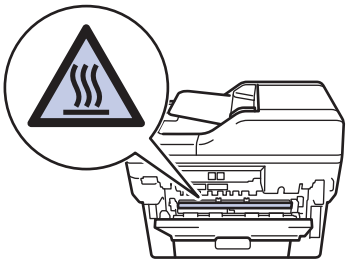
3. 左右の青色のタブを手前に引いて、定着ユニットカバーを外します。



⚠ 警告

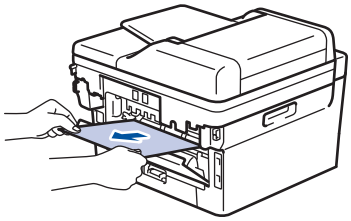
高温注意

本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。

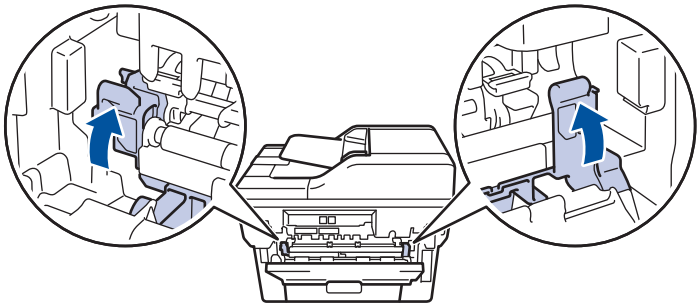


バックカバーの内側にある緑色の封筒レバーが封筒の位置まで引き下げられている場合は、これらのレバーを元の位置に押し上げてから、青色のタブを引き下げます。

4. 両手を使って本体から詰まっている用紙を優しく引き抜きます。



5. 定着ユニットカバーを閉じます。



封筒に印刷する場合は、バックカバーを閉じる前に、封筒の位置まで緑色の封筒レバーを再度引き下げます。

6. バックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

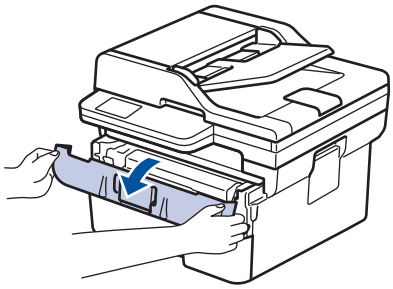
関連情報

- 紙詰まり

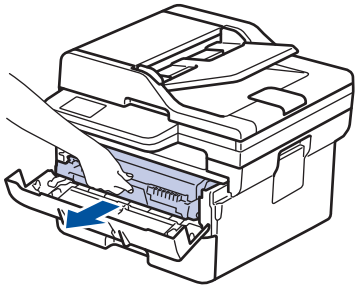
製品の内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスモニターが製品内部に紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. フロントカバーを開けます。



3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り除きます。

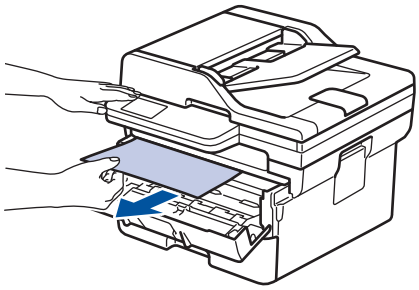


⚠ 警告

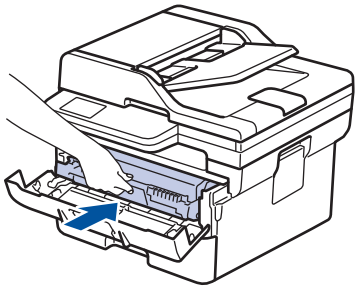
高温注意

本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。

4. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。



5. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



6. フロントカバーを閉じます。

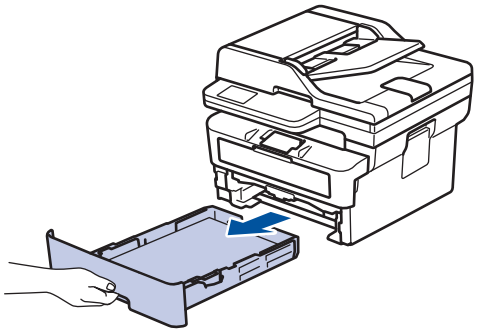
関連情報

- 紙詰まり

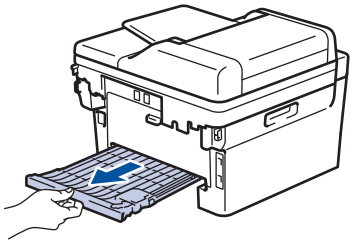
両面トレイの内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスモニターが両面用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

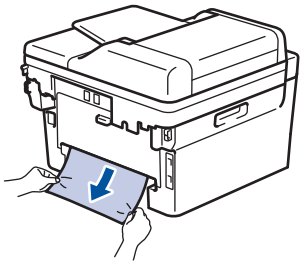
1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。

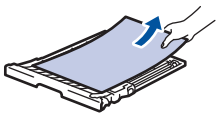


3. 本製品の背面で両面トレイを本製品から完全に引き出します。

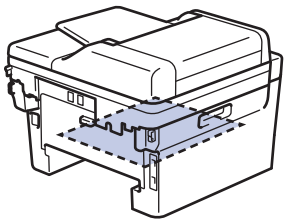


4. 詰まっている紙を本製品または両面トレイから引き抜きます。

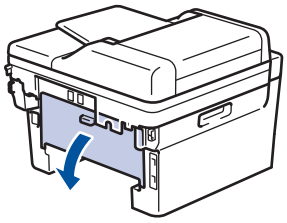




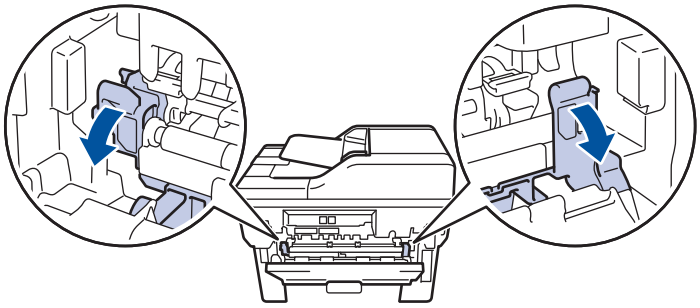
5. 静電気により製品内に詰まった紙を取り除きます。



6. 紙が両面トレイ内にない場合、バックカバーを開きます。



7. 左右の青色のタブを手前に引いて、定着ユニットカバーを外します。

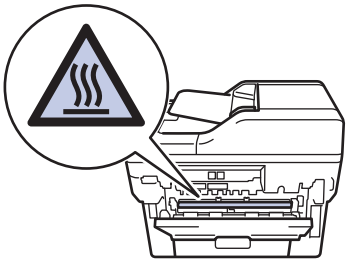


バックカバーの内側にある緑色の封筒レバーが封筒の位置まで引き下げられている場合は、これらのレバーを元の位置に押し上げてから、青色のタブを引き下げます。

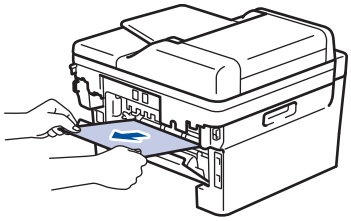
⚠ 警告

高温注意

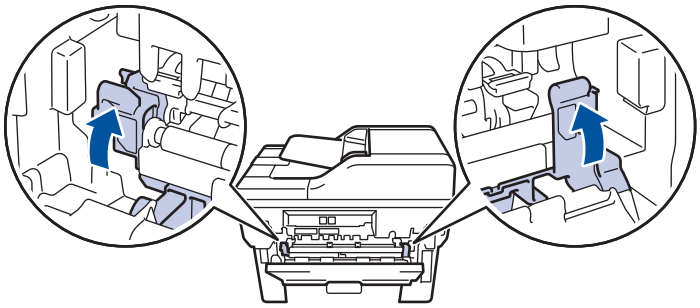
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



8. 両手を使って本製品の背面から詰まっている紙を優しく引き抜きます。



9. 定着ユニットカバーを閉じます。



封筒に印刷する場合は、バックカバーを閉じる前に、封筒の位置まで緑色の封筒レバーを再度引き下げます。

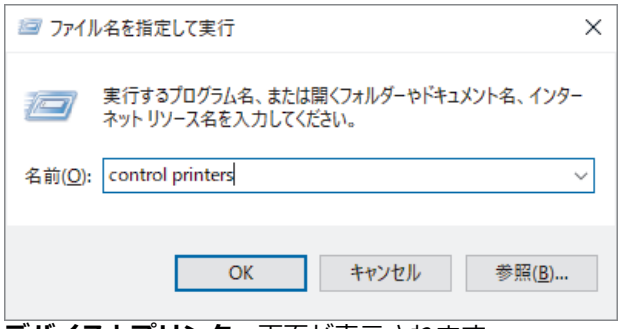
10. 本製品のバックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
11. 本製品の背面に両面トレイをしっかりと押し込みます。
12. 本製品の前面に用紙トレイをしっかりと押し込みます。

関連情報

- 紙詰まり

印刷の問題

以下の表をお読みになっても問題が解決しない場合は、support.brother.co.jp で最新のトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

<table>
<tr><th>問題</th><th>対応</th></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷されない。</td><td>本製品が電源オフモードになっていないことを確認します。
本製品が電源オフモードになっている場合、 を押して、印刷データを再送信します。</td></tr>
<tr><td>適切にプリンタードライバーがインストールされ、選択されていることを確認します。</td></tr>
<tr><td>ステータスモニターか操作パネルがエラーを表示しているかを確認します。</td></tr>
<tr><td>本製品がオンラインであることを確認します。
Windows：
1. パソコンのキーボードで、 キーを長押ししながら キーを押して、ファイル名を指定して実行を起動します。
2. "control printers"を名前:欄に入力し、OK をクリックします。
 
デバイスとプリンター画面が表示されます。
 デバイスとプリンター画面が表示されない場合、その他のデバイスを表示 > その他のデバイスとプリンターの設定をクリックします。
3. お使いのモデルのアイコンを右クリックし、印刷ジョブの表示を選択します。
4. プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。
5. メニューバーでプリンターをクリックし、プリンターをオフラインで使用するが選択されていないことを確認します。</td></tr>
<tr><td>Mac：
システム環境設定またはシステム設定メニューをクリックして、プリンタとスキャナを選択します。本製品がオフラインのときは、削除してから再度追加してください。</td></tr>
<tr><td>本製品が印刷しません、または、印刷を停止しました。</td><td>印刷ジョブをキャンセルし、メモリーから削除します。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。
「関連情報」をご覧ください：印刷ジョブをキャンセルする</td></tr>
</table>

問題	対応
ヘッダーやフッターが画面上の文書には表示されますが、印刷すると出てきません。	ページの上部と下部に印刷できない領域があります。この領域を考慮に入れて、文書の上下の余白を調整してください。
本製品が予期せず印刷したり、文字化けしたテキストを印刷したりします。	印刷ジョブをキャンセルし、メモリーから削除します。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷ジョブをキャンセルする
	アプリケーションが本製品と合わせて動作する設定になっていることを確認します。
	アプリケーションの印刷画面で、ブラザープリンタードライバーが選択されていることを確認します。
本製品で、最初の 2 ページは正しく印刷されますが、その後のページにテキストがありません。	アプリケーションが本製品と合わせて動作する設定になっていることを確認します。
	本製品がコンピューターから送信されたすべてのデータをまだ受信していません。インターフェースに対応したケーブルを正しく接続したことを確認します。
片面または両面に印刷できません。	（Windows）プリンタードライバーで両面オプションを変更します。 • 一時的に変更する場合は、アプリケーションのプリンタードライバーの**なし**または**両面印刷**を選択します。「関連情報」をご覧ください：文書を印刷する（*Windows*） • 変更を保持する場合は、プリンタードライバーの初期設定を変更します。「関連情報」をご覧ください：初期値の印刷設定を変更する（*Windows*）
本製品で、プリンタードライバーの設定が両面印刷であり、自動両面印刷がサポートされているにもかかわらず、用紙の両面印刷ができません。	プリンタードライバーの用紙サイズ設定を確認します。A4 の用紙を選択する必要があります。対応する用紙坪量は、60～105 g/m²です。
印刷速度が遅すぎる。	プリンタードライバーで解像度を下げてください。
	静音モードが有効の場合、プリンタードライバーまたは本製品のメニューで無効にします。
	連続印刷する場合、製品内部の温度を下げるために、自動的に印刷速度が下がる場合があります。
製品に用紙が送り込まれていかない。	用紙トレイに紙が残っている場合は、曲がっていないか確認します。用紙がカールしている場合は、まっすぐな状態に伸ばします。一旦用紙の束を取り出し、ひっくり返してから用紙トレイへ戻すと問題が解決する場合があります。
	用紙をよくさばき、用紙トレイに戻します。
	用紙トレイにある用紙の量を減らし、再度印刷してください。
	（手差しトレイ付きモデルのみ）**手差し**が、プリンタードライバーの**給紙方法**で選択されていないことを確認してください。
	給紙ローラーを掃除してください。
本製品が手差しトレイから用紙を送りません。 （手差しトレイ付きモデルのみ）	1 枚の紙を、上端が用紙送りローラーへはめ込まれるまで手差しトレイへ両手でしっかりと押し込みます。本製品に用紙がセットされ、その後引き込まれるまで用紙を押し込みます。
	手差しトレイにセットする用紙は 1 枚だけにしてください。
	手差し が、プリンタードライバーの **給紙方法** で選択されていることを確認してください。

問題	対応
封筒が送られません。	1 回につき 1 枚の封筒を手差しトレイにセットします。なおアプリケーションで、お使いの封筒のサイズに合わせた印刷設定を行う必要があります。ほとんどの場合、アプリケーションのページ設定メニューやドキュメント設定メニューで設定できます。
印刷位置が事前に印刷されているオブジェクトとずれています。	各用紙トレイの印刷位置の設定で印刷位置を調整してください。

関連情報

- トラブルシューティング

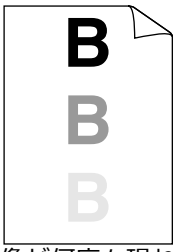
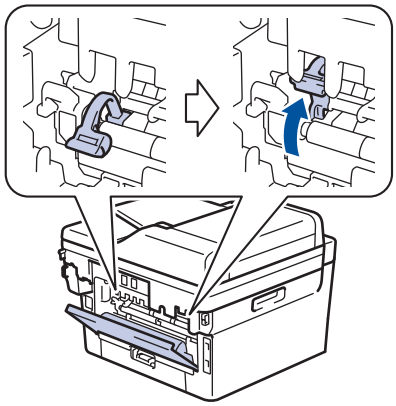
関連トピック：

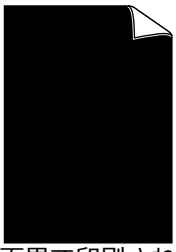
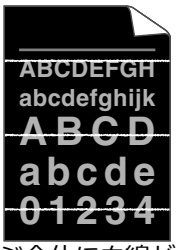
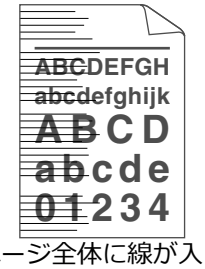
- お使いのパソコンから本製品の状態を監視する （Windows）
- 印刷ジョブをキャンセルする
- 給紙ローラーを清掃する
- 文書を印刷する（Windows）
- 初期値の印刷設定を変更する（Windows）
- 用紙のセット

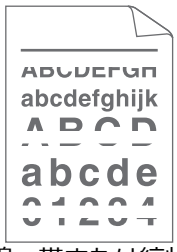
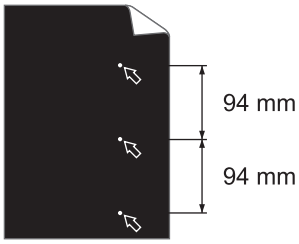
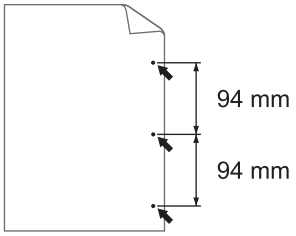
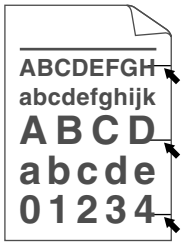
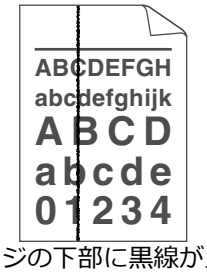
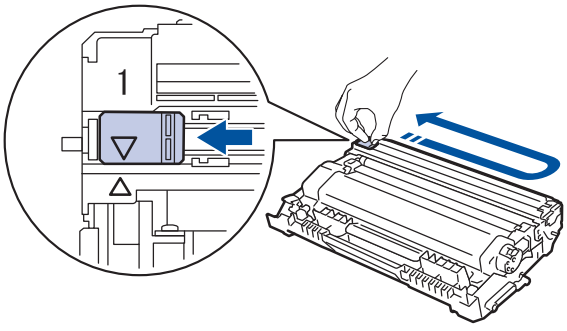
印刷品質の改善

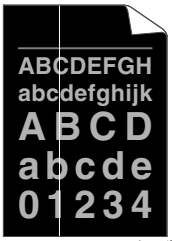
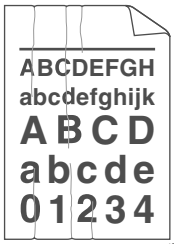
印刷品質に問題がある場合は、まずテストページを印刷します。印刷物に問題がなければ、本製品の問題ではないと考えられます。インターフェイスケーブルの接続を確認し、他の原稿を印刷してみてください。本製品からの印刷物またはテストページに品質問題がある場合は、印刷品質の例を参照し、表の推奨事項に従います。

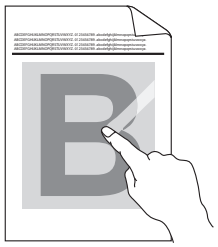
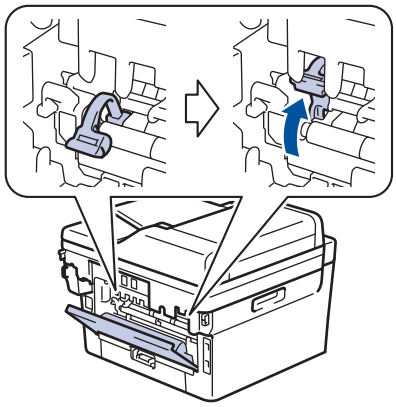
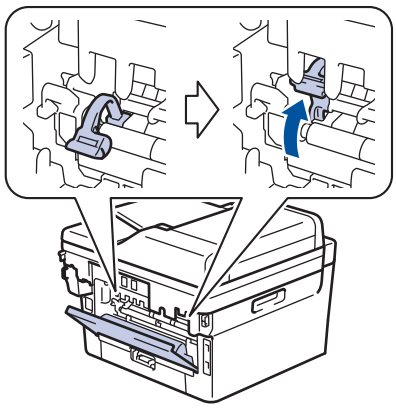
1. 高品質の印刷を行うために、推奨される印刷用紙をご利用ください。仕様どおりの用紙をお使いください。
2. トナーカートリッジとドラムユニットが正しく取り付けられているか確認します。

印字品質が低い例	推奨
 ぼやける	• 本製品にトナー交換のステータスが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換します。 • 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境に設置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。 • ページ全体の色が薄い場合は、トナー節約モードがオンになっている場合があります。本製品のメニュー設定またはプリンタードライバーでトナー節約モードをオフにします。 • ドラムユニットを清掃してください。 • ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットを新品に交換します。
 灰色の背景	• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境では、背景に陰影がつきやすくなります。 • ドラムユニットを清掃してください。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットを新品に交換します。
 画像が何度も現れる	• 本製品の設置環境を確認します。乾燥や低温の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。 • バックカバー内の 2 本の緑色のレバーが上向きになっていることを確認します。2 本の緑色のレバーを完全に引き上げます。  • ドラムユニットを清掃してください。 • ドラムユニットを新品に交換します。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • 定着ユニットが損傷している可能性があります。

印字品質が低い例	推奨
	ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
 斑点が付く	• ドライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 • ドラムユニットを清掃してください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。 • 定着ユニットが損傷している可能性があります。 ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
 空洞ができる	• プリンタードライバーで **厚紙** モードを選択するか、現在よりも薄い用紙を使用します。 • 本製品の用紙タイプのオプションから、適切な用紙タイプを選択します。 • 本製品の設置環境を確認します。多湿の環境は、印刷文字に空洞ができる原因となります。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 全面黒で印刷される	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 ページ全体に白線が入る	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。 • 本製品の用紙タイプのオプションから、適切な用紙タイプを選択します。 • この問題は自然に解決することがあります。この問題を解決するには、複数の空白ページを印刷します（特に、長期間に渡って本製品を使用していなかった場合）。 • ドラムユニットを清掃してください。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 ページ全体に線が入る	• ドラムユニットを清掃してください。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。

印字品質が低い例	推奨
 ページ全体に白線、帯または縞状の色むらが出る	• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。 • ドラムユニットを清掃してください。 • 複数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットを新品に交換します。
 黒いテキストとグラフィクスに 94 ミリ間隔で白点が付く  94 ミリ間隔で黒点が付く	• 空白ページを 10 枚から 15 枚ほどコピーします。複数の空白ページを印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットのドラムにラベルの糊などの異物が付着している可能性があります。ドラムユニットを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを清掃する • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 ページ全体に黒いトナーの跡が付く	• レーザープリンターでラベルシートを使用すると、シートの糊がドラム表面に付着する場合があります。ドラムユニットを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを清掃する • クリップやホッチキスの付いた用紙を使用すると、ドラムユニットが損傷する場合があります。 • ドラムユニットを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。 • ドラムユニットを清掃してください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 ページの下部に黒線が入る 印刷物の下部にトナーの汚れが付着する	• 緑色のタブをスライドし、ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃します。 コロナワイヤーの緑色のタブが元の位置（1）にあることを確認します。 

印字品質が低い例	推奨
	• スキャナーの読み取り部を柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。 • 定着ユニットが損傷している可能性があります。 ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
 ページ下部に白線が入る	• 破れた紙片、付箋または埃などの異物が、本製品内またはトナーカートリッジやドラムユニット周辺にないことを確認します。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。
 画像が歪む	• コピー時にのみ歪みが生じる場合は、原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに正しくセットしていることを確認します。 • 紙またはその他の印刷用紙が正しく用紙トレイにセットされ、用紙ガイドが適切な位置にあることを確認します。 • 用紙ガイドを正確に合わせます。 • 用紙トレイに紙を入れ過ぎている可能性があります。 • 用紙タイプと品質を確認します。 • 本製品内に破れた紙などの紙片がないかを確認します。 • 自動両面印刷を行うときにのみ問題が発生する場合は、両面トレイに破れた紙が残っていないかを確認します。両面トレイが完全に挿入されバックカバーが完全に閉まっていることを確認します。
 画像が曲がっている／波打っている	• 用紙タイプと品質を確認します。高温多湿の環境下にあると、用紙が曲がってしまいます。 • 本製品を頻繁に使用しない場合、用紙が用紙トレイに長期間置かれていることがあります。用紙トレイの用紙の束を裏返します。また、用紙をさばいてから、用紙トレイでその向きを 180 度回転させます。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開き、背面排紙トレイに印刷済みの用紙を排紙できるようにします。 • 弊社推奨の印刷用紙を使用しない場合は、プリンタードライバーで **用紙のカールを軽減する**モードを選択します。
 しわまたは折り目が付く	• 用紙が正しくセットされていることを確認します。 • 用紙タイプと品質を確認します。 • トレイの用紙の束を裏返すか、用紙トレイの用紙を 180 度回転させます。

印字品質が低い例	推奨
 定着不良	• バックカバー内の 2 本の緑色のレバーが上向きになっていることを確認します。2 本の緑色のレバーを完全に引き上げます。  • プリンタードライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 • プリンタードライバーで**トナーの定着を改善する**モードを選択します。 それでも改善されない場合は、**用紙種類**のプリンタードライバーの設定を厚紙設定に変更します。封筒に印刷する場合は、用紙種類設定で**封筒 (厚め)**を選択します。
  封筒がよじれてしまう	• 封筒を印刷するときは、バックカバー内にある緑色の 2 本のレバーを必ず封筒の位置まで引き下げます。印刷が終わったら、レバーを元の位置に戻します。レバーを完全に引き上げます。  • 封筒を印刷するときはバックカバー（背面排紙トレイ）が開いた状態であることを確認します。 • （手差しトレイ付きモデルのみ） 封筒が手差しトレイから送られていることを確認します。

関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

- テスト印刷
- ドラムユニットを清掃する
- トナー消費量の削減
- トナーカートリッジを交換する
- ドラムユニットを交換する

- スキャナーを清掃する

電話とファクスの問題

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

電話回線や接続

問題	対応
電話発信できない。（ダイヤルトーン（ツーという音）が聞こえない）	すべてのコードが接続されているか確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。ファクスモードでオンフックを押して、本製品がダイヤルトーンに対応していることを確認します。DSL または VoIP サービスに加入している場合、契約しているサービスプロバイダーに、接続について電話でお問い合わせください。
	（一部の国でのみ可能） プッシュ回線／ダイヤル回線を変更します。
	オンフックを押し、番号をダイヤルして手動でファクスを送信します。ファクス受信トーンが聞こえるのを待ってから、スタートボタンを押します。
	ダイヤルトーンが聞こえない場合、別の使用可能な電話機と電話機コードを、 差し込み口に接続します。その後、接続した電話の受話器を取り、ダイヤルトーンが聞こえるかどうか確認します。これでもダイヤルトーンが聞こえない場合、電話会社に問い合わせて、回線および／または壁側の差し込み口を調べてもらいます。
着信音がなっても製品が応答しない。	本製品の設定で、正しい受信モードになっていることを確認します。 ダイヤルトーンを確認します。可能であれば、本製品に電話をかけ、応答するかどうか確認します。それでも応答がない場合、電話機コードが壁側の電話用差し込み口 および、本製品の LINE と示された 差し込み口 に差し込まれていることを確認します。ファクスモードでオンフックを押して、本製品がダイヤルトーンに対応していることを確認します。本製品に電話をかけても着信音が鳴らない場合、電話会社に問い合わせて回線を調べてもらいます。

着信電話の取り扱い

問題	対応
本製品にファクスの着信コールがあった。	スタートボタンまたはファクス送受信を押すか、本製品に接続されている電話機から、リモート起動番号（#51）を押して受信します。 本製品が応答したら、受話器を置きます。
単一の回線上でカスタム機能を使用している。	通話中着信、通話中着信/発信者番号通知、発信者番号通知、留守番電話サービス、留守番電話機、アラームシステムなどのカスタム機能を、本製品を接続している単一の回線で使用している場合、ファクスの送受信に問題が発生する可能性があります。 **例：** 通話中着信などのカスタムサービスに加入しており、その信号が本製品によるファクスの送受信中に同一の回線から発信される場合、ファクスの送受信が一時的に中断してしまう場合があります。本製品の ECM（エラー修正モード）機能により、この問題を解決することができます。この問題は電話システム業者に関係がありますが、カスタム機能を使用する単一の共有回線において、情報の送受信を行うあらゆる機器で発生する可能性があります。業務中に通信中断が起こることを短時間でも避けたい場合、カスタム機能を使用しない別の回線で使用することを推奨します。

ファクス受信

問題	対応
ファクスを受信できません。	すべてのコードが接続されているか確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。DSL または VoIP サービスに加入している場合、契約しているサービスプロバイダーに、接続について電話でお問い合わせください。VoIP システムを使用している場合、安心通信モードを安心（*VoIP*）に変更してみてください。こうすることで、モデム速度が遅くなり、エラー補正モード（ECM）がオフになります。
	ファクスモードでオンフックを押して、本製品がダイヤルトーンに対応していることを確認します。ファクス回線のトーンが話し中または応答なしになる場合、ご契約中の電話会社にお問い合わせください。

問題	対応
ファクスを受信できません。	本製品が正しい受信モードになっていることを確認します。このモードは本 Brother 製品と同じ回線に接続している外付け機器や加入している電話サービスによって決定されます。 • 専用ファクス回線をお持ちで、本ブラザー製品に全てのファクスを自動的に応答させたい場合は、ファクス専用モードを選択する必要があります。 • 本ブラザー製品に外付け留守番電話機を接続している場合は、留守=外付け留守電モードを選択する必要があります。留守=外付け留守電モードでは、本ブラザー製品が自動的にファクスを受信し、音声通話者は留守番電話機にメッセージを残すことができます。 • 本ブラザー製品に外付け電話を接続し、全てのファクスを本製品で自動受信させたい場合は、F/T=自動切換えモードを選択します。F/T=自動切換えモードでは、本製品は自動的にファクスを受信し、再呼出ベルを鳴らして、ユーザーに音声通話に応答するよう知らせます。 • 本ブラザー製品が受信ファクスに自動的に応答しないようにするには、TEL=電話モードに設定する必要があります。TEL=電話モードでは、お客様がすべての着信に応答し、本製品を手動で操作してファクスを受信する必要があります。
	本製品が応答する前に、他の機器や加入サービスが着信に応答している可能性があります。これを確認するには、以下のように呼び出しベル回数の設定を少なくしてください。 • 受信モードが FAX=ファクス専用または F/T=自動切換えに設定されている場合は、呼出ベル回数を最低値（「0」を除く）に減らします。 「関連情報」をご覧ください： 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数） • 受信モードが留守=外付け留守電に設定されている場合は、留守番電話機に設定されている呼び出しベル回数を 2 回に減らします。 • 受信モードが TEL=電話モードに設定されている場合は、呼出ベル回数の設定を変更しないでください。
	任意の相手にファクスのテスト送信を依頼します。 • ファクスのテスト受信が成功した場合、本製品は正しく動作しています。テスト後は必ず、呼び出しベル回数の設定または留守番電話機の設定をリセットしてください。呼び出しベル回数をリセットしても問題が解決しない場合は、本製品がファクス受信に応答する前に、通話者、別の機器、加入している電話サービスか先に着信している可能性があります。 • ファクスを受信できなかった場合、他の機器または加入しているサービスのいずれかにより話し中になっているか、またはファクス回線に問題が発生している可能性があります。
	本製品と同じ回線に接続している留守番電話機（留守=外付け留守電モード）を使用している場合、留守番電話機の設定が正しいことを確認してください。 1. 留守番電話機の出力メッセージを録音します。 • 留守番電話機で応答メッセージを録音する際に、最初に 5 秒間無音状態で録音します。 • 録音するメッセージは 20 秒以内にしてください。 2. 留守番電話機が着信に応答するように設定します。 3. 本製品の受信モードを留守=外付け留守電モードに設定します。 「関連情報」をご覧ください： 正しい受信モードを選択する
	本 Brother 製品の親切受信機能がオンに設定されていることを確認します。親切受信は、外付け電話機や内線電話機で着信に応答してもファクスを受信できる機能です。
	電話回線の干渉により送信エラーが頻繁に発生している可能性がある場合や、VoIP システムを使用している場合は、互換設定を安心（*VoIP*）に変更してみてください。
	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。

ファクス送信

問題	対応
ファクスを送信できない。	すべてのコードが接続されているか確認します。電話機コードが、壁側の電話用差し込み口および、本製品の LINE と示された差し込み口に差し込まれていることを確認します。ファクスモードでオンフックを押して、本製品がダイヤルトーンに対応していることを確認します。DSL または VoIP サービスに加入している場合、契約しているサービスプロバイダーに、接続について電話でお問い合わせください。
	[ファクス]を押し、本製品がファクスモードになっていることを確認します。
	送信結果レポートを印刷し、エラーについて確認します。

問題	対応
ファクスを送信できない。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
	送信相手のファクス機に用紙がセットされていることを確認します。
送信したファクスの品質が良くない。	解像度設定を、ファインまたはスーパーファインに変更してみてください。コピーをして本製品の読み取り動作を確認します。コピー品質が良くない場合、スキャナーを清掃してください。
送信結果レポートに「結果：ｴﾗｰ」と出力される。	回線上の一時的なノイズや雑音が原因の場合があります。もう一度ファクスを送信してみてください。PC-FAX でファクスを送信し、送信結果レポートに「結果：ｴﾗｰ」と出力された場合、本製品のメモリーが不足している可能性があります。メモリーの空き容量を確保するには、メモリー保持のみ設定をオフにする、メモリー内のファクスを印刷する、またはタイマー予約したファクスをキャンセルしてください。問題が解決しない場合は、電話会社に問い合わせて、お使いの電話回線を確認します。
	電話回線の干渉により送信エラーが頻繁に発生している可能性がある場合や、VoIP システムを使用している場合は、安心通信モードを安心(VoIP)に変更してみてください。
送信したファクスが空白ページになる。	送信する原稿を必ず正しくセットしてください。 ADF（自動原稿送り装置）を使用している場合は、文書を上向きにしてください。原稿台ガラスを使用している場合は、文書を下向きにしてください。
送信ファクスに黒い縦線が入る。	送信ファクスに現れる黒い縦線の多くは、ADF 読み取り部の汚れまたは、修正液が原因で発生します。ADF 読み取り部を掃除してください。

受信したファクスの印刷

問題	対応
• 偏って印刷される。 • 横筋が入る。 • 上部と下部の文字が切れている。 • 印刷されない行がある。 	この問題は通常、電話回線の状況がよくないために起こります。テストコピーをしてみて品質に問題がなければ、電話回線に障害や干渉など接続に問題が起きている可能性があります。相手に、ファクスの再送信を依頼してください。
受信ファクスに黒い縦線が入る。	コロナワイヤーが汚れている可能性があります。ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。
	送信者のファクス機の読み取り部分が汚れています。送信者にコピーをするように依頼して、送信者のファクス機に問題がないかどうか確認します。 他のファクス機から送信してもらうように依頼してください。
ファクスを受信すると 2 枚に分かれて印刷されたり、2 枚目が空白ページになる。	左右の余白が切れたり、1 つのページが 2 枚の用紙に印刷される。 受信ファクスが分割されて、2 ページに分かれて印刷される場合、または余分な空白ページが出力される場合は、使用している用紙に対して、用紙サイズ設定が正しくない可能性があります。
	自動縮小機能をオンにします。

関連情報

- トラブルシューティング
  - ダイヤルトーン検出を設定する

関連トピック：

- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 正しい受信モードを選択する

ダイヤルトーン検出を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ダイヤルトーンを［検知する］に設定すると、ダイヤルトーン検出の休止時間が短縮されます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［初期設定］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ設定］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押し、［検知する］または［検知しない］を選択し、 **OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［ダイヤルトーン設定］を押します。
2. ［検知する］または［検知しない］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 電話とファクスの問題

ネットワークの問題

- エラーメッセージ
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- 本製品のネットワーク設定を確認する
- 本製品のネットワークに問題がある場合

エラーメッセージ

最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[接続できません][他のﾃﾞﾊﾞｲｽと接続中です]	本製品がグループオーナーのときに、4 つのモバイル端末がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他のモバイル端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中に、本製品とお使いのモバイル端末が通信できません。	• モバイル端末を本製品に近づけます。 • 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 • WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いのモバイル端末を認識できません。	• 本製品とお使いのモバイル端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 • モバイル端末を本製品に近づけます。 • 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 • Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 • お使いのモバイル端末に IP アドレスを取得するための設定ページがある場合、モバイル端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[時計が未設定です。管理者に問い合わせてください。]	本製品が SNTP タイムサーバーから時間を取得しないか、本製品に対して日時を設定していません。	• SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、Web Based Management を使用して正しく設定されていることを確認します。 • 本製品の**時計設定**設定値が、Web Based Management で正しく設定されていることを確認します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[接続できません 他のデバイスと接続中です]	本製品がグループオーナーのときに、4 つのモバイル端末がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他のモバイル端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中に、本製品とお使いのモバイル端末が通信できません。	• モバイル端末を本製品に近づけます。 • 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 • WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いの	• 本製品とお使いのモバイル端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
	モバイル端末を認識できません。	• モバイル端末を本製品に近づけます。 • 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 • Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 • お使いのモバイル端末に IP アドレスを取得するための設定ページがある場合、モバイル端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[時計が未設定です。管理者に問い合わせてください。]	本製品が SNTP タイムサーバーから時間を取得しないか、本製品に対して日時を設定していません。	• SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、Web Based Management を使用して正しく設定されていることを確認します。 • 本製品の**時計設定**設定値が、Web Based Management で正しく設定されていることを確認します。

関連情報

- ネットワークの問題

関連トピック：

- ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）

ネットワーク診断修復ツールを使用して本製品のネットワーク設定を修正してください。これにより IP アドレスとサブネットマスクの割り当てが行われます。

本製品の電源がオンになっており、パソコンと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ネットワーク診断修復ツール**をクリックします。
3. 画面の指示に従います。
4. ネットワーク設定リストまたは プリンター設定ページを印刷し、診断結果を確認します。

ステータスモニターで**接続状態を常に監視する**オプションを選択した場合、 ネットワーク診断修復ツールが自動的に開始します。ステータスモニターを右クリックし、**その他の設定** > **接続状態を常に監視する**をクリックします。ネットワーク管理者が IP アドレスを「Static」に設定している場合は、IP アドレスが自動的に変更されるため推奨しません。

ネットワーク診断修復ツールを使用しても正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられない場合は、ネットワーク管理者にこれらの設定値をお問い合わせください。

関連情報

- ネットワークの問題

関連トピック：

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

本製品のネットワーク設定を確認する

- ネットワーク設定レポートを印刷する

本製品のネットワークに問題がある場合

本製品のネットワーク環境に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらにサポートが必要な場合は、support.brother.co.jp にアクセスしてください。

- 無線ネットワーク設定を完了できない
- ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

無線ネットワーク設定を完了できない

無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、無線設定を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、次の手順に従ってください。

無線 LAN レポートで問題について調べます。

原因	対処方法	インターフェイス
セキュリティの設定（SSID/ネットワークキー）が正しくありません。	**無線 LAN 情報確認ツール**を使用して、セキュリティの設定を確認します（Windows）。ユーティリティの詳細とダウンロードについては、support.brother.com/downloads で、本モデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。 セキュリティ設定が正しいことを確認します。 - セキュリティ設定については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。 - セキュリティの初期設定に、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造元の名前やモデル番号が使用されている可能性があります。 - アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に確認します。	無線 LAN
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。 MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。	無線 LAN
無線 LAN アクセスポイント／ルーターが、ステルスモード（SSID を表示させない設定）です。	• 正しい SSID またはネットワークキーを手動で入力します。 • お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターに付属の取扱説明書に記載されている SSID やネットワークキーを確認し、無線ネットワークを再設定します。	無線 LAN
セキュリティの設定（SSID／パスワード）に誤りがあります。	SSID とパスワードを確認します。 ネットワークを手動で設定する際、本製品に SSID とパスワードが表示されます。 お使いのモバイル端末が手動設定に対応している場合は、お使いのモバイル端末の画面に SSID とパスワードが表示されます。	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	モバイル端末との接続が切れる場合（Wi-Fi Direct を約 6 分使用した後）は、WPS によるワンプッシュ方式を使用して（推奨）、本製品をグループオーナーに設定してみてください。	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末が離れすぎています。	Wi-Fi Direct のネットワーク設定を行うときは、本製品とモバイル端末を 1 メートル程度まで近づけてください。	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末の間に、障害物（壁や家具など）があります。	本製品を障害物のない場所へ移動してください。	Wi-Fi Direct
本製品またはモバイル端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth®対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	これらすべての機器を、本製品とモバイル端末から離してください。	Wi-Fi Direct
上記をすべて確認した後も、Wi-Fi Direct の設定ができない場合：	• 本製品の電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、Wi-Fi Direct の設定を行ってください。 • 本製品をクライアントとして使用している場合は、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで接続可能な機器の台数を調べ、何台接続されているか確認してください。	Wi-Fi Direct

Windows の場合

無線接続が中断し、上記のすべてを確認して試した後でも問題が解決しない場合は、ネットワーク診断修復ツールを使用することをお勧めします。

関連情報

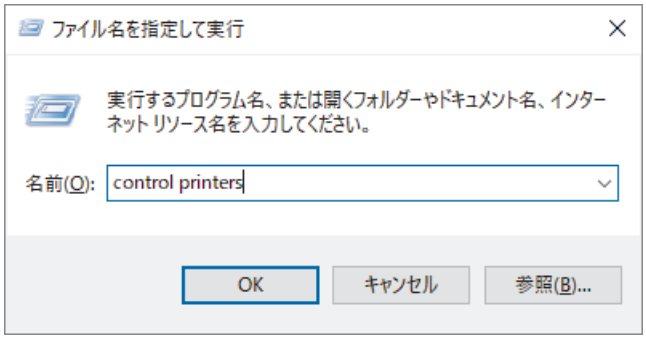
- 本製品のネットワークに問題がある場合

関連トピック：

- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Direct®を使用する

ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない

原因	対処方法
お使いの製品が無線ネットワークから切断されます。	• DCP-L2600DW/FAX-L2800DW 1. **Wi-Fi** を押します。 2. ▲または▼を押して、[接続修復]を選択し、**OK** を押します。 3. 無線機器が正常に接続されると、本製品に[接続しました]と表示されます。 • DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW 1. > [接続修復]を押します。 2. 無線機器が正常に接続されると、本製品に[接続しました]と表示されます。
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。(ネットワークスキャン機能が動作していません。)	• Windows ネットワークスキャンを許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワークスキャンにポート 54925 を追加するには、以下の情報を入力します。 - **名前**: ブラザー NetScan など、説明を入力します。 - **ポート番号**: 54925 を入力します。 - **プロトコル**: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。 • Mac (Brother iPrint&Scan) **Finder** メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、Brother iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。**製品を選択**ボタンをクリックし、画面の指示に従ってお使いのネットワーク機器を再度選択します。
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。(ネットワーク PC-FAX 受信機能が動作していません。) (Windows)	PC-FAX 受信を許可するように、サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワーク PC-FAX 受信にポート 54926 を追加するには、以下の情報を入力します。 • **名前**: ブラザー PC-FAX Rx など、説明を入力します。 • **ポート番号**: 54926 を入力します。 • **プロトコル**: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ／ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	正常にインストールできた場合でも、一部のセキュリティソフトウェアは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックする場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	• IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

原因	対処方法
	• Windows ネットワーク診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを確認します。
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	• 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 • または、以下のフォルダーでプリンターアイコンを選択し、すべての文書をキャンセルします。 （Windows） 1. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながら R キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。 2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。  **デバイスとプリンター**画面が表示されます。 **デバイスとプリンター**画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。 Mac： **システム設定** > **プリンタとスキャナ**または**システム環境設定** > **プリンタとスキャナ**をクリックします。
お使いの製品は無線ネットワークに接続されていません。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 「関連情報」をご覧ください： *WLAN* レポートを印刷する

上記のすべての対応を確認して試しても、問題が解決しない場合、ドライバー（Windows）とソフトウェアをアンインストールし、最新バージョンを再インストールしてください。

関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

関連トピック：

- WLAN レポートを印刷する
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対処方法
本製品、アクセスポイント／ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	**次の点を確認してください。** • 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 • 無線 LAN アクセスポイント／ルーターまたはハブの電源が入った状態で、リンクランプが点滅している。 • すべての保護用梱包材が本製品から取り除かれている。 • トナーカートリッジとドラムユニットが正しく取り付けられている。 • 本製品のカバーが完全に閉まっている。 • 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。 • （有線 LAN の場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。
ネットワーク設定リストまたはプリンター設定ページで **Link Status** を確認します。	ネットワーク設定リストを印刷し、**Ethernet Link Status** または **Wireless Link Status** が **Link OK** であることを確認します。
パソコンから本製品に「ping」を実行できることを確認します。	Windows のコマンドプロンプトまたは Mac Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に対して ping を実行します。 [<ipaddress>]または[<nodename>]を ping します。 • 成功：本製品は正しく動作していて、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されています。 • 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていません。 Windows： 管理者に IP アドレスとサブネットマスクを問い合わせてから、ネットワーク診断修復ツールを使用してください。 Mac： IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 「関連情報」をご覧ください： *WLAN* レポートを印刷する

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いのお使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書で SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）の情報を参照し、それらを正しく設定してください。

関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

関連トピック：

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- WLAN レポートを印刷する
- 無線 LAN レポートのエラーコードについて
- ネットワーク診断修復ツールを使用する （Windows）
- ネットワーク経由で印刷、スキャン、または PC-FAX 受信機能を使用できない

AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンター一覧に表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
	モバイル端末を無線 LAN アクセスポイント／ルーター、または本製品の近くに移動させます。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
iOS 機器から複数ページの文書を印刷しようとしていますが、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を実行していることを確認してください。

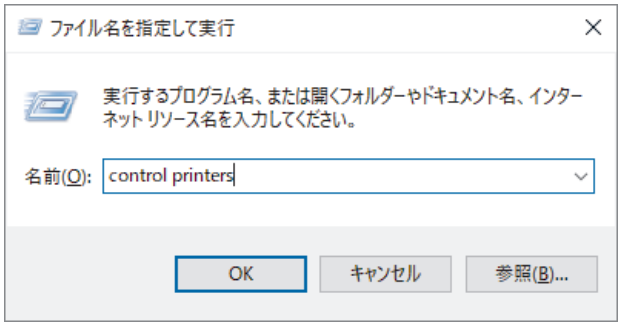
関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

- AirPrint の概要

その他の問題

問題	対応
本製品の電源が入りません。	電源接続部への悪影響（雷や電力サージなど）により、本製品の内部安全機構が作動した可能性があります。電源コードを抜いてください。約 10 分待ってから電源コードを接続し、⏻を押して本製品の電源を入れます。 問題が解決しない場合は、⏻を長押しして本製品の電源を切ります。バックアップ電池またはサージ抑制器を使用している場合、これを外して問題の原因でないことを確認します。本製品の電源コードを直接、動作していることが確実な別の壁面コンセントへ接続し、⏻を押して本製品の電源を入れます。
本製品の BR-Script3 プリンタードライバーでは、バイナリコードを含む EPS データは印刷できません。	**（Windows）** 以下の手順で EPS データを印刷します。 1. パソコンのキーボードで、⊞キーを長押ししながらRキーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。 2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。  **デバイスとプリンター**画面が表示されます。 **デバイスとプリンター**画面が表示されない場合、**その他のデバイスを表示** > **その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。 3. 名前に **BR-Script3** を含むモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ**を選択します。 **BR-Script3** を含むお使いのモデルが表示されない場合は、お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ**を選択して、**BR-Script3** を含むモデル名を選択してください。 4. **デバイスの設定**タブから、**出力プロトコル**にある TBCP（Tagged Binary Communication Protocol）を選択します。
本製品のソフトウェアをインストールできません。	**（Windows）** インストール中にセキュリティソフトウェアの警告がコンピューター画面に表示された場合、ブラザー製品のセットアッププログラムや他のプログラムを実行できるよう、セキュリティソフトウェアの設定を変更します。 **（Mac）** アンチスパイウェアまたはアンチウイルスセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場

問題	対応
	合、一時的に無効にしてから本製品のソフトウェアをインストールします。

コピーの問題

問題	対応
コピーできない。	[コピー]を押し、本製品がコピーモードになっていることを確認します。
	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
コピーに黒い縦線が入る。	コピーの黒い縦線は一般的に、汚れや修正液が原稿台ガラスに付着した場合や、コロナワイヤーが汚れている場合に生じます。ADF 読み取り部と原稿台ガラス、白色のバーと白色のプラスチック面を清掃します。
コピーが空白のまま出てくる。	原稿を必ず正しくセットしてください。

スキャンの問題

問題	対応
スキャン開始時に TWAIN エラーや WIA エラーが表示される。(Windows)	Brother TWAIN または WIA ドライバーが、お使いのスキャンアプリケーションで一次ソースとして選択されていることを確認してください。例えば、Nuance™ PaperPort™14SE で、**デスクトップ** > **スキャン設定** > **選択**をクリックして Brother TWAIN/WIA ドライバーを選択します。
OCR が動作していません。	スキャン解像度を上げてください。
スキャンできない。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。

ソフトウェアの問題

問題	対応
ソフトウェアのインストールまたは印刷ができません。	(Windows) インストールプログラムを再度実行します。このプログラムは、本ソフトウェアを修復して再インストールします。

関連情報

- トラブルシューティング

本製品の情報を確認する

以下の指示に従って、本製品のシリアル番号とファームウェアバージョンを確認してください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して［製品情報］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション	詳細
［ｼﾘｱﾙ No.］	製品のシリアルナンバーを確認します。
［ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ］	製品のファームウェアバージョンを確認します。
［印刷枚数表示］	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
［消耗品寿命］	消耗品の使用可能な寿命を確認します。

4. **OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［製品情報］を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
［シリアル No.］	製品のシリアルナンバーを確認します。
［ファームウェアバージョン］	製品のファームウェアバージョンを確認します。
［ファームウェア更新］	製品を最新のファームウェアに更新します。
［ファームウェア更新通知］	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
［印刷枚数表示］	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
［消耗品寿命］	消耗品の使用可能な寿命を確認します。

3. を押します。

関連情報

- トラブルシューティング

製品のファームウェアのアップデート

本製品を最新の状態に保つため、最新のファームウェアがないか support.brother.com/downloads を定期的にご確認ください。最新のファームウェアがない場合、製品の機能の一部が利用できなくなることがあります。

以下の手順に従っても製品のファームウェアを直接アップデートできます：（DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW）

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［製品情報］を押します。
2. ［ファームウェア更新］を押します。
3. を押します。

関連情報

- トラブルシューティング

関連トピック：

- 製品のパスワードの確認

本製品を初期状態に戻す

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[設定ﾘｾｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、実行したいリセット機能の種類を選択し、**OK** を押します。

モデルにより、以下のリセット機能を利用できない場合があります。

5. 表のオプションを押して、本製品をリセットするか、またはプロセスを終了します。

オプション	詳細
▲	本製品をリセットします。
▼	本製品が終了し、リセットメニューがキャンセルされます。

画面に[再起動しますか?]と表示されます。

6. 一覧で、本製品を再起動またはプロセスを終了するオプションを押します。

オプション	詳細
▲	本製品を再起動します。本製品がリセットを開始します。
▼	本製品が再起動せずに終了します。

再起動せずに終了した場合、本製品はリセットされず、設定も変更されないままとなります。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定リセット] を押します。
2. ▲または▼を押して、リセット機能の種類を表示させ、使用したいリセット機能を押します。
   画面に[再起動しますか? 実行する場合は[OK]を 2 秒間 押してください 実行しない場合は [キャンセル]を押してください]と表示されます。
3. 一覧で、本製品を再起動またはプロセスを終了するオプションを押します。

オプション	詳細
[OK]を 2 秒間押します	本製品を再起動します。本製品がリセットを開始します。
[キャンセル]	本製品が再起動せずに終了します。

再起動せずに終了した場合、本製品はリセットされず、設定も変更されないままとなります。

4. を押します。

[メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット]を押してネットワーク設定をリセットすることもできます。

関連情報

- トラブルシューティング
  - リセット機能の概要

関連トピック：

- 製品のパスワードの確認
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

リセット機能の概要

以下のリセット機能があります。

インターフェイスケーブルを外してからネットワーク設定リセット機能、全設定リセット機能、または出荷状態リセット機能を選択してください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

モデルにより、以下のリセット機能を利用できない場合があります。

1. 機能設定リセット
   この機能では以下の設定をリセットします。
   - メモリー内のファクスジョブ（MFC モデルの場合）
     （タイマー送信）
   - カバーページメッセージ（MFC モデルの場合）
   - リモートファクスオプション（MFC モデルの場合）
     （暗証番号、メモリ保持、ファクス転送、PC-FAX 受信（Windows のみ））
   - 言語設定
2. ネットワーク設定リセット（ネットワークモデルの場合）
   管理者パスワードを除いたすべての IP アドレス情報を含め、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットします。
3. 電話帳＆ファクスリセット（MFC モデルの場合）
   この機能では以下の設定をリセットします。
   - 電話帳
     （ショートカット/短縮ダイヤル/セットアップグループ）
   - メモリー内のファクスジョブ
   - 発信元登録
     （名前と番号）
   - 表紙コメント
   - リモートファクスオプション
     （暗証番号、メモリ保持、ファクス転送、PC-FAX 受信（Windows のみ））
   - レポート
     （送信結果レポート/電話帳索引リスト/通信管理レポート）
   - 設定ロックパスワード
4. 全設定リセット
   製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
   全設定リセットは出荷状態リセットよりも短時間で実行できます。
5. 出荷状態リセット
   本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、設定リセット機能を使用します。
   出荷状態リセットは全設定リセットよりも時間がかかります。
   本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 機能設定リセット
   日付と時刻や再呼出ベル回数など変更した全ての設定をリセットします。
   電話帳、ファクスレポート、また通信履歴は残ります。（MFC モデルの場合）
2. ネットワーク設定リセット （ネットワークモデルの場合）
   管理者パスワードを除いたすべての IP アドレス情報を含め、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットします。
3. 電話帳＆ファクスリセット（MFC モデルの場合）
   この機能では以下の設定をリセットします。
   - 電話帳
     （アドレスとグループ）
   - メモリー内のファクスジョブ
   - 発信元登録
     （名前と番号）
   - 表紙コメント
   - リモートファクスオプション
     （暗証番号、メモリ保持、ファクス転送、PC-FAX 受信（Windows のみ））
   - レポート
     （送信結果レポート/電話帳索引リスト/通信管理レポート）
   - 設定ロックパスワード
4. 全設定リセット
   製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
   全設定リセットは出荷状態リセットよりも短時間で実行できます。
5. 出荷状態リセット
   本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、設定リセット機能を使用します。
   出荷状態リセットは全設定リセットよりも時間がかかります。
   本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。

関連情報

- 本製品を初期状態に戻す

日常のお手入れ

- 消耗品を交換する
- 本製品を清掃する
- 部品の残りの寿命を確認する
- 本製品を梱包して輸送する

消耗品を交換する

本製品が消耗品の寿命が来たことを示している場合、消耗品を交換しなければなりません。

トナーカートリッジとドラムユニットは、それぞれ別の消耗品となります。これらは 1 つのセットとして取り付けてください。 消耗品の型番は国により異なります。

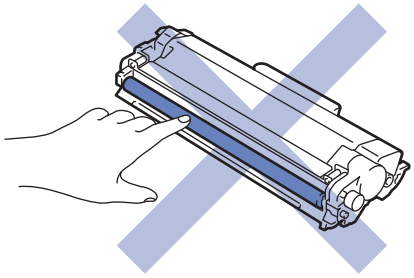
お願い

- 必ず、使用済みの消耗品を袋に入れ、しっかりと封をして、トナーの粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。
- 誤って中身をこぼしたりまき散らしたりしてしまうことがないよう、新品の消耗品と使用済み消耗品にはそれぞれ紙を貼付して保管することをお勧めしています。
- 推奨される印刷メディア以外の用紙を使用すると、消耗品や本体部品の寿命が短くなることがあります。
- 各トナーカートリッジの一般的な寿命は、ISO/IEC 19752 に準拠しています。交換頻度は印刷量、印刷範囲、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジ以外の消耗品の交換頻度は、印刷量、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジは慎重にお取り扱いください。トナーが手や洋服に付着した場合は、直ちに拭き取るか、冷水で洗い流してください。

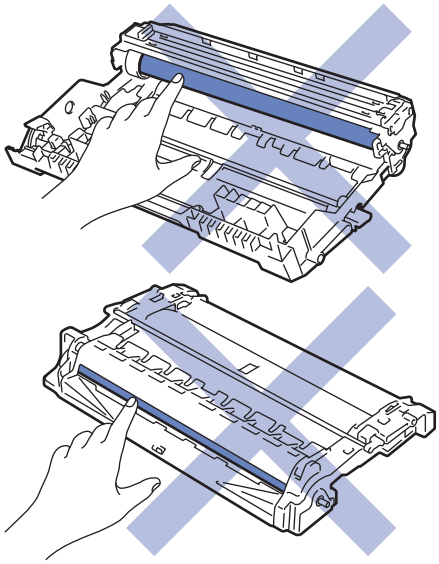
重要

印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついている部分には絶対に触れないでください。

トナーカートリッジ



ドラムユニット



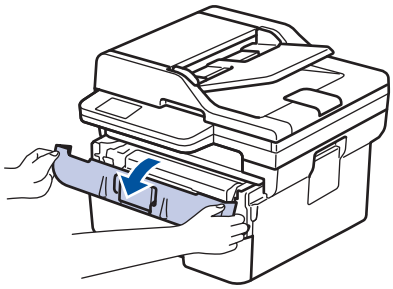
関連情報

- 日常のお手入れ

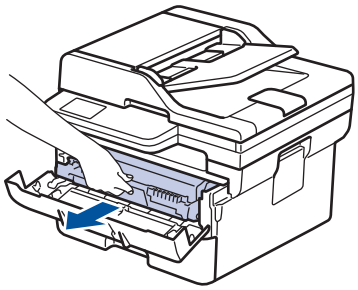
- トナーカートリッジを交換する
- ドラムユニットを交換する
- ドラムカウンターをリセットする

トナーカートリッジを交換する

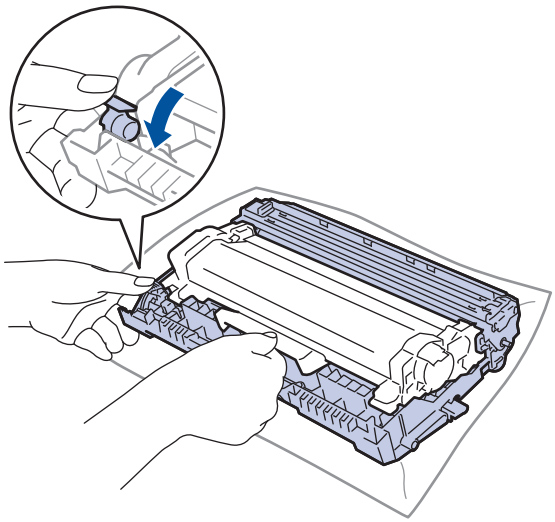
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



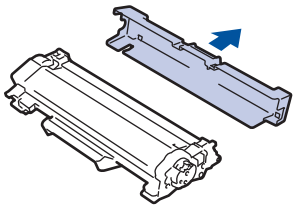
3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



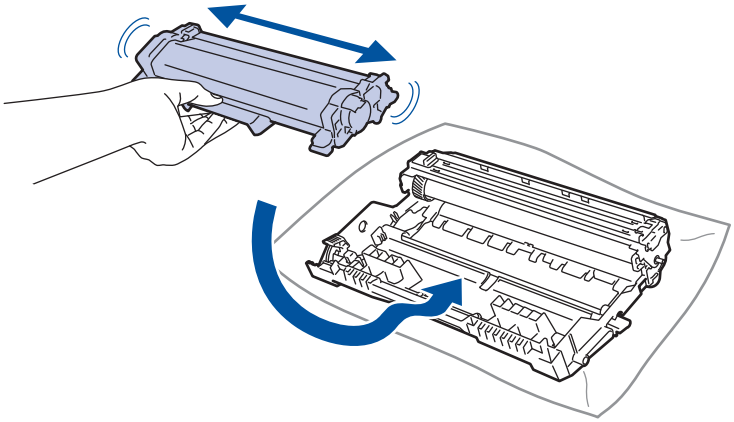
4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



5. 新しいトナーカートリッジを開封します。
6. 保護カバーを取り除きます。

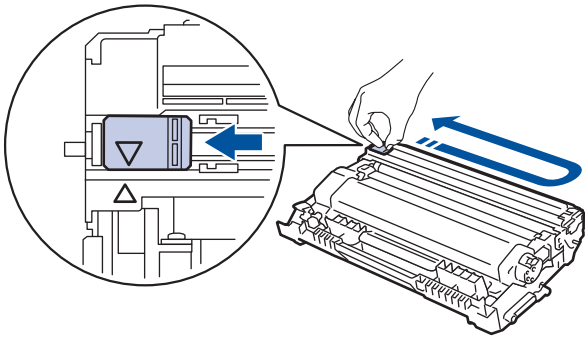


7. トナーカートリッジのハンドルを持ち、図のように左から右へ数回振ります。その後、所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムユニットに押し込みます。



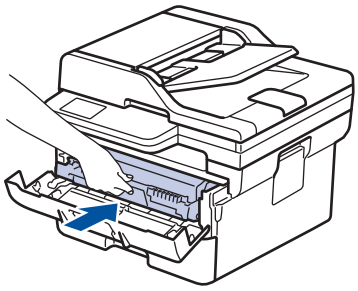
トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

8. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブをホームポジション（▲）に戻してください。タブの矢印をドラムユニットの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

9. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



10. 本製品のフロントカバーを閉じます。

- トナーカートリッジの交換後は、本製品の表示が待機モードに戻るまで本製品の電源を切ったり、フロントカバーを開けたりしないでください。
- 本製品に付属するトナーカートリッジはスタートトナーカートリッジです。
- トナー残量が少ないことを知らせる警告メッセージが表示されたら、新品のトナーカートリッジを手元に準備しておくことをお勧めします。
- 必ず、装着する準備が完了してから新しいトナーカートリッジを開封してください。
- トナーカートリッジを長期間開封したまま置いておくと、トナーの使用可能期間が短くなります。
- 安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

関連情報

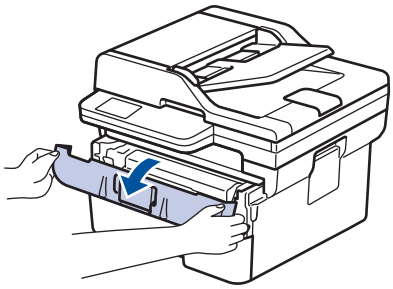
- 消耗品を交換する

関連トピック：

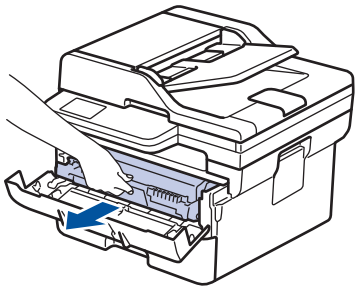
- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 印刷品質の改善

ドラムユニットを交換する

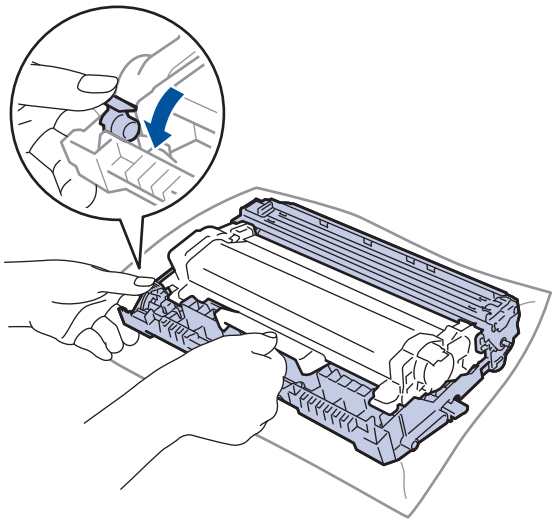
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



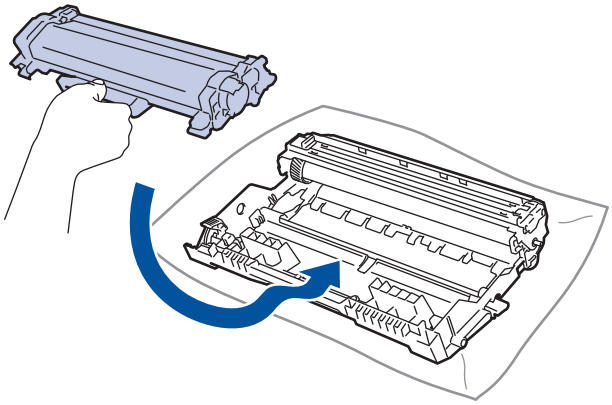
3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。

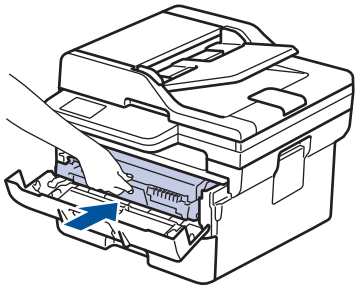


5. 新しいドラムユニットを開封します。
6. トナーカートリッジを新しいドラムユニットへ正しい位置に固定されるまでしっかりと押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

7. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



8. 本製品のフロントカバーを閉じます。

新品のドラムユニットに交換後、ドラムカウンターをリセットしてください。「関連情報」をご覧ください：ドラムカウンターをリセットする

お願い

- ドラムは回転や、紙やトナー、その他の排紙で使用される資材との摩擦などにより磨耗します。本製品を設計する際に、ドラムの寿命決定要因の 1 つであるドラム回転数を決定しました。ドラムが工場の設定した最大回転数（印刷枚数に対応）に達すると、液晶ディスプレーにドラムを交換することを促すメッセージが表示されます。製品は引き続き動作しますが、印字品質が落ちる可能性があります。
- ドラムユニットを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）に置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。
- 実際のドラム寿命は製品が使用されている環境の温度や湿度、用紙やトナーの種類などさまざまな原因により異なります。理想的な条件下での平均的なドラム寿命は、1 ジョブ 1 ページ（A4／レター片面印刷）とした場合、約 15,000 ページです。印刷可能枚数は、使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

  弊社は実際のドラムの寿命を決定するこれらの原因を特定できないため、ドラムにより印刷される最低枚数を保証することはできません。
- 本製品は十分な換気設備のある、清潔で埃のない環境でのみ使用してください。

  安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

関連情報

- 消耗品を交換する

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ
- 印刷品質の改善
- ドラムカウンターをリセットする

ドラムカウンターをリセットする

ドラムユニットを新しいものに交換する場合、以下の手順に従い、ドラムカウンターをリセットする必要があります。

重要

ドラムユニットを交換する場合以外は、ドラムカウンターをリセットしないでください。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 本製品のカバーが閉まっていることを確認します。
3. **OK** と ▲ を同時に押します。
4. **OK** を押して、[ﾄﾞﾗﾑ] を選択します。
5. ▲ を押してドラムカウンターをリセットします。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 本製品のフロントカバーを閉じます。
3. ボタンを押すとエラーが解除されます。
4. （トナー）を、画面のメッセージが切り替わるまで押します。
5. [ドラム　寿命] を押します。
6. [はい] を押します。

関連情報

- 消耗品を交換する

関連トピック：

- ドラムユニットを交換する

本製品を清掃する

本製品の外側と内側は、乾いた、柔らかくて繊維の出ない布で定期的に清掃してください。

トナーカートリッジまたはドラムユニットを交換した場合は、本製品の内部を必ず清掃してください。印刷したページにトナーの汚れが付着している場合は、乾いた柔らかくて繊維の出ない布で本製品の内部を清掃します。

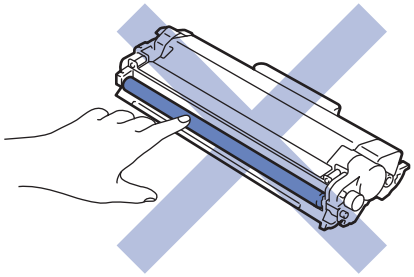
⚠ 警告

本製品の内側または外側を清掃する場合、可燃性物質、スプレー類、有機溶剤、アルコールを含む液体、アンモニアなどを絶対に使用しないでください。火災の原因になります。乾いた、柔らかくて繊維の出ない布をお使いください。

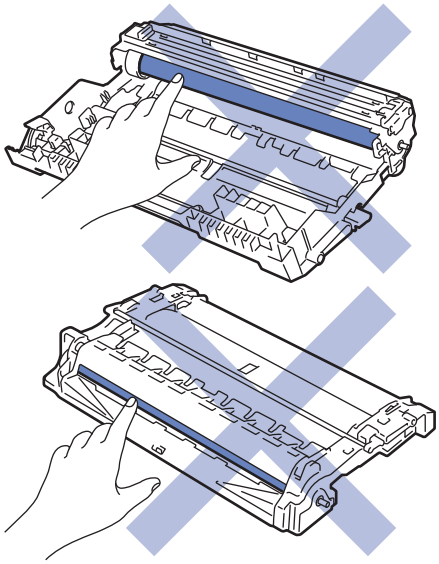
重要

- イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。
- 印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついた部分には絶対に触れないでください。

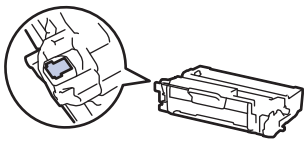
トナーカートリッジ



ドラムユニット



（特定モデルの場合）トナーカートリッジは IC チップを搭載しています。この表面には触れないでください。IC チップに触れると汚れや損傷の原因となり、このコンポーネントを検出する製品の機能に支障をきたすことがあります。



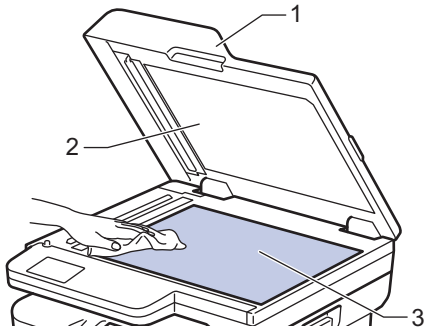
関連情報

- 日常のお手入れ
  - スキャナーを清掃する
  - 画面を清掃する
  - コロナワイヤーを清掃する
  - ドラムユニットを清掃する
  - 給紙ローラーを清掃する

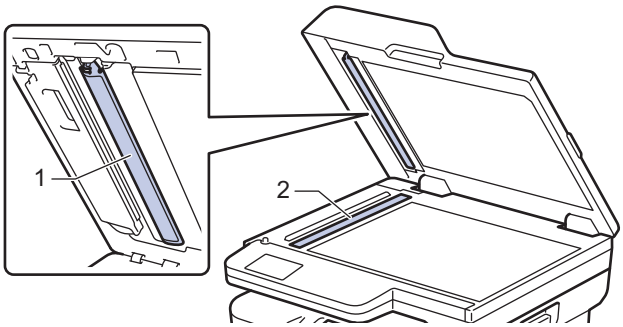
スキャナーを清掃する

清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：本製品を清掃する

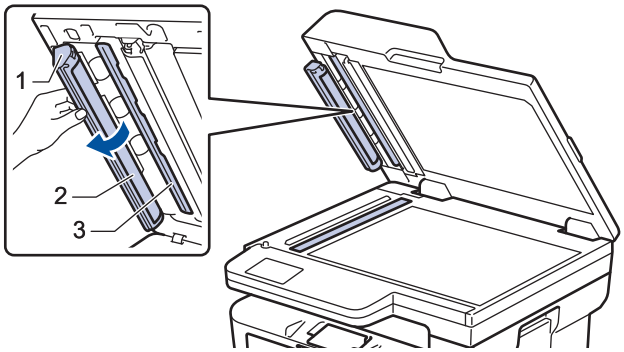
1. を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 原稿台カバー（1）を持ち上げます。白いプラスチック部分（2）とその下の原稿台ガラス（3）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



3. ADF(自動原稿送り装置)の内部は、白い部分（1）とその下のスキャナーの読み取り部（2）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



4. （自動両面スキャンモード用） 原稿台ガラスを開き（1）、白色のバーと（2）とスキャナーの読み取り部（3）を清掃します。



5. 原稿台カバーを閉じます。
6. を押して本製品の電源を入れます。

関連情報

- 本製品を清掃する

関連トピック：

- 印刷品質の改善

画面を清掃する

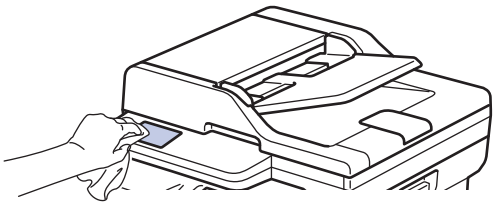
関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：本製品を清掃する

重要

（エタノールなどの）液体クリーナーは絶対に使用しないでください。

1. を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で画面を拭きます。



3. を押して本製品の電源を入れます。

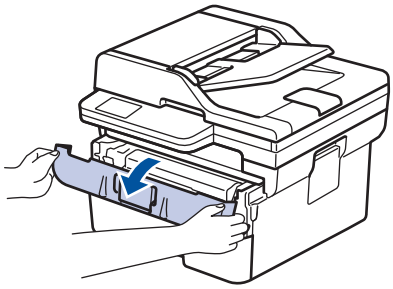
関連情報

- 本製品を清掃する

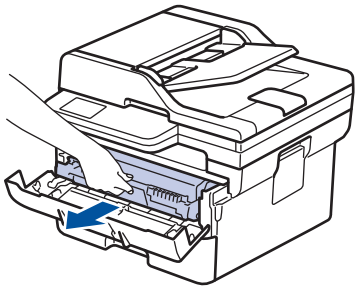
コロナワイヤーを清掃する

印刷品質に問題がある場合、または操作パネルに[ドラム お手入れ]表示が表示される場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

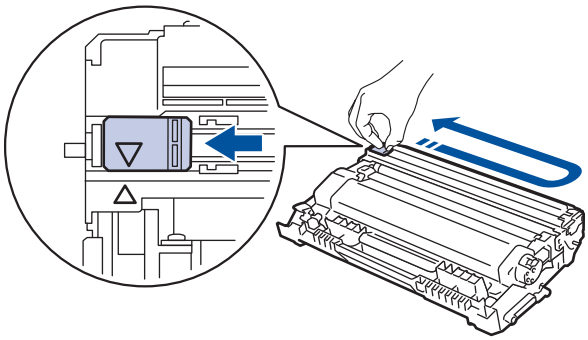
1. フロントカバーを開けます。



2. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。

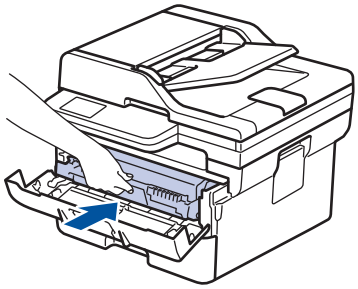


3. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブをホームポジション（▲）に戻してください。タブの矢印をドラムユニットの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

4. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



5. 本製品のフロントカバーを閉じます。

関連情報

- 本製品を清掃する

関連トピック：

- エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

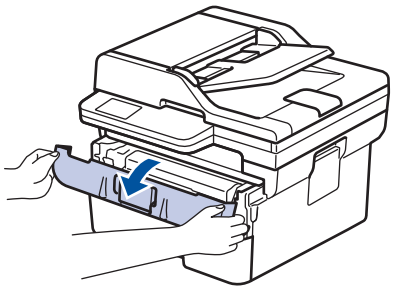
ドラムユニットを清掃する

印刷したものにドット状などのしみが複数箇所にわたり 94 mm 間隔で 付着している場合、ドラムに異物（ドラムの表面に付着したラベルの接着剤など）が付いていることがあります。

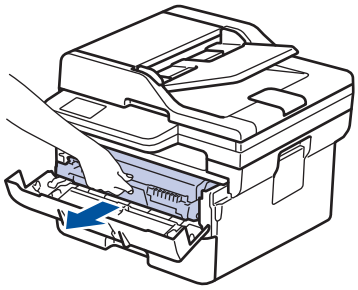
>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

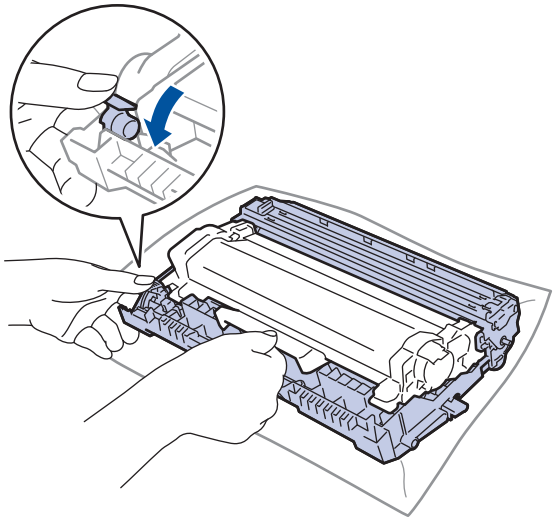
1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾄﾞﾗﾑ汚れ印刷]を選択し、**OK** を押します。
5. **スタート**を押します。
   本製品がドラムチェックシートを印刷します。
6. **停止/終了**を押します。
7. ⏻を長押しして本製品の電源を切ります。
8. フロントカバーを開けます。



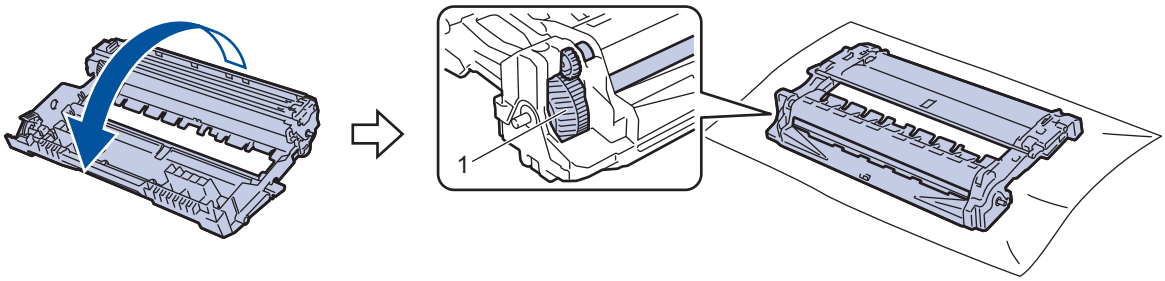
9. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



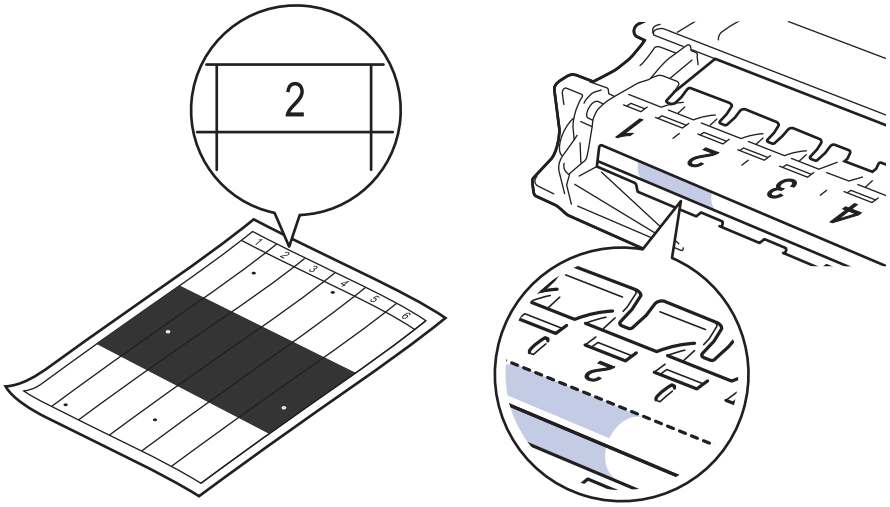
10. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



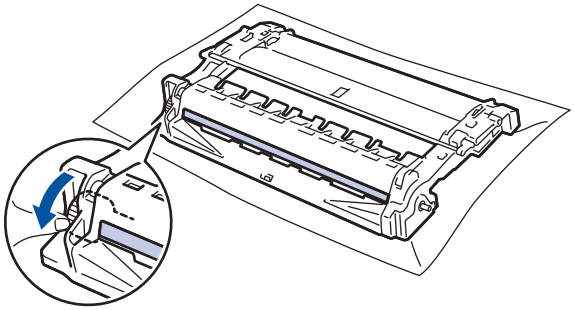
11. ドラムユニットをイラストのように回します。ドラムユニットギア（1）が左側にあることを確認してください。



12. ドラムローラーの隣にマーキングされている番号で、ドラムの汚れの場所を探します。例えば、チェックシートの 2 列目に汚れが付着している場合は、「2 番」のドラムが汚れている可能性があります。



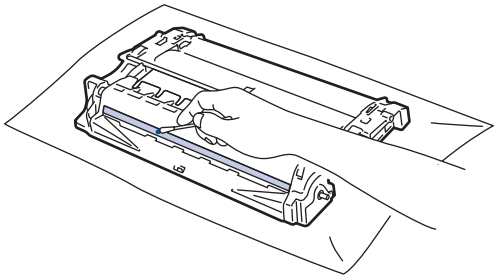
13. ドラムユニットの端を手前に回しながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



重要

印刷品質の問題を回避するため、ドラムユニット表面（端のホイールを除く）には絶対に触れないでください。

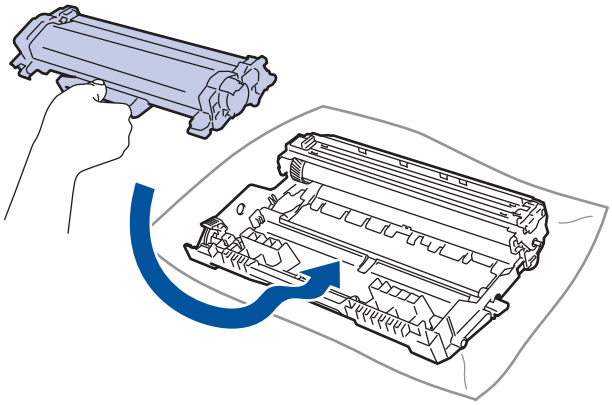
14. 乾いた綿棒でドラムユニット表面の汚れや異物がなくなるまで、表面をやさしく拭きます。



お願い

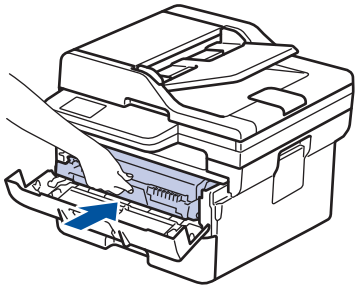
尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

15. トナーカートリッジを所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムユニットに押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

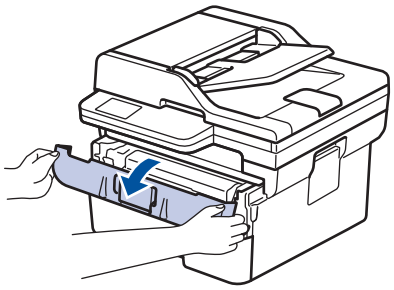
16. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



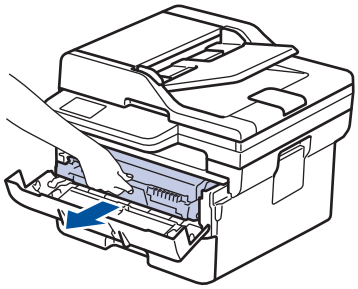
17. 本製品のフロントカバーを閉じます。
18. を押して本製品の電源を入れます。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

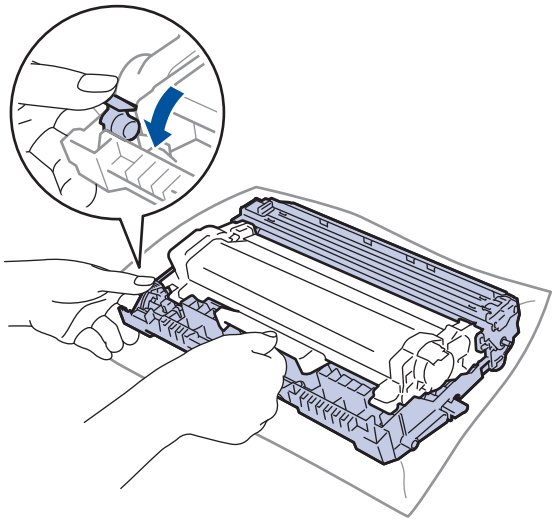
1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2. [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ドラム汚れ印刷]を押します。
3. [はい]を押します。
   本製品がドラムチェックシートを印刷します。
4. を押します。
5. を長押しして本製品の電源を切ります。
6. フロントカバーを開けます。



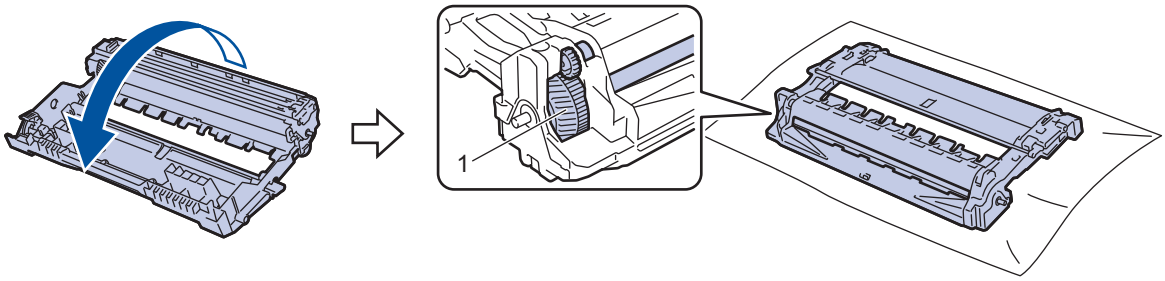
7. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



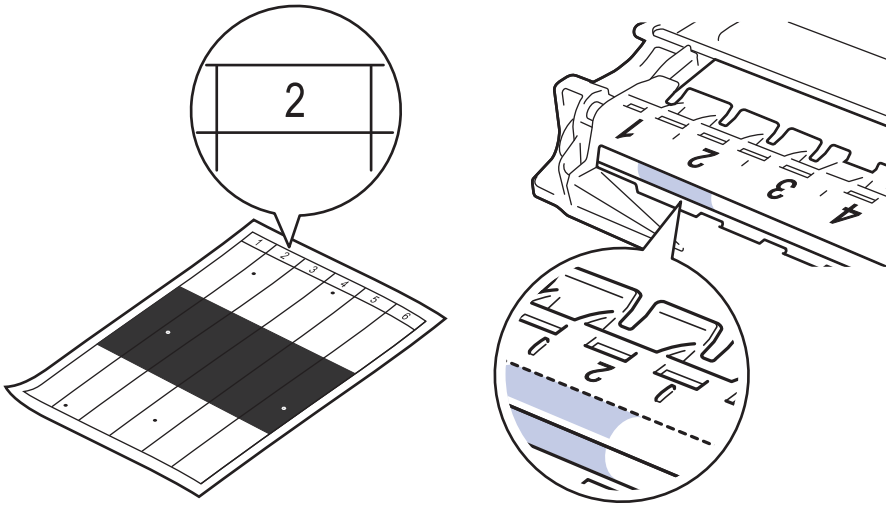
8. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



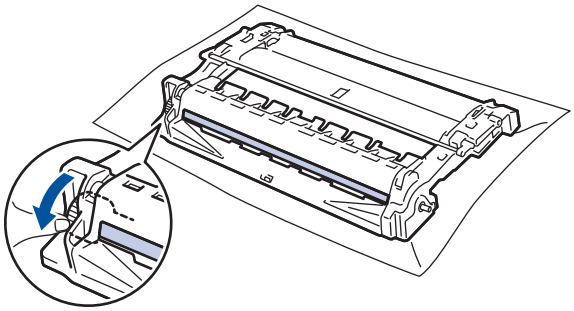
9. ドラムユニットをイラストのように回します。ドラムユニットギア（1）が左側にあることを確認してください。



10. ドラムローラーの隣にマーキングされている番号で、ドラムの汚れの場所を探します。例えば、チェックシートの 2 列目に汚れが付着している場合は、「2 番」のドラムが汚れている可能性があります。



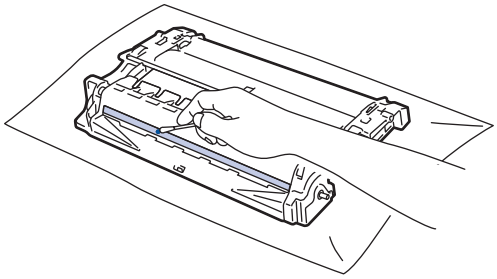
11. ドラムユニットの端を手前に回しながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



重要

印刷品質の問題を回避するため、ドラムユニット表面（端のホイールを除く）には絶対に触れないでください。

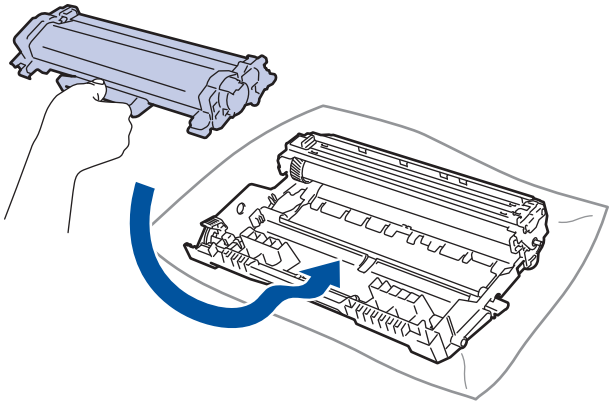
12. 乾いた綿棒でドラムユニット表面の汚れや異物がなくなるまで、表面をやさしく拭きます。



お願い

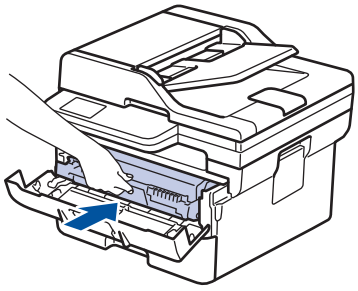
尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

13. トナーカートリッジを所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムユニットに押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

14. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



15. 本製品のフロントカバーを閉じます。

16. (⏻)を押して本製品の電源を入れます。

関連情報

- 本製品を清掃する

関連トピック：

- 印刷品質の改善

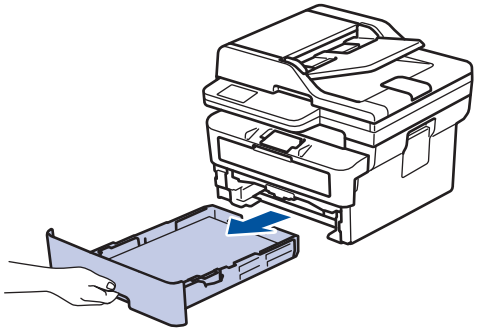
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

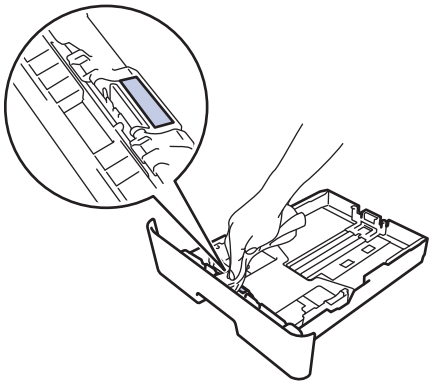
清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：本製品を清掃する

給紙の問題がある場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

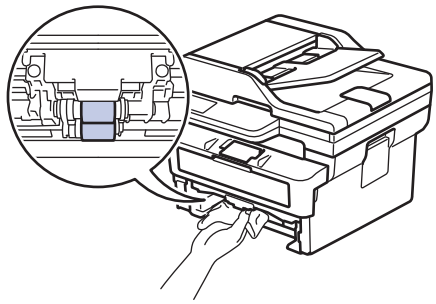
1. を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



3. 用紙がセットされている場合、または用紙トレイの内側にはさまっているものがある場合は取り除いてください。
4. ぬるま湯を含ませた柔らかくて繊維の出ない布をしっかりと絞り、用紙トレイの分離パッドを拭いてほこりを取り除きます。



5. 本製品内部の給紙ローラーを拭いてほこりを取り除きます。



6. 用紙をもう一度セットし、用紙トレイを本製品へしっかりと戻します。
7. を押して本製品の電源を入れます。

関連情報

- 本製品を清掃する

関連トピック：

- 印刷の問題

部品の残りの寿命を確認する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して［製品情報］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して［消耗品寿命］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［ﾄﾅｰ］または［ﾄﾞﾗﾑ 寿命］を選択してから、 **OK** を押します。
   画面にトナーまたはドラムの大まかな交換時期が表示されます。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［製品情報］>［消耗品寿命］を押します。
2. 画面にドラムの大まかな交換時期が表示されます。
3. を押します。

トナーカートリッジの大まかな交換時期を表示するには、画面で を押してから［トナー残量］を押します。

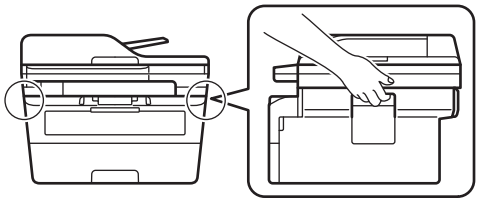
関連情報

- 日常のお手入れ

本製品を梱包して輸送する

⚠ 警告

本製品を移動するときは、イラストのように運んでください。



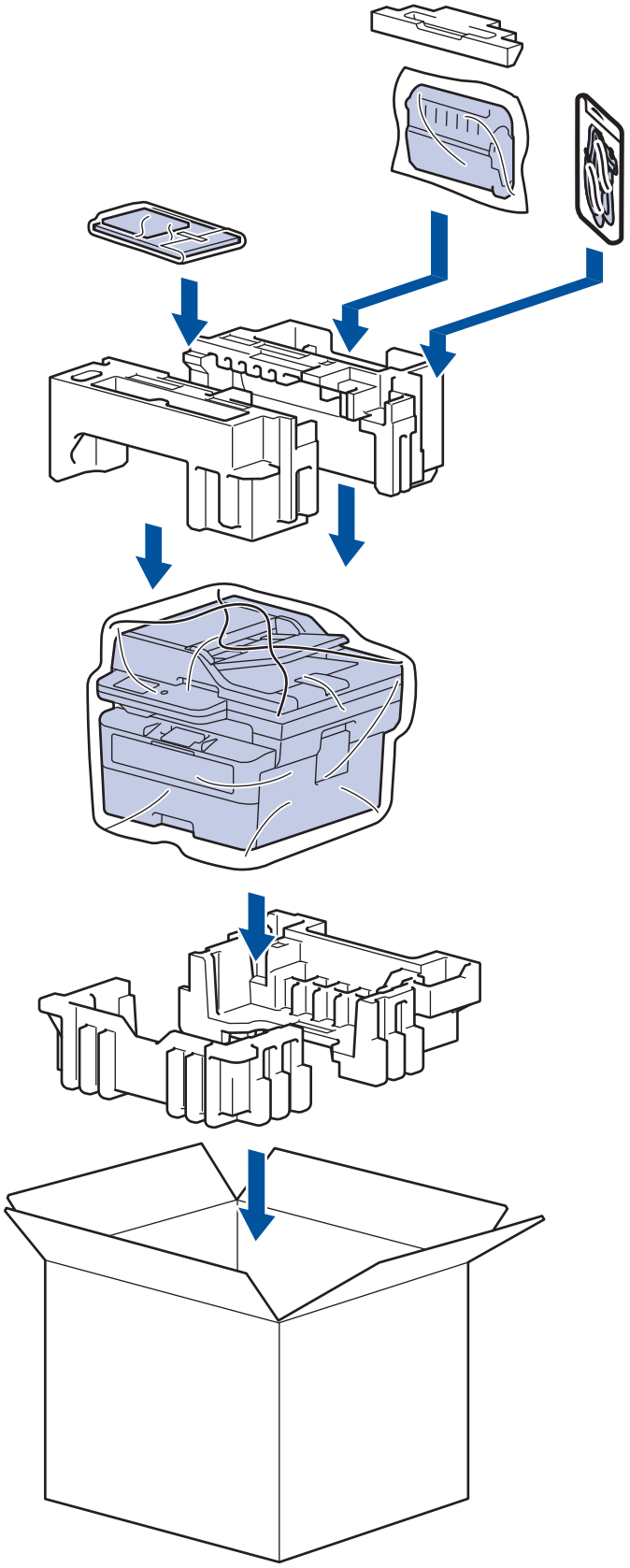
何らかの理由で本製品を輸送する必要がある場合は、輸送中の損傷を避けるために、本製品を元の包装に慎重に再梱包してください。適切な保険をかけて本製品を輸送してください。

1. ⏻を長押しして本製品の電源を切ります。本製品を冷却するために、少なくとも 10 分間オフの状態にしておきます。
2. すべてのケーブルを外し、AC 電源コンセントから電源コードを抜きます。

一部のモデルには取り外し不可能な AC 電源コードが装備されています。コードが取り外し不可能な場合は、コードをゆるく折り畳み、本製品の上に置いて簡易梱包します。

3. 最初に入っていた袋に本製品を入れます。

4. イラストのように、元の梱包材を使用して、本製品、印刷物、AC 電源コード（該当する場合）を元のカートンに梱包します。 実際の梱包材は、図とは異なる場合があります。梱包材はお使いのモデルによって異なります。



5. 箱を閉じて、ガムテープを貼ります。

関連情報

- 日常のお手入れ

製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- 製品のパスワードの確認
- 操作パネルから製品の設定を変更する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

製品のパスワードの確認

パスワードの入力を求められた場合、以下の情報を確認します。

>> お買い上げ時のパスワードの確認
>> パスワードの変更
>> パスワードのリセット

お買い上げ時のパスワードの確認

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。

パスワードの変更

本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

Web Based Management を使用したパスワードの変更
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

パスワードのリセット

パスワードを忘れてしまった場合は、製品をお買い上げ時の設定にリセットします。パスワードもお買い上げ時のパスワードにリセットされます。
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- 製品の設定

関連トピック：

- 製品のファームウェアのアップデート
- 本製品を初期状態に戻す
- Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

操作パネルから製品の設定を変更する

- 停電になったときは（メモリー保存）
- 基本設定
- お好みの設定をショートカットとして登録する
- レポートを印刷する
- 設定と機能一覧

停電になったときは（メモリー保存）

メニュー設定は永久に保存され、停電時も消去されません。一時的な設定（例：コントラストや海外送信モード）は消去されます。

(FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW)
停電中、本製品は日付と時刻、プログラム済みのファクスタイマージョブ（タイマー送信など）を約 60 時間保持します。製品のメモリーに保存された他のファクスジョブは消去されません。

関連情報

- 操作パネルから製品の設定を変更する

基本設定

- 初期値のモードを変更する
- モードタイマーを設定する
- 製品の音量を調整する
- スリープモードに入る時間を設定する
- ディープスリープモードについて
- 自動電源オフモードを設定する
- 日時を設定する
- タイムゾーンを設定する
- 画面のバックライトの明るさを調整する
- 画面のバックライトの点灯時間を変更する
- 発信元を登録する
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- トナー消費量の削減
- 継続モードを設定する
- 継続モードでファクスを受信するには
- 各ファクス番号に外線番号を追加する
- 間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）
- 印刷音を軽減する
- 画面に表示される言語を変更する

初期値のモードを変更する

関連モデル: FAX-L2800DW

本製品が無操作で一定の時間が経過したり、**停止/終了**を押すと、本製品は設定したモードに戻ります。

- MFC モデルの場合、ファクス、スキャンおよびコピーモードが搭載されています。初期値のモードはファクスです。
- DCP モデルの場合、スキャンおよびコピーモードが搭載されています。初期値のモードはコピーです。

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[初期設定ﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]、[ｺﾋﾟｰ]または[ｽｷｬﾝ]を表示し、**OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

関連情報

- 基本設定

モードタイマーを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW

初期設定以外のモードで本製品を使用した後、初期設定に戻るようになっています。モードタイマー設定では、最後の操作が行われてから何分後に初期設定モードに戻るかを決めます。［オフ］を選択した場合、最後に使用したモードから変更されません。

- MFC モデルでは、操作パネルから次の 3 つのモードを選択できます: ファクス、スキャン、コピー。
- DCP モデルでは、スキャンとコピーモードが選べます。初期設定はコピーモードで、モードタイマーは 1 分に設定されています。

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［基本設定］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［ﾓｰﾄﾞﾀｲﾏｰ］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、［5 分］、［2 分］、［1 分］、［30 秒］、［0 秒］または［ｵﾌ］を表示させ、**OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

関連情報

- 基本設定

製品の音量を調整する

関連モデル: DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[音量]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション	詳細
[着信音量]	着信音量を調整します。
[ﾎﾞﾀﾝ確認音量]	ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴る確認音量を調整します。
[ｽﾋﾟｰｶｰ音量]	スピーカーの音量を調整します。
[受話音量]	受話音量を設定します。

5. **OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、[大]、[中]、[小]、または[切]オプションを表示し、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。

オンフック/保留 を押してスピーカー音量を調整することもできます。◀または▶を押します。ボタンを押すごとに、音量が小さく／大きくなります。完了したら、**オンフック/保留** を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. 次のいずれかを行ってください：
   - MFC モデルの場合：

     [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [音量]を押します。
   - DCP モデルの場合：

     [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [ボタン確認音量]を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します（MFC モデル）：

オプション	詳細
[着信音量]	着信音量を調整します。
[ボタン確認音量]	ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴る確認音量を調整します。
[スピーカー音量]	スピーカーの音量を調整します。

3. ▲または▼を押して、[切]、[小]、[中]または[大]を表示させ、使用したいオプションを押します。
4. を押します。

関連情報

- 基本設定

スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。製品がスリープモードに入ると、電源がオフになったように見えます。印刷ジョブまたはファクスを受信すると、起動し印刷を開始します。以下の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。

- 製品がスリープモードに入るのに、どのくらいの時間待機状態になければならないかを選ぶことができます。
- 製品で印刷ジョブを受信するなど、何らかの操作が行われると、タイマーが再度始動します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
5. 本製品がスリープモードに入る前に、待機状態を維持する時間の長さ（最大 50 分）を入力し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [スリープモード]を押します。
2. 本製品がスリープモードに入る前に、待機状態を維持する時間の長さ（最大 50 分）を入力し、[OK]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

ディープスリープモードについて

製品がスリープモードに入り、一定の時間ジョブを受信しないと、自動的にディープスリープモードに入ります。時間の長さは、製品と設定に基づきます。

ディープスリープモードはスリープモードよりも消費電力を節約できます。

対象モデル	ディープスリープモード時の本製品の画面	本製品が起動する条件
DCP-L2600DW/FAX-L2800DW	画面に［ﾃﾞｨｰﾌﾟｽﾘｰﾌﾟ］と表示されます。	製品がジョブを受信した場合。 操作パネルのボタンが押された場合。
DCP-L2660DW/ MFC-L2860DW/MFC-L2880DW	画面のバックライトがオフになり、LED電源ランプが淡く点灯します。	製品がジョブを受信した場合。 タッチパネル画面が押された場合。

関連情報

- 基本設定

自動電源オフモードを設定する

本製品が一定時間（モデルや設定により異なります）ディープスリープモードの状態にある場合、自動的に電源がオフになります。本製品がネットワークや電話回線に接続している場合、またはセキュリティ印刷データがメモリーに保存されている場合（特定のモデルのみ対応）、パワーオフモードには入りません。

印刷を開始するには、操作パネルで⏻を押し、印刷ジョブを送信します。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[自動電源オフ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[8 時間]、[4 時間]、[2 時間]、[1 時間]、または[ｵﾌ]オプションを表示し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [自動電源オフ]を押します。
2. ▲または▼を押して、[オフ]、[1 時間]、[2 時間]、[4 時間]または[8 時間]オプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

日時を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[時計ｾｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[時計ｾｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
5. ダイヤルパッドを使用して西暦の最後の 2 桁を入力し、**OK** を押します。
6. ダイヤルパッドを使用して月を 2 桁で入力し、**OK** を押します。
7. ダイヤルパッドを使用して日を 2 桁で入力し、**OK** を押します。
8. ▲または▼を押して、[12 時間表示]または[24 時間表示]を表示し、**OK** を押します。
9. 以下のいずれかを行ってください：
   - [時計ｾｯﾄ] 設定の形式として [12 時間表示] を選択している場合、ダイヤルパッドを使い時刻（12 時間形式）を入力します。

     OK を押します。

     ▲または▼を押して、[AM]または[PM]を表示し、**OK** を押します。
   - [時計ｾｯﾄ] 設定の形式として [24 時間表示] を選択している場合、ダイヤルパッドを使い時刻（24 時間形式）を入力します。

     OK を押します。

     （例：午後 7:45 の場合、19:45 と入力します。）
10. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [時計セット] > [日付]を押します。
2. 液晶ディスプレーを使用して西暦の最後の 2 桁を入力し、[OK] を押します。
3. 液晶ディスプレーを使用して月を 2 桁で入力し、[OK] を押します。
4. 液晶ディスプレーを使用して日を 2 桁で入力し、[OK] を押します。
5. [時計表示]を押します。
6. [12 時間表示]または[24 時間表示]を押します。
7. [時刻]を押します。
8. 時刻を入力するには、以下のいずれかを行います。
   - [時計表示] 設定の形式として [12 時間表示] を選択している場合、液晶ディスプレーを使い時刻（12 時間形式）を入力します。

     AM PM を押して、[AM] または [PM] を選択します。

     [OK]を押します。
   - [時計表示] 設定の形式として [24 時間表示] を選択している場合、液晶ディスプレーを使い時刻（24 時間形式）を入力します。

     [OK]を押します。

     （例：午後 7:45 の場合、19:45 と入力します。）

9. を押します。

関連情報

- 基本設定

タイムゾーンを設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

製品を使用する地域のタイムゾーンを設定します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[時計ｾｯﾄ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾀｲﾑ ｿﾞｰﾝ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押してタイムゾーンを選択します。**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [時計セット] > [タイム ゾーン]を押します。
2. タイムゾーンを入力します。
3. [OK]を押します。
4. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの明るさを調整する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

画面が見にくい場合は、明るさの設定を変えると見やすくなります。

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［基本設定］>［画面の明るさ］>［画面の明るさ］を押します。
2. ［明るく］、［標準］または［暗く］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面のバックライトの点灯時間を変更する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

画面のバックライトが点灯する長さを設定します。

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［基本設定］>［画面の明るさ］>［照明ダウンタイマー］を押します。
2. ［10 秒］、［20 秒］または［30 秒］を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

発信元を登録する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクスを送信するたびに、相手側の用紙に日付と時刻を印刷するには、製品の発信元登録をします。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. （**ファクス**）を押します。
2. **メニュー**を押します。
3. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[発信元登録]を表示し、**OK** を押します。
5. ダイヤルパッドでファクス番号（最大 20 桁）を入力し、**OK** を押します。
6. ダイヤルパッドで電話番号（最大 20 桁）を入力し、**OK** を押します。
   電話番号とファクス番号が同じ場合でも、同じ番号をもう一度入力します。
7. ダイヤルパッドでお客様の名前（最大 20 字）を入力し、 **OK** を押します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

8. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [発信元登録] > [ファクス]を押します。
2. 液晶ディスプレーでファクス番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。
3. [電話]を押します。
4. 液晶ディスプレーで電話番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。
5. [名前]を押します。
6. 画面で名前（最大 20 文字）を入力し、[OK]を押します。

- あアA1@を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。（使用できる文字は、国によって異なる場合があります。）
- 誤った文字を入力した場合は、◀または▶を押し、カーソルを動かし、 を押します。正しい文字を押します。
- スペースを入力するには、[スペース]を押します。
- 詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

7. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには
- 別のファクス機にファクスを転送する

- 別のファクス機に通信管理レポートを転送する

プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

本製品はプッシュ回線に設定されています。ダイヤル回線をご利用の場合は、ダイヤル種別を設定する必要があります。

この機能は、国によっては利用できない場合があります。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[初期設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[回線種別設定]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[プッシュ回線]、[ダイヤル 10PPS]、[ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS]または[自動設定]を表示し、**OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定] を押します。
2. [プッシュ回線]、[ダイヤル 10PPS]、[ダイヤル 20PPS]または[自動設定]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

トナー消費量の削減

トナー節約機能を使うと、トナーの消費量が節約できます。トナー節約機能がオンになっていると、文書の印字が薄く見えます。

写真や グレースケールイメージでは、トナー節約機能の使用をお勧めしていません。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ﾄﾅｰ節約ﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [トナー節約モード]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

関連トピック：

- 印刷品質の改善

継続モードを設定する

継続モードをオンにすると、操作パネルが「トナーの交換」を警告するメッセージを表示した後も、印刷し続けます。

画面が「トナー停止」と表示すると、本製品は印刷しなくなります。
工場出荷時設定は「オフ」となっています。

- 操作パネルがエラーの発生を表示した場合は、モードを変更することはできません。
- 継続モードで印刷を続行する場合、印字品質を保証できません。
- 継続モードを使用すると、印字濃度が薄く見えることがあります。
- 新品のトナーカートリッジに交換すると、継続モードはお買い上げ時の設定（オフ）に戻ります。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾄﾅｰ継続使用]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [トナー継続使用]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

継続モードでファクスを受信するには

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

画面に「トナーの交換」と表示される際に、ユーザーが継続モードを選択すると、本製品は受信したファクスをメモリーに保存することができます。

受信したファクスを継続モードで印刷すると、ファクスの印字品質が許容範囲にあるかを画面で確認します。

品質が良くない場合、「いいえ」を選択します。本製品はメモリーでファクスを保管するため、新品のトナーカートリッジと交換した後にこれらを再印刷することができます。品質が良い場合、「はい」を選択します。画面で印刷済みファクスをメモリーから削除するかを確認します。

削除しないことを選択すると、新品のトナーカートリッジと交換した後もう一度同じことが質問されます。

- (FAX-L2800DW)
  本製品はファクスを 400 ページまで保管できます。
- (MFC-L2860DW/MFC-L2880DW)
  本製品はファクスを 500 ページまで保管できます。
- 本製品は「継続設定」を「オフ」に変更しても、継続モード時に保管したファクスを維持します。
- 画面が「トナー停止」と表示し、新品のトナーカートリッジと交換すると、保管しているファクスを印刷するかどうかを確認します。保管しているファクスを印刷する場合は「印刷」を選択します。

継続モード中にトナーが空になった場合

画面が「トナー停止」と表示すると、本製品は印刷しなくなります。メモリーが一杯になり、引き続きファクスを受信したい場合、新品のトナーカートリッジと交換する必要があります。

関連情報

- 基本設定

各ファクス番号に外線番号を追加する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

接頭番号設定は、ダイヤルする各ファクス番号の前に、あらかじめ決められた番号を自動的にダイヤルする機能です。例：外線発信に 9 をダイヤルしなければならない電話システムの場合、この設定を使って、送信する各ファクスに自動的に 9 をダイヤルします。

- 0 から 9、#、*の番号と記号を使います。（他の番号、記号、!は使えません。）
- 電話システムでタイムブレークリコール（フックフラッシュ）が必要な場合は、画面で!を押します。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［初期設定］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［外線番号］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼押して、［ｵﾝ］または［ｵﾌ］を表示し、**OK** を押します。

オプション	詳細
［ｵﾝ］	接頭番号設定を有効にするには、［ｵﾝ］を選択します。 ［ｵﾝ］を選択したら、次の手順に移動して接頭番号を設定します。
［ｵﾌ］	接頭番号設定を無効にするには、［ｵﾌ］を選択します。 ［ｵﾌ］を選択したら、**停止/終了**を押して終了します。

5. 登録しているナンバープレフィックスを変更するには、次の操作を行います。
   a. ▲を押して番号を編集します。
   b. **クリア**を押して既存番号の各桁を削除し、ダイヤルパッドを使用して新しい番号（最大 5 桁）を入力し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［外線番号］を押します。
2. ［オン］または［オフ］を押します。

オプション	詳細
［オン］	接頭番号設定を有効にするには、［オン］を選択します。 ［オン］を選択したら、次の手順に移動して接頭番号を設定します。
［オフ］	接頭番号設定を無効にするには、［オフ］を選択します。 ［オフ］を選択したら、 を押して終了します。

3. ［外線番号］を押します。
4. 画面で接頭番号（最大 5 桁）を入力し、［OK］を押します。

接頭番号を変更するには、◀または▶を押して削除する数字にカーソルを置き、 を押します。次に希望の数字を押します。
希望の接頭番号になるまでこの操作を続け、[OK]を押します。

5. を押します。

関連情報

- 基本設定

間違った番号への発信を防ぐ（ダイヤル制限機能）

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

この機能を使用すると、ファクスの誤送信や電話の番号違いを防ぐことができます。ダイヤルパッド、アドレス帳、およびショートカットを使用している場合に、ダイヤルを制限するように本製品を設定できます。

>> FAX-L2800DW
>> MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[ﾌｧｸｽ]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ﾀﾞｲﾔﾙ制限機能]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、希望のオプションを表示させてから、 **OK** を押します。
   - [直接入力]
   - [ｼｮｰﾄｶｯﾄ]
   - [短縮ﾀﾞｲﾔﾙ]
5. ▲または▼を押して以下のオプションのいずれかを選択し、**OK** を押します。

オプション	詳細
[2 度入力]	本製品に番号の再入力画面が表示されます。同じ番号を正しく再入力すると、ダイヤルが開始されます。再入力の番号に誤りがあると、液晶ディスプレーにエラーメッセージが表示されます。
[ｵﾝ]	設定されたダイヤル操作のすべてのファクス送信と外線発信を禁止します。
[ｵﾌ]	ダイヤル方式を制限しません。

   - 番号を入力する前に、外付け電話を使用した場合、または**オンフック/保留** を押した場合、[2 度入力]設定は使用できません。再度番号を入力するよう促すメッセージは表示されません。
   - [ｵﾝ]または[2 度入力]を選択した場合、同報送信機能は使用できません。
6. **停止/終了**を押します。

MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ダイヤル制限機能]を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。
   - [直接入力]
   - [電話帳]

ダイヤル中に電話帳の番号を結合した場合は、番号はダイヤルボタンの入力として認識され、制限されません。

   - [ショートカット]
3. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[2 度入力]	本製品に番号の再入力画面が表示されます。同じ番号を正しく再入力すると、ダイヤルが開始されます。再入力の番号に誤りがあると、液晶ディスプレーにエラーメッセージが表示されます。
[オン]	設定されたダイヤル操作のすべてのファクス送信と外線発信を禁止します。
[オフ]	ダイヤル方式を制限しません。

- 番号を入力する前に、外付け電話を使用した場合、または[ｵﾝﾌｯｸ]を押した場合、[2 度入力]設定は使用できません。再度番号を入力するよう促すメッセージは表示されません。
- [オン]または[2 度入力]を選択した場合、同報送信機能は使用できません。

4. を押します。

関連情報

- 基本設定

印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。お買い上げ時の設定はオフです。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[静音ﾓｰﾄﾞ]を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を表示し、**OK** を押します。
6. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. [メニュー] > [全ての メニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [静音モード]を押します。
2. [オン]または[オフ]を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

画面に表示される言語を変更する

必要な場合は画面の言語を変更します。

この機能は、国によっては利用できない場合があります。

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して、［初期設定］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、［表示言語設定］を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押してお使いの言語を表示し、 **OK** を押します。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全てのメニュー］>［初期設定］>［表示言語設定］を押します。
2. 設定したい言語を押します。
3. を押します。

関連情報

- 基本設定

お好みの設定をショートカットとして登録する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- ショートカットを登録する
- ショートカットを変更、または削除する

ショートカットを登録する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

ファクス、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールのメニューでよく使う設定条件をショートカットとして登録することができます。手動で毎回入力しなくても、ショートカットを呼び出して使うことができます。

モデルにより、ショートカット登録できるメニューは異なります。

ここではコピーのショートカットを登録する方法を説明しています。ファクスやスキャン、クラウド接続、お役立ちツールのショートカットの登録も同じように行えます。

1. ＋ ショートカット（[ショートカット]）を押します。
2. まだショートカットを追加していない場所のボタンを押します。
3. ▲または▼を押して、[コピー]を表示し、[コピー]を押します。
4. 使用するコピープリセットを押します。
5. （[設定変更]）を押します。
6. ▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
7. ▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、設定したいオプションを押します。
   設定したい設定とオプションをすべて選択するまで、この 2 つの手順を繰り返し、[OK]を押します。
8. 設定の変更が終了したら、[OK]を押します。
9. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。
10. 画面でショートカットの名前を入力し、[OK]を押します。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

ショートカットを変更、または削除する

関連モデル: DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

クラウド接続やお役立ちツールのショートカットは変更できません。変更する場合は、一度削除し、新たにショートカットを登録してください。

1. ＋ ｼｮｰﾄｶｯﾄ（[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]）を押します。
2. [1]から[3]のいずれかのタブを押して、編集したいショートカットを表示させます。
3. 変更したいショートカットを押します。
   選択したショートカットの設定が表示されます。

ショートカットを削除または名前を編集するには、オプションが表示されるまでショートカットを押し続け、画面に表示されるメニューに従います。

4. （[設定変更]）を押します。
5. 必要な場合は、ショートカットの設定を編集します。
6. [OK]を押します。
7. 完了したら、[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]を押します。
8. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。
9. 次のいずれかを行ってください：
   - ショートカットを上書きするには、[はい （上書き）]を押します。
   - ショートカットを上書きしたくない場合は、[いいえ （新規作成）]を押して新しいショートカット名を入力します。
     ＋を押して新しいショートカットを追加します。
     画面で新しい名前を入力し、[OK]を押します。

名前を編集するには、×を長押しして既存の名前を削除します。

関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する

レポートを印刷する

- レポート種類
- レポートを印刷する

レポート種類

以下のレポートを印刷できます：

送信結果レポート （ファクシミリ機能付きモデルの場合）

送信結果レポートでは、最後に送ったファクスの送信結果が印刷されます。

電話帳リスト （ファクシミリ機能付きモデルの場合）

電話帳リストでは、電話帳メモリーに保存されている名前と番号の一覧が印刷されます。

通信管理レポート （ファクシミリ機能付きモデルの場合）

最近送受信した、200 件分の通信結果を印刷します。（TX は送信、RX は受信を指します。）

設定内容リスト

本製品の現在の設定内容を印刷します。

プリンター設定

プリンターの設定レポートでは、現在のプリンター設定の一覧が印刷されます。

ネットワーク設定リスト （ネットワーク機能を搭載した機種）

ネットワークの設定状況を印刷します。

ファイルリスト印刷 （特定のモデルのみ対応）

ファイルリストの印刷機能は、本製品に保管されたフォントや印刷マクロ/ストリーム設定の一覧を印刷します。

ドラム汚れ印刷

ドラム汚れ印刷は、ドラムユニットを清掃するのに役立つドラムチェックシートを印刷します。

無線 LAN レポート （無線ネットワーク機能を搭載した機種）

無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。

着信履歴リスト （ファクシミリ機能付きモデルの場合）

着信履歴リストでは、最新 30 件の受信ファクスおよび電話の着信履歴の一覧が印刷されます。

関連情報

- レポートを印刷する

レポートを印刷する

>> DCP-L2600DW/FAX-L2800DW
>> DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

DCP-L2600DW/FAX-L2800DW

1. **メニュー**を押します。
2. ▲または▼を押して［ﾚﾎﾟｰﾄ印刷］を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して印刷したいレポートを表示させ、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
   - ［送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ］を選択する場合、次のいずれかの作業を行います。
     - 送信結果レポートを表示するには、▲または▼を押して［表示］を表示し、**OK** を押します。
     - 送信結果レポートを印刷するには、▲または▼を押して［印刷］を表示し、**OK** を押します。
       スタートを押します。
   - 他のレポートを選択する場合は、**スタート**を押します。
5. **停止/終了**を押します。

DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

1. ［メニュー］>［全ての メニュー］>［レポート印刷］を押します。
2. ▲または▼を押して印刷したいレポートを表示させ、それを押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - ［送信結果レポート］を選択する場合、次のいずれかの作業を行います。
     - 送信結果レポートを見るには、［表示］を押します。
     - 送信結果レポートを印刷するには、［印刷］を押します。
   - その他のレポートを選択する場合、次の手順に進みます。
4. ［はい］を押します。
5. を押します。

関連情報

- レポートを印刷する

設定と機能一覧

この設定一覧では、本製品のメニュー設定とオプションについて説明しています。

- 設定一覧（2 行液晶ディスプレー MFC 機種）
- 設定一覧（2 行液晶ディスプレー DCP 機種）
- 設定一覧（2.7"タッチパネル MFC モデルおよび 3.5"タッチパネル MFC モデル）
- 設定一覧（2.7 型タッチパネル DCP 機種）
- 機能一覧（2.7"タッチパネル MFC モデルおよび 3.5"タッチパネル MFC モデル）
- 機能一覧（2.7 型タッチパネル DCP 機種）

設定一覧（2 行液晶ディスプレー MFC 機種）

関連モデル: FAX-L2800DW

>> [基本設定]
>> [ﾌｧｸｽ]
>> [ｺﾋﾟｰ]
>> [ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]
>> [ﾈｯﾄﾜｰｸ]（ネットワーク機能搭載機種の場合）
>> [ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]
>> [製品情報]
>> [初期設定]

[基本設定]

[基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[初期設定ﾓｰﾄﾞ]	-	-	初期設定モードを選択します。
[ﾓｰﾄﾞﾀｲﾏｰ]	-	-	本製品が初期設定モードに戻るまでの時間を設定します。
[ﾄﾚｲ設定]	[用紙ﾀｲﾌﾟ]	-	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
	[用紙ｻｲｽﾞ]	-	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[印字位置]	[ｘｵﾌｾｯﾄ]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で設定できます。
		[ｙｵﾌｾｯﾄ]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で設定できます。
	[トレイ確認]	-	製品にセットした用紙のサイズと種類が、製品の用紙サイズ設定および用紙タイプ設定とあっているか確認するよう促すメッセージを表示するかどうかを選択します。
[音量]	[着信音量]	-	着信音量を調整します。
	[ﾎﾞﾀﾝ確認音量]	-	ボタン確認音量を調整します。
	[ｽﾋﾟｰｶｰ音量]	-	スピーカー音量を調整します。
	[受話音量]	-	受話音量を設定します。
[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]	[ｴｺﾓｰﾄﾞ]	-	次の製品設定を同時に有効にします。 • [両面印刷：長辺とじ] [1]（特定のモデルのみ対応） • [ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ：0 分] • [静音ﾓｰﾄﾞ]：[ｵﾝ] [1] • [ﾄﾅｰ節約ﾓｰﾄﾞ]：[ｵﾝ] [1]
	[ﾄﾅｰ節約ﾓｰﾄﾞ]	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ]	-	スリープモードを開始するまでの分数を設定します。
	[静音ﾓｰﾄﾞ]	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	製品が自動電源オフに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。
[画面のｺﾝﾄﾗｽﾄ]	-	-	液晶ディスプレーのコントラストを調整します。

1 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ｾｷｭﾘﾃｨ設定ﾛｯｸ]	-	-	権限のないユーザーが製品の設定を変更するのを制限します。
[ﾄﾅｰ継続使用]	-	-	画面に［ﾄﾅｰ交換］と表示された後に印刷を続けるように設定します。

[ﾌｧｸｽ]

[ﾌｧｸｽ]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[受信ﾓｰﾄﾞ]	-	最適な受信モードを選択します。
	[ﾌｧｸｽ無鳴動受信]	-	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。
	[呼出ﾍﾞﾙ回数]	-	ファクスまたは F/T=自動切換えモードのときに、本製品が応答するまでに鳴る呼び出し音の回数を設定します。
	[再呼出ﾍﾞﾙ回数]	-	F/T=自動切換えモードでの、再呼出ベル回数を設定します。
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。
	[ﾘﾓｰﾄ受信]	-	内線電話または外付け電話で着信に応答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。
	[自動縮小]	-	受信ファクスのサイズを縮小します。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
	[両面印刷]	-	受信ファクスを用紙の両面に印刷します。
[送信設定]	[ﾌｧｸｽ画質]	-	送信ファクスの標準設定の解像度を設定します。
	[原稿濃度]	-	送信するファクスの明るさまたは暗さを変更します。
	[原稿台ｽｷｬﾝｻｲｽﾞ]	-	原稿台ガラスの読み取り範囲を、原稿のサイズに合わせます。
	[ﾘｱﾙﾀｲﾑ送信]	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[海外送信ﾓｰﾄﾞ]	-	海外へのファクス送信に問題が発生する場合は、この設定をオンにします。
	[送付書ｺﾒﾝﾄ]	[5.]	ファクスの表紙のコメントを設定します。
		[6.]	
	[自動再ﾀﾞｲﾔﾙ]	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、最後に送信したファクス番号を 5 分後にかけ直すように製品を設定します。
	[送信先表示]	-	ファクスダイヤル中に、製品の画面に宛先の情報を表示するように設定します。
[拒否リスト]	[登録]	-	ファクス受信禁止リストに、特定のファクス番号を登録します。
	[消去]	-	禁止リストから番号を削除します。
	[印刷]	-	禁止リストに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
[ﾚﾎﾟｰﾄ設定]	[送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理間隔]	-	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。 レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。 7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ﾒﾓﾘ受信]	[転送/ﾒﾓﾘ受信]	-	ファクスメッセージを転送し、（製品から離れている間も取り出すことができるように）受信ファクスをメモリーに保存するように設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ﾒﾓﾘ受信]	[PCﾌｧｸｽ受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。
	[暗証番号]	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
	[ﾌｧｸｽ出力]	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。
[ﾀﾞｲﾔﾙ制限機能]	[直接入力]	-	ダイヤルパッドを使用するときに、ダイヤルを制限します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]	-	ショートカット番号のダイヤルを制限するように設定します。
	[短縮ﾀﾞｲﾔﾙ]	-	短縮ダイヤル番号のダイヤルを制限するように設定します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ]	-	-	電話をかけてきた相手の番号（または名前）の表示を有効または無効にします。 この機能の使用前に、発信者番号通知設定がオンに設定されていることを確認します。

[ｺﾋﾟｰ]

[ｺﾋﾟｰ]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｺﾋﾟｰ濃度]	-	濃度を調整します。
[ｺﾋﾟｰ画質]	-	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。
[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	-	コピーのコントラストを調整します。
[IDｺﾋﾟｰ]	[ｺﾋﾟｰ濃度]	濃度を調整します。
	[ｺﾋﾟｰ画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。
	[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	コピーのコントラストを調整します。
	[2in1/1in1]	2in1 ID をコピーします。

[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]

[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[解像度]	-	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷] （自動両面印刷モデル用）	[両面印刷]	両面印刷のオフ／オンを設定し、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式]	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。
[エラー解除]	-	用紙サイズエラーを解除し、トレイ内の用紙を使いたい場合はこの設定を選択します。
[印字位置]	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ ﾘｾｯﾄ]	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ]（ネットワーク機能搭載機種の場合）

[ﾈｯﾄﾜｰｸ]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN] （有線 LAN モデル用）	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	-	IP アドレスを入力します。
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ﾉｰﾄﾞ名]	-	ノード名を入力します。 （32 文字まで）
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[ｲｰｻﾈｯﾄ]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。
	[MACｱﾄﾞﾚｽ]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す] （無線モデル用）	-	-	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[有線 LAN 有効]	-	-	有線 LAN インターフェイスを手動でオンまたはオフにします。
[無線 LAN(Wi-Fi)] （無線モデル用）	[ﾈｯﾄﾜｰｸ選択(SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	-	IP アドレスを入力します。
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ﾉｰﾄﾞ名]	-	ノード名を入力します。 （32 文字まで）
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)] (無線モデル用)	[TCP/IP]	[DNS ｻｰﾊﾞｰ]	[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS(ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS(PINｺｰﾄﾞ)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[通信ﾁｬﾝﾈﾙ]	-	現在の無線ネットワークのチャンネルを確認します。
		[通信速度]	-	現在の無線ネットワーク速度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信ﾓｰﾄﾞ]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MACｱﾄﾞﾚｽ]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す] (有線 LAN モデル用)	-	-	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効]	-	-	WLAN を手動でオンまたはオフにします。
[Wi-Fi Direct] (無線モデル用)	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｵｰﾅｰ]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PINｺｰﾄﾞ接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[ﾃﾞﾊﾞｲｽ情報]	[ﾃﾞﾊﾞｲｽ名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。
		[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
		[通信ﾁｬﾝﾈﾙ]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークチャンネルを確認します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Wi-Fi Direct] (無線モデル用)	[接続情報]	[通信速度]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワーク速度を確認します。
	[ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[Eﾒｰﾙ/IFAX]	[ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ]	-	-	本製品のメールアドレスを設定します。 (255 文字まで)
	[ｻｰﾊﾞｰ設定]	[SMTP]	[ｻｰﾊﾞｰ]	SMTP サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ﾎﾟｰﾄ]	SMTP ポート番号を入力します。
			[SMTP 認証]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
		[POP3/IMAP4]	[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]	サーバーから E メールを受信するためのプロトコルを選択します。
			[ｻｰﾊﾞｰ]	サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ﾎﾟｰﾄ]	ポート番号を入力します。
			[ｱｶｳﾝﾄ名]	アカウント名を入力します。 (255 文字まで)
			[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]	サーバーにログインするパスワードを入力します。 (128 文字まで)
			[ﾌｫﾙﾀﾞｰ選択]	IMAP4 プロトコルを使用する場合にメールボックス内で指定するフォルダを選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
			[認証方法]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。
	[ﾒｰﾙ 受信設定]	[自動受信]	[自動受信]	自動的にサーバーの新しいメッセージを確認します。
			[ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ間隔]	サーバーの新しいメッセージを確認する間隔を設定します。
		[ﾍｯﾀﾞｰ印刷]	-	印刷する E メールヘッダーの内容を選択します。
		[Eﾗｰﾒｰﾙ削除]	-	POP3 サーバーが自動的にエラーメールを消去します。お客様が読み終わった後に、IMAP4 サーバーが自動的にエラーメールを削除します。
		[受信確認]	-	通知メッセージを受信します。
	[ﾒｰﾙ 送信設定]	[ﾒｰﾙ ﾀｲﾄﾙ]	-	件名を確認します。
		[ｻｲｽﾞ制限]	[ｻｲｽﾞ制限]	E メール文書のサイズを制限します。
			[最大サイズ (MB)]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Eﾒｰﾙ/IFAX]	[ﾒｰﾙ 送信設定]	[受信確認要求]	-	通知メッセージを送信します。
	[ﾘﾚｰ 設定]	[ﾘﾚｰ 許可]	-	別のファクス機にリレー配信を行います。
		[許可 ドメイン]	[許可 ﾄﾞﾒｲﾝ] [##]	ドメイン名を登録します。
		[ﾘﾚｰ ﾚﾎﾟｰﾄ]	-	リレー配信レポートを印刷します。
	[ﾚﾎﾟｰﾄ設定]	[Eﾒｰﾙ]	[送信結果レポート]	送信結果レポートの初期設定を選択します。
		[IFAX]	[送信結果レポート]	
	[手動受信]	-	-	POP3 または IMAP4 サーバーの新しいメッセージが届いているかを手動で確認します。
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「Global Detect」の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]

[ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[送信結果レポート]	[表示]	最後の送信についての送信結果レポートを表示します。
	[印刷]	最後の送信についての送信結果レポートを印刷します。
[電話帳ﾘｽﾄ]	[ﾒﾓﾘ番号順]	電話帳に保存されている名前と番号の一覧を番号順に印刷します。
	[名前順]	電話帳に保存されている名前と番号の一覧をアルファベット順に印刷します。
[通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ]	-	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 (TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。)
[設定内容ﾘｽﾄ]	-	設定の一覧を印刷します。
[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ設定ﾘｽﾄ]	-	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｽﾄ]	-	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ﾄﾞﾗﾑ汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LANﾚﾎﾟｰﾄ] (無線モデル用)	-	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴ﾘｽﾄ]	-	着信履歴の一覧を印刷します。

[製品情報]

[製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｼﾘｱﾙ No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	[Main ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	
[印刷枚数表示]	[合計]	製品がその寿命中に印刷した合計ページ数を確認します。
	[ﾌｧｸｽ]	
	[ｺﾋﾟｰ]	
	[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]	
	[その他]	
[消耗品寿命]	[ﾄﾅｰ]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[ﾄﾞﾗﾑ 寿命]	使用可能なドラムの寿命の割合を確認することができます。

[初期設定]

[初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計ｾｯﾄ]	[時計ｾｯﾄ]	画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。
	[ﾀｲﾑ ｿﾞｰﾝ]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録]	-	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
[回線種別設定]	-	回線種別を選択します。
[ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ設定]	-	ダイヤルトーン検出ポーズを短くします。
[外線番号]	-	ダイヤル時に毎回ファクス番号の先頭に付ける番号を設定します。
[特別回線対応]	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信ﾓｰﾄﾞ]	-	通信エラーを調整します。 VoIP サービスプロバイダーは様々な規格を使ってファクスのサポートを提供します。ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心（VoIP）を選択します。
[設定ﾘｾｯﾄ]	[機能設定ﾘｾｯﾄ]	変更したすべての設定を元に戻します。
	[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ] （ネットワーク機能搭載機種の場合）	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[電話帳 & ﾌｧｸｽ]	登録されているすべての電話番号とファクス設定を消去します。
	[全設定]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態ﾘｾｯﾄ]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。お使いの製品を廃棄する場合、この操作を行ってください。
[表示言語設定] （特定のモデルのみ対応）	-	画面の言語を変更します。

関連情報

- 設定と機能一覧

設定一覧（2 行液晶ディスプレー DCP 機種）

関連モデル: DCP-L2600DW

>> [基本設定]
>> [ｺﾋﾟｰ]
>> [ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]
>> [ﾈｯﾄﾜｰｸ]（ネットワーク機能搭載機種の場合）
>> [ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]
>> [製品情報]
>> [初期設定]

[基本設定]

[基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ﾄﾚｲ設定]	[用紙ﾀｲﾌﾟ]	-	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
	[用紙ｻｲｽﾞ]	-	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[印字位置]	[xｵﾌｾｯﾄ]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で設定できます。
		[yｵﾌｾｯﾄ]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で設定できます。
	[トレイ確認]	-	製品にセットした用紙のサイズと種類が、製品の用紙サイズ設定および用紙タイプ設定とあっているか確認するよう促すメッセージを表示するかどうかを選択します。
[省ｴﾈﾓｰﾄﾞ]	[ｴｺﾓｰﾄﾞ]	-	次の製品設定を同時に有効にします。 • [両面印刷：長辺とじ] [1]（特定のモデルのみ対応） • [ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ：0 分] • [静音ﾓｰﾄﾞ]：[ｵﾝ] [1] • [ﾄﾅｰ節約ﾓｰﾄﾞ]：[ｵﾝ] [1]
	[ﾄﾅｰ節約ﾓｰﾄﾞ]	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ]	-	スリープモードを開始するまでの分数を設定します。
	[静音ﾓｰﾄﾞ]	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	製品が自動電源オフに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。
[画面のｺﾝﾄﾗｽﾄ]	-	-	液晶ディスプレーのコントラストを調整します。
[ﾄﾅｰ継続使用]	-	-	画面に[ﾄﾅｰ交換]と表示された後に印刷を続けるように設定します。

1 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[ｺﾋﾟｰ]

[ｺﾋﾟｰ]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｺﾋﾟｰ濃度]	-	濃度を調整します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｺﾋﾟｰ画質]	-	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。
[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	-	コピーのコントラストを調整します。
[IDｺﾋﾟｰ]	[ｺﾋﾟｰ濃度]	濃度を調整します。
	[ｺﾋﾟｰ画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。
	[ｺﾝﾄﾗｽﾄ]	コピーのコントラストを調整します。
	[2in1/1in1]	2in1 ID をコピーします。

[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]

[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[解像度]	-	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷] （自動両面印刷モデル用）	[両面印刷]	両面印刷のオフ／オンを設定し、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式]	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。
[エラー解除]	-	用紙サイズエラーを解除し、トレイ内の用紙を使いたい場合はこの設定を選択します。
[印字位置]	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ ﾘｾｯﾄ]	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ]（ネットワーク機能搭載機種の場合）

[ﾈｯﾄﾜｰｸ]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)] （無線モデル用）	[ﾈｯﾄﾜｰｸ選択(SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	-	IP アドレスを入力します。
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ﾉｰﾄﾞ名]	-	ノード名を入力します。 （32 文字まで）
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS ｻｰﾊﾞｰ]	[ﾌﾟﾗｲﾏﾘ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[ｾｶﾝﾀﾞﾘ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)] (無線モデル用)	[TCP/IP]	[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS(ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS(PINｺｰﾄﾞ)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[通信ﾁｬﾝﾈﾙ]	-	現在の無線ネットワークのチャンネルを確認します。
		[通信速度]	-	現在の無線ネットワーク速度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信ﾓｰﾄﾞ]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MACｱﾄﾞﾚｽ]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[無線 LAN 有効]	-	-	WLAN を手動でオンまたはオフにします。
[Wi-Fi Direct] (無線モデル用)	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｵｰﾅｰ]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PINｺｰﾄﾞ接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[ﾃﾞﾊﾞｲｽ情報]	[ﾃﾞﾊﾞｲｽ名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。
		[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
		[通信ﾁｬﾝﾈﾙ]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークチャンネルを確認します。
		[通信速度]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワーク速度を確認します。
	[ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「Global Detect」の有効または無効を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Global Detect]	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]

[ﾚﾎﾟｰﾄ印刷]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定内容ﾘｽﾄ]	-	設定の一覧を印刷します。
[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ設定ﾘｽﾄ]	-	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｽﾄ] (ネットワーク機能搭載機種の場合)	-	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ﾄﾞﾗﾑ汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LANﾚﾎﾟｰﾄ] (無線ネットワーク機能搭載機種の場合)	-	無線ネットワーク接続結果を印刷します。

[製品情報]

[製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ｼﾘｱﾙ No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	[Main ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ]	
[印刷枚数表示]	[合計]	製品がその寿命中に印刷した合計ページ数を確認します。
	[ｺﾋﾟｰ]	
	[ﾌﾟﾘﾝﾀｰ]	
	[その他]	
[消耗品寿命]	[ﾄﾅｰ]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[ﾄﾞﾗﾑ 寿命]	使用可能なドラムの寿命の割合を確認することができます。

[初期設定]

[初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定ﾘｾｯﾄ]	[機能設定ﾘｾｯﾄ]	変更したすべての設定を元に戻します。
	[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定ﾘｾｯﾄ] (ネットワーク機能搭載機種の場合)	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[全設定]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態ﾘｾｯﾄ]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。お使いの製品を廃棄する場合、この操作を行ってください。
[表示言語設定]	-	画面の言語を変更します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
(特定のモデルのみ対応)		

関連情報

- 設定と機能一覧

設定一覧（2.7"タッチパネル MFC モデルおよび 3.5"タッチパネル MFC モデル）

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> [メニュー]
>> [基本設定]
>> [ショートカット設定]
>> [ファクス]
>> [プリンター]
>> [ネットワーク]
>> [レポート印刷]
>> [製品情報]
>> [初期設定]

[メニュー]

[メニュー]

設定項目 1	設定項目 2	説明
（[時計セット]）	-	日付と時刻設定メニューにアクセスします。
[トナー]	[トナー残量]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ純正情報]	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。
[ネットワーク]	[有線 LAN]	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	[無線 LAN(Wi-Fi)] (無線モデル用)	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。
[みるだけ受信]	-	ファクスを受信したときに印刷するか、画面で確認するかを設定します。
[トレイ設定]	-	トレイ設定メニューにアクセスします。
[エコモード]	-	エコモード設定メニューにアクセスします。
[全てのメニュー]	-	詳細設定を行います。

[基本設定]

[全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	-	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
	[用紙サイズ]	-	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[印字位置]	[X オフセット]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で設定できます。
		[Y オフセット]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で設定できます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[用紙トレイ設定]	**[トレイ確認]**	-	製品にセットした用紙のサイズと種類が、製品の用紙サイズ設定および用紙タイプ設定とあっているか確認するよう促すメッセージを表示するかどうかを選択します。
[音量]	**[着信音量]**	-	着信音量を調整します。
	[ボタン確認音量]	-	ボタン確認音量を調整します。
	[スピーカー音量]	-	スピーカー音量を調整します。
[画面の明るさ]	**[画面の明るさ]**	-	画面のバックライトの明るさを調整します。
	[照明ダウンタイマー]	-	ホーム画面に戻った後に画面のバックライトが点灯する時間の長さを設定します。
[画面設定]	**[待機画面]**	-	メインホーム画面の設定を行います。
	[スキャン画面]	-	スキャン画面の初期値を設定します。
	[情報表示]	**[IP アドレス]**	製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかを選択します。
[省エネモード]	**[エコモード]**	-	次の製品設定を同時に有効にします。 • [両面印刷:長辺とじ] [1]（特定のモデルのみ対応） • [スリープモード:0 分] • [照明ダウンタイマー:10 秒] • [静音モード]:[オン] [1] • [トナー節約モード]:[オン] [1]
	[トナー節約モード]	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	スリープモードを開始するまでの分数を設定します。
	[静音モード]	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	製品がパワーオフモードに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。パワーオフモードに入らないようにするには、[オフ]を選択します。
[セキュリティ設定ロック]	-	-	権限のないユーザーが製品の設定を変更するのを制限します。
[トナー継続使用]	-	-	画面に[トナー交換]と表示された後に印刷を続けるように設定します。

1 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
（ショートカットボタンを選択します。）	**[名前の変更]**	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。

[ファクス]

[全てのメニュー] > [ファクス]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[ファクス無鳴動受信]	-	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音が鳴らさないようにします。
	[呼出ベル回数]	-	ファクスまたは F/T=自動切換えモードのときに、本製品が応答するまでに鳴る呼び出し音の回数を設定します。
	[受信モード]	-	最適な受信モードを選択します。
	[電話機の接続]	[ガイドに沿って設定]	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。
		[初期値に戻す]	
	[再呼出ベル回数]	-	F/T=自動切換えモードでの、再呼出ベル回数を設定します。
	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。
	[リモート受信]	[リモート受信]	内線電話または外付け電話で着信に応答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。
		[起動番号]	
	[自動縮小]	-	受信ファクスのサイズを縮小します。
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する／しないを設定できます。
	[メモリ受信]	[オフ]	-
		[ファクス転送]	ファクスメッセージを転送したり、(製品から離れている間も取り出すことができるように）受信ファクスをメモリーに保存したりするように設定します。 ファクス転送またはメモリ保持のみを選択している場合は、本製品で印刷するセーフティー機能をオンにできます。
		[メモリ保持のみ]	
		[ファクスクラウド転送]	オンラインサービスに受信ファクスを転送します。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
	[両面印刷]	-	受信ファクスを用紙の両面に印刷します。
[送信設定]	[送付書コメント]	[5.]	ファクスの表紙のコメントを設定します。
		[6.]	
	[自動再ダイヤル]	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、最後に送信したファクス番号を 5 分後にかけ直すように製品を設定します。
	[送信先表示]	-	ファクスダイヤル中に、製品の画面に宛先の情報を表示するように設定します。
[電話回線診断]	-	-	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。
[着信制限]	[制限方法]	-	受信ファクスの制限方法を選択します。
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[レポート設定]	[通信管理レポート]	[通信管理レポート]	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。
		[印刷時刻指定]	レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。
		[曜日指定]	7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	ダイヤルパッドを使用するときに、ダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	電話帳を使用するときに、ダイヤルを制限します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄ]	-	ショートカットを使用するときに、ダイヤルを制限します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。

[プリンター]

[全てのメニュー] > [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを設定します。
[解像度]	-	-	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[印刷設定]	-	-	印刷設定をテキストまたはグラフィックに設定します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
		[BR-Script 3]	
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	両面印刷をするかどうかを設定します。また、とじ方向を長辺または短辺から選びます。
	[片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路]オプションを選択して印刷時間を短縮します。
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーを解除し、トレイ内の用紙を使いたい場合はこの設定を選択します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[印字位置]	[X オフセット]	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
	[Y オフセット]	-	
[ｵｰﾄﾌｫｰﾑﾌｨｰﾄﾞ]	-	-	本製品に残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[HP LaserJet]	[フォント No.]	[フォント No.]	フォント番号を設定します。
		[ダウンロードフォント]	ソフトフォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
	[トレイ コマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内の文字と一緒に、コメント（マークアップ）またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせた PDF 印刷]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す]	-	-	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[有線 LAN 有効]	-	-	有線 LAN インターフェイスを手動でオンまたはオフにします。
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[ネットワーク選択(SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信モード]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す]	-	-	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効]	-	-	無線ネットワーク接続をオンにする。
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。
		[IP アドレス]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[E メール/IFAX] (特定のモデルのみ対応)	[メール アドレス]	-	-	本製品のメールアドレスを設定します。 (255 文字まで)
	[サーバー設定]	[SMTP]	[サーバー]	SMTP サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	SMTP ポート番号を入力します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[E メール/IFAX] (特定のモデルのみ対応)	[サーバー設定]	[SMTP]	[SMTP 認証]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
		[POP3/IMAP4]	[プロトコル]	サーバーから E メールを受信するためのプロトコルを選択します。
			[サーバー]	サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	ポート番号を入力します。
			[アカウント名]	アカウント名を入力します。 (255 文字まで)
			[パスワード]	サーバーにログインするパスワードを入力します。 (128 文字まで)
			[フォルダ選択]	IMAP4 プロトコルを使用する場合にメールボックス内で指定するフォルダを選択します。
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の検証]	サーバー認証を自動的に確認します。
			[POP3/IMAP4 認証]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。
	[メール 受信設定]	[自動受信]	[自動受信]	自動的にサーバーの新しいメッセージを確認します。
			[ポーリング間隔]	サーバーの新しいメッセージを確認する間隔を設定します。
		[ヘッダー印刷]	-	印刷する E メールヘッダーの内容を選択します。
		[エラーメール削除/閲覧]	-	POP3 サーバーが自動的にエラーメールを消去します。お客様が読み終わった後に、IMAP4 サーバーが自動的にエラーメールを削除します。
		[受信確認]	-	通知メッセージを受信します。
	[メール 送信設定]	[メール タイトル]	-	件名を確認します。
		[サイズ制限]	[サイズ制限]	E メール文書のサイズを制限します。
			[最大サイズ (MB)]	
		[受信確認要求]	-	通知メッセージを送信します。
	[リレー 設定]	[リレー 許可]	-	別のファクス機にリレー配信を行います。
		[許可 ドメイン]	[リレー] ##	ドメイン名を登録します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[E メール/IFAX] (特定のモデルのみ対応)	[リレー 設定]	[リレー レポート]	-	リレー配信レポートを印刷します。
	[レポート設定]	[E メール]	[送信結果レポート]	送信結果レポートの初期設定を選択します。
		[インターネット ファクス]	[送信結果レポート]	
	[手動受信]	-	-	POP3 または IMAP4 サーバーに新しいメッセージが届いているかを手動で確認します。
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「Global Detect」の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[レポート印刷]

[全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[送信結果レポート]	[表示]	送信済みファクスを一覧表示した送信結果レポートを表示します。
	[印刷]	最後の送信についての送信結果レポートを印刷します。
[電話帳リスト]	-	電話帳に登録されている名前と番号の一覧を印刷します。
[通信管理レポート]	-	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 (TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。)
[設定内容リスト]	-	設定の一覧を印刷します。
[プリンター設定]	-	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	-	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ファイルリスト印刷] (特定のモデルのみ対応)	-	本製品のメモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート] (無線ネットワーク機能搭載機種の場合)	-	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴リスト]	-	着信履歴の一覧を印刷します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
（一部の国でのみ利用可能）		

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[シリアル No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Sub1 バージョン]	
	[Security バージョン]	
[ファームウェア更新]	-	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア更新通知]	-	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	[合計]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
	[ファクス]	
	[コピー]	
	[プリンター]	
	[その他]	
[消耗品寿命]	[ドラム 寿命]	消耗品の使用可能な寿命の割合を確認します。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計セット]	[日付]	画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。
	[時刻]	
	[時計表示]	時刻の形式（12 時間または 24 時間）を選択します。
	[タイム ゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録]	[ファクス]	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
	[電話]	
	[名前]	
[回線種別設定]	-	回線種別を選択します。
[ダイヤルトーン設定]	-	ダイヤルトーン検出ポーズを短くします。
[外線番号]	-	ダイヤル時に毎回ファクス番号の先頭に付ける番号を設定します。
[特別回線対応]	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信モード]	-	通信エラーを調整します。 VoIP サービスプロバイダーは様々な規格を使ってファクスのサポートを提供します。ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心（VoIP）を選択します。
[設定リセット]	[機能設定リセット]	変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定リセット]	**[電話帳&ファクスリセット]**	登録されているすべての電話番号とファクス設定を消去します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態リセット]	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定] （一部の国でのみ利用可能）	-	画面の言語を変更します。

関連情報

- 設定と機能一覧

設定一覧（2.7 型タッチパネル DCP 機種）

関連モデル: DCP-L2660DW

>> [メニュー]
>> [基本設定]
>> [ショートカット設定]
>> [プリンター]
>> [ネットワーク]
>> [レポート印刷]
>> [製品情報]
>> [初期設定]

[メニュー]

[メニュー]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[トナー]	[トナー残量]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ純正情報]	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。
[ネットワーク]	[有線 LAN]	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	[無線 LAN(Wi-Fi)]	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。
[トレイ設定]	-	トレイ設定メニューにアクセスします。
[Wi-Fi Direct]	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
[エコモード]	-	エコモード設定メニューにアクセスします。
[全てのメニュー]	-	詳細設定を行います。

[基本設定]

[全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	-	用紙トレイの用紙タイプを設定します。
	[用紙サイズ]	-	用紙トレイの用紙サイズを設定します。
	[印字位置]	[X オフセット]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で設定できます。
		[Y オフセット]	300dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で設定できます。
	[トレイ確認]	-	製品にセットした用紙のサイズと種類が、製品の用紙サイズ設定および用紙タイプ設定とあっているか確認するよう促すメッセージを表示するかどうかを選択します。
[ボタン確認音量]	-	-	ボタン確認音量を調整します。
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	画面のバックライトの明るさを調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[画面の明るさ]	**[照明ダウンタイマー]**	-	ホーム画面に戻った後に画面のバックライトが点灯する時間の長さを設定します。
[画面設定]	**[待機画面]**	-	メインホーム画面の設定を行います。
	[スキャン画面]	-	スキャン画面の初期値を設定します。
	[情報表示]	**[IP アドレス]**	製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかを選択します。
[省エネモード]	**[エコモード]**	-	次の製品設定を同時に有効にします。 • [両面印刷:長辺とじ] [1]（特定のモデルのみ対応） • [スリープモード:0 分] • [照明ダウンタイマー:10 秒] • [静音モード]:[オン] [1] • [トナー節約モード]:[オン] [1]
	[トナー節約モード]	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	スリープモードを開始するまでの分数を設定します。
	[静音モード]	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	製品がパワーオフモードに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。パワーオフモードに入らないようにするには、[オフ]を選択します。
[トナー継続使用]	-	-	画面に[トナー交換]と表示された後に印刷を続けるように設定します。

[1] この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
（ショートカットボタンを選択します。）	**[名前の変更]**	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。

[プリンター]

[全てのメニュー] > [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを設定します。
[解像度]	-	-	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[印刷設定]	-	-	印刷設定をテキストまたはグラフィックに設定します。
[プリンター オプション]	**[フォント リスト]**	**[HP LaserJet]**	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
		[BR-Script 3]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[プリンター オプション]	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	両面印刷をするかどうかを設定します。また、とじ方向を長辺または短辺から選びます。
	[片面ﾃﾞｰﾀ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路]オプションを選択して印刷時間を短縮します。
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーを解除し、トレイ内の用紙を使いたい場合はこの設定を選択します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[印字位置]	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[ｵｰﾄﾌｫｰﾑﾌｨｰﾄﾞ]	-	-	本製品に残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[HP LaserJet]	[フォント No.]	[フォント No.]	フォント番号を設定します。
		[ダウンロードフォント]	ソフトフォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
	[トレイ コマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内の文字と一緒に、コメント（マークアップ）またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせた PDF 印刷]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す]	-	-	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[有線 LAN 有効]	-	-	有線 LAN インターフェイスを手動でオンまたはオフにします。
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態]	[接続状態]	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[SSID]	-	現在の SSID を確認します。
		[通信モード]	-	現在の通信モードを確認します。
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す]	-	-	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効]	-	-	WLAN を手動でオンまたはオフにします。
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	グループオーナーの SSID を確認します。 製品が接続されていないときは、画面に「未接続」と表示されます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Wi-Fi Direct]	[デバイス情報]	[IP アドレス]	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「Global Detect」の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[レポート印刷]

[全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	説明
[設定内容リスト]	設定の一覧を印刷します。
[プリンター設定]	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ファイルリスト印刷]	本製品のメモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート]	無線ネットワーク接続結果を印刷します。

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[シリアル No.]	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Sub1 バージョン]	

設定項目 3	設定項目 4	説明
[ファームウェアバージョン]	[Security バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[ファームウェア更新]	-	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア更新通知]	-	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	[合計]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
	[コピー]	
	[プリンター]	
	[その他]	
[消耗品寿命]	[ドラム 寿命]	消耗品の使用可能な寿命の割合を確認します。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定リセット]	[機能設定リセット]	変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態リセット]	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定] (一部の国でのみ可能)	-	画面の言語を変更します。

関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧（2.7"タッチパネル MFC モデルおよび 3.5"タッチパネル MFC モデル）

関連モデル: MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

>> ［ファクス］（みるだけ受信がオフの状態）
>> ［ファクス］（みるだけ受信がオンの状態）
>> ［コピー］
>> ［スキャン］
>> ［セキュリティ印刷］
>> ［クラウド］
>> ［お役立ちツール］
>> ［2 in 1 ID コピー］
>> ［ｼｮｰﾄｶｯﾄ］
>> ［トナー］
>> Wi-Fi セットアップ（無線モデル用）

［ファクス］（みるだけ受信がオフの状態）

［ファクス］

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
［ﾘﾀﾞｲﾔﾙ］（［ポーズ］）	-	-	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、リダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
［ｵﾝﾌｯｸ］	-	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。
［電話帳］	（［検索：］）	-	-	電話帳を検索します。
	［設定］	-	-	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。
	（電話帳を選択します）	［送信先に設定］	-	電話帳を使ってファクス送信を開始します。
［履歴］	［再ダイヤル］	-	-	最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	［発信履歴］	（発信番号を選択）	［設定］	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			［送信先に設定］	
	［着信履歴］（一部の国でのみ可能）	（着信番号を選択）	［設定］	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
			［送信先に設定］	
［スタート］	-	-	-	ファクスを送信します。
［設定変更］	［ファクス画質］	-	-	送信ファクスの解像度を設定します。
	［原稿濃度］	-	-	コントラストを調整します。
	［両面ファクス］	-	-	両面読み取りの形式を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[設定変更]	（自動両面スキャンモデル用）			
	[原稿台スキャンサイズ]	-	-	原稿台ガラスの読み取り範囲を、原稿のサイズに合わせます。
	[同報送信]	[番号追加]	[手動入力]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
			[電話帳から選択]	
			[検索して選択]	
	[タイマー送信]	[タイマー送信]	-	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
		[指定時刻]	-	
	[リアルタイム送信]	-	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[送付書]	[送付書設定]	-	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
		[送付書コメント]	-	
		[枚数]	-	
	[海外送信モード]	-	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
	[履歴]	-	-	通信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[電話帳]	-	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
	[設定を保持する]	-	-	設定を初期値として保存します。
	[設定をリセットする]	-	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

[ファクス]（みるだけ受信がオンの状態）

[ファクス]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ファクス送信]	[ﾘﾀﾞｲﾔﾙ]（[ポーズ]）	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、リダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
	[ｵﾝﾌｯｸ]	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。
	[電話帳]	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ファクス送信]	[履歴]	-	通信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[スタート]	-	ファクスを送信します。
	[設定変更]	-	希望の設定を選択します。
	[ｼｮｰﾄｶｯﾄとして登録]	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷 (新着ファクス)]	新着ファクスを印刷します。
		[全て印刷 (既読ファクス)]	既読ファクスを印刷します。
		[全て消去 (新着ファクス)]	新着ファクスを消去します。
		[全て消去 (既読ファクス)]	既読ファクスを消去します。
[電話帳]	-	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
[履歴]	-	-	通信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。

[コピー]

[コピー]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[スタート]	-	-	モノクロまたはグレー スケールコピーをします。
[ID]	-	-	身分証明書をコピーします。
[設定変更]	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
		[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
		[自動]	セットした用紙サイズに合うようにコピーサイズを調整します。
		[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。
	[両面コピー] (自動両面印刷モデル用)	[とじ方向]	両面コピーのオフ／オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[両面レイアウトコピー] (自動両面印刷モデル用)	-	両面原稿から両面 N in 1 コピーをするときに、ページレイアウトを選択します。
	[コントラスト]	-	コントラストを調整します。
	[スタック/ソート]	-	スタックまたはソートコピーを選択します。
	[レイアウト コピー]	-	N in 1 コピーをします。
[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PC]	[ファイル]	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[OCR]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[イメージ]	[スキャン機能切り替え]	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[E メール添付]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
[スキャン to アプリ]	(プロファイル名を選択します)	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をモバイルアプリケーションにスキャンします。
		[設定変更]	-	
		[ショートカット登録]	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[スキャン to アプリ]	(プロファイル名を選択します)	**[スタート]**	-	原稿をモバイルアプリケーションにスキャンします。
[E メール送信]	**[スキャン機能切り替え]**	-	-	本製品とネットワークおよび E メールサーバーとの通信を許可することで、スキャンしたデータを E メールサーバーに送信します。
	[手動入力]	**[次へ]**	**[送信先一覧]**	
			[設定変更]	
			[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	
			[スタート]	
		[キャンセル]	-	
		[アドレス追加]	-	
			[送信先一覧]	
	[電話帳]	(**[検索:]**)	-	
		[設定]	-	
		(電話帳を選択します)	-	
[FTP サーバー] (特定のモデルのみ対応)	**[スキャン機能切り替え]**	-	-	FTP サーバーに原稿を直接スキャンします。
	(プロファイル名を選択します)	**[設定変更]**	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	-	
		[スタート]	-	
[ネットワーク] (特定のモデルのみ対応)	**[スキャン機能切り替え]**	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
	(プロファイル名を選択します)	**[設定変更]**	-	
		[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	-	
		[スタート]	-	
[クラウド] (特定のモデルのみ対応)	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス] (パソコンのネットワークエクスプローラーに表示される、Web サービススキャナーをインストールした	**[スキャン機能切り替え]**	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[スキャン]	-	-	
	[電子メール用にスキャン]	-	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
場合に表示されます。)	[FAX 用にスキャン]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[印刷用にスキャン]	-	-	

[セキュリティ印刷]

[セキュリティ印刷]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
[セキュリティ印刷]	(ユーザーを選択)	(セキュリティで保護された印刷ジョブを選択)	4 桁のパスワードを入力すると、製品のメモリーに保存されたデータを印刷することができます。 製品にセキュリティ印刷データがあるときのみ有効です。

[クラウド]

[クラウド]

設定項目 2	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。

[お役立ちツール]

[お役立ちツール]

設定項目 2	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[2 in 1 ID コピー]

[2 in 1 ID コピー]

設定項目 2	説明
[2 in 1 ID コピー]	身分証明書の両面を 1 ページにコピーします。

[ショートカット]

+ ショートカット [ショートカット]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
+	[コピー]	-	使用する設定を選択します。
	[ファクス]	-	使用する設定を選択します。
	[スキャン]	[ファイル]	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		[OCR]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
+	[スキャン]	[イメージ]	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		[E メール添付]	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		[スキャン to アプリ]	原稿をモバイルアプリケーションにスキャンします。
		[E メール送信]	本製品とネットワークおよび E メールサーバーとの通信を許可することで、スキャンしたデータを E メールサーバーに送信します。
		[ネットワーク] (特定のモデルのみ対応)	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
		[FTP サーバー] (特定のモデルのみ対応)	FTP 経由でスキャンしたデータを送信します。
	[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。
	[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。
この一覧は、ショートカット名を 2 秒間押し続けると表示されます。	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。

[トナー]

[トナー]

設定項目 2	設定項目 3	説明
([トナー])	[トナー残量]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ純正情報]	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。

Wi-Fi セットアップ（無線モデル用）

(Wi-Fi 設定)（無線モデル用）

設定項目 2	設定項目 3	説明
(Wi-Fi 設定)	[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP] [1]	TCP/IP 設定を変更します。
	[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)] [1]	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態] [1]	現在の無線ネットワークの状態を確認します。

[1] Wi-Fi®接続が設定された後に使用できます。

設定項目 2	設定項目 3	説明
(Wi-Fi 設定)	[MAC アドレス] [1]	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す] [1]	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効] [1]	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。

関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧（2.7 型タッチパネル DCP 機種）

関連モデル: DCP-L2660DW

>> [コピー]
>> [スキャン]
>> [クラウド]
>> [お役立ちツール]
>> [2 in 1 ID コピー]
>> [ｼｮｰﾄｶｯﾄ]
>> [トナー]
>> Wi-Fi 設定

[コピー]

[コピー]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[スタート]	-	-	モノクロまたはグレー スケールコピーをします。
[ID]	-	-	身分証明書をコピーします。
[設定変更]	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
		[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
		[自動]	セットした用紙サイズに合うようにコピーサイズを調整します。
		[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。
	[両面コピー]	[とじ方向]	両面コピーのオフ／オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[両面レイアウトコピー]	-	両面原稿から両面 N in 1 コピーをするときに、ページレイアウトを選択します。
	[コントラスト]	-	コントラストを調整します。
	[スタック/ソート]	-	スタックまたはソートコピーを選択します。
	[レイアウト コピー]	-	N in 1 コピーをします。
[ｼｮｰﾄｶｯﾄ登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。

[スキャン]

[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PC]	[ファイル]	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[PC]	[ファイル]	(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[OCR]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[イメージ]	[スキャン機能切り替え]	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
	[E メール添付]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
			[スタート]	
[スキャン to アプリ]	(プロファイル名を選択します)	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をモバイルアプリケーションにスキャンします。
		[設定変更]	-	
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	
[FTP サーバー] (特定のモデルのみ対応)	[スキャン機能切り替え]	-	-	FTP サーバーに原稿を直接スキャンします。
	(プロファイル名を選択します)	[設定変更]	-	
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	
[クラウド]	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス]	[スキャン機能切り替え]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[スキャン]	-	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Web サービス]	[電子メール用にスキャン]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[FAX 用にスキャン]	-	-	
	[印刷用にスキャン]	-	-	

[クラウド]

[クラウド]

設定項目 2	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。

[お役立ちツール]

[お役立ちツール]

設定項目 2	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[2 in 1 ID コピー]

[2 in 1 ID コピー]

設定項目 2	説明
[2 in 1 ID コピー]	身分証明書の両面を 1 ページにコピーします。

[ショートカット]

＋ ショートカット [ショートカット]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
＋	[コピー]	-	使用する設定を選択します。
	[スキャン]	[ファイル]	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		[OCR]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		[イメージ]	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		[E メール添付]	スキャンした原稿を E メールの添付ファイルとして送信します。
		[スキャン to アプリ]	原稿をモバイルアプリケーションにスキャンします。
		[FTP サーバー]	FTP 経由でスキャンしたデータを送信します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
+	[スキャン]	（特定のモデルのみ対応）	
	[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。
	[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。
この一覧は、ショートカット名を 2 秒間押し続けると表示されます。	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。

[トナー]

[トナー]

設定項目 2	設定項目 3	説明
（[トナー]）	[トナー残量]	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ純正情報]	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。

Wi-Fi 設定

（Wi-Fi 設定）

設定項目 2	設定項目 3	説明
（Wi-Fi 設定）	[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP] [1]	TCP/IP 設定を変更します。
	[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)] [1]	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復]	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態] [1]	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
	[MAC アドレス] [1]	製品の MAC アドレスを確認します。
	[初期設定に戻す] [1]	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効] [1]	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。

関連情報

- 設定と機能一覧

[1] Wi-Fi®接続が設定された後に使用できます。

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用したユーティリティです。

- Web Based Management とは
- Web Based Management にアクセスする
- Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する
- Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

Web Based Management とは

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはセキュアソケットレイヤー（SSL）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザーを使用するユーティリティです。

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- 本製品がオンになっており、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていること、またネットワークが TCP/IP プロトコルに対応していることを確認してください。

実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management にアクセスする

- 以下のウェブブラウザーの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザーを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。Web Based Management を使用して設定を変更するときに HTTP を使用する場合は、画面の指示に従って、安全な HTTPS 接続に切り替えてください。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

  お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定リストでも確認できます。

>> ウェブブラウザーから Web Based Management にアクセスする
>> Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする（Windows/Mac）
>> Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする

ウェブブラウザーから Web Based Management にアクセスする

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、☰をクリックしてから📌をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

製品が指定された時間待機状態にある場合、ユーザーは自動的にログアウトされます。**ログアウト時間**メニューでログアウト設定を変更します。

Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする（Windows/Mac）

1. Brother iPrint&Scan を起動します。
   - Windows

     （**Brother iPrint&Scan**）を起動します。
   - Mac

     Finder メニューバーで**移動** > **アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

   Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。
2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。
3. （**消耗品/本体設定**）をクリックします。
4. **すべての設定**をクリックします。

   Web Based Management ページが表示されます。
5. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

6. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、☰をクリックしてから📌をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

モバイル端末の Brother Mobile Connect から Web Based Management にアクセスすることもできます。

Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする

1. （**Brother Utilities**）を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**本体設定**をクリックします。

   Web Based Management ページが表示されます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、☰をクリックしてから📌をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- 自己署名証明書を作成する
- 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- SSL/TLS を使用する

Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 次のいずれかを行ってください：
   - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
   - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定** > **ログインパスワード**をクリックします。

   - 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。
   - 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、≡からナビゲーションを開始してください。
5. パスワードを変更するには、**変更前のパスワードの入力**欄に現在のパスワードを入力します。
6. 画面の**ログインパスワード**ガイドラインに従って、**新しいパスワードの入力**欄に新しいパスワードを入力します。
7. **新しいパスワードの確認**欄に、新しいパスワードをもう一度入力します。
8. **OK** をクリックします。

ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- 製品のパスワードの確認

Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

関連モデル: FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW

- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

   例：

   https://192.168.1.2

   - ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

     例：https://SharedPrinter
   - NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

     例：https://brn123456abcdef
   - NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

   本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「**Pwd**」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。
4. 左側のナビゲーションバーで、**アドレス帳**をクリックします。

   左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
5. 対象のアドレス番号をクリックし、必要に応じて電話帳の情報を追加または更新します。
6. **OK** をクリックします。

関連情報

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

付録

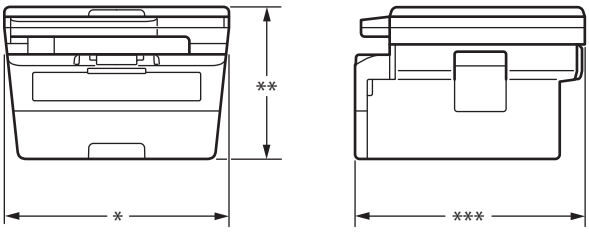
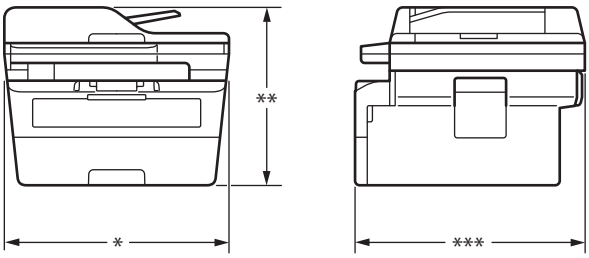
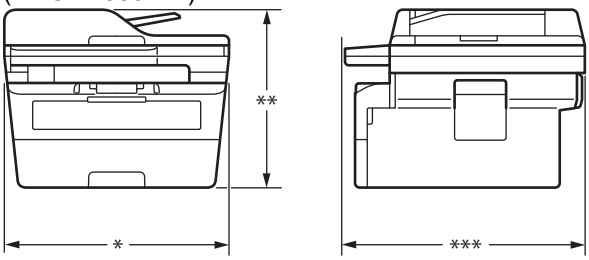
- 仕様
- 消耗品
- 消耗品の購入方法
- アフターサービスのご案内

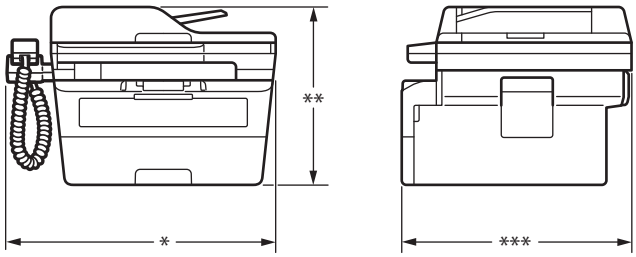
仕様

>> 基本仕様
>> 原稿サイズ仕様
>> 印刷用紙
>> ファクス
>> コピー仕様
>> スキャナー仕様
>> プリンター
>> インターフェイス
>> 対応プロトコルおよびセキュリティ機能
>> パソコン使用環境

基本仕様

プリントタイプ		レーザー
プリント方式		電子写真方式レーザープリンター
メモリー容量	**標準**	• (DCP-L2600DW/FAX-L2800DW) 128 MB • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 256 MB
液晶ディスプレー（LCD）		• (DCP-L2600DW/FAX-L2800DW) 10 文字（2 バイト） x 2 行/20 文字（1 バイト） x 2 行 • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW) 2.7 インチ型（67.5 mm）TFT カラー液晶ディスプレー [1] • (MFC-L2880DW) 3.5 インチ型（87.6 mm）TFT カラー液晶ディスプレー [1]
電源		AC 100 V 50/60 Hz
ウォームアップタイム [2]		9.5 秒以下 (スリープモードから) 22 秒以下 (電源投入から)
消費電力 （平均）	**最大**	約 740 W
	印刷 [3]	• (DCP-L2600DW) 約 440 W (25°C) • (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 約 460 W (25°C)
	印刷 **（静音モード）** [3]	約 250 W (25°C)
	コピー時 [3]	• (DCP-L2600DW) 約 440 W (25°C) • (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW)

消費電力 （平均）		約 470 W (25°C)
	コピー時 **（静音モード）** [3]	約 260 W (25°C)
	待機時 [3]	約 45 W (25°C)
	スリープモード [3]	• (DCP-L2600DW/FAX-L2800DW) 約 4.2 W • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW) 約 4.7 W
	ディープスリープモード [3]	• (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW) 約 0.7 W • (DCP-L2600DW/FAX-L2800DW) 約 0.6 W
	電源オフ時 [3 4 5]	約 0.05 W
エネルギー消費効率 [6]		• (DCP-L2600DW) 63 kWh/年　(区分：複合機 c) • (FAX-L2800DW) 67 kWh/年　(区分：複合機 c) • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW) 75 kWh/年　(区分：複合機 c)
外形寸法 （代表的な外形図） （DCP-L2600DW）  （DCP-L2660DW/MFC-L2860DW）  (MFC-L2880DW)  (FAX-L2800DW)		単位：mm • (DCP-L2600DW) ***** : 410 ****** : 272 ******* : 399 • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW) ***** : 410 ****** : 319 ******* : 399 • (MFC-L2880DW) ***** : 410 ****** : 319 ******* : 421 • (FAX-L2800DW) ***** : 481 ****** : 319 ******* : 399

			
本体質量（消耗品を含む）			• (DCP-L2600DW) 10.1 kg • (DCP-L2660DW) 11.4 kg • (MFC-L2860DW) 11.6 kg • (MFC-L2880DW) 11.8 kg • (FAX-L2800DW) 12.0 kg
稼動音	**音圧レベル** [7]	**印刷**	(DCP-L2600DW) LpAm = 48 dB (A) (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) LpAm = 49 dB (A)
		印刷（静音モード）	LpAm = 44 dB (A)
		待機時	LpAm = 30 dB(A)
	音響レベル	**印刷** [7]	• (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) LWAc = 6.63 B (A) • (DCP-L2600DW) LWAc = 6.50 B (A)
		印刷（静音モード）	LWAc = 6.12 B (A)
		待機時	LWAc = 不可聴
温度	**動作時**		10～32.5°C
	保管時		0°C ~ 40°C
湿度	**動作時**		20%～80%（結露なきこと）
	保管時		35%～85%（結露なきこと）
ADF（自動原稿送り装置） (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW)			最大 50 枚まで 印刷品質最適化のため、以下を推奨します。 • 温度：20°C～30°C • 湿度：50%～70% • 用紙：80 g/m^2

1 四つ角を対角線上に測定

2 温度 23 ℃ 、湿度 50% で測定した値です。

3 ENERGY STAR Ver.3.1 試験方法と同じネットワーク接続で本製品を接続した場合の測定値です。

4 IEC 62301 ED 2.0 による測定値。

5 消費電力は使用環境によりやや異なります。

6 省エネ法(平成 25 年 3 月 1 日付)で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値

7 ISO 7779 に記載の方法に準拠して測定。

原稿サイズ仕様

原稿サイズ	**ADF(自動原稿送り装置)幅** [1]	105 mm～215.9 mm
	ADF(自動原稿送り装置)長さ [1]	147.3 mm～355.6 mm
	原稿台ガラス使用時（幅）	最大 215.9 mm
	原稿台ガラス使用時（長さ）	最大 300 mm

1 ADF（自動原稿送り装置）対応機種のみ

印刷用紙

給紙	**用紙トレイ（標準）**	**用紙タイプ**	普通紙、薄紙、再生紙、厚紙、はがき
		用紙サイズ	A4、レター、B5（JIS）、A5、A5（長辺）、B6（JIS）、A6、はがき
		用紙坪量	60～163 g/m^2 [1] 葉書: 185 g/m^2 [1]
		最大用紙容量	• 80 g/m^2 普通紙最大 250 枚まで • はがき: 185 g/m^2 はがき最大 30 枚まで
	手差しトレイ	**用紙タイプ**	普通紙、厚紙、中厚口、再生紙、ラベル紙、封筒、薄紙封筒、厚紙封筒、はがき
		用紙サイズ	• 幅： 76.2～215.9 mm • 長さ: 127～355.6 mm • 封筒： 封筒洋形 4 号、封筒長形 3 号、封筒長形 4 号
		用紙坪量	• 60～230 g/m^2 • 葉書: 185 g/m^2
		最大用紙容量	一度に 1 枚
排紙 [2]	**上面排紙トレイ**		80 g/m^2 普通紙最大 100 枚まで（上面排紙トレイへ下向きに排紙）
	背面排紙トレイ		• 1 枚（背面排紙トレイへ上向きに排紙） • 185 g/m^2 はがき最大 15 枚まで（背面排紙トレイへ上向きに排紙）
両面	**自動両面印刷**	**用紙タイプ**	普通紙、薄紙、再生紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60～105 g/m^2

1 105 g/m^2 以上の用紙の場合は、バックカバーを開き、背面排紙トレイを使用してください。

2 ラベル紙では、印刷済みの用紙が排紙トレイに排出されたら、用紙のにじみを避けるため、直ちに回収することを推奨しています。

ファクス

お願い

この機能は MFC モデルと FAX モデルで利用できます。

形式	ITU-T Super Group 3
圧縮方式	MH / MR / MMR / JBIG
通信速度	33,600 bps（自動フォールバック）

両面受信		(FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) あり
自動両面送信		(MFC-L2880DW) あり（ADF(自動原稿送り装置)から）
最大有効読取幅		最大 208 mm
最大印刷幅		最大 207.4 mm
グレースケール		8 ビット / 256 階調
解像度	**主走査**	203 dpi
	副走査	標準: 98 dpi 高画質: 196 dpi 超高画質: 392 dpi フォト: 196 dpi
電話帳		(FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 200 件
ショートカット		(FAX-L2800DW) 10 件
グループ		最大 20 グループ
同報送信		• (FAX-L2800DW) 260 件 • (MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 250 件
自動再ダイヤル		5 分間隔で 3 回
メモリー送信		• (FAX-L2800DW) 最大 400 枚 [1] • (MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 最大 500 枚 [1]
メモリー代行受信		• (FAX-L2800DW) 最大 400 枚 [1] • (MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 最大 500 枚 [1]

1 ITU-T テストチャート原稿#1（一般的なビジネスレター程度の原稿、標準的画質、JBIG 圧縮）の数値です。

コピー仕様

コピー読み取り幅	最大 210 mm
自動両面コピー	(MFC-L2880DW) あり（ADF(自動原稿送り装置)から）
ソートコピー	あり
スタックコピー	最大 99 枚
複写倍率	1:1±1.4% / 50 ・ 70 ・ 83 ・ 87 ・ 91 ・ 94 ・ 97 ・ 115 ・ 141 ・ 200% ・自動、 25 ～ 400% の 1% 刻み
解像度	最大 600 x 600 dpi
1 部目の印刷時間 [1]	10 秒以下 (23℃)
諧調	256 諧調

1 待機モード、標準トレイから。

スキャナー仕様

カラー／モノクロ	Yes / Yes
TWAIN 対応	あり （Windows 10 / Windows 11）
WIA 対応	あり （Windows 10 / Windows 11）
AirPrint 対応	あり （macOS v11、v12、v13）
カラー階調	• 30 ビットカラー階調（入力） • 24 ビットカラー階調（出力）
グレースケール	• 10 ビットカラー階調（入力） • 8 ビットカラー階調（出力）
解像度 [2]	• 最大 19200×19200 dpi（補間） • 最大 1200×1200dpi（原稿台ガラス） • 最大 600×600dpi（ADF(自動原稿送り装置)） [1]
最大有効読取幅	最大 210 mm
自動両面読取	(MFC-L2880DW) あり（ADF(自動原稿送り装置)から）

1 ADF（自動原稿送り装置）対応機種のみ

2 Windows 10、Windows 11 の WIA ドライバーをご使用の場合は、最大 1200×1200dpi までの読み取りとなります（Scanner Utility を使用すれば 19200×19200dpi まで利用できます）。

プリンター

自動両面印刷		あり
エミュレーション		(DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) PCL6、BR-Script3、PDF バージョン 1.7
解像度		最高 1200 dpi x 1200 dpi
印刷速度 [1] [2]	**片面印刷時** [3]	• (DCP-L2600DW) 1 分あたり最大 28 ページまで（A4 サイズ） 1 分あたり最大 30 ページまで（レターサイズ） • (FAX-L2800DW) 1 分あたり最大 32 ページまで（A4 サイズ） 1 分あたり最大 34 ページまで（レターサイズ） • (DCP-L2660DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 1 分あたり最大 34 ページまで（A4 サイズ 1 分あたり最大 36 ページまで（レターサイズ）
	両面印刷時	• (DCP-L2600DW) 毎分最大 15 面（毎分最大 7.5 枚）（レターまたは A4 サイズ） • (DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 毎分最大 16 面（毎分最大 8 枚）（A4 サイズ） 毎分最大 17 面（毎分最大 8.5 枚）（レターサイズ）
1 枚目印刷時間 [4]		9.5 秒以下 (23℃)

1 印刷速度は原稿のタイプによって変わる場合があります。

2 無線 LAN 使用時は、印刷速度が多少遅くなる場合があります。

3 これらの印刷速度は、ISO/IEC 24734 規格に準拠して測定した片面印刷時のものです。

4 待機モード時、標準給紙トレイ。

インターフェイス

USB	タイプ：USB Type-B レセプタクル バージョン：ハイスピード USB 2.0 [1] [2] 2 メートル以下の長さの USB 2.0 インターフェイスケーブルを使用してください。
LAN	(DCP-L2660DW/FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/MFC-L2880DW) 10Base-T/100Base-TX [3]
無線 LAN	IEEE 802.11a/b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE 802.11a/g/n（Wi-Fi Direct®）

1 USB2.0 ハイスピードインターフェイスが使用できます。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続可能です。

2 サードパーティ製の USB ハブ機器には対応していません。

3 カテゴリー 5 以上のストレートタイプのツイストペアケーブルを使用してください。

対応プロトコルおよびセキュリティ機能

対応するプロトコルおよびセキュリティ機能はモデルにより異なります。

イーサネット

10Base-T/100Base-TX

無線 LAN（2.4GHz）

IEEE 802.11b/g/n （インフラストラクチャモード）、IEEE 802.11g/n （Wi-Fi Direct）

無線 LAN（5GHz）

IEEE 802.11a/n （インフラストラクチャモード）、IEEE 802.11a/n （Wi-Fi Direct）

プロトコル（IPv4）

ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA(Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、POP3、SMTP Client、IPP/IPPS、FTP Client and Server,CIFS Client、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMP、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client、IMAP4

プロトコル（IPv6）

NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP/IPPS、POP3、SMTP Client、FTP Client and Server、CIFS Client、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMPv6、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client、IMAP4

ネットワークセキュリティ（有線）

APOP*、SMTP-AUTH、SSL/TLS (SMTP、HTTP、IPP、POP3*、IMAP4*、FTP)、SNMP v3、802.1x (EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、OAuth(SMTP、POP3、IMAP4)、Kerberos

インターネットファクスがダウンロードされている場合。

ネットワークセキュリティ（無線）

APOP*、SMTP-AUTH、SSL/TLS (SMTP、HTTP、IPP、POP3*、IMAP4*、FTP)、SNMP v3、802.1x (EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、OAuth(SMTP、POP3、IMAP4)、Kerberos

インターネットファクスがダウンロードされている場合。

無線 LAN セキュリティ

WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA3-SAE (AES) (Wi-Fi Direct は、WPA2-PSK (AES) のみをサポートしています)

無線 LAN 認証

Wi-Fi Certification Mark License (WPA3™ - Enterprise、Personal)、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) Identifier Mark License、Wi-Fi CERTIFIED™ Wi-Fi Direct

パソコン使用環境

対応している OS とソフトウェア機能

最新の対応 OS については、support.brother.com/os にアクセスし、お使いのモデルの**対応 OS 一覧**ページを参照してください。

OS	インターフェイス			プロセッサー	必要なディスク容量 [1]	
	USB [2]	有線 LAN	無線 LAN		ドライバー	その他のソフトウェア（ドライバーを含む）
Windows 10 Home / 10 Pro / 10 Education / 10 Enterprise [4] [5]	印刷 PC Fax [3] スキャン			32 ビット（x86）、もしくは 64 ビット（x64）プロセッサー	80 MB	1.8 GB
Windows 11 Home / 11 Pro / 11 Education / 11 Enterprise [4] [5]				64 ビット（x64）プロセッサー		
Windows Server 2012	印刷 スキャン	印刷		64 ビット（x64）プロセッサー	80 MB	80 MB
Windows Server 2012 R2						
Windows Server 2016						
Windows Server 2019						
Windows Server 2022						
macOS v11 [6]	印刷 PC-FAX（送信） [3] スキャン			64 ビットプロセッサー	-	500 MB
macOS v12 [6]						
macOS v13 [6]						
Chrome OS	印刷 スキャン			-	-	-

1 本製品に CD-ROM が付属していない場合、ソフトウェアをインストールするにはインターネット接続が必要です。

2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

3 PC-FAX ではモノクロのみサポートされています。

4 WIA の場合、解像度は 1200x1200 となります。Brother Scanner Utility は解像度 19200 x 19200 dpi まで対応しています。

5 PaperPort™ 14SE は、Windows 10 と Windows 11 をサポートしています。

6 macOS の免責事項 AirPrint 対応：macOS 経由の印刷、スキャン、PC ファクス（送信）には、AirPrint の使用が必要です。本製品には Mac 用ドライバーは付属されていません。

最新のドライバーアップデートについては、support.brother.com/downloads にアクセスし、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページを参照してください。

記載の商標及び、ブランド名、製品名の所有権は各社にあります。

関連情報

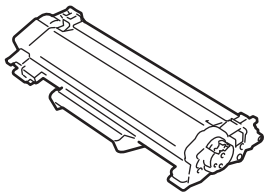
- 付録

消耗品

トナーカートリッジやドラムユニットなどの消耗品が交換時期になると、本製品の操作パネルまたはステータスモニターにエラーメッセージが表示されます。本製品の消耗品について、詳しくは go.brother/original を参照するか、お近くの販売店へお問い合わせください。

消耗品の型番は国や地域により異なります。

トナーカートリッジ

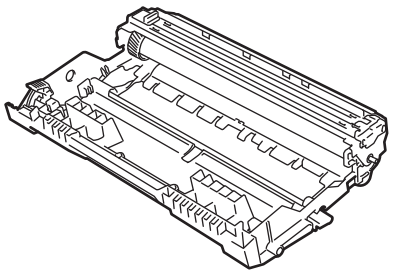


消耗品の型番	おおよその寿命 （印字可能枚数）	対象となるモデル
大容量トナーカートリッジ： TN32JXL	約 3,000 枚 [1] [2]	DCP-L2600DW/DCP-L2660DW/ FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW
超大容量トナーカートリッジ： TN32JXXL	約 5,000 枚 [1] [2]	DCP-L2600DW/DCP-L2660DW/ FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW
スタートトナーカートリッジ： （本製品に付属）	約 700 枚 [1] [2]	DCP-L2600DW/DCP-L2660DW/ FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW

1 カートリッジのおおよその印刷可能枚数は ISO/IEC 19752 規格に基づく公表値を満たしています。

2 A4 またはレターの片面ページ

ドラムユニット



ドラムユニット：		
消耗品の型番	**おおよその寿命 （印字可能枚数）**	**対象となるモデル**
DR32J	約 15,000 枚 [1]	DCP-L2600DW/DCP-L2660DW/ FAX-L2800DW/MFC-L2860DW/ MFC-L2880DW

1 1 回に 1 ページ印刷する場合：約 15,000 ページ（A4 またはレターの片面ページ）。印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズを含むさまざまな原因に影響を受けますが、この限りではありません。

関連情報

- 付録

消耗品の購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートの FAX にてご注文いただくことができます。

インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ

direct.brother.co.jp

お電話でのご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825

（土・日・祝日、弊社指定休日を除く 9 時～12 時、13 時～17 時）

FAX でのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまで FAX してください。

FAX 番号：052-825-0311

関連情報

- 付録

アフターサービスのご案内

>> 製品登録
>> 各種サポート情報
>> ブラザーコールセンター
>> 安心と信頼の修理サービス

製品登録

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ https://online.brother.co.jp

各種サポート情報

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

support.brother.co.jp

ブラザーコールセンター

0570-061020

※受付時間につきましては、サポートサイトでご確認ください。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。最新の情報はサポートサイトでご確認ください。

安心と信頼の修理サービス

メーカー保証修理

メーカー保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。

保証事項については、保証書をご覧ください。

修理サービス（有料）

メーカー保証期間後も、「お手軽引き取りサービス」と「出張修理サービス」でサポートいたします。

※ご利用の機種により、修理サービスの内容は異なります。詳しくはブラザーホームページをご覧ください。

ブラザー　修理サービス　検 索

https://www.brother.co.jp/product/support_info/repair_serv/index.htm

ブラザーサービスパック（定額保守サービス）

ブラザーが提供する複数年の定額保守サービスです。

サービスパックをご購入いただくことで、お客様のニーズにあわせた充実したサポートを提供いたします。

※ご利用の機種により保守期間は異なります。

定額料金だから安心
何度でも修理対応

専用フリーダイヤルで
優先的に
受付いたします

定期的に交換が必要な
部品費用も全て無償
（契約内容によって異なります）

各定額保守サービスの内容、該当機種 、保守料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。

TEL : 052-824-3253

ブラザー サービスパック　検 索

https://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

関連情報

- 付録

brother

Brother Earth

www.brotherearth.com

JPN
Version 0-1